

5 吹学未第 414 号
令和 5 年 8 月 28 日
(2023 年)

山田第五小学校児童の保護者の皆様へ

吹田市教育委員会学校教育部長

山田第五小学校における学校規模適正化について（お知らせ）

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は、本市教育行政に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、山田第五小学校におきましては、昨年度から過小規模校となっており、今後も長期的に同様の状態が継続される見込みであるため、学校規模の適正化に向けて取組みを進めています。

令和 5 年 8 月 16 日付で開催された教育委員会会議において、山田第五小学校を山田第三小学校に統合するという方向性で検討を行うことになりました。

つきましては、影響を受ける山田第五小学校児童の保護者の皆様を対象に、学校規模適正化の方向性の詳細等についての説明会を開催させていただきますので、ご参加いただきますようお願いいたします。

記

- 1 学校規模適正化の方向性
 - (1) 山田第五小学校を山田第三小学校に統合する。
 - (2) 当該統合に伴い、山田南・山田市場 9 番～11 番については、西山田中学校の通学区域に見直しを行う。
 - (3) 経過措置として、山田南・山田市場 9 番～11 番に在住の児童については、当分の間、中学校への進学時に西山田中学校または山田中学校のいずれかを選択できることとする。

※この方向性については「吹田市立学校条例」の改正手続きが必要であるため、現段階において、決定したものではありません。
- 2 説明会
 - (1) 日時
(ア)令和 5 年 9 月 9 日（土）午前 10 時～午前 11 時 30 分

(1)

(1) 令和5年9月16日(土) 午後1時30分～午後3時
※各回の内容は同じです。

(2) 場所

吹田市立山田第五小学校 4階 多目的教室

(3) 定員

各回 80名程度

(4) 申し込み

事前申し込み不要。当日、会場へ直接お越しください。

〔問合せ先〕 吹田市教育委員会 学校教育部 教育未来創生室 電話番号 06-6155-8084 Email kyokikak@city.suita.osaka.jp
--

5 吹学未第 414 号
令和 5 年 8 月 28 日
(2023 年)

山田第五小学校区の未就学児の保護者の皆様へ

吹田市教育委員会学校教育部長

山田第五小学校における学校規模適正化について（お知らせ）

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は、本市教育行政に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、山田第五小学校におきましては、昨年度から過小規模校となっており、今後も長期的に同様の状態が継続される見込みであるため、学校規模の適正化に向けて取組みを進めています。

令和 5 年 8 月 16 日付で開催された教育委員会会議において、山田第五小学校を山田第三小学校に統合するという方向性で検討を行うことになりました。

つきましては、影響を受ける山田第五小学校区の未就学児の保護者の皆様にも、情報共有をさせていただきたく、お知らせをさせていただいた次第です。なお、学校規模適正化の方向性の詳細等についての説明会を開催させていただきますので、ご参加いただきますようお願いいたします。

記

- 1 学校規模適正化の方向性
 - (1) 山田第五小学校を山田第三小学校に統合する。
 - (2) 当該統合に伴い、山田南・山田市場 9 番～11 番については、西山田中学校の通学区域に見直しを行う。
 - (3) 経過措置として、山田南・山田市場 9 番～11 番に在住の児童については、当分の間、中学校への進学時に西山田中学校または山田中学校のいずれかを選択できることとする。

※この方向性については「吹田市立学校条例」の改正手続きが必要であるため、現段階において、決定したものではありません。

- 2 説明会
 - (1) 日時

(1)

- (ア)令和5年9月9日(土)午後1時30分～午後3時
(イ)令和5年9月16日(土)午前10時～午前11時30分

※各回の内容は同じです。

※令和5年9月9日(土)午前、16日(土)午後に開催する山田第五小学校児童の保護者向け説明会と同じ内容になります。兄弟姉妹の関係で既にご参加された方は、今回の説明会への参加は不要です。

(2) 場所

吹田市立山田第五小学校 4階 多目的教室

(3) 定員

各回 80名程度

(4) 申し込み

事前申し込み不要。当日、会場へ直接お越しください。

〔問合せ先〕

吹田市教育委員会

学校教育部 教育未来創生室

電話番号 06-6155-8084

Email kyokikak@city.suita.osaka.jp

5 吹学未第 414 号
令和 5 年 8 月 28 日
(2023 年)

山田第三小学校児童の保護者の皆様へ

吹田市教育委員会学校教育部長

山田第五小学校における学校規模適正化について（お知らせ）

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は、本市教育行政に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、山田第五小学校におきましては、昨年度から過小規模校となっており、今後も長期的に同様の状態が継続される見込みであるため、学校規模の適正化に向けて取組みを進めています。

令和 5 年 8 月 16 日付で開催された教育委員会会議において、山田第五小学校を山田第三小学校に統合するという方向性で検討を行うことになりました。

つきましては、影響を受ける山田第三小学校児童の保護者の皆様を対象に、学校規模適正化の方向性の詳細等についての説明会を開催させていただきますので、ご参加いただきますようお願いいたします。

記

- 1 学校規模適正化の方向性
- (1) 山田第五小学校を山田第三小学校に統合する。
 - (2) 当該統合に伴い、山田南・山田市場 9 番～11 番については、西山田中学校の通学区域に見直しを行う。
 - (3) 経過措置として、山田南・山田市場 9 番～11 番に在住の児童については、当分の間、中学校への進学時に西山田中学校または山田中学校のいずれかを選択できることとする。
- ※この方向性については「吹田市立学校条例」の改正手続きが必要であるため、現段階において、決定したものではありません。

2 説明会

- (1) 日時
(ア)令和 5 年 9 月 10 日（日）午前 10 時～午前 11 時 30 分

(1)

(イ)令和5年9月23日(土)午後1時30分～午後3時
※各回の内容は同じです。

(2) 場所

吹田市立山田第三小学校 4階 多目的教室

(3) 定員

各回80名程度

(4) 申し込み

事前申し込み不要。当日、会場へ直接お越しください。

〔問合せ先〕 吹田市教育委員会 学校教育部 教育未来創生室 電話番号 06-6155-8084 Email kyokikak@city.suita.osaka.jp
--

5 吹学未第 414 号
令和 5 年 8 月 28 日
(2023 年)

山田第三小学校区の未就学児の保護者の皆様へ

吹田市教育委員会学校教育部長

山田第五小学校における学校規模適正化について（お知らせ）

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は、本市教育行政に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、山田第五小学校におきましては、昨年度から過小規模校となっており、今後も長期的に同様の状態が継続される見込みであるため、学校規模の適正化に向けて取組みを進めています。

令和 5 年 8 月 16 日付で開催された教育委員会会議において、山田第五小学校を山田第三小学校に統合するという方向性で検討を行うことになりました。

つきましては、影響を受ける山田第三小学校区の未就学児の保護者の皆様にも、情報共有をさせていただきたく、お知らせをさせていただいた次第です。なお、学校規模適正化の方向性の詳細等についての説明会を開催させていただきますので、ご参加いただきますようお願いいたします。

記

- 1 学校規模適正化の方向性
 - (1) 山田第五小学校を山田第三小学校に統合する。
 - (2) 当該統合に伴い、山田南・山田市場 9 番～11 番については、西山田中学校の通学区域に見直しを行う。
 - (3) 経過措置として、山田南・山田市場 9 番～11 番に在住の児童については、当分の間、中学校への進学時に西山田中学校または山田中学校のいずれかを選択できることとする。

※この方向性については「吹田市立学校条例」の改正手続きが必要であるため、現段階において、決定したものではありません。

- 2 説明会
 - (1) 日時

(1)

令和5年9月10日(日)午後1時30分～午後3時
※令和5年9月10日(日)午前、23日(土)午後に開催する
山田第三小学校児童の保護者向け説明会と同じ内容になります。
兄弟姉妹の関係で既にご参加された方は、今回の説明会への参加は不要です。

(2) 場所

吹田市立山田第三小学校 4階 多目的教室

(3) 定員

各回80名程度

(4) 申し込み

事前申し込み不要。当日、会場へ直接お越しください。

〔問合せ先〕 吹田市教育委員会 学校教育部 教育未来創生室 電話番号 06-6155-8084 Email kyokikak@city.suita.osaka.jp
--

5 吹学未第 539 号
令和 5 年 10 月 4 日
(2023 年)

山田第五小学校児童の保護者の皆様へ
山田第五小学校区の未就学児の保護者の皆様へ

吹田市教育委員会学校教育部長

山田第五小学校の学校規模適正化に係る説明会の開催について（お知らせ）

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は、本市教育行政に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、山田第五小学校の学校規模適正化の方向性等について、令和 5 年 9 月に説明会を開催したところですが、皆様から多数のご意見やご質問をいただいたことから、下記の通り再度説明会を開催します。前回の説明会で皆様からいただいたご意見や質問については、この場でお示しをさせていただきます。ご参加いただきますようお願いいたします。

記

- 1 日 時 令和 5 年 10 月 14 日（土）午前 10 時～午前 11 時 30 分
- 2 場 所 吹田市立山田第五小学校 4 階 多目的教室
- 3 対 象 山田第五小学校児童の保護者及び同校区の未就学児の保護者
- 4 定 員 100 名程度
- 5 申し込み 事前申し込み不要。当日、スリッパをご持参のうえ、会場へ直接お越しください。
- 6 その他 令和 5 年 9 月に開催した説明会の議事録については、吹田市ホームページに順次掲載しています。なお、前回の説明会をご欠席された方に向けての説明動画についても後日掲載する予定です。今後の新着情報については、下記の学校規模適正化ページ上で公開します。

(1)



学校規模適正化ページ



議事録掲載ページ

〔問合せ先〕

吹田市教育委員会

学校教育部 教育未来創生室

電話番号 06-6155-8084

Email kyokikak@city.suita.osaka.jp

5 吹地放第633号
令和5年9月4日
(2023年)

山五留守家庭児童育成室
どろんこ学級の保護者の皆様へ

吹田市教育委員会 地域教育部
放課後子ども育成室長

山田第五小学校における学校規模適正化に伴う留守家庭児童育成室の方向性について
(お知らせ)

平素は本市留守家庭児童育成室事業に御理解と御協力を賜り、誠にありがとうございます。
標記の件について、令和5年8月28日付け5吹学未第414号「山田第五小学校における学校規模適正化について」にて学校教育部からお知らせしました説明会の中で、留守家庭児童育成室の方向性についても説明をさせていただきます。
説明会の日程等について、下記のとおり再掲いたしますので、よろしく願いいたします。

記

1 学校規模適正化についての説明会

(1) 日時

(ア) 令和5年9月9日(土) 午前10時～午前11時30分

(イ) 令和5年9月16日(土) 午後1時30分～午後3時

※各回の内容は同じです。

(2) 場所

吹田市立山田第五小学校 4階 多目的教室

(3) 定員

各回80名程度

(4) 申し込み

事前申し込み不要。当日、会場へ直接お越しください。

【お問合せ】

吹田市教育委員会地域教育部放課後子ども育成室

担当 中村

TEL：06-6384-1599 FAX：06-6380-6771

Mail：houkagokodomo@city.suita.osaka.jp

5吹地放第633-2号
令和5年10月5日
(2023年)

山五留守家庭児童育成室
どろんこ学級の保護者の皆様へ

吹田市教育委員会 地域教育部
放課後子ども育成室長

山田第五小学校の学校規模適正化に係る説明会（留守家庭児童育成室）の開催について
(お知らせ)

平素は本市留守家庭児童育成室事業に御理解と御協力を賜り、誠にありがとうございます。
標記の件について、令和5年10月4日付け5吹学未第539号「山田第五小学校の学校規模適正化に係る説明会の開催について」にて学校教育部からお知らせしました説明会は、留守家庭児童育成室についても合同で開催いたします。
日程等について、下記のとおり再掲いたしますので、よろしく願いいたします。

記

1 学校規模適正化に係る説明会

(1) 日時

令和5年10月14日（土）午前10時～午前11時30分

(2) 場所

吹田市立山田第五小学校 4階 多目的教室

(3) 定員

100名程度

(4) 申し込み

事前申し込み不要。当日、スリッパをご持参のうえ、会場へ直接お越しください。

【お問合せ】

吹田市教育委員会地域教育部放課後子ども育成室
担当 中村
TEL：06-6384-1599 FAX：06-6380-6771
Mail：houkagokodomo@city.suita.osaka.jp

議案第98号参考資料
学校教育部教育未来創生室
市民部市民自治推進室

5吹市自第910号
令和5年9月5日
(2023年)

山三地区
地域諸団体役員各位

吹田市市民部
市民自治推進室長
長井 浩

山田第五小学校における学校規模適正化に係る各地域諸団体向け説明会
の開催について（御案内）

標題の件につきまして、教育委員会から山田第五小学校の過小規模校化に伴い、山田第五小学校を山田第三小学校に統合する方向性が示されました。

つきましては、学校規模適正化による今後の方向性が示されたことを受けまして、山三地区の地域諸団体の皆様に対して、下記のとおり説明会を開催いたしますので、お手数をおかけしますが出席方よろしくお願ひ申し上げます。

記

1 開催日時

令和5年（2023年）9月15日（金）18時30分から1時間程度

2 開催場所

吹田市立亥の子谷コミュニティセンター 多目的ホール

市民部市民自治推進室
室長 長井 ・ 参事 古田
電話:06 (6384) 1326・1327
Mail : ks_jichi@city.suita.osaka.jp

吹田市立学校条例の一部改正の骨子案に対する提出意見と市の考え方について

1 提出期間 令和5年（2023年）9月15日（金曜日）～ 令和5年（2023年）10月17日（火曜日）

2 提出意見数 561件（244通）

3 提出意見と市の考え方 以下のとおり

No	提出意見（要約）	市の考え方
1	<p>＜施行時期＞【78件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施行までの期間が短すぎるためスケジュールを見直すべき。なぜ急ぐ必要があるのか。 ・新入生受入を止め、現1年生が卒業するまで待つべきなのか。 ・未就学児の保護者だが、いずれ統合するならば令和7年度からが良い。 	<p>過小規模校は、クラス替えが行えず人間関係が固定化し序列化や評価も固定化すること、男女比に極端な偏りが生じる、人間関係のトラブル時に児童を別の学級にすることができない、多様な価値観に触れる機会が少ない等のデメリットやリスクがあることから、学校規模適正化基本方針において速やかに課題解決を図るべき範囲と位置付けており、子供たちにとってより良い教育環境を実現するためにも速やかに適正化に取り組む必要があると考えています。</p> <p>山田第五小学校の学校規模適正化については、令和元年度から山田第五小学校のPTAと議論を進めており、令和2年度には学校規模等検討委員会を立ち上げ、1年間の議論の末、令和3年度に答申をいただき、それを基に学校規模適正化基本方針を策定しました。</p> <p>また、令和4年度には学校規模適正化の方向性を判断するにあたってアンケートを実施し、いただいたご意見を踏まえ、シミュレーションや分析を行ったうえで、第2期の学校規模適正化実施計画を策定したところであります。このように、必要な手続きを積み上げ、着実に進めさせていただいているため、スケジュールは決して早すぎるといったものではないと考えております。</p>

2	<p><対話・意見聴取>【76件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供や保護者等と対話する機会を十分に設け、理解を得たうえで進めるべき。 ・子供のことを考えていると思えない。子供の意見はどのくらい聞いたのか。 	<p>学校規模適正化の議論につきましても、地域や立場の違いから、意見の対立や分断が発生する恐れがあります。例えば、山田第五小学校の児童や保護者が、南山田小学校との通学区の見直しを望んだ場合に、規模適正化が必要でない南山田小学校の児童が、他校の課題解決のために、友人と離れ離れになる形で、転校を余儀なくされることについて、児童や保護者が反対し、意見の対立が起こるリスクが想定されま</p> <p>す。</p> <p>また、今の子供たちだけでなく、10年以上後の将来を見据えた議論も必要であることから、その責任を負い、また果たすことができるのは教育委員会であると考えております。これらを考慮した上で、協議の場を設けるのではなく、アンケートにより様々な地域や立場の方々のご意見を伺い、教育委員会が責任を持って取り組みを進めることが最善であると判断をしたところでです。</p> <p>子供の意見については、今後、統合を進めるにあたり、子供目線の柔軟なアイデアや課題などを聞きながら、取り組んでまいりたいと考えております。</p>
3	<p><統合>【22件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何故統合になったのか。 	<p>学校規模適正化基本方針に基づき、通学区の見直しや学校の統合、学校選択制の導入などの手法を分析・検討したうえで、統合が最善の手法であるとの判断に至ったものです。まず通学区の見直しについては、山田第五小学校の適正化は可能ですが、山田第三小学校の過小規模校化の問題が残ってしまうため、根本原因の解消には至りません。また、この根本原因の解消に至らない手法により、規模適正化が必要ではない他校の児童が友人と別れる形で転校となり、合理性から困難であると想定しております。次に学校選択制につきましては、先進市に現地視察もを行い、その導入実績を研究した結果、将来にわたって過小規模の課題が解決するほどの効果が不確実であると判断したものでございます。最後に、学校の統合につきましては、山田第三小学校と統合することで、両校の過小規模校化の課題が一度に解消され、適正化が実現できること、また、両校はほぼ隣接していることから、小学校の通学区の変更も最小限の手法となります。</p>
4	<p><校区再編>【29件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山田第三小学校と統合するのではなく、南山田小学校区の一部を山田第五小学校区に変更してほしい。中学校区を元に適正化を行うべき。 ・もっと広範囲を対象として適正化を行うべき。 	<p>南山田第三小学校の過小規模校化の問題が残ってしまうため、根本原因の解消には至りません。また、この根本原因の解消に至らない手法により、規模適正化が必要ではない他校の児童が友人と別れる形で転校となり、合理性から困難であると想定しております。次に学校選択制につきましては、先進市に現地視察もを行い、その導入実績を研究した結果、将来にわたって過小規模の課題が解決するほどの効果が不確実であると判断したものでございます。最後に、学校の統合につきましては、山田第三小学校と統合することで、両校の過小規模校化の課題が一度に解消され、適正化が実現できること、また、両校はほぼ隣接していることから、小学校の通学区の変更も最小限の手法となります。</p>
5	<p><元南山田小学校区>【8件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この統合を機に、元々南山田小学校区だった地区を南山田小学校区に戻してほしい。 	<p>南山田小学校の児童数がさらに増加し、学校規模が大きくなることで教育環境が悪化することが考えられるため、この手法の検討はしております。</p>

(2)

6	<p>＜小規模校のメリット＞【42件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小規模だからこそ手厚い教育をうけられるし、学年を超えた交流や地域の方々との交流ができるのではないか。 ・山田第五小学校の現状にデメリットを感じていない。 	<p>教育委員会としても、小規模校ならではのメリット、良さがあることは理解しているところでございます。しかしながら、規模が小さすぎると過小規模校については、人間関係が固定化してしまうことや、集団内の男女比に極端な偏りが生じてしまうこと、多様な価値観に触れる機会が少なく、社会性や対人スキルの向上に課題があること等、メリットを超えるデメリットやリスクが発生する教育環境にあるため、問題として顕在化していないから、現状で良いと考えるのではなく、子供たちの教育環境として最も良い状態を常に目指して努力する姿勢です。</p>
7	<p>＜経過措置＞【30件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校の選択はかえって酷なものである。今までも山田第五小学校は山田中学校、山田第三小学校は西山田中学校としてほしい。 ・山田第三小学校の児童にも中学校の選択権を与えるべき。 ・経過措置期間はいつまでなのか明確にしてほしい。 ・西山田中学校への通学距離は心配だが選択制があれば嬉しい。 	<p>今回の経過措置は、アンケートでいただいたご意見を踏まえ、統合に伴って中学校への通学距離が増加するという距離的な面に配慮するためにもうけたもので、自分の間、山田第五小学校区にお住まいの方は、西山田中学校、山田中学校のいずれかを選択できるといえるものです。</p> <p>山田第三小学校に関しては、元々西山田中学校区であり、今回の統合に伴って中学校への通学距離が増加することもないため、通学区域を見直す考えはございません。</p> <p>なお、期間については統合から10年後に実績を確認することで、その後の当該措置の必要性を再検討します。</p>
8	<p>＜通学距離・通学路＞【39件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校の校区変更により通学距離が大幅に増加するため自転車通学を導入してほしい。 ・児童数の減少で統合は仕方ないが、通学路の安全面に配慮してほしい。 ・小学校内を通る新通学路案には配慮がない。 ・山田第三小学校だと通学距離も変わらず、児童数も増えて学校生活が明るくなりそうなので賛成。 	<p>自転車通学について検討しましたが、山田第五小学校区からの距離、市内の他の中学校の通学距離、全国の類似市（中核市）における自転車通学の許可基準等を総合的に判断し徒歩通学とする予定でです。市全体の通学の在り方については、学校規模適正化とは別に今後検討させていただきます。</p> <p>これまで通っていた小学校を横目に通学する児童の気持ちへ配慮すべきところのご意見は説明会においてもいただいたとおり、通学路についての対案の提案をお願いしておりますが、現時点では提案がない状況です。教育委員会としては、児童の通学時における安全性を最優先に考え、山田第五小学校の敷地内に新通学路の設置を検討しております。より良い案のご提案がありましたら検討させていただきます。</p>

9	<p>＜心理的負担＞【36件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供たちのケアを十分に行ってほしい。 ・子供、保護者にとって不安や負担がとて大きいと思う。 ・体操服等の持ち物は山田第五小学校のものを利用可能と説明されたが、人数差もあることからそれが原因でいじめ等に繋がるのではないか。 ・単学級で6年間過ごす方が、いじめ問題に発展する可能性がある。 	<p>円滑に統合が進むように、令和6年度に両校児童の交流事業を重ね、人間関係を少しでも構築したうえで、統合に取り組みたいと考えております。また、統合に合わせる山田第五小学校の教職員も山田第三小学校に人事異動することによる人事面での配慮や、教職員を法律の定数を超えて複数名加配することで、児童の精神的ケアや生活・学習支援の実施、人間トラブルの未然防止、その他業務量の増加にも対応する検討をしているところではあります。</p> <p>さらに今後は、児童が少しでも統合して良かったと思えるよう、ハードやソフトでの取組を関係室課や両校の校長、教頭と共に検討していく予定です。</p>
10	<p>＜教職員の増員＞【5件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山田第五小学校の児童を知る教員を管理職含め手厚く配置してほしい。 ・統合に関する業務が増加することで、児童に影響が出ることもあり得るため職員を加配すべき。 	
11	<p>＜説明会・説明＞【25件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明会を複数回実施したとあるが、どういうことか。説明会に参加できなかつた人もいる。 ・丁寧に、誠実に説明してほしい。十分な説明ではなかつた。 	<p>山田第五小学校の学校規模適正化に係る保護者説明会については、9月9日（土）、10日（日）、16日（土）、23日（土）に山田第五小学校及び山田第三小学校児童の保護者、同校区内にお住まいの未就学児の保護者を対象とするものを計7回実施しました。さらに再開催の要望があったため、山田第五小学校児童の保護者及び同校区内にお住まいの未就学児の保護者を対象に、追加の説明会を10月14日（土）に1回開催しており、全ての回において意見聴取の場として質疑の時間も確保していただきました。なお、ご欠席された方や近隣校区の保護者の方等も閲覧できよう、吹田市ホームページ上で説明動画や議事録の公開もさせていただいております。</p>

12	<p><統合後の対応>【24件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・備品等を含め、両校が全て平等となるようにしてほしい。 ・統合には賛成だが、統合することによるリスクに対し、先手で対策を講じてほしい。 ・公平となるように校名や校歌、校章は変更すべき。 ・山田第五小学校、山田第三小学校の両校の保護者に校名等の変更について説明しているのか。 ・交流事業の具体案を示してほしい。行事だけでなく、授業等で毎週必要だと思う。 ・様々な交流を計画し、スムーズな合併に繋げてほしい。 	<p>統合後の対応や交流事業については、関係室課や両校の校長、教頭と協議を進めているところです。</p> <p>交流事業については、教職員を加配することで、行事だけでなく授業等による交流の頻度や回数を少しでも多く実施したいと考えております。</p> <p>校名や校歌、校章の変更については、両校の児童の意見を聞いた上で、教育委員会が責任を持って総合的に判断し、保護者に対して然るべき方法で説明いたします。</p>
13	<p><他校区適正化>【21件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過小規模校よりも先に過大規模校に取り組むべき。 	<p>学校規模適正化基本方針におきましては、31学級以上の過大規模校と、6学級以下の過小規模校について、速やかに課題解決を図るべき範囲としております。</p> <p>過大規模校、過小規模校のどちらを優先すべきなのかは、一律に判断できるものではなく、今後の児童生徒数推計等を基に、その時々々の状況に応じて総合的に判断すべきであると考えております。</p>
14	<p><アンケート>【13件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの回答数が少ないので民意を反映していないと言えないのではないかと。 ・一旦白紙になっているので、再度アンケートを取ってほしい。 	<p>令和4年度に実施したアンケートは、学校規模適正化に取り組みにあたり、方向性を決定する前に広く意見を聞いてほしいというお声を保護者等からいただいたており、実施したものであります。また、スケジュール等の見直し（市内の5校を対象に進めていた学校規模適正化を、1校ずつ進めることとした見直し）の説明時に、保護者等からアンケート結果を今後の検討に活用する旨の要望をいただき、活用する旨のお約束をしています。そのため、今回の学校規模適正化を検討するにあたっては、アンケートの意見等を踏まえて議論してきたところで、再度アンケートを実施することは考えておりません。</p>

(5)

15	<p><税金の用途>【13件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山田第五小学校の大規模改修は子供たちのために行われたものではなかったのか。 ・数年前から統合を検討していたらなぜ大規模改修をしたのか。税金の無駄使いだ。 	<p>統合決定前の段階であるため、改修工事等の子供たちに必要なとされる措置については全て実施しています。</p>
16	<p><情報開示>【13件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統合以外の2案についてアンケート結果が開示されていない。 ・経過措置に伴い、中学校の情報はどのように知ればいいのか。 ・今後の児童数の予想を知りたい。 ・児童生徒数推計に信憑性がない。 ・今後の住宅開発の計画を知りたい。 	<p>統合以外の2案に係るアンケート結果及び児童数の推計については吹田市ホームページ上で公開しております。 中学校の情報については、ホームページでご覧いただきたいと考えております。 その他の情報開示については、令和5年9月に開催した説明会において要望が多かったものは、同年10月に開催した説明会において回答させていただいたところです。 検討に際して基礎データとなる児童生徒数推計につきましては、住民基本台帳の未就学児童数や在籍児童生徒数を基に、住宅開発による転入数や、私学進学率や転出入の移動率といった変化率も考慮したうえで算出しているものとなっております。 今後の住宅開発の計画については、本市開発審査室のホームページに大規模開発事業構想の経過書として公開しております。</p>
17	<p><少人数学級>【6件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小規模校をなくすのではなく、少人数学級の実現を行うべき。 ・35人学級が進んでいる中、統合して人数が増えるのはそれと反するのではないか。 	<p>学級規模や35人学級編制につきましては、公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律に基づき、取り組んでいるところです。</p>
18	<p><跡地>【4件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山田第五小学校の今後の活用について説明してほしい。 ・災害時の避難場所がなくなるのではないか。 	<p>今後の活用方法については未定となっております。市長部局と十分に検討した上で決定します。</p>
19	<p><南山田小学校の人間関係の固定化>【3件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山田第五小学校の人間関係の固定化を解消できる旨の説明があったが、統合すると山田中学校は南山田小学校卒の児童のみとなるため、南山田小学校の児童は9年間も人間関係の固定化が起きてしまうのではないか。 	<p>山田中学校の統合後のシミュレーションにおいては、令和10年度に1学年あたり4クラスほどであり、クラス替えも十分可能であると考えております。</p>

20	<p>＜ジェンダー＞【3件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過小規模校のデメリットとして男女比に偏りが生じる旨の説明があったが、差別ではないか。 	<p>過小規模校においては、男女比に偏りが生じる可能性があるとの説明をしたもので、男女差別にあたると認識しておりません。</p>
21	<p>＜今後の統合＞【1件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も統合することがあるかと思うが、同じようなスケジュール感で行うのか。 	<p>学校規模適正化基本方針に基づき、対象となる学校が持つ個別の事情を十分に考慮したうえで、児童・生徒数推計等を踏まえて総合的に判断するため、一概にお答えできないものではございませんが、子供たちにとってもより良い教育環境を実現するために速やかに対応すべきものであると考えております。</p>
22	<p>＜その他＞【52件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山田第五小学校をなくさず、今のままにしてほしい。 ・山田第五小学校がなくなると悲しい。 ・山田第五小学校で卒業したい。 ・反対がある中、押し進めるやり方に納得ができない。 ・生徒が増えてクラブ活動ができると嬉しい。 ・反対派、賛成派のようなのができなくて子供たちが巻き込まれないか危惧している。 	<p>在校生や卒業生、保護者の方々のお気持ちについては重々理解しておりますが、教育委員会としては、現在在籍されている児童だけではなく、今後入学される児童の将来的な教育環境にも責任を持つ立場であることから、それらを総合的に考え、判断したものです。</p>
23	<p>＜骨子案以外の意見＞【18件】</p>	<p>意見募集案件の対象外の内容であると判断したため、掲載は省略させていただきます。なお、他の室議に関連するご意見等につきましては関係部局と情報共有をさせていただきます。</p>

吹田市立学校条例の一部改正の骨子案に対する提出意見(その他に該当するもの)

1.

説明会ではA案は難しいと言っていましたが難しいことをしっかりやるのが行政のお仕事かと思います。話を聞いてるだけだとB案の方が苦勞する人間が少ないと安易に対応したように感じられます。今のところ納得している住民はほぼいないと思いますので再考いただければと思います。その際も一つ一つ着実に説明を続け住民の話を聞いて進めていただければと思います。今の話は教育委員会側の都合を押し付けているとしか思えないです。相手にしているのは人です。そして一番大事な将来を担う子どもたちです。

2.

現在の山五小学校の在校生や就学を来年に控える方々が気の毒でならない。今回のような、住民意見をないがしろにし、形だけ聞くような説明会や、決定ありきの教育委員会の姿勢、市政のあり方は不信でしかない。

3.

「子供たちを思って」「少数の学校での生活は今後支障がでる」などの内容をたかだか1回2回の形式的な説明会でお話頂きましたが、ただただ活動成果を残したい教育未来創生室のエゴとしか捉えることができません。当然ながら過少規模校ということは理解できます。統合を行うことを検討されるのもしかるべき対応だとも理解はできます。そうであっても保護者、生徒、教諭の意見や討論を繰り返し実行し、変化を見極めることもなく今回の骨子案を進めていくのは如何なものかと思います。子供たちの事を何よりも考えるのであれば(優先順位の1番が子供達でなければ教育委員会なんて必要ないとは思いますが)学校を取り巻く人々が納得いくように議論を重ねるべきだと思います。

4.

過小規模が悪のようになわれ、一方的に統合を強行されようとしていることに不満がいっぱいになるのは仕方ないのに、説明会では過去の発言等の不満じゃなくて今後子供達のためにできることの意味をくださいと苦情を言われる始末。代表はほとんど眠っておられたように見えましたし、全員が早く終わりたいと思っているのがひしひしと伝わりました。反対意見がどれだけあってもこのまま強行するのは納得がいきません。

少しでも子供達の環境のことを考えてくださるなら現状維持で、山五を無くさないでほしいと思います。

(1)

5.

昨年一年前に開催された説明会において、過小規模校に関してはやっぱり後回しにされた。直接関係者スタッフにも会場で口頭にて意見訴えたがその意見は何一つ反映されないままの結果(今回の骨子案)には非常にかっかりしている。

6.

一つ気になったのが、この件について聞いた時点で「検討」ではなく「実施」になっていたことです。市民の意見を聞いたと聞きましたが、この件について知ったのはここ最近で私たちはそれまで一切知りませんでした。どういった層に聞いたのでしょうか？子を持つ親でしたか？在校生ですか？それとも卒業生ですか？「学校がなくなる」という話は我々家族は聞いた覚えがないです。他の方も「なくなる」という単語を市が出していなかったからこのように納得している人がいないのではないのでしょうか。「校区を見直す」という話は聞きましたが、「なくなる」と言われた覚えはないです。紙切れ一枚をふらっと渡されただけで納得できる方などいないでしょう。元々税金で改装したものを上手いこと使おうとしたのではないかと不躰ながら思いました。そもそもこの話に子どもは納得しているのでしょうか？区画整理など対策を講じればまだどうにかできるはずなのにそれをせず、いきなりなくすと言われて、素直に受け取ることができるのでしょうか？卒業生の私ですらこのように納得できていないのに、現在通っている子どもたちはすんなりと納得できるとは思えません。また、区画整理をしないのも人数が多い学校を優先しているように見えてとても気分が悪いです。山五がなくなったらその付近に子どもが来ることはなくなるでしょう。より少子化が進むと思うのですがどうお考えなのでしょう？吹田市は子どもに力を入れていたはずで、それを蔑ろにするような策をとるのでしょうか？

7.

納得を得られないまま、無理やり押し通した統合はうまくいくだろうとも思います。

上が決めたから、それに従わなければならないというスタンスではなく、話し合った結果、最終的にこうなった、最初は嫌だったにせよやむを得ない事情もふまえて、結局は納得の上こうなったというスタンスで統合しなければ、実際ほうりだされて、困るのは私たちだということを理解してほしいです。また、南山田の保護者から猛反対を受けたからといって、校区変更を取り下げ、人数の少ない山五の保護者の意見は聞かず、この統合案を押し進めようとすることも反感をかって一因だと思います。

8.

山五3年生です。今のまま、このクラスのみみんなでいっしょに山五をそつぎょうしたいです。クラスがえもしたくありません。学校が遠くなるのもいやです。山三には、行きたくないです。

(2)

9.

山五小学校の過小規模の問題を解決するにあたり、南山田地区の一部を山五地区にする案があったが、それがなくなったのは、南山田地区の自治会の猛反対があったからだという話を聞いたが、本当か。火のない所に煙は立たぬとも言うので、確認してその結果を公表してほしい。もし本当ならば、人数が少ない山五地区は反対意見があっても少数派だから、どうにかなんとおもわれているとしか思えない。市への不信感がつのります。

10.

反対されることが目に見えているから、告知より前に水面下でことを進めて、ほぼ決定の状態、現状が覆らないようにするために進めていたと受け止められてもおかしくない状況です。現在、子どもの発達支援に関わっており、近隣で務めておりますが、保護者からは何の説明もなく急に令和7年度から山五小学校をなくし、統合するという話になったと聞いております。子どもの発達支援において、環境は大変重要です。中でも小学校生活は大きなウェイトを占めています。いつかは変わらなければいけないという事であれば、数年後少なくとも現在入学している子が卒業するまでには、統廃合することを市民に告知をし、校区に引っ越してきたご家庭が困らないようにする。また新一年生は、山三、山五どちらにも行くことができる校区選択制にする。統廃合を見越して、学校交流を計画的に行い、それぞれの子どもたちがお互いに慣れる機会や学校環境に慣れる機会を作る等、できることはまだまだたくさんあるはず。現在、山五小学校に在籍している子どものことを考えるのであれば、少なくとも3年計画で子どもが順応できるようにするための取り組みの提案をしていかなければいけないと思います。説明会には参加していないのでわかりませんが、残念ながらパブリックコメントでは子どものための取り組みが拝見できませんでした。「子どものことを考えて」というのであれば、子どもが新しい環境に適応していくためにできることを提案し、それに対して校区の保護者や住民から意見を求めるべきであると考えます。このような点から、学校の統廃合、校区再編ありきで計画が進められ、子どものことを考えていないと山五地域の保護者から反対されることにつながっていると考えます。

子どもの成長発達を考えたときに、まずは子どもを支える保護者の安定が大事です。子ども自身の環境である学校生活の場を整えることはもちろん大切ですが、子どもを支える保護者も子どもを取り巻く環境の一つです。その保護者に協力者になってもらわなければ、山五の保護者、山三の保護者の対立を招き、結局は学校の教員が困る、しいては、子どもたちが困るということにつながるのです。もう少し丁寧な説明と子どもや保護者への今後数年間の対応について説明をしなければいけない責任があると思います。

11.

山五小保護者として、説明会に参加しましたが、全く説明にならなかつ吹田市や吹田市

(3)

教育委員会の不誠実さを露呈しただけ。まず山五と山三の統合は強引で不自然な流れとしか思えない。そもそも過小規模校になるのは分かりきっていたのに令和元年から動くのは遅いしその5年前には10年前から動くべき事案だったのにここにきて早急に解決をといかにもらしいことを言う。子供の為にというのは表向きな話で結局大人の都合で急いでいるとしか感じない。大きな権力者が統合を急いでやれと指示していると思えない。なぜなら山五小の子供や保護者に再アンケートをとらないから。アンケートをとれば反対意見もしくはもっと時間をかけてやることになるから、教育委員会としては都合が悪い。権力者に従うだけで後は子供がどうなっても知らないし責任をとるつもりもないのがひしひしと伝わってきた。こんなおかしい事を通そうとする吹田市に怒りしかない。

12.

PTA 役員は毎年変わる。そこでの意見交換だけで全保護者の意見としないで欲しい。住民に話を降ろせていなかった、内輪だけで事を進めてしまった結果が今である。

13.

まずは数年かけて、両校の交流、安全の見直し、私達との話し合いを行っていただきたいです。数年かけて動いていたとおっしゃいますが、つい最近まで南山田と思っていた保護者が大半です。そう思わせたやり方にも問題あるのでは？たった2回の説明会では私達は納得出来ません。再構築をお願いしたいです。

14.

近年は少子高齢化など子供が減ってきていることは事実だが昔から長く続いてきた学校をこのような形で一つの学校にまとめるというのは自分的にはどうなのかなと思います！吹田市の課題や色んな問題があるけどぜひもう一度見直してほしいです！よろしく願います！

15.

コロナ禍前に一度、過小校解消対策についての説明会というか意見聴衆のようなことがありましたが、藤白台の過大校問題が紛糾したため山五小問題については白紙に戻す旨の決定がなされたはずですが、白紙に戻る前に提案された案は、1.南山田地区の一部の校区変更。2.学校選択制、3.山三小との統合 の3案だったはずですが、すべて白紙に戻り急遽、教育委員会として山三小学校との統合で計画を進めてまいりますでは、地域住民も保護者も納得できないでしょう。保護者には教育委員会が、地域住民には市長部局が説明を行うという方針のようですが、地域住民にも何故この時期に山三小と統合するのか説明の必要があるのではないのでしょうか。市長部局の説明は統合は教育委員会が決定したことであり、我々は

(4)

統合後の地域のあり方についての意見聴取と説明に来たという立場であるということに終始し、また、保護者向けの教育委員会からの説明は、山三小も今後全学年単学級になる可能性があるので統合という結論に至ったという話であり保護者の大半は納得していない。このどちらの説明会に於いても、何故統合するのかの質問には全く答えていない上、保護者及び住民が納得する論理性のある説明がなされていない。5年前?の議会で後藤恭平議員が過大校と過少校対策についての質問に対する教育委員会の答えが「全学年が単学級になれば統合も視野に入れます」という記事が市報に議会だよりで報告があったのを記憶しています。この答えを実現に向け実行しているのみで単なる人数合わせであり、どこにまっとうな論理性のある対策なのか全く見えてこない。

16.

今まさにスケジュールありきで進められています。何故長野西の人の意見は聞いて山田南の人の意見は聞いてくれないのか。

17.

そもそも住民の声を聞かないまま、結論ありきですすめていることが酷いと思います。

マンションばかりたてて、保育所、小学校、学童保育など足りないという地域もあつたり、吹田市の街づくりのやり方が人口さえ増えればいいとばかりに、行き当たりばったりすぎるように感じます。目の前にいる私たち市民が住みやすい環境を整えられない街づくりに将来はないのではないのでしょうか？学校の問題だけではなく、いろんな分野で私たち吹田市民の声、実態を無視して進める吹田市の行政の態度が目に残ることが多すぎます。

18.

現行では自治体および居住者に対する対応などの吹田市の課題に十分対応できないため、再検討をする意向に改める。

19.

万博のアリーナ計画での千戸のマンション計画、山三地区にもマンション計画があるにも関わらず、山五地域住民や保護者、関係者に告知して、2ヶ月3ヶ月で山三に統廃合されますで、納得できない。

市長選前の白紙に戻さざるを得なかった前例もあるのに、当選したら、即統廃合させようとするのは違うのではないか。過小規模校のデメリットのデータばかり資料で載せるが、山五小がそのデメリットの内容に当てはまっていない。

20.

保護者の要望を聞いてからの決定でないと、強引すぎるのではないかと思う。山五小学校

(5)

に関しては、減少は4年生はしているが、1クラス制だが30人は超えているし、コロナ禍で1学級の人数を減らすことになったのに矛盾している。

21.

先日の説明会に参加された方から、鋭い質問をした方は指名されず、質問も全て受け付けてもらえなかったと聞きました。何故そんなに強引に推し進めようとなさるのでしょうか？実績ですか？予算ですか？話し合いじゃなくて、強制執行のような気がしてとても悲しく思いました。数字ではなく、現場を見ていただきたいです。

22.

教育委員会からの説明を聞いて、ただの数合わせをしている愚策と感じました。よくもまあ、こんな浅はかな考えで議案として挙げられるなどと思いました。こんな議案に賛成する政党、議員には金輪際投票しません。教育委員会は意見を聞いたようなこと言っていますが、保護者の意見なんて聞いていませんよ。主旨の違うアンケートの結果を言ったり、質問に対して、はぐらかしたり、ごまかしたり、意図と違う頓珍漢なことを言ったり、検討しますという口先だけの答えをただけです。こちらが困っていることは、何も解決していません。その希望も感じられません。口では子供の為と言っていますが、学校生活や安全面、スケジュールなど全然考えられていません。それなのに、十分検討したとか、時間をかけたとか言ってます。この人たちは、子供の将来のことなんて考えてなくて、小さい学校を壊して実績をつくらうとしてるだけです。他の地域は中止や延期しているのに、なんで山五だけ強引に進めるんですか。

問題の本質なんか見えてないくせに、都合のいい数字だけ集めて問題って言ってるだけです。卑怯なやり方です。こんな人たちが教育のことを考えていると言って、大きな顔してるなんてぞっとします。

23.

年度が近くなってからの話し合いというよりこれに決まりましたので話を進めて行きたいではちょっと厳しいのではないのでしょうか!山五地区に小学校は残してもらいたいものです。

24.

こんなやり方のまま進めていくと、どんどん山五地区から子ども達がいなくなってしまう。人数だけ揃えても、子ども達の気持ちは、全く無視のまま。それが子どもたちのためになるとは思えない。役所にとっての、都合のいいやり方。いつもそうです。子育てのまち吹田それはもう過去のことになってしまいました。役所にとっての、都合のいい対応。何につけても、そうですね。いつも同じやり方です。さも、子どもたちのためと言いつつ、その内容には、心がない気がしてなりません。

(6)

25.

保護者は山三に行きたくないのではない。議論の方法がに納得がいていないのです。このままではギスギスした統合になります。

26.

山五小のままがいいです！ずっと山五小がいいです！

27.

- ・6年前、山五小の学童のどろんこ学級が民営化された時も、保護者への説明はありましたが、保護者がどんなに反対しても、吹田市の方は、決まったことなのでわかってください、と言うばかりでした。結果、学童は崩壊し、保護者が動いて1年後に直営に戻りました。直営の先生方が奮闘し、保護者も一致団結して、子供の状態を立て直すのに1年近くかかりました。吹田市の方は誰も責任をとっていません。一番振り回されたのは子供達でした。
- ・今回も統合ありきで話を進めています。結局、子供達の未来の為にしょうがない、自分たちは良いことをしている、と山五小の子供達が大変な思いをしても、吹田市は逃げていくと思います。
- ・以前の大規模アンケートを踏まえていると説明会で説明されていましたが、山五小の保護者以外にも意見を聞いているのに、これを基に統合を決めていくのは非常におかしいと思います。

28.

市からの提案に反対する意見が多数あったのにも関わらず、説明会を開き無理に押し進めようとしていると聞きました。強行突破はよろしくないですよ。どうして行くのがいいのか、反対されてる方もう一度話し合われた方が良いのでは？

29.

この案が可決された場合、もし子供たちになにか問題など、あれば教育委員や市役所の方は責任とっていただけますか？案がうまくいかなかった場合も想定されていますか？

30.

山田五が過小規模校でなにか不便でしょうか？山三が人数増えたため山五ができて、山三が人数減るからと山五がなくなると条例にもとから記載がありますか？初めから記載などあればわかりますが、記載なくして、無理やり統合は納得いかない。

31.

(7)

市の見通しとしてこれまでどのように考えていたのか、言っていることとやっていることが噛み合っていないため、信用ができない。

数年で人事異動がある市の職員。その場その場で配属された者が都合よく大規模改修を考え、また違う職員が統廃合を決めているようにしかおもえない。そのような仕事のやり方で丁寧に説明しています、ご理解くださいはないだろう。

32.

- ・日本の問題である少子化により、全国で起きている歪な校区編成について、吹田市はいい例として取り組むべき。手っ取り早い方法で合併廃校という方法でこのまま進めていくのは安易にみえる。

33.

今回は議事録の修正がある為か、子供に先に情報が流れてしまった、、合併するから交流しよう、そう言われて出来るのでしょうか？？皆新入生、1からスタートではなく既に基盤のある中に入っていかななくてはいけない、、元々交流があったならまだしも、全くない、幼稚園のお友達？覚えていますか？？子供の為じゃなく、動きましたよ！のパフォーマンスにしか感じられません！事前に交流させてから合併だったら私達も子供もまだ納得出来たのに、不安しかない。こんなに子供を無視されて急ぎ足で決められる、、子供のフォローをしていく？どう信じたらいいのでしょうか？そんな市に不安しかありません。時期、やり方、、強引な押し進め方、、吹田市から出て行けと言われていているようです

34.

学校規模適正化で令和元年度から山五小 PTA 等とも話し合いを重ね、着実に進めているとの説明であったが、本当に山五小 PTA は知っていたのか。知っていたなら、山五小保護者も周知していたのではないか。山五小学校規模適正化に係る協議が合計 50 回以上実施されてきたと資料に記載されていたが、山五小関係者、地区住民との協議はその 50 回以上の協議会の内、何回行われたのか。令和 4 年度のアンケートは白紙になったにも関わらず、その後、何の説明も回答もなく、「水面下で期限を決めて動いていた」為、地域住民、保護者、関係者は白紙に戻ったとしか認識していなかった。だが、急に今年の上学期の始業式に生徒が親より先に知らされ、9月に統廃合の「同内容の説明会が二度」行われ、10月に「9月の説明会の質問内容の都合の良い所だけを切り取られた一部回答を資料として載せた説明会」が保護者に行われた。聞くとところによると、「教員にも 8 月の中旬に決定事項の様に急に知らされた」との事。他の資料にも令和 5 年 5 月 1 日の児童数が資料では「146 人」と記載されているが、実際には「165 人」である。その他の資料にも、西山田中学までの距離が「1.4～1.9Km」の為、自転車やバス通学は認められないとのことだったが、距離を調べた保護者の方が「2.1Km」や「2.3Km」あるとの意見があった。誠意も持たず、自分たちの意見を優位に

(8)

押し進めようとするばかりに住民の意見を聞かず、中身のある説明もせず、事実を捻じ曲げ、資料を捏造してまで、吹田市の理想を住民に押し付けようとするやり方が汚い。

山五地区住民はチェスの駒ではない。生身の生きている人間である。何百人の人生を、家庭を狂わそうとしているのか、各地域で生活をしているのは誰なのか、もう一度しっかりと考えるべきである。

35.

山五小ではクラブがないと聞いたので、生徒が増えてクラブ活動ができると嬉しいです。

36.

私の意見は、どのような内容にせよ、地域の人にもっと説明が必要ということです。統合することが必須であっても、いつのまにか進んでいて、もう決定しているというような状態になってしまったのはどうしてだろうと思います。不信感が募ってしまうのではないのでしょうか。気持ちよく過ごしていくためにも。通学する子どもたちのためにも、考えていただきたいです。

37.

山五小卒業生の保護者ですが、山五小が、山三小と統合されるのは反対です。山五の子供達が悲しみます。山五小学校は無くさないで下さい。

38.

絶対に入學した小学校で卒業したいです。

39.

山田第五小学校で開催された説明会に参加しました。決定事項ではないと言いつつ、山田第五小学校を山田第三小学校の統合が既定路線の説明会で、あと1年半後に実行するという強行スケジュールに大変大きな衝撃を受けました。子どもたちのためと言いながら、このような市民不在の強引な進め方で、子どもたちの大切な小学校生活を軽視している吹田市教育委員会に大きな不信感を持つと共に、教育環境が素晴らしいと感じ、ここで子育てをしたと思って転入してきた吹田市に失望しています。

40.

私は山田第五小学校の卒業生です。6年間も通っていたのでなくなることは寂しいです。人数が減ってきて統合の提案が出ているのは分かります。ですが卒業生はたくさんいます。小学校が1番長い学校生活をしてきて思い出がすごくあります。先生方も生徒と一丸となって頑張ったり、めんどうを見てくれた素敵な先生ばかりでした。卒業生の人たち、地域の人達は今でも山田第五小学校を愛し続けています。歴史のある学校だと思います。部活だって一

生懸命で優勝してきた子達もいます。その歴史をつぶすきですか？私は山田第五小学校がなくなることはすごく嫌です。人生の10分の1は小学校でできています。すごくすごくすごく無くなったら悲しいです。どうかこれをよんでくれれば嬉しいです。

41.

現在、過小規模校である山五小と令和14年に過小規模校になる予定の山三小の吸収合併は校区面積も大きく関わっているような説明があったが、同じ令和14年の南山田小の学級数予測も19学級まで減り、わざわざ、別の中学校区同士とする必要性がよくわからない。現在の「南山田小と山五小を合わせた山田中学校区は1.1Km」、「西山田小と山三小を合わせた西山田中学校区も1.1Km」どちらも同じ校区面積の為、別の中学校区で「過小規模校の適正化」の説明だけでは納得もできず、山五小にはデメリットしかない上、双方、同じ中学校区内での小学校の通学区域の変更で十分ではないか。過小規模校化は校区面積が小さいことが主な原因としているが、そんなことは分離する際にわかっている事であり、現在、違う中学校区の山五小と山三小を合併は納得できない。

説明会ではたくさんの教育委員会の人間も来ていたが、実際、話していたのは4人でそのうちの一人は寝ていたように見えた上、各議員も全て欠席したのか。議事録は渡すと話していたが、あの説明会を聞いていて、きちんと報告されるとは到底思えず、教育委員会の都合の良いように改ざんされて、報告されるのではないかと思っている。ギリギリまで地域住民、保護者、児童に隠し、水面下で動き、子どもたちにも教育委員会からの手紙も裸のまま渡し、説明会冒頭で謝罪すると話していたそうだが、最後の最後まで謝罪もなく、支離滅裂だらけで信用できない。

42.

現状の住民に対する説明、資料では判断ができませんので反対です。学校は地域コミュニティの中核的な施設であるので、統合を行う場合は、通学区域の拡大や学校選択制など、他の検討内容も併せて地域住民に丁寧に説明する必要があるべきだと思いますが、残念ながらそれができていません。

43.

先日教育委員会の方から保護者宛に説明会がありましたが同意出来る説明ではありません。去年行われた学区に関するアンケートをもって統合を決定したとように話されていますが、納得出来ません。

アンケートの結果を山五小学校児童並びに保護者へ十分な説明もなく、また説明会の中で一保護者が伝えたように、アンケートの意図するところが、統合ではなくあくまでも区割の編成についてのものと認識していました。それを保護者側の認識を無視するような進め方では納得いきません。

(10)

44.

お願いです、早急に押し進めないで下さい。子供に傷を与えないで下さい。今のやり方は、子供や親に対して、不安感と不信感しか与えていません。誠実をもって対応してもらえると不安しかありません、、、よって、再考案をお願いしたいです。

45.

山五小学校→山田中学校に行けると思ったので今の地域の分譲マンションを購入したのにこんな事されても引越し費用ないので、今のままにしてほしいです。

46.

現在、山五に通学している本人は楽しく通学していますし、現に住んでいるものとして「単学級」にデメリットを感じていません。それを上の人たちの判断で強行するのは配慮が足りないと考えております。

47.

今回説明会については「前回の質問、ご意見に対する回答」との事でしたが、父兄の方々は教育委員会の回答がおぼろげで「具体的にはどのようなことですか？」と聞かれていることが多く、とても熱心にご意見されていたと感じました。教育委員会側は「決まった期日」に「統合」前提で話をされているようでした。質問に対しては 具体的回答はなく、その場しのぎされているなど感じました。個人的には「文科省のお示しの・・・過小規模校のデメリット」を「早期課題解決を図る理由」とされ【大義名分】のように【子供たちの為】との事でしたが、とても違和感がありました。それはメリットの比較がなされていないからだと思いました。自然な流れで考えても「メリットもあるだろう？と直ぐに疑問が湧きましたが、その点は深堀り、議論されているのでしょうか？教育委員会説明会の最後に質問の時間がありましたが、まだまだ質問者がいる中、「主催側が決めることだから」と「あと2名に限らせていただきます」と力技で 中途半端で終わり、そのような状態の中での終了でしたので、次回の説明会の案内があると思っていましたが、その説明も あるわけでもなく、教育部長の一方的な見解をダラダラと聞かされ終わっています。教育部長の見解の時間は質問の時間に充てるなどされるか、ご自身が質問に答えるなどされるほうが父兄から信用されるのではと率直に感じました。全く父兄方々は納得できていない中で、果たして統合できるのでしょうか。教育委員会さんは強引と言わざるを得ませんし、そこまで急ぐ必要性は別の事情（大人の事情）ではないのか？と容易に勘ぐってしまいます。

※私が考える大人の事情とは「成果を出す為の応急的な数合わせ」と「経費削減の一環」かと感じています。

吹田市が小規模校を自慢できる学校へ再検討をお願いしたい。山五小学校の当事者、父

兄は小規模を問題とは思っていません。自慢できる良い学校です。大人の事情で行政と地域が軋轢が生じているだけ。「統合」前提ではなく文科省の手引きの通り「少子化に対応した活力ある学校づくり」「小規模校のメリット最大化策」「小規模校のデメリット緩和策」を含めた再検討をお願いしたい。吹田教育ビジョン施策22でも過大校が問題になっている訳で「小規模校」間には触れられていない。まずこれに沿った話し合いを地域とされるべきかと存じます。また少子化はこの先どこの地域でも起こるのであって、文科省の手引きの通り【(2)小規模校のメリット最大化策】、【(3)小規模校のデメリット緩和策】が小規模校のメリットを最大化し、デメリットを最小化する工夫を積極的に行う必要があります、それを今後はロールモデルとすることで吹田市独自の成功した小規模校での活力ある学校づくりになると考えます。文科省の数合わせか、吹田市行政の数合わせかどうか知りませんが、吹田市の教育委員会にはもっと吹田市の学校に自負を持って取り組んでいただきたい。

48.

今回、スケジュールが短いという意見が多数ありました。本当は説明会の告知を一か月前には知りたかったです。前回もですが、説明会のたびに仕事のシフトを変わってもらったりしています。子供を連れてこれなくはないですが、小さい子がいると集中して聞けなかったりします。スケジュールを合わせられなかった人が切り捨てられているように感じられました。統合の話しが親より先に子供にいつてしまった事もそうですが、小さい配慮の積み重ねが保護者の理解に繋がると思います。

49.

本日、標題の説明会を聴講して思ったことをお伝えさせていただきます。保護者側の意見にもかなり無理な意見が多かったと思います。が、教育未来創生室様の進め方にもかなり無理があります。

◎アンケートの重要性を伝えない上でのアンケート調査を実施。

◎保護者への説明不足(5年間の協議期間ではなく、方向性が決まってから説明、実施までの期間の短さ。)

※段取りがかなり悪く、不十分であったと言わざるをえません。

とはいえ、中学校の選択可能期間をしっかりと10年と決めてこられたところや、数値の算出方法(市の考え方)を資料として出していただいた部分など、きっちり提示いただいたため前回の説明会よりの確かな内容が増えて良い説明会ではあったと思います。私としましては、今回のメールは統合の反対を意見しているわけではなく、統合後の点について1点要望がありメールさせていただきました。市がイジメなど起きないように未然に防げる体制を作ります。と度々発言されておりましたが、今回の説明会や統合決定までの段取りの悪さ。及び教員の指導や管理の不十分さなど、「任せてください。」と言われましても、保護者側の立場からすると信用出来ると思いますか？中立の立場で考えても、かなり無理があると思います。

(12)

50.

出身小学校にとらわれず、住所で通う中学校を決定する←出身小学校により通う中学校を決める理由がない。安全性や距離を考慮し住所で決定すればよい。山五地区の人数は少ないため、山三と統合したとしても、山五地区の児童を山田中学校で受け入れることは可能と考える。

【保護者の反対について】

保護者みんな反対という空気感だが、どの部分に反対しているかはバラバラな印象である。移行の過渡期にある高学年の親が、自分の子どもの学年のことだけを考えて猛反対している印象ですらある。はっきり言って声の大きな人は感情論でなので、吹田市さん側も、将来入学式する子どもたちが男女比等で「かわいそう」にならないための選択であること、移行期の子どもたちには負担をかけるがそれはこれからの子どもたちのためであることなどを気持ちの部分に訴え、「これから」に視点を向けさせるようにしなければ平行線だと思われる。前回の説明会には夫だけ参加したが、わざわざ在学の子どもを連れてきた保護者もいると聞いている。反対派賛成派のようなものができ、子どもに吹聴する親も出てきそうで危惧している。何よりも望むのは、大人のいざこざに子どもたちを巻き込まない形で穏便に話し合いが進むことである。吹田市さんには、説明会等の際にはそれぞれ何を反対しているのかを丁寧に取りまとめていただき、子どもに影響が出ない形で冷静な話し合いを行えるようがんばっていただけたらと思います。

51.

今回の骨子案に至った経緯説明のお願い

2022年春当該地区と近隣地区に山五小にかかるアンケート調査があったが、アンケート結果も知らされず、2022年7月に突然教育委員会より住民に過少問題について2023年度の案件として考えると告げられた。山五小PTAの一部の人は学年の人数のことや男女比の問題を取り上げ、何とか子どもを増やす方向でのお願いをしていたにも関わらず、問題がすり替えられ2023年8月に突然山三小との統合、大変驚いている。昨年7月から今年の1年間住民の意見を聞いていながら、何ら丁寧な経緯説明もなく驚き以外の何物でもない、ぜひ丁寧な経緯説明をお願いしたい。

52.

吹田市立学校条例(山五、山三)について

反対である。私たち保護者の知らない所で少人数により、方向を決められた事に怒りを感じます。アンケートを取ったと市役所の人間は言いますが、対面で話を聞いていないではないか。専門家(専門家って何?!)や小学校中学校の校長各1名、PTAの代表2名、たった6名くらいの人に、何故、子どもたちの、私たちの人生を決められなければならないのか！勝

(13)

手に決めないで！

吹田市留守家庭児童育成室条例の一部改正の骨子案に対する提出意見と市の考え方について

- 1 提出期間 令和5年（2023年）9月15日（金曜日）～ 令和5年（2023年）10月17日（火曜日）
- 2 提出意見数 24件（13通）
- 3 提出意見と市の考え方 以下のとおり

No	提出意見（要約）	市の考え方
1	<p><u><施行時期・手法等>【13件】</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・統合までの期間が短く、子供が気持ちを整理するには、負担が大きい。 ・山五育成室をなくさないでほしい。山五育成室で卒室式をしたい。 ・現場の指導員の意見も聞いてほしい。 ・山三育成室の保育に変わることが不安だ。 ・統合による児童の影響等への配慮や対策が不十分であることから、統合を撤回すべき。 	<p>山五育成室の統合は、山田第五小学校の学校規模適正化に伴い実施するものです。</p> <p>円滑な統合に向けて、必要に応じて現場の指導員の意見も聞きながら進めていきたいと考えています。</p> <p>統合に当たっては、交流事業の実施等を通じて、環境の変化による児童や保護者の皆様の不安や負担の解消に努めます。</p>
2	<p><u><統合に伴う対応>【4件】</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度の山五育成室の保育内容は変わるのか。山三育成室に合わせた保育内容になるのか。 ・統合後、1か月ほどは山五育成室の指導員も一緒に過ごす等の配慮をしてほしい。 ・山三育成室の教室や指導員を確保できるのか。 	<p>統合が決定しても、令和6年度の山五育成室の保育内容は変わりませんが、準備期間として、山三育成室との交流事業の実施を検討しています。</p> <p>山五育成室の指導員につきましては、統合した場合は、他の直営育成室へ異動となることから、山三育成室の指導員と一緒に勤務することは予定していません。</p> <p>山三育成室の教室や指導員につきましては、学校や委託事業者と協議の上、必要な環境整備を行います。</p>
3	<p><u><説明会・説明>【4件】</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の説明会と同時ではなく、育成室単独での説明会を実施してほしい。 	<p>育成室単独での説明会につきましては、統合決定後に委託事業者も交えて速やかに実施する予定です。</p>
4	<p><u><骨子案以外の意見>【3件】</u></p>	<p>意見募集案件の対象外の内容であると判断したため、掲載は省略いたします。なお、他の室課に関連する御意見等につきましては、関係部局と情報共有をいたします。</p>

山田第五小学校の学校規模適正化に関するアンケート結果(山五小保護者分)

(令和4年5月17日～令和4年6月15日実施)

【A案】南山田小学校との通学区域の見直し

山田第五小学生の保護者【66件】

課題点	課題内容	件数	割合
1	一部の児童が転校する事による心理的影響に対する懸念	18	30%
2	通学路の変更による安全性への懸念	7	11%
3	兄弟が別々の学校に通うことになることへの懸念	7	11%
4	通学距離が長くなることに対する懸念	3	5%
5	問題なし	3	5%
6	その他	23	38%
合計		61件	100%

その他の意見例

- ・ 校区変更の対象地区の方の意見を聞くまでは、現実的であるか分からない。
- ・ 自治会等への理解。
- ・ 保護者が校区変更により動揺が起きる。児童数が増えることで、これまで小規模校として大事にしてきた丁寧な教育、空間にゆとりのある教育に一定程度制限がかかる。

【B案】山田第三小学校との統合

山田第五小学生の保護者【66件】

課題点	課題内容	件数	割合
1	中学校区が影響を受ける	33	39%
2	通学距離が遠くなることに対する懸念	28	33%
3	廃校後の校舎の活用・解体への懸念	7	8%
4	小学校が大規模校区になる	2	2%
5	児童が転校する事による心理的影響に対する懸念	1	1%
6	特になし	1	1%
7	その他	12	14%
合計		84件	100%

その他の意見例

- ・ 地区の地域活動がなくなる。あるいは活動する場が遠くなる。
- ・ 担任によるアプローチが上手いかなないと、グループ外の学友との関係性が希薄になる。
- ・ 大規模住宅開発が予定されているとのことで、どれくらいの児童数が増えるのか予測されていない中で本来の目的である適正化が不透明である。

【C案】学校選択制の導入

山田第五小学生の保護者【66件】

課題点	課題内容	件数	割合
1	山五を選択する児童が少ない場合に効果がない	27	46%
2	学年によって人数にばらつきがあり、不確実性が高い	10	17%
3	新たに通学等の安全確保が必要	2	3%
4	判断等や兄弟ごとの対応等が必要で保護者に負担がかかる	2	3%
5	特になし	1	2%
6	その他	17	29%
合計		59件	100%

その他の意見例

- ・ 状況が改善するのかどうか不透明。
- ・ 通学に時間がかかる児童が増えたとして、仮に登校時間に間に合わないとか、生活の規則みたいなものが乱れる児童が出てくると他の児童にも影響するのではないか。
- ・ 児童の希望より、保護者の要望が勝る選択肢。

吹田市の学校規模適正化に向けた方策に対するアンケート
(山田第五小学校区)

アンケートを回答される前に、当該校における学校規模適正化案についての資料をご欄いただきますようお願いします。(適正化の案に関する資料はアンケート用紙の後部に添付しております)

また、記載するスペースが足りない場合は、別用紙に記載いただいても構いません。

1 回答者情報 (該当する情報にチェックしてください)

(1) 回答者 ※複数に該当する場合は、複数チェックしてください。

未就学児の保護者 小学生の保護者 中学生の保護者

地域団体関係者

その他

(2) 回答者の学校区域

山田第五小学校区に住んでいる (お住いの地区を以下から選んでください)

山田南

山田市場 9番～11番

南山田小学校区 (A案・C案による影響対象) に住んでいる
(お住いの地区を以下から選んでください)

樫切山

長野西

尺谷

千里丘西

長野東

山田市場 (9番～11番を除く)

山田第三小学校区 (B案・C案による影響対象) に住んでいる

岸部第二小学校区 (C案による影響対象) に住んでいる

上記以外の地域に住んでいる

(3)

2 アンケート回答

(1) 資料にて提示した各案について、実施した場合の課題点や利点についてご教示ください。

A案 山田市場、長野西を南山田小学校から山田第五小学校に変更

課題点

小学校区を奪われたくはい人からしては、大変。

課題点について、より改善するためのご提案がありましたらご教示ください。

南山田と山五を上手く分散させる必要があることを理解してもらおう。

利点

山五が増えて、中学の時に困らないう。

(4)

B案 山田第三小学校と山田第五小学校を統合

課題点

中学校区が変わり、山五小区は西山田中だと遠くなる。

課題点について、より改善するためのご提案がありましたらご教示ください

中学進学の際に、山田中か、西山田中か選択制にする。

利点

山三小はグラウンドが広いので山五小の子も9月のびと運動会が出来る。

C案 学校選択制を導入し、近隣小学校の児童が希望により、山田第五小学校に通学することを可能とする

課題点

希望者が少い事が予想され、そもそも改善が必要。

課題点について、より改善するためのご提案がありましたらご教示ください

地区分けをほゞ取りこめる。

利点

~~山田第五小~~
ありたい。

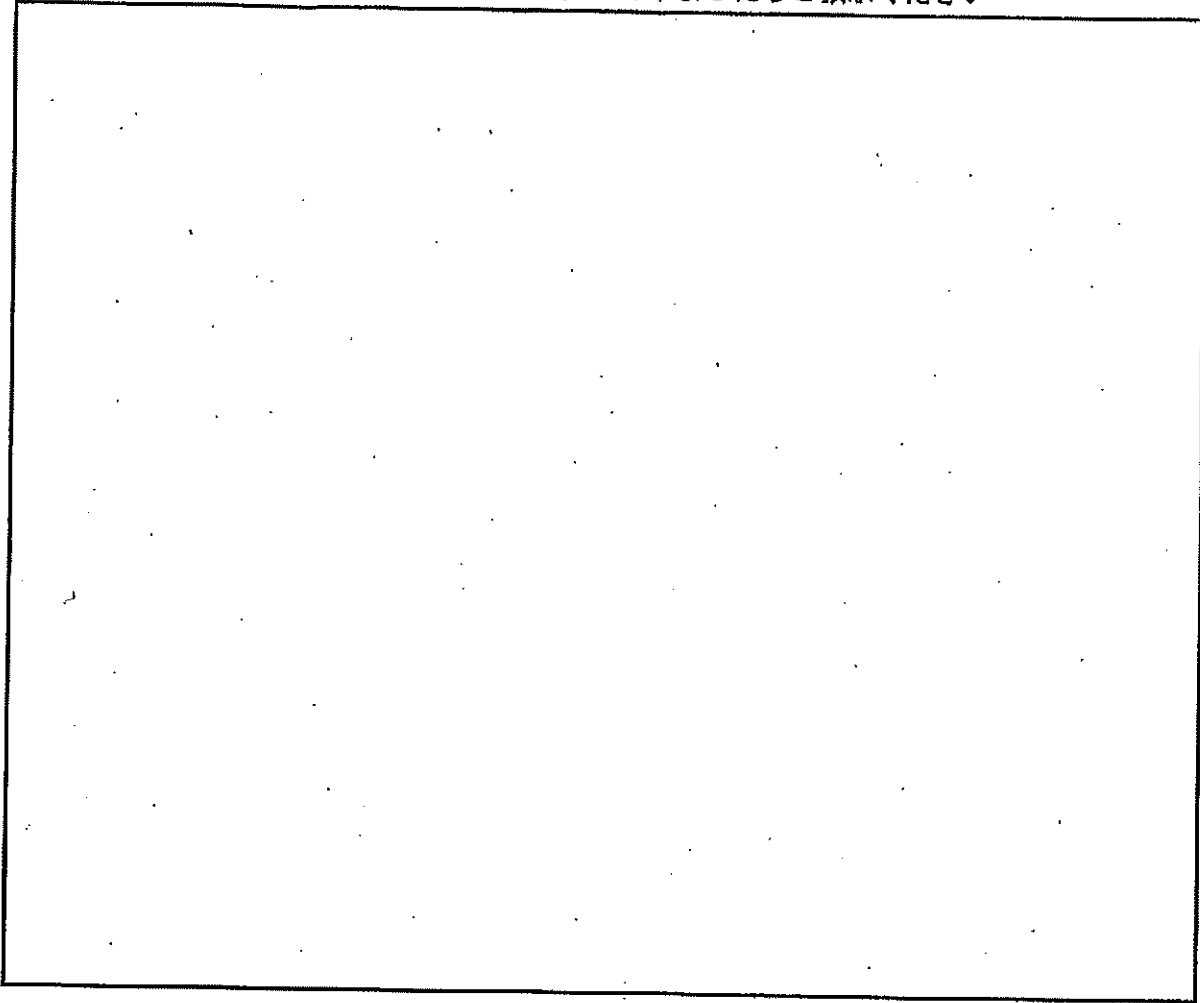
(2) 今回提示した案以外で、学校規模適正化を実現できる提案がありましたらご教示ください。(できるだけ具体的に述べていただけると幸いです)

(3) 今後、通学区域の見直しを含めた学校規模適正化を進めていくにあたり要望等ありましたらご教示ください。

南山田は山五に行きたくないのであろうか。
マンモス校は目を行き届かすためにいいとはなく、
道川校はのんびり温室育りになり、中学で困るので、
中学を見直し考えを持ってもらう方がよい。

(7)

(4) その他学校規模適正化に係るご意見がありましたらご教示ください



アンケートは以上です。ご回答いただき、誠にありがとうございました。

アンケートの回答は、実施計画（素案）策定の参考（※）とさせていただきます。

（※）一番多い意見を採用するものではありません。

なお、実施計画（素案）は、令和4年（2022年）10月に策定の予定としており、策定後はパブリックコメント及び、適正化対象校区に向けた説明会を実施する予定です。

吹田市の学校規模適正化に向けた方策に対するアンケート
(山田第五小学校区)

アンケートを回答される前に、当該校における学校規模適正化案についての資料をご欄
いただきますようお願いいたします。(適正化の案に関する資料はアンケート用紙の後部に添
付しております)

また、記載するスペースが足りない場合は、別用紙に記載いただいても構いません。

1 回答者情報 (該当する情報にチェックしてください)

(1) 回答者 ※複数に該当する場合は、複数チェックしてください。

未就学児の保護者 小学生の保護者 中学生の保護者

地域団体関係者

その他

(2) 回答者の学校区域

山田第五小学校区に住んでいる (お住いの地区を以下から選んでください)

山田南

山田市場 9番～11番

南山田小学校区 (A案・C案による影響対象) に住んでいる

(お住いの地区を以下から選んでください)

櫻切山

長野西

尺谷

千里丘西

長野東

山田市場 (9番～11番を除く)

山田第三小学校区 (B案・C案による影響対象) に住んでいる

岸部第二小学校区 (C案による影響対象) に住んでいる

上記以外の地域に住んでいる

(9)

2 アンケート回答

- (1) 資料にて提示した各案について、実施した場合の課題点や利点についてご教示ください。

A案 山田市場、長野西を南山田小学校から山田第五小学校に変更

課題点

今更にもうやって分けてきたから、これが一番ベターなのでは？

課題点について、より改善するためのご提案がありましたらご教示ください。

高学年や、兄弟関係の方は、選択できるように、
低学年や、次入学の方は、強制。

利点

人数調整の面でも、中学教育の面でも、良い。

B案 山田第三小学校と山田第五小学校を統合

課題点

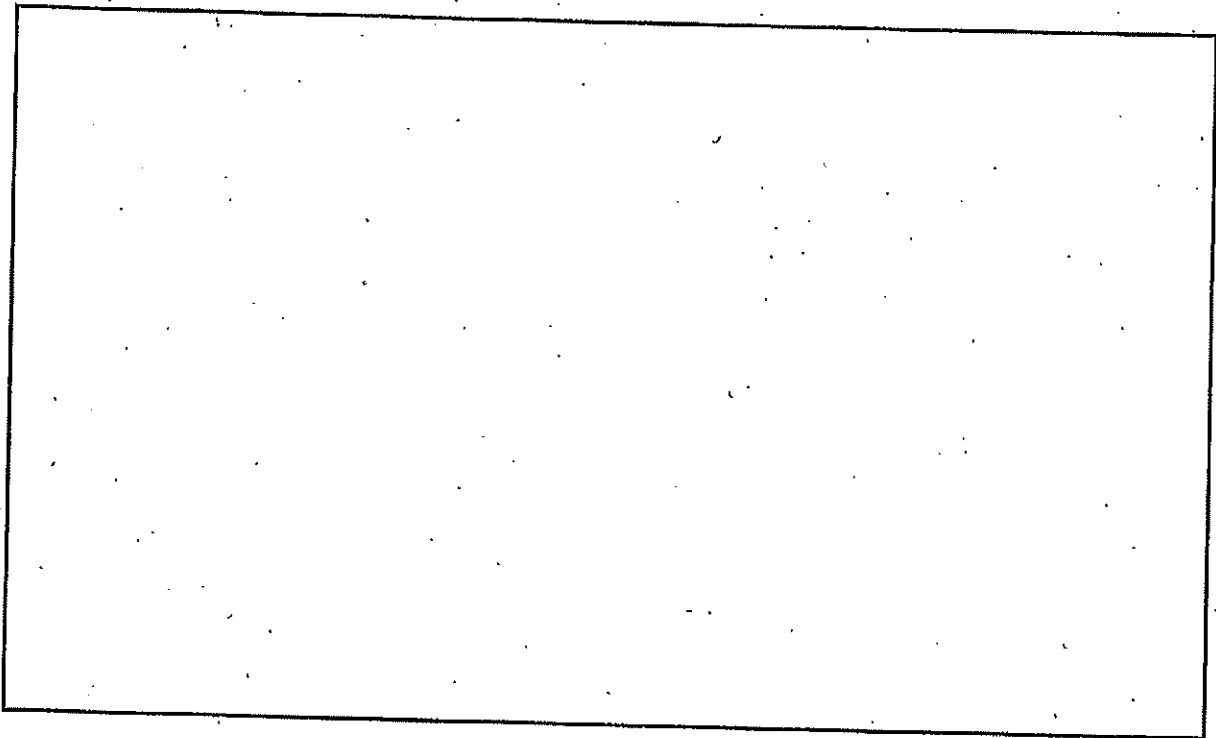
ありません。 小学校をなくす方向で、体育館を改修したのでおか？
中学 どうするのでしょうか！
わざわざ遠くに行かせる必要はない。

課題点について、より改善するためのご提案がありましたらご教示ください

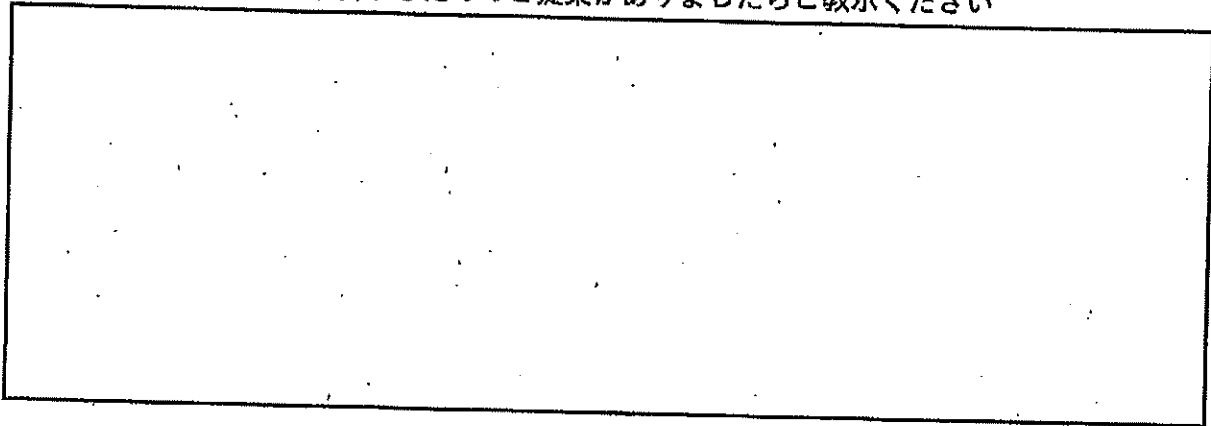
利点

C案 学校選択制を導入し、近隣小学校の児童が希望により、山田第五小学校に通学することを可能とする

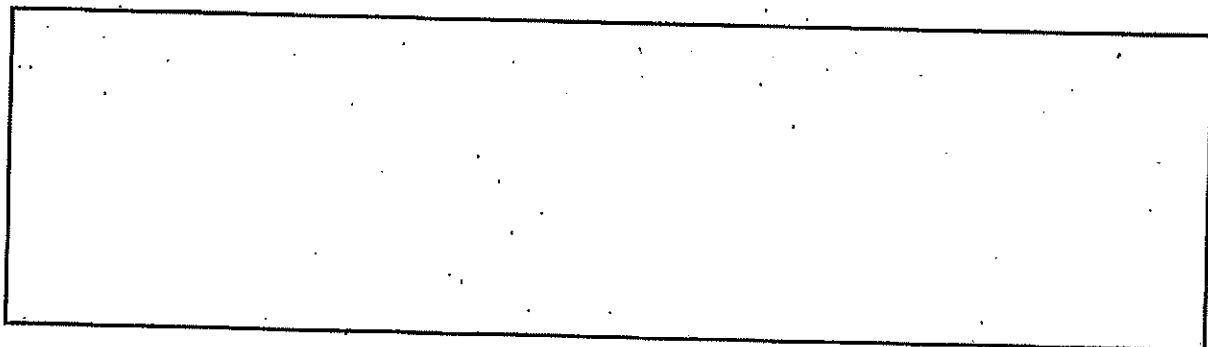
課題点



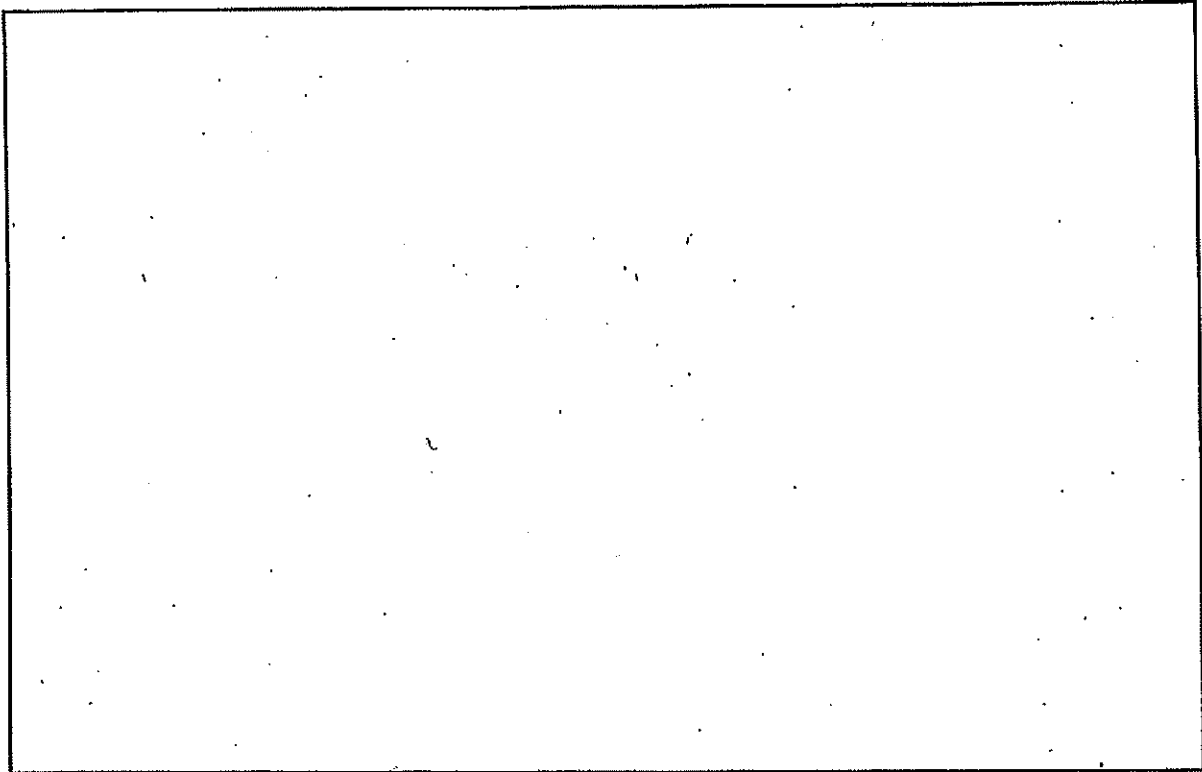
課題点について、より改善するためのご提案がありましたらご教示ください



利点

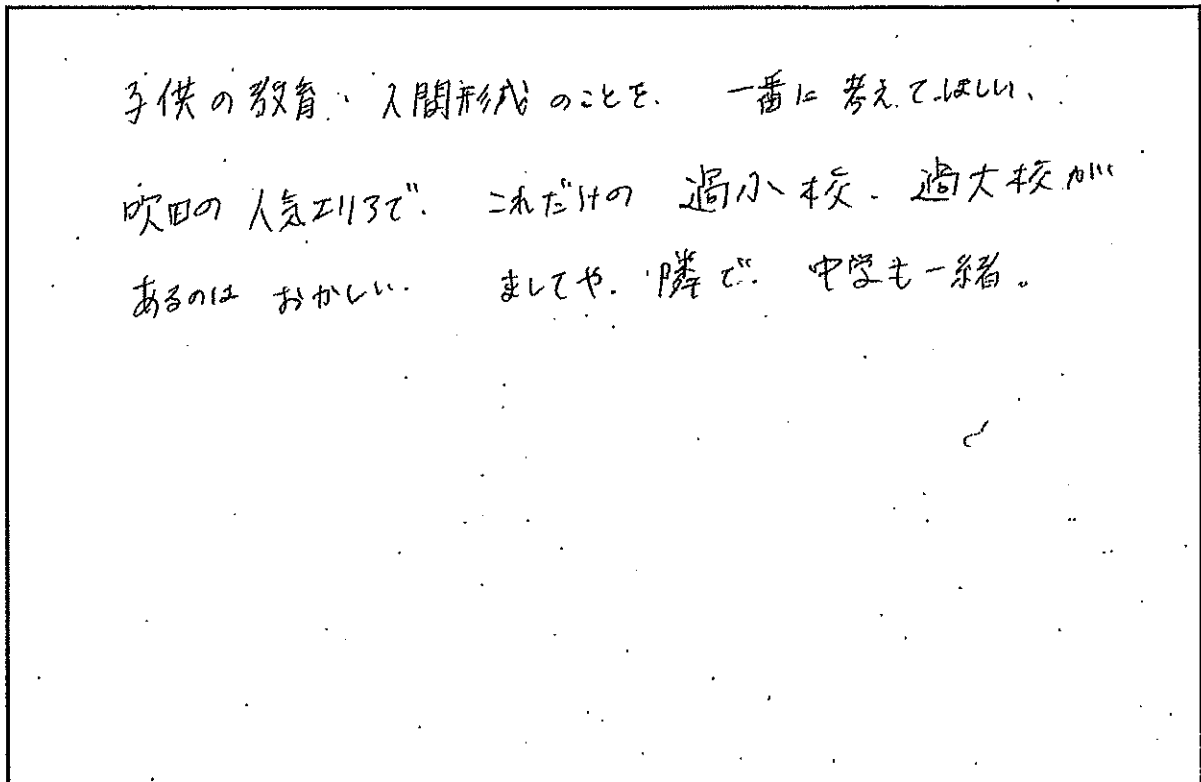


(2) 今回提示した案以外で、学校規模適正化を実現できる提案がありましたらご教示ください。(できるだけ具体的に述べていただけると幸いです)



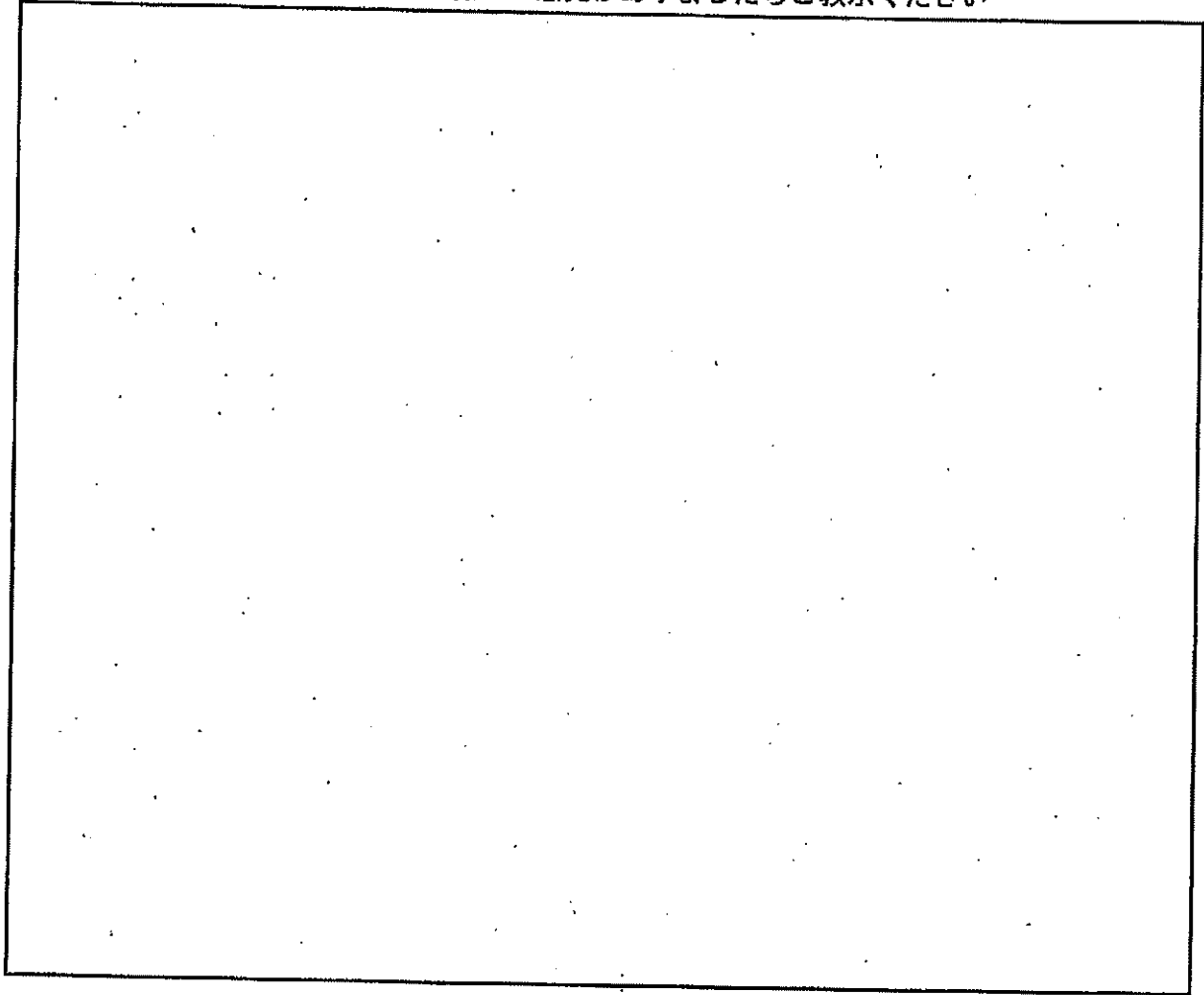
(3) 今後、通学区域の見直しを含めた学校規模適正化を進めていくにあたり要望等ありましたらご教示ください。

子供の教育、入閥形成のことを、一番に考えてほしい。
吹田の人気エリアで、これだけの過小校、過大校が
あるのはおかしい。ましてや、隣で、中学も一緒。



(13)

(4) その他学校規模適正化に係るご意見がありましたらご教示ください



アンケートは以上です。ご回答いただき、誠にありがとうございました。

アンケートの回答は、実施計画（素案）策定の参考（※）とさせていただきます。

（※）一番多い意見を採用するものではありません。

なお、実施計画（素案）は、令和4年（2022年）10月に策定の予定としており、策定後はパブリックコメント及び、適正化対象校区に向けた説明会を実施する予定です。

吹田市の学校規模適正化に向けた方策に対するアンケート (山田第五小学校区)

アンケートを回答される前に、当該校における学校規模適正化案についての資料をご欄いただきますようお願いします。(適正化の案に関する資料はアンケート用紙の後部に添付しております)

また、記載するスペースが足りない場合は、別用紙に記載いただいても構いません。

1 回答者情報 (該当する情報にチェックしてください)

(1) 回答者 ※複数に該当する場合は、複数チェックしてください。

未就学児の保護者 小学生の保護者 中学生の保護者

地域団体関係者

その他

(2) 回答者の学校区域

山田第五小学校区に住んでいる (お住いの地区を以下から選んでください)

山田南

山田市場 9番～11番

南山田小学校区 (A案・C案による影響対象) に住んでいる
(お住いの地区を以下から選んでください)

樫切山

長野西

尺谷

千里丘西

長野東

山田市場 (9番～11番を除く)

山田第三小学校区 (B案・C案による影響対象) に住んでいる

岸部第二小学校区 (C案による影響対象) に住んでいる

上記以外の地域に住んでいる

(15)

2 アンケート回答

(1) 資料にて提示した各案について、実施した場合の課題点や利点についてご教示ください。

A案 山田市場、長野西を南山田小学校から山田第五小学校に変更

課題点

課題点について、より改善するためのご提案がありましたらご教示ください。

利点

人数が312名で良いと思えます。
南山田の人数もおおまかには、35人学級を実現できる。

B案 山田第三小学校と山田第五小学校を統合

課題点

山五 30周年の時に 山五は「はくはらはい」と市長が言、に
聞きました。なので山五と山三を統合し、山五がはくはらこ
は、ありません。

何のために体育館を 改修工事したのでしょうか？

山三にしたら、中学校はどうなりますか？ 西山田は遠い
です。特に山田市場の子は隣で山田中学が近いです。元々
は南山田でした。西山田に子のおかしいと思います。もし
中学が分かれれば、南山田が大多数の山田中に行くなら今と何も
変わりません。

課題点について、より改善するためのご提案がありましたらご教示ください

なし

利点

なし

C案 学校選択制を導入し、近隣小学校の児童が希望により、山田第五小学校に通学することを可能とする

課題点

大きな集団が合わないう子、前の学段で問題があら子など、
問題を抱えた子が多くなると、どうするか？
今の山五の質を保つ。それ以上にならなければ、山五の子
に与える影響は悪い方になっていきます。
質を下げないような選択制には思いません。

課題点について、より改善するためのご提案がありましたらご教示ください

なし

利点

なし

(2) 今回提示した案以外で、学校規模適正化を実現できる提案がありましたらご教示ください。(できるだけ具体的に述べていただくと幸いです)

山五小を特化させる。

学校の学力が上がるようなシステムが導入されれば、

行きたい、行かせたい人が増えて、児童数がふえ

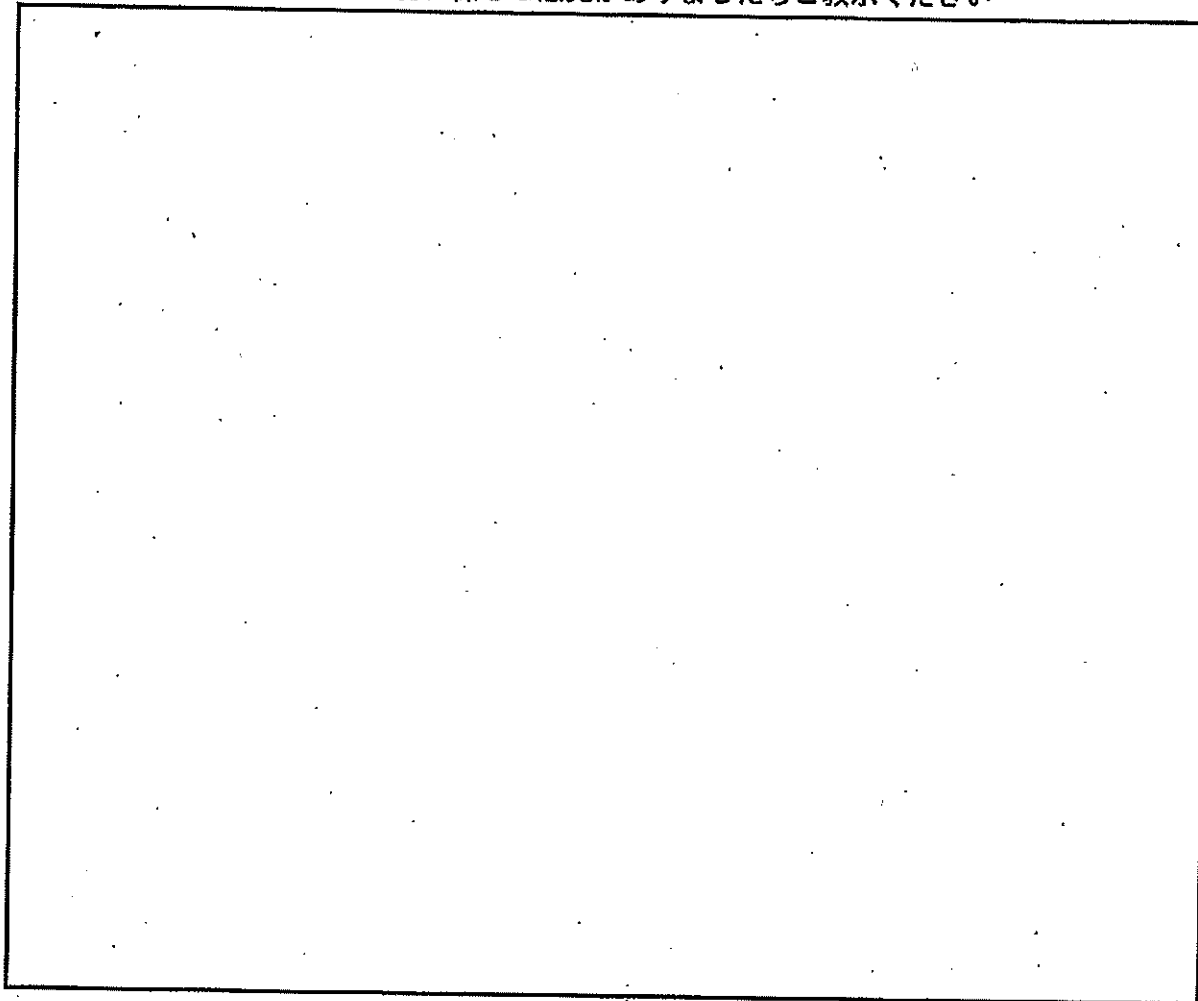
てはいいでしょうか。

そうすれば選択制でも、山五の質がおろそかにはないと

思います。

(3) 今後、通学区域の見直しを含めた学校規模適正化を進めていくにあたり要望等ありましたらご教示ください。

(4) その他学校規模適正化に係るご意見がありましたらご教示ください



アンケートは以上です。ご回答いただき、誠にありがとうございました。

アンケートの回答は、実施計画（素案）策定の参考（※）とさせていただきます。

（※）一番多い意見を採用するものではありません。

なお、実施計画（素案）は、令和4年（2022年）10月に策定の予定としており、策定後はパブリックコメント及び、適正化対象校区に向けた説明会を実施する予定です。

吹田市の学校規模適正化に向けた方策に対するアンケート (山田第五小学校区)

アンケートを回答される前に、当該校における学校規模適正化案についての資料をご欄いただきますようお願いいたします。(適正化の案に関する資料はアンケート用紙の後部に添付しております)

また、記載するスペースが足りない場合は、別用紙に記載いただいても構いません。

1 回答者情報 (該当する情報にチェックしてください)

(1) 回答者 ※複数に該当する場合は、複数チェックしてください。

未就学児の保護者 小学生の保護者 中学生の保護者

地域団体関係者

その他

(2) 回答者の学校区域

山田第五小学校区に住んでいる (お住いの地区を以下から選んでください)

山田南

山田市場 9番～11番

南山田小学校区 (A案・C案による影響対象) に住んでいる

(お住いの地区を以下から選んでください)

櫻切山

長野西

尺谷

千里丘西

長野東

山田市場 (9番～11番を除く)

山田第三小学校区 (B案・C案による影響対象) に住んでいる

岸部第二小学校区 (C案による影響対象) に住んでいる

上記以外の地域に住んでいる

(21)

2 アンケート回答

(1) 資料にて提示した各案について、実施した場合の課題点や利点についてご教示ください。

A案 山田市場、長野西を南山田小学校から山田第五小学校に変更

課題点

賛成

現在南山田小に通っている子は、^{いかに}友達を^{いかに}合わせなければならぬ。

課題点について、より改善するためのご提案がありましたらご教示ください。

高学年（5、6年）は、選択制にし。（99%は希望の為）
1～4年は、来年度より早速 変更した方がよい。

利点

現在
中学校と共にしているし、山田川公園で遊んでいるのは、
山田の子と、長野西に住む南山田小の子が一緒。

湯沢校の南山田小の近く、遊小校の山田小があるので、この2校で遊ぶのが
よい

B案 山田第三小学校と山田第五小学校を統合

課題点

反対

山五小は山田中へ通う方が近い。わざわざ遠い
西山田中へ行かせるのは、安全面からまず。

山三・山五を統合しせよより、中学校区境を異にする
高木教の南山田小の一部を山五へがよい。

課題点について、より改善するためのご提案がありましたらご教示ください

統合ではなく、現在山三小に通っている子ども
山五小のすぐ近くのルネetcは、山五小へ変更をのぞみます。
〃 毫門の辺りの戸建

利点

C案 学校選択制を導入し、近隣小学校の児童が希望により、山田第五小学校に通学することを可能とする

課題点

のち
後に選択制とするのは 賛成。

今回、初めから選択制にすると、近大校でなじめぬ子は数人が山五へ来ることになる可能性がある為。

先にこの地域は、山五へと決めて、人数もある程度確保して、それが落ちついてから、近隣の小学校へ選択できるようにすると、よいのでは？

課題点について、より改善するためのご提案がありましたらご教示ください

[Empty box for improvement proposals]

利点

[Empty box for advantages]

(2) 今回提示した案以外で、学校規模適正化を実現できる提案がありましたらご教示ください。(できるだけ具体的に述べていただけると幸いです)

(3) 今後、通学区域の見直しを含めた学校規模適正化を進めていくにあたり要望等ありましたらご教示ください。

千原北の方が、数年後、湖大校になり、押川本パーと
開いていなくて、南山田小に近いかお住みの方は、
千原北 → 南山田へ 区域変更 ありと思います。
の一部

(4) その他学校規模適正化に係るご意見がありましたらご教示ください

地域のしからず、せ、大人のニーズではなく、
子供の自己形成、成長を第一に考え、
校区人数の調整をしてほしいです。

今の3年生の極小人数を、一刻も早く、なんとか
してあげて下さい。

アンケートは以上です。ご回答いただき、誠にありがとうございました。

アンケートの回答は、実施計画（素案）策定の参考（※）とさせていただきます。

（※）一番多い意見を採用するものではありません。

なお、実施計画（素案）は、令和4年（2022年）10月に策定の予定としており、策定後はパブリックコメント及び、適正化対象校区に向けた説明会を実施する予定です。

嘆 願 書

令和5年8月10日

吹田市長 後藤 圭二殿

山五地区自治連合協議会
会長 糸瀬 正博

嘆願内容： 吹田市立山田第五小学校存続に関する嘆願書

盛夏の候、ますますご清祥のことと存じます。

さて、表題の件、吹田市立山田第五小学校存続について、保護者や児童の声、希望等を下記の通りまとめましたので、提出させていただきます。主に、

- A: 今回の進め方について憤りを感じている。
- B: 山三小学校との統合に対して反対。
- C: 西山田中学校への進学反対。
- D: 吹田市全体を見渡した上での中長期的な計画提示。(山五小学校は校舎や体育館の大型改修を実施したばかりで廃校という案には、計画性が欠如。様々な資料の提示を要求。費用面についても。)

以上4点のようになります。

ご検討のうえ、ぜひとも今後の方針においてご一考賜りますよう、お願い申し上げます。

記

A: 今回の進め方について

- ① 聞いて驚きました。各地域、学校トップはご存じだったようで、親だけが知らなかったと聞いています。こんな騙し討ちみたいなことがあるのでしょうか。
- ② 山五地域住民の意見も聞いてもらえず、山五を無くすという案一択はそもそも違うような…人数が少ないから、山五の意見を揉み消されるとなると悲しいです。
- ③ 地域トップの方たちはご存じだったようですが、市に口止めされていたこと、子どもや孫も卒業して関係ないため、話が黙って進んだようです。こんなことがあるのか、と強引なやり方が信じられません。
- ④ 説明もなしに勝手に進めるのは違いますよね。
- ⑤ 青山台と藤白台の校区変更をあれだけ慎重にしてきた市が、山五はこれほど急に事を進めようとする事にも違和感があります。が、これが本当なら怖いですね。
- ⑥ 勝手に進めるなんて…藤白台が親からかなり反発したそうで、頓挫したり…もあり、山五は強引に進めたの

(1)

では？の話もありました。

- ⑦ 統合の話、知りませんでした。吹田市のやることやから、勝手に話を進めていきそうですね。話ありきで進めていく。学校とは違いますが、学童の時もそうでした。
- ⑧ 期間が短すぎます。
- ⑨ まさに人数少ないから、反対意見も少なく、強引に、しかも夏休み中に決定しようとしているように感じますよね。
- ⑩ 山五と山三の統合については、山五小保護者は、興味関心を持っています。現時点でも、色々な保護者からこの問題について周りがどう思っているかを確認する連絡が回っています。水面下で進み、急な話で困惑しています。
- ⑪ 何の通達もなく、生徒数が減っているというだけの理由、もしくは今の4年生の人数が少ないので適切な機会と思われているのであれば、後ろの学年は30人近くいる事などを考慮して、まずは保護者や関係者に意見などを質問して欲しかったと思います。通うのは、子どもと保護者なのですから、そのような説明があって然るべきだと思います。今PTAの存続の危機などが問沙汰されている中、山五の参加率や活動率が高い事を考えると、山三に合併した事で数字としても落ちてしまうとも思います。合併するとしても入学前などにそのような可能性の一方があったのであれば理解もできますが、突然の決定は通わせている者や地域の関係者への配慮がなさすぎると思います。

B: 小学校について

- ① 山三小学校になるのは反対。山五小学校存続希望。
- ② 吸収合併には反対です。今後も今まで通り、山五、山田中学校、の校区を希望します。
子どもたちの人間関係が心配。通学路が遠くなり危ない、など、デメリットが多すぎます。
- ③ やはり子どもも山五で卒業したいって話しているし、何も相談もなく、先に決められるとなるとあまりに横暴で、子どもや地域住民の事などは考えてくれないのかと不審に思っています。
- ④ スクールカーストができることへの不安が大きい。
- ⑤ 過小クラスを6年で転校させる方が子どもたちの不安・ストレスとなる可能性もあります。
- ⑥ 4年前から少人数について声を上げていたが、すぐには取り組んでもらえなかった。
- ⑦ 吹田市の人口推移を把握していたなら、もっと早い段階で考えてほしかったです。17人で団結して成長して、6年生で統合と言われても遅いです。子どもは、今さら遅い、もうそっとしておいてほしい、と言っています。山五はとても手厚く子どもの教育や成長には良い環境です。統合して人数が増える以外のメリットは見つかりません。中学校もマイナスです。今後の山五の人数の少なさは問題になりますが、大規模校もあるので、35人学級を進められるように吹田市全体で考えて欲しいです。今一部だけで考えてもまた同じような問題が別のところでおきます。人口の変動は仕方ないので、その都度子どもたちがよい学びを受けられる環境作りができる仕組みを考えてください。
- ⑧ 山五小学校は校舎や体育館の大型改修を実施したばかりで廃校という案が出てくるのは、非常に場当たりに感じる。山五学区の少子化は今に始まったことではなく、吹田市全体を見渡した上で、中長期的な計画を示して欲しい。複数の計画を示した上で、山五と山三の統合が一番合理的に聞こえるような消去法的な誘導をしないで欲しい。
- ⑨ この話はどうなるのだろうか…と思っていたのですが、決定する方向で動いていたのですね。私的に合併年度は延期して欲しいので、反対です。他校の生徒を山五に通学させるように校区を変えたりと存続させる事は難しいのでしょうか、と思います。
- ⑩ 娘が山五に入学する時、吹田市の中でも一番少数学校な上、19人での入学でした。人数が少なくて不安もありましたが、山五の先生、保護者、子どもたちを含め、そんな不安なくのびのび生活してきました。また他

校に比べて思いやりのある子どもたちで先生方も温かく見守ってくださって、思い入れがたくさんある中で、山五小で卒業できないのは悲しく辛いです。やはり今回の件は急すぎますし、子どもたちの気持ちはどうなるのですか？納得いく説明をお願いします。

- ⑪ あまりに急な話ですし、何よりも実際に通っている子どもの意見、環境が最優先だと思います。それに、山三に吸収されたとして、山五にとって何かメリットがあるのか…損するのは山五だけじゃないかなあと。そもそも元々は山三からの分裂ですが、中学の校区は南山田と山五なので、余計にややこしくなりそうです。南山田と山五の人数の違いで多勢に無勢になって意見を取り入れてもらえないとかもあるんですかね…
- ⑫ 山五小学校グラウンド横の道路が細くて暗い。安全確保の検討が必要。
- ⑬ 通学距離が長くなるため、最大どのくらいの距離をあるのか距離と時間の測定が必要。小学1年生が重いランドセルを背負って歩ける距離か、持ち帰らず学校内で管理できるものがないか登下校の持ち物の見直し必要。中学生にも同じことが言えるかと思う。
- ⑭ 山五の中でも遠い方なので、山三小学校になるのは登下校が心配。特に低学年だと、自宅から山三小学校の距離は厳しいです。真夏には特に心配。どうしても山三になるなら、集団登校や登下校引率の職員がいるようにするなど距離が遠い子の対策を考えてもらわないと困ります。
- ⑮ シンプルに通学が一番心配です。小学校はまだしも、中学校になればかなり遠くなる事。

C: 中学校について

- ① 西山田中学校になるのは大反対。自宅から西山田中学校は遠すぎて大変すぎます。山五地区の子は山田中学校で良いと思う。
- ② 山五が山三と合併して西山田に進学することに反対です。移住したときに山五地区を選んだ理由、山田中学校への進学も大きな理由です。突然違う校区の中学校に進学させるのには反対です。
- ③ 中学が西山田に行くのは反対です。西山田への距離の問題と評判の話を聞いて反対だと考えています。山五で卒業し、そのまま山田中学校に行くと思って山五地区に来た人たちの気持ちも尊重してください。そして、保護者に何の相談もないのはどうなのかなと思います。
- ④ 西山田中学校が遠いです。そして、西中の治安が心配です。私は、6、7年前に市役所へ問い合わせメールをしました。内容は全文ではないですが、「山五地区は子どもが少ないけど、今後廃校になることはないですか？」と問い合わせたところ…「お子様が小学生にあがる頃には、2クラスになる予定ですので廃校になることはありません。」このような返答が来ました。私は山田中学校へ通わせなかった為、山五地区で安心してマンションの購入を決めました。
- ⑤ 西山田中学校に通わせるのは距離的にも治安的にも不安なので、山田中学校に通えるようにしてほしいです。しかし、山五の現4年生はただでさえ少ないので、中学を選択制にしまうと今まで一緒だった同級生がさらにバラバラになってしまう可能性もあるので、それも寂しいなと思います。なので本音をいえば、6年の一年間だけ山三小に通っても山田中学校を希望すると山三の同級生とは別々になってしまうので特にメリットを感じられないため、できれば現4年生が卒業するまで山五小学校はなくならないで欲しいです。
- ⑥ 山三になるのは嫌だけど、中学校は山五校区の人は山田中学校に行くとかの規定が欲しい。
- ⑦ 思春期の多感な時期に中学校を選択することの負担が大きい。
- ⑧ 12才の子どもが先を見通して進学する中学校を決定することは不可能。
- ⑨ 親が中学校区を選択はできない。「○○ちゃんといっしょがいい」と言われると親はダメと言にくい。また「お母さんが勝手に決めたんやろ」と追々反発が耐えなくなると予想できる。
- ⑩ 部活動のことなどを考えると朝早かったりするし、山五の子が西山田に行かなければならないことは意味不明。
- ⑪ 重い荷物を持って、例えば部活帰りの暗い道を30分以上歩かせるのは不安。

- ⑫ 兄弟で違う学校に行かされるようなことも反対。
- ⑬ 山中は学力も高いし、落ち着いていて問題ない子が多い印象。
- ⑭ 山中は穏やかで、確かに学力も高いですし、ちょっと今はショックです。市のやり方があまりに突然&横暴すぎて…

D: その他

- ① 35人学級を実現するために、山五小・山三小だけにとどまらず全市一斉学区再編成を考えた方がよい。
- ② 子どもたちの生活、これからの人生にもかかわることであり、色々考えてみましたが、吹田市の児童数推計の4年後までの資料を見る限り、決断を急ぐ理由が分かりません。市としては、先々まで資料をお持ちかもしれませんが、我々には判断材料が足りません。何年も前から分かっていたにも関わらず、山五地区に通う家族全てに、せめて寄り添っていただける資料説明や配慮、考える時間を頂けないことが、残念でなりません。
- ③ 統廃合のメリットを子どもに還元できるのか。
…学校が一つ減るということによって、普通に考えたら大きな費用削減になると思うけれど、浮いた費用は吹田市の子どものために使ってもらえるのか。
山五を廃校にしたら何が良くなるのか具体的に教えて欲しい。
- ④ 小学校や中学校の距離を考えて今住んでいるところを決めているので、山五小学校をなくすとすると、大きく生活が変わってしまうので本当に困ります。引っ越しも考えないといけない状況になるので、引っ越し資金援助など補助もしっかり考えてもらわないと本当に困ります。
- ⑤ この山五地区に留まる気持ちはないです。なので、そのタイミングで引っ越しするかも。
- ⑥ 中学校への近さ、通学路を調べた上で、今のマンションを購入したので、西山田校区になったら引っ越しをする。それは西山田校区かは分からない。どうなるにしても、経済的負担が大きい。
- ⑦ 中学校用品、小学校用品の買い替えについて
…元の学校のままでよいといわれても、子どもたちは嫌がるため購入にお金がかかってしまう。その購入代は市が出してくれるのか。(兄弟におけるお下がりが使えない件についても)
- ⑧ PTAのやり方に違いがあり、統一は誰が行うのか。その年のPTA本部では負担が大きい。
- ⑨ 学童について 山三小は民間学童、山五小は直営と大きな違いがあるが、直営に戻してもらえるのか。
- ⑩ 統合する場合、学校名の改名、校歌、学校のルールなどの一新はどう考えているのか。(吸収でないのであれば考えるべき)
- ⑪ 人数の増減があるものとして、学区再編成を柔軟にできる環境を整えることは考えられないのか。
- ⑫ 山五小は少人数ということもあり、先生方は非常に目の行き届いた教育をしてくだっております。保護者との連携もしっかりできていると思います。また、地域の方々の協力(毎日の下校時パトロールなど)もあり、安心安全な地域だと感じています。その観点からも、山五地区に住まわれている保護者の方も多くいらっしゃいます。これは一日でできた訳ではありません。長い歴史で培われた安心安全なのです。ですが、急に山三小学校と統合を決定前提に話を進めようとするのは非常に乱暴です。議論もなく決定していくことに山五小の保護者として断固反対致します。

以上

上記のように、私たちは統合案を強く反対し、新たな吹田市の教育改革の中の一部として、小学校のあり方、中学校のあり方をご提示頂くことを要求します。その際、根拠となる様々な資料や情報を基に、保護者や子どもたち、地域の方々への説明責任をきちんと果たして頂くこと強く望みます。

2023年9月13日

吹田市教育委員会
教育長 西川 俊孝様

山五の未来のために議論を望む保護者の会
住所 吹田市 [REDACTED]
代表者 矢野 弘典 [REDACTED]
賛同者 9名 [REDACTED]

学校規模適正化（第2期：山田第五小学校区）に関する陳情書

【陳情事項】

私たちは、教育委員会に対し、提案された学校規模適正化（第2期：山田第五小学校区）について、より深い議論のもと、新たな案を共に構築していくために、今回の適正化案の撤回を要求いたします。

【陳情の理由】

まず、陳情の背景としまして、教育委員の方達と直接対話も出来ず、保護者の声も聞かないまま2023年8月16日に方向性が教育委員会会議で決定されてしまい、保護者は大変困惑したということがありました。

今回の適正化において、最も重要な事は、学区再編に関する保護者の声を聞いていただくことだと思います。しかし、私たちは教育委員会がこれまでに保護者との十分な対話を行っていないと感じています。保護者は子どもたちの教育に直接影響を与える重要なステークホルダーであり、子どもたちの代弁者であります。そのような保護者の意見と懸念を無視することは許容できません。保護者との建設的な対話を促進し、保護者の声を尊重して頂いた上で、新たな案の創造に共に取り組んでいくことを望んでいます。

以下に十分な対話がなされないまま事態が進んでいるため、撤回の陳情をした理由を述べます。

まず第一に、実際の子どもたちの状況を把握しないまま話が進められているからです。

提案された学校規模適正化を実施するスケジュールは、過度に早急であり、当事者である保護者や子ども達の理解が得られないまま話が進んでしまっています。また、通学路の安全の確保、メンタルヘルスの具体的な対策がなされていない等、具体的な中身が伴っていません。それにも関わらず、統合期日が迫ってきており、保護者子どもたち共により不安が増している状況に陥っております。

子どもたちのメンタルヘルスに関しましては、保護者への説明会前に校長先生から全校生徒へ話がなされ、不安定になっている子どもが既にいます（2023年8月25日）。保護者も、何の説明もない状態でそのような子どもたちの対応を余儀なくされ、困惑した次第です。過小規模校は問題で早急に対応する必要があると言いますが、問題としてあげられた点について、山五の現状はどうなっているかについての検討や把握がなされないまま、スケジュールありきでの議論になっており、当事者たちの現状が置き去りになってしまっています。また、説明会では、統合後に教員の増員、スクールカウンセラーの配置をすると説明がありましたが、現在すでに不安に思いしんどさを感じている子どもたちもおり、その子どもたちへの配慮は一切考えていただけいでありません。メンタルヘルス一つに言及しましても、ただ教員の配置を増やせば解決できるというのではなく、またスクールカウンセラーを配置すればよいというものでもないと思います。子どもたちの関係性、子どもたちを取り巻く環境そのものが、子どもたち自身が安心できるものだと感じられなければ、心の平穏は保たれません。まずは子どもたちの声に耳を傾けなければ取り組めないものだと思います。

これらの状況から、学区再編には実際の子どもたちの現状をしっかりと調査した上での、慎重な計画と綿密な検討が必要だと感じております。急いで実施することは、教育の品質と効果に悪影響を及ぼす可能性があります。私たちは、より時間をかけて計画を練り直し、関係者の協力を得て実施すべきだと強く希望しています。

第二に、保護者との話し合いを十分に行っていないためです

2022年4月19日にPTA本部の方と話し合いを持たれた際は、「[基本方針] まず、通学区域の見直しを検討することとしています。」(A案)と明記されております。この案が2022年5月20日に白紙とされました。動

きがあれば、情報開示して欲しいとお伝えしていたが、何の音沙汰もなく2022年度が終わりました。丁寧な対応をするという言葉信じ、便りを待っていた状況です。

しかし、突然2023年7月25日に教育委員会よりPTA会長へ『統合案』の説明がありました。この時、初めて具体的に『統合』というワードが出たと記憶しております。その後、2023年8月16日に教育委員会会議で採択され、2023年9月7日、9月16日に『統合案』についての第一回説明会が保護者の前で行われた次第です。一般の保護者の方々に關しましては、白紙という状況から、一転して『統合』というレールに乗せられ、まさに驚天動地の状況だと言えます。

ここで問題として挙げるができることは、白紙以降、統合案までの説明、対話は一切設けられておらず、決定事項として「統合案」が提案されたことです

さらに、9月9日の説明会において、教育委員会は、案であり決定事項ではないと説明しつつも、保護者の意見をきいて統合の是非を考えなおす等のスタンスはなく、これまでに手続きを踏んでいるので統合を進めることに問題はないとの説明が多数ありました。保護者としては、意見を伝えても受け入れていただける雰囲気ではなく、平行線のまま説明会が終わったと感じております。保護者は子どもたちの未来の問題のため、市と対話して今後の事を一緒に話し合っ進めたいという気持ちでしたが、市の対応は到底納得のいくものではありませんでした。

第三に、「吹田市の学校規模適正化に向けた方策に対するアンケート」（以下、アンケート）の結果の使い方異議・不信感があるためです。

アンケートは、2022年5月17日～6月7日に実施されました。このアンケート回答期間中に、「学校規模適正化に係る実施時期等の見直しについて」が発表され、アンケートの基になっている全ての案が白紙になりました。しかし、アンケートは広く現状の声を拾うために延長してほしいと要求しました。山五小学校区の保護者や地域の方々からすると、長年週小規模校として声を届ける術がなかったので、しっかりと声を届けたいと思っから、延長して頂き、しっかりと回答させて頂きました。

アンケートを取るための基となる案が途中で白紙になったにも関わらず、今回の統合案のためにとった通常のアンケート結果のように取り扱われている事に異議を唱えます。さらに、このような状況のアンケート結果をベースにして、今後の方向性を決めることに不信感を抱きます。山田第五小学校区の方々は、声を届けたい一心で、多くの方が答えているが、その他の地域の方は、おそらく途中で白紙にもなり、回答することをお止めた方もおられると思います。答えるモチベーションも白紙の状況では、真摯に答えようと取り組んでいないかもしれません。そのようなものを今後の方向性を決める材料にしないで頂きたいと強く思っます。ましてや、山田第五小学校区の方々と同じ土俵で比較検討する結果（数字）ではないと主張させて頂きます。

最後に、山田第五小学校区の方々は、小規模校の良さを活かしつつ、子どもたちが学び合う環境をよりよいものにするために、今までも、そしてこれからも、対話を強く望んできたことをここで強調させて頂きます。

以上の理由から、提案された学校規模適正化（第2期：山田第五小学校区）について、より深い議論を重ね、新たな案を共に構築していくためその撤回を要求致します。

2023年10月25日

学校規模適正化（第二期：山田第五小学校区）に関する陳情書

吹田市長 後藤 圭二 殿
吹田市教育長 西川 俊孝 殿
吹田市議会議長 野田 泰弘 殿

山五地区自治連合協議会	会 長	糸瀬 正博
山三・山五地区民生児童委員会	委員長	三条 健二
山五地区青少年指導員会	地区長	小松 大作
山五地区福祉委員会	委員長	伴 勲
山五ハッピー会	会 長	中釜 保夫
山五地区防犯協議会	会 長	榎木 一夫
山五家庭防火クラブ	会 長	竹原真佐子
山五地区体育振興会	会 長	鎌田 昌男
山五地区自主防火委員会	委員長	金子 泰純
山五地区人権啓発推進協議会	会 長	菊地 定
山五の未来のために議論を 望む保護者の会	代 表	矢野 弘典

私たちは、地元地域と子供達の未来に深い関心を抱いており、この問題について真剣に懸念しています。

1. 学校規模適正化（第二期：山田第五小学校区）のスケジュールの進行速度について

学校規模適正化計画の第二期におけるスケジュールの進行が、地元住民にとって過度に早急であると
感じています。この計画は山田第五小学校区において大きな変更をもたらすものであります。住民の理
解や協力を得るためにはスケジュールが早急すぎます。

2. 地元地域に対する説明の不足

我々は、学校規模適正化に関する情報提供や説明が不十分であると感じています。これまでに行われ
た説明会はわずか 1 回であり、その内容に対する住民の納得は得られていません。我々住民は計画の
詳細や影響について明確な情報を求めています。

3. スケジュールの見直しと住民の意見を尊重した議論の場

計画の進行を一旦白紙に戻し、地元住民を積極的に交えた議論の場を設けることを強く求めます。地
元住民の意見や懸念を真剣に受け止めてください。

(1)

4. 子供たちの通学距離に関する懸念

中学校が変わることにより、子供たちの通学距離が過度に遠くなるため、山五地区から子供たちが引越しを余儀なくされ、結果として子供たちがいなくなる可能性が高まり、更なる高齢化を招く事を懸念しています。このことは地域の結束や発展に大きな影響を及ぼすことが予想されます。中学校が選択制になっていますが、山三小との子供達と人間関係が出来上がった際に山田中学校に進学する子供は多くないと容易に想像できます。

この陳情書は、私たち山五地区の住民の声を代表し、計画の進行を一旦白紙に戻し、地元住民との協力と共感を築くために、真剣に検討いただくことを強く要望します。

子ども達の声を添付しています。子供たちの声をお聞かせください。

私は山田第五小学校が大好きです。大好きだからこそ、併合等には反対です。理由としては、単純に「自分の母校が失われる」ということだ。

大好きな先生と話し、あの教室、自分の「好き」を話せるように手助けをしてくれた音楽室、体育で何度も失敗したり、こぼれりした机と仲間がいたから乗り越えられた体育館。

運動会、精一杯頑張った。大切な人と巡りあえたあの場所。大切なもの、

失ってから気付くんですね。全部、全部思い出がある。失うのが怖い。

だ、7、六年間過ごした場所が、今、失われていこうとしているんです。

入院してはいたりしてあまり通えなかった時期もありましたが、それでも、

あの場所が大好き、今の自分はいっぱいと思えます。それでも、あの場所が、

あの季節で、あの桜流しの頃、大切な人と手を話していい... ほんま。

それ、在校生の気持ちは関係ないですか？ 在校生の未来は？ ということだ。

校区が一番近くて、通いやすいという場所に住んでいるからこの小学校に行っているのに

いきなり違う学校に通えと言われても、正しい道下校ルートを覚えるのだから、自分の新しい

教室を覚えるのだから、たくさんのご意見を頂戴したいという方が、なり、在校生の

気持ちにふりまわされる気持ちは無視ですか。自分死んだり、まず悲しいです。

おかしな、この場所が嫌いで違うところに行けた嬉しいと思う人もいるかもしれない。

それでも、この山田第五小学校が大好きで、離れなくない、寂しい、悲しい、

そう思う日どうなるのですか。私は少くとも後者です。初めて目にした時、絶望しました。

だ、大好きな場所がなくなるんです。喪失感が半端ないです。

それに「せうく工事をして綺麗に、バリアフリーに、たのびこんにあぐ幕を開けるのが

ということだ。在校のとき多目的トイレが設置、改良されたことや、スライド式のドアに

なることで怪我をした人や、車イスの方、手助けが必要の人がより、学校に来やすくなることや、

トイレの個数が多くなり、洋式が多い。増えたことで誰もが利用しやすいというふうな環境、

にあると思えます。校舎が一階から四階まである中、一階にはバリアフリー対応の

多目的トイレ、二階には中間階というもあり保健室もあり設備が充実しています。

三、四階には教室が多く、元気な様子が見られます。

なんといつても「特別教室の設備の充実」ということ。

と人数が多くなり、山五小は教室数も多くなり、今は空き教室や、着がえ、準備

などに用いられていますが、中には机やイスも充分あり授業ができるような環境に

することも可能だと考えています。図書室も、本が揃っている、中庭から差し込んでくる

COMME ÇA

木漏れ日の暖かさ。音楽室ではピアノや木琴や鉄琴はもろもろ、ドラムや
アコースティック、様々な曲が演奏できるような楽器がズクズク入り、
校庭を見渡しつつ、自分の音を、私達の音を届けようと頑張れる空間。
体育館では二階から見下ろせることやバスケットゴールの数、バレーのネットの支柱の穴や
それぞれの設備がよ、対応を続けるながら体育を、体を動かせるということや。
それは場所が失われてもよいものでしょうか。

そして、最後に、途中から入ってくる直の異色、死小学生どうしの関係が
一番怖いこと。

山五は、人数が少なりというデメリットを、人間関係が良好で、仲が良く、
多学年とも遊び合うような仲間。山五の人間が他校の人間と関わることで、
価値感や、人間関係、日常生活 などの様々な意見の対立が起きると思ったり。
でも、それはあくまで当たり前ものなのかもしれない。でも、今の本人たちはまだ
小学生で、と考える方がしれません。でも、それでも立派な一人の人間です。
幼いながらも感情や意見があり、決してはらばらしいわけでもないものだと
思いました。お互いが良い気持ちでいると「ありがとうの卒業」は出来ると思ったり。
以前の六年生や五年生の時分がありません。時間だけで人の関係
が築けるんです。そんな薄く、やらい関係で卒業するのは嫌なんです。

私はたかさんの面から考えて「山田第五小学校が失われる」のはとても嫌です。
嫌というよりは、信じたくはないという気持ちもありません。

今、併合しようとする頑張っている方も、今までの学校を続けたいと頑張っている方も、
この現実を喜ぶ人も、悲しく嘆く人もいると思ったり。それでも、それぞれの立場
の方が現状を戻す判断で努力して下さっているおかげで今の自分はある
と思ったり。だから、感謝しています。でも、自分は山田第五小学校がなくなるのは
嫌なんです。あとみくりでもいい。けれど、待つていませんが、おんなじ事情がある
のと似て、私も、私達も事情があり、大切な人との約束があるんです。

自分はこの山田第五小学校でたかさんのことを学びました。生きることの大切さ
が愛まで。だから、ずっと続いていてほしい。伝統を受け継いで欲しい
と思っています。たかさんのことを学んだのが私が一番大切なことだと思ったり。
それは「当たり前」の素直らしさです。だから、小学校のときから感謝を伝え
てきたつもりです。だから覚悟はしてつもりです。でも、おぼろげにでも。

COMME ÇA

本当に最後まで目を通していただきありがとうございます。私自身も、あと手順を踏んで、通う方々にも通わせていただき、それぞれの方々にそれぞれの保護者や関係のある方々全員に了承を得て、全員が納得できるように、納得してから行動に移していただければ最善の方法だと考えています。

誰もが、笑顔で、楽しく、学校に通えて、卒業するとき「ここでよかった」と思えるような環境にするといいです。たくさんの方の意見に耳を傾けてみてください。

山田第五小学校を愛する 36 期生より

COMME ÇA

吹田市教育委員会 みな様へ

私が思に山三小学校の人数が多いときには山五を併
山三が少なくなったら山三と山五を統合するのは大人のことに子
どもがうりまわされすぎると思、子どもが行先なので
大人がきめるのではなく子どもがきめるというほうがいいと
思います。

しかも大人が来てきめ子どもが全部いうことを聞くのはいや
なので子どもがきめるということをもっときめていた方がいいと思
います。

統合をはんたいする人が多ければあきらめるということも
ないと思います。

なので統合をするのはもう少し考え、みな様方のごいけん
をもと統合するかどうかをきめていた方がいいなと思っております。

NO.

DATE

いそがずゆくりとみな様のこいけんをち考えていただきたい
です。

山田第五小学校の三年一組の生より

Send to you
-HAPPY-

私は、山田第五小学校の廃校に反対します。

理由は、工事を最近したばかりだし年々4年生が他校に行き勉強したりするのがすごくかわいそうだからです。それに、自分たちはかんけいなく山五小での思い出が沢山あるし、他学年にも山五での思い出を作してほしいからです。

あと、他校に行ったら山中に通いにくくても、もしかしたら通えなくなるかもしれないからです。山五小に入ってくる新しい1年生が少なくなるかもしれないけど、できれば5年以上はまた廃校をちゃんようにしろ。

廃校にせむにちょっと遊び場とか、年寄りの溜まり場として使してほしいです。なので私は山五小の廃校を反対します。

まじで

現山五小生徒より





あたしはねんせいです。

山三小学校にはいきたくありません。

じもつが「おもい」ときはたいへんでお
大雨のときはたいへんです。

なつのおついでときはたいへん
かづじょうのかえりにはくはてしも
たけでかえるのがこわいです。

たのしくすごしたうんどうばうを
おっていきたくないです。

このまま山五小にかよわせてくだ

い。おとなだけでがてにきぬな
いでください。

From Mr. Post Man
© Sanshokai



45をなくさないでください。

学ぼうのどろんどろんという名前もなくなるのもいあだが
3をなくさないでください。



Angel wings day

わたしは三年生です。

山三小学校に行きたくないです。なぜかとい
うと、山五小で4年間すごして、山三小学校に
行くよりも、今のまま同じクラスでそつ業したいか
らです。クラスかえれたくありません。

友だちが多すぎると、こまるからです。友だちか
た^いのはいいんですけど、多すぎると、友だち
の名前をまちかえやすくなるかおれな^いからでも
楽しかった学校の林道を通って行くのは、悲
しいです。運動場に道足各を作るのは、やめて
ください。

山五小の子どもだけかふたんを追うのはおかし
いです。山三小とどう違うから、~~学校名~~おえれ
るものもかえて下さい。どうせ、行くなら新しいふんいき
にしてください。

わたしたちの意見を聞いて下さい。



やまごはす^いと^いつと^いわたしたちの
やまご^いに^いお^いかん

みんなといっしょに^いか^いい^いたい

せいせつな^いとも^いだ^いちと^いおも^いいで
つく^いえ^いやま^いごといっしょに^いそ^いっ^いき^いう^いたい

か^いから^いお^いま^いご^いお^いな^いん^いさ^いな^いいで

わたしたちの^いやま^いご^いお
~~お~~おも^いいで^いを^いと^いら^いな^いい^いで

お^いね^いが^いい^いしま^いも

い^いね^いん^いさ^いな^い 

吹田市教育委員会様へ

まず、今のじょうたいだと、ぼくは、山五が、101に反対します。その理由は三つあります。

一つ目は、あまりにも急すぎるからです。7月の冬おりに言が出てきて、今月には決まってしまうので、ぼくは、もう少し、地いきの人や、ぼくの方と、言を出したほうがいいと思います。

二つ目は、ぼくの4年生のばあい、一年だけ、山三に通うことにならなくておなせなら、一年で、すぐに、山中に行くはあ、山三の人も、山五の人も、いいことかなにかうです。

三つ目は、中学木交をえらぶたの世だ、11の人がかわいそうだと、いうことでもおなせなら、遠い所まで歩くのはつかれてしまうから、おなせのため、山五が、101には、反対です。

山田第五小学校4年

下級生が急にとうとうしたついでと思いきや。
山五も同じくらいなのだからお前のほうが良くないと思いきや。

山田第五小学校 五年一組

HAPPY SWEETS!

きいてほしいこと、

言いたいこと、

・どろんこのそつしつしきができないのはいや。
理由 一年がらずとおせわになっているから、

・山三といっしょに学校生活をするのはいや。
理由 いままでの山五だけの人たちといっしょに
学校生活してきたのが楽しいから、
山三といっしょに学校生活するのがどうなるのかわか
らないから、あんたから
家から学校がとおくなるのはいやだから、



Un moment de
vacances, ce sont...

- 6年間ずっといた場所だから。
- いろんなことして楽しかったり。
- 6年間ずっといた先生に会えないうから。
- 田舎での生活だから

山田第五小学校

私は、山五小の四年生です。六年生になった時、山三に行くのは、反対です。

理由は、今の山五だと先生たちが生徒と関係が良くなって、けんかをした時にも先生が仲に入って来て仲直りできました。

二つ目は、ここまで16人のとくいなことや苦難のことを、いかして乗り越えてきたから、今さら登合するし、ようは、意味がないと思います。友達も、同級生だけじゃなくてちがう学年とも仲がすごくいいです。

毎日、楽しくすごせています。高学年には、いろいろなことを教えてもらったり、低学年には、教えてあげたりして学校全体で耳を聞か合っているので、

山五小を残してくれた方がいい。



まよひくしいんか
山三とかつたいたくたい

山田だいい五小学校

一ねんくみ

私は、山五小を失すのを反対します。理由は、

- ・人数少くなりから、深く関与が出来る
- ・三つ折がしやす
- ・多々問題が送きやすい
- ・先生の見がよくなる
- ・遠くなることでおたがふえる
- ・バリエーションが集中しやすい
- ・うるさのがに聞こえやす
- ・問題を早く見つけやすい
- ・山三に比べて急に多く感じたり、山五がいろいろ出来る
- ・けがをしたとすぐ行ける
- ・待ち時間が少ない
- ・協力する意気があがる
- ・全員意見をききやすい
- ・集団行動がしやすい
- ・ボランティアの人と交流しやすい
- ・文がいろいろ出来る
- ・こころが優しい
- ・いじめが少なくなる
- ・中学校で人数が多くていじめがおもていて、小学校ではせいぜいなくとも人数が少なくなる

それには、考査委員会の考えがたがらうです。

この理由で私は反対します。

考査委員会のみなさままつが本生です。反対をいけません。悪意が
ありません。ちゃんとしたデータもってきてください。今にちゃんとして
こなくてもいい。はなしを聞けばいい。地元の人のことを考えています。
吹田はもっといい所だ。川市長だ。話がいろいろある。頭は大がかり

何かが山田第五小学校を残した理由は

ぼくは山田第五小学校を残した方がいいと思います。

なぜなら、人数が少ないことで、いじめがなく、先生に一人ひとりに声をかけられるのは、静かにいられますからです。

先生に一人ひとりに声をかけると、おちついて勉強しやすく、すくばりました。バカからなくとも先生がちゃんと教えてくれば、しつこくつしなから勉強ができました。

もし、山田第三小学校に行くことになると、まわりが遠くなり、車の重みで疲れて注意力があらず事故になる可能性が多くなります。その他にも暑い夏の時に校中に熱中症になり死んでしまったらどうしてくれるのですか。

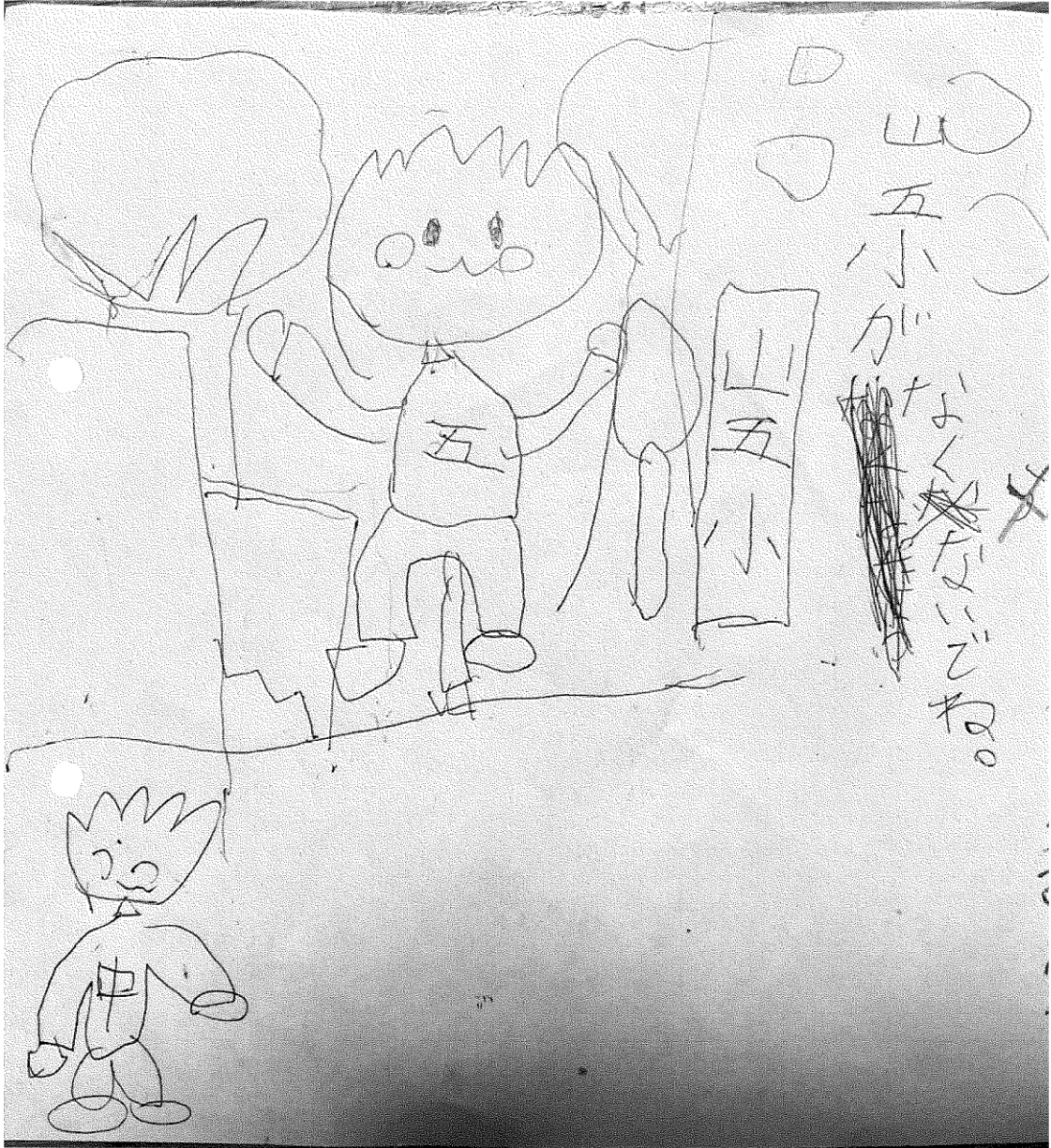
一年生のころ、自分は友達を作りにくくなくて、不安だらけで人数が少なかったのが友達ができました。その理由は、みんなと交流する時間が長く、みんなとたくさんしゃべれました。

ぼくはこのように、こと以外にも、人数が少ないことで、まわりの人の運動できる時間が長くなり、みんなが親から愛されたことで、人数が少ない程いじめからいじめがなく、人数が多い程、うそや嘘やあり、いじめからいじめると言っています。逆ですよ。人数が少ない程、いじめがなく、多い程いじめが多くなるので、知ってまわりの人数が多いとみんなの悪い所と良い所が分かり、みんな仲良くすごせました。

このように理由があつたうちの意思に反対しません。

おつがあつた。吹田はもつと話を聞いてくれるいい所だと思つて、話を聞かれない。市長はむづかして、人の話を聞いて学校をいじめた。学校で、話したよ。最初はいい人だと思つてたのに残念です。

市長としてありえない。



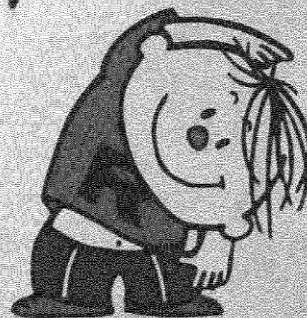
せ、かく学校の友達とも
なじんできて年に統合すること
なってしまう人がいます。

なので、統合しないでもらえると
うれしいです。

もしあるとしても、いろいろな
人達の意見などを集めて、
速らんと、児童や保護者達にも
説明してほしいです。

いついつ決めてからに
してほしいです。

中学1年生



学校にかようのは
私たちです。

大人がどかってに
きめないでください。

今の友達と山五小
をそびえたいです。

山五小をぜったいに

なくさないでください。

山五をなくさないで！！
わたしは、か、ぺい 大大大大大人
たいです。
いまのから、こうでいまのみんなで
6年生までいたいからです。
くらすか「えとかで」い、じめがお
きたらいやだからです。
山三小学校のつうかころは、ようち
えんのときもおっていた~~身~~どく
るまがいらばいとおっていて
あぶないからです。
このようにわたしは、か、ぺい、は、
ス大大大大大大大人は
人たいです。山五~~は~~は、人ずうが
すくないけどほかのかくねんとあそ
べたりしてたのしいからです。

4年1組

ぼくは学校とうごうやめてほしいと思います。

一つ目は、夕べに始まった話だし、子どもの音見をきいてくれないから。

二つ目は、決まってもかいてくれないから。記事にだして
いるからです。

4年1係且 ..

ぼくは、学校とうごうを
やめてほしいと思っ
ています。

理由は、最後の1年間だ
けほかの学校(はし)やだか
らです。

大人は、ぼくたちのいけん
を聞いてくれないですか？

私は山田第五小学校から中学校に行き、
よか、あなたと話すことがあります。

それは、大体の山五の人とは仲が良く、話
したり、一緒に帰ったりできることです。

人数が多い学校から来た人たちは、一度も
同じクラスにならなかったことがほとんど、人数は
多いけど関わりは少ないように感じられました。
それに比べ、山五は全員と同じクラスに
な。たことがあるので、仲の良い人とクラス
が離れたとしても、同じクラスの山五の人と

仲良くすることもできます。

また、山五の人を通して他校の人と仲良く
な。たりもできます。

このように、山五の人たちはそれぞれ助け
合ひ、友達を増やしていけます。これは、少
人数で全員と仲の良い山五だからだと思います。

山五小卒業生

- ① 山三には、いきたくないです。
- ② このままでいいと思います。
- ③ 山五も新しい方がいいと思います。
- ④ このままでいいと思わないし、早くなかつたらもう先生が良くなるからこのままでいいと思います。
- ⑤ そもそも山三にはいきたくないと思いません。
- ⑥ いま三年間同クラスだったみんながちがうクラスになってほしくないからです。

2023 年 11 月 27 日

学校規模適正化（第 2 期：山田第五小学校区）に関する陳情書

吹田市長 後藤 圭二殿
吹田市教育長 西川 俊孝殿
吹田市議会議長 野田 泰弘殿

陳情者 吹田市立山田第五小学校学童保育保護者会

住所

共同代表 松平年世

吹田市立山田第五小学校学童保育保護者会は、この陳情を通じて、今回の学校規模適正化に伴う学童保育に対して深い懸念を抱いており、教育委員会との対話を求めます。以下、私たちの主要な懸念事項を述べさせていただきます。

1. スケジュールが早急過ぎます

提案された学校規模適正化を実施するスケジュールは、過度に早急であると感じます。学区再編には慎重な計画と綿密な検討が必要です。急いで実施することは、教育の品質と効果に悪影響を及ぼす可能性があります。学童保育の統合についても、より長い時間をかけて計画を練り直し、関係者との協力を得て実施すべきだと強く信じています。

2. 保護者との話し合いを全く行っていません

学校規模適正化において、学童保育について保護者との話し合いが全く行われていません。説明会の場においても、学校の問題が優先されており、学童保育に対する質問や疑問に対する回答が不十分である状況が続いております。保護者が抱える疑問や懸念に対する明確な説明や対応を求めます。

このような状況下での統合や変更が進められることは、関係者にとって極めて不安を招くものです。

3. 民間委託への不信感

山五小学童は過去に民間委託から市の直営に変更された事例があり、その際に保護者の不安が大きかった経緯も考慮すべきです。このような前例から、保護者の不安や懸念は重要であり、それらを無視せず十分に考慮する必要があることを強調します。

以上の理由から、学校規模適正化における学童保育に対する説明不足と透明性の欠如に対処し、保護者の懸念や要望に真摯に向き合っていただくよう、教育委員会の貴重なご対応を強く求めます。

保護者の意見を下記に記載しております。保護者の声をお聞かせください。

最後に、この陳情書が受け入れていただけることを願っております。私たちは共に協力し、より良い教育環境の構築に向けて前進することを期待しております。

【保護者の声】

・どの様に考えていてどうする予定なのか等、きめ細かな説明をして欲しい。

・この度の学校規模適正化に伴う学童保育の説明について説明会にてお聞きしましたが、あまりにもお粗末な内容で驚きました。

私は10月14日に参加させていただきましたが、学校規模適正化についての保護者の質問に対する回答はエビデンスに基づく資料提示ではなかったことや、他の市町村や藤白台で進めた前向きな具体的事例などが示されなかったため、異なる保護者が質問の仕方を変えながら、同じ質問、不安なことについて何度も尋ね、堂々巡りの時間が過ぎていきました。

・あの場に居合わせた学童でお世話になっている保護者はマイノリティであり、優先順位として学校規模適正化について主に質問する場とわきまえていたため、学童保育の質問については優先順位の高い質問に対する答えが満足に得られてからと考えていました。

回答者側の都合で質問できる人数に制限を設けられたため、学童保育についてのやりとりは満足になされないままに終わりました。パブリックコメントに書く手段もあるとのことでしたが、このような事態は容易に想定すべきであり、子どものことを一番に考える会であるなら、多くの保護者ならびに関係者に事前に意見を聴いておくべきだったのではないかと考えます。

・ことあるごとに有識者（大学教授）に意見を聴いているとのことでしたが、2名のうち1名は本件について児童や保護者目線の方でないでしょうし、もう1名の児童の心理について専門にされておられる大阪大学の教授にこの度の議事録を見ていただいてはいかがでしょうか。おそらく新たな問題が見られるのではないかと感じます。私自身も教育について大学で研究しているため、児童心理専門の教授にこの度の議事録をもとに相談しましたが、おそらく政治の力もからんだ特異なケースだと推測しました。

・学校規模適正化や学童保育についての統廃合は今後もすべきことがあることは理解していますが、この度の進め方を続ければ必ずどこかで市民の怒りがかかることになることと思います。誠意ある話し合いの場を求める次第です。

・学童保育を利用している保護者向けに説明会を開催してほしいです。一度、民営化した時に子ども達が、目に見えて不安定になり、日々トラブルや怪我が発生し、安心して預けることができない状況を経験しました。民営化している育成室に我が子を預けることに不安を感じているため、保育の内容や方針、統合までの流れなど丁寧に説明してほしいです。

・学校規模適正化を進めること自体には反対ではありませんが、山三と山五が統合するのが最善であるという結論を導くための議論が足りてないと思いますし、提案されている移行期間や進め方に誠意がないと感じます。

・本当に子ども達のためなのであれば、統合に向けての交流など時間をかけて、子ども達の不安を解消して進める必要があると思いますし、保護者も納得できる時間軸で考えてほしいです。

・子ども達が元気で笑顔で過ごせる場所、安心して預けることができるからこそ、親も心置きなく働くことができるのが、学童保育の存在意義だと思いますので、ご検討よろしく申し上げます。

(2)

- ・スケジュールが早急すぎる。
- ・もっと丁寧な説明がほしい。説明が足りなさ過ぎる。保護者の声を全く聞いていない。
- ・統合されたら、学校でもアウェイ感、そして学童でもアウェイ感、1日中アウェイ感で過ごすことになり、かなりストレスがたまるのが心配です。
- ・新たにスタートする学童という意味で学童名を新たなものに希望します。
- ・活動内容もこれまでどろんこでやってきたことを完全に失くさずに、どろんこだった子が主導的に動ける場も作ってあげてください。
- ・仮に統合が決定したとしてですが、
 - ①来年1年間の保育内容は変わるのか。山三育成室に合わせた保育内容になるのか
 - ②来年の保育内容は、育成室が方針を決めるのか。それとも指導員の裁量によるのか
 質問の趣旨は、どろんこ学級は4年生がリーダーシップを取って班をまとめています。3年生は、来年は4年生だという自覚を持って日々過ごしています。4年生になったら4年生会議や班決めなど、任されていることも多く3年生もそのつもりで今から心の準備をしています。先生方は次年度を見据えて計画を立てておられます。山三育成室と統合が決まることによって、来年1年の保育は今までとは違う保育内容になるのでしょうか。
- ・統合により山五が消滅してなくなってしまうことが、子どもにとっても私たちにとっても辛く悲しいことです。恐怖でもあります。
- ・山五カラー、どろんこカラーをなんとか残せないでしょうか。
- ・完全アウェイな状況を少しでも変えていただくために、何ができるでしょうか。
- ・方向性が決定する前に詳細な説明が欲しいです。子どもたちは、既に不安を抱えています。
- ・学童の先生が全員いなくなること、半数以上が新しいお友達になること、どんなふうに過ごすのか想像がつかないことなど。
- ・現在の学童は、学年が上がるにつれて、年間計画が分かる学年の子達が、主体的に行動して、下の学年の子達を引っ張って支えていく姿が見られますが、統廃合によって、子どもたちの意欲や主体性を奪わないで欲しいです。
- ・統廃合や民営化の必要性は理解していますが、山三に合併されるならば、学校生活も学童も、すべてそちらの生活スタイルに山五の子供たちが合わせていかなくてはならないのでしょうか？
- ・後手後手にフォローを検討するのではなく、もっと今の現状を知って、意見交換や具体的な施策を対応してから、方向性を決定して欲しいです。

(3)

- ・山五が山三の民営化になるのは、他の民営化とは意味が違います。今までの自分たちの居場所がなくなり、慣れない場所と慣れない先生の中で、心落ち着けるとは思えません。学校でも疲れ、学童でも落ち着かずにいる子どもの負担は大きいと思います。
- ・山三の保育のことは全くわかりません。どのような保育をしていて、山五の子どもたちをどう受け入れようとしているのか、きちんと説明してほしいです。時間やお金のハード面ではなく、現場の話が知りたいです。どのような未来になっても、もっと子どもたちの心情や心のケアを中心にもっと話し合いをして欲しいと思います。その話し合いのもと、不安点については細かく出来る対策を練って頂きたいです。
- ・子供たちの心のメンテナンスを、ちゃんとして欲しいです。自分の通っている学校が無くなるって不安になると思います。ちゃんと安心して通えるように話をしてあげてください。
- ・合併そのものには反対ではありませんが、今の状態は吸収されるイメージしかありません。山五の子ども達だけの負担が大きいやり方ではなく、どちらにも前向きなプラスのイメージで合併できるよう、学校名の変更などを希望します。人数の少ない山五の子ども達がアウェイな気持ちではなく、どちらもが歩み寄る合併にして頂きたいです。我が家に関してで恐縮ですが、いまでも通学に 20 分はかかり、近所に学童利用者がおらず冬場は真っ暗な中を 1 人で帰ることになります。統合によりさらなる通学時間の延長が見込まれ、その点がとても不安です。我が家のほかにも遠方のご家庭はあると思いますし、自宅の遠近に関わらず、通学路の整備及び見直しについては必要なことと考えます。また関西大学のキャンパスが校区内に出来ており、大学生のバイク対策なども合わせて、小学生の安全な登下校について官民一体で議論していただきたいです。
- ・引き継ぎがどのように行われるのか？ 引き継ぎを丁寧に行って欲しい
- ・現在の待機児童（4 年生も含めて）の人数を知りたい。
- ・統合後、待機児童（4 年生も含む）が出る可能性はあるのかを知りたい。
- ・保護者会はあるのか？ 何故おやつ代を払っているのに誕生日会のおやつは別徴収なのか？ など聞きたいことが沢山あるので、学童だけの説明会をして欲しい。
- ・山三の学童に行かなければいけない状況になるのなら受け入れは 100%保証すべきです。受け入れの見込み、ではなく、約束をして頂きたい。
- ・R6 年度の配置変更なしを約束し、せめて残り 1 年間安心して過ごせる場を保証すべきだと思います。すでに不安定になっている子がいる中、R6 年度に指導員がかわってしまったら、子供に不安がひろがりません。

校區別住民人口(年齢別)一覽 (令和5年4月末時点)

(単位:人)

NO	学校名	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳
1	吹田第一小学校	2	51	47	36	42	38	44	48	40	47	44	34
2	吹田第二小学校	3	85	82	68	70	82	76	70	75	65	54	48
3	吹田第三小学校	6	103	92	89	62	90	90	72	90	77	68	88
4	吹田東小学校	3	34	38	39	46	47	61	49	59	42	48	55
5	吹田南小学校	9	159	148	125	142	132	140	165	146	149	156	148
6	吹田第六小学校	2	31	46	37	37	42	47	57	41	62	51	47
7	千里第一小学校	5	111	92	119	116	136	111	145	151	139	134	142
8	千里第二小学校	9	164	212	169	158	175	172	184	204	189	174	169
9	千里第三小学校	16	143	153	173	165	164	181	205	194	175	175	178
10	千里新田小学校	5	105	142	116	119	133	153	145	149	121	132	116
11	佐井寺小学校	9	75	88	101	90	112	101	109	106	102	100	101
12	東佐井寺小学校	3	62	69	75	65	69	79	68	71	93	94	75
13	岸部第一小学校	4	87	71	73	56	46	54	42	42	44	37	46
14	岸部第二小学校	2	46	52	59	78	67	69	78	92	118	97	100
15	豊津第一小学校	16	236	170	205	193	187	171	151	167	205	152	176
16	豊津第二小学校	6	140	132	112	91	98	89	88	84	67	79	91
17	江坂大池小学校	2	77	71	72	80	73	62	75	81	70	79	73
18	山手小学校	3	51	65	70	79	81	75	86	94	72	110	100
19	片山小学校	13	122	149	125	134	144	135	151	141	160	155	165
20	山田第一小学校	2	67	59	83	64	89	85	83	96	91	88	102
21	山田第二小学校	7	88	95	87	95	98	106	106	107	100	93	78
22	山田第三小学校	1	37	49	45	59	51	46	46	43	56	47	43
23	山田第五小学校	1	26	34	27	34	23	37	30	25	32	17	34
24	東山田小学校	6	62	81	89	88	104	124	140	145	174	153	174
25	南山田小学校	10	111	104	113	114	117	137	127	146	139	158	168
26	西山田小学校	0	39	48	46	49	53	55	61	71	54	89	85
27	北山田小学校	3	59	85	79	65	61	87	61	84	75	79	91
28	千里丘北小学校	2	83	82	115	135	157	161	165	173	199	157	127
29	佐竹台小学校	1	55	65	84	75	99	88	117	114	136	148	133
30	高野台小学校	1	46	51	62	53	62	52	50	50	52	45	40
31	津雲台小学校	6	75	79	98	100	114	103	104	124	111	118	107
32	古江台小学校	9	102	109	122	135	108	138	140	127	105	106	105
33	藤白台小学校	5	71	114	107	119	135	135	134	163	168	139	143
34	青山台小学校	3	65	68	72	47	57	54	57	61	55	54	48
35	桃山台小学校	3	76	103	106	101	120	119	129	134	130	138	135
36	千里たけみ小学校	8	57	47	54	65	52	71	52	73	70	72	66

(1)

(単位:人)

NO	学校名	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳	20歳	21歳
1	吹田第一小学校	43	45	42	39	47	59	54	47	48	82
2	吹田第二小学校	71	55	71	70	50	64	62	87	80	89
3	吹田第三小学校	69	84	73	87	90	87	104	110	109	118
4	吹田東小学校	56	52	51	55	46	64	65	85	83	83
5	吹田南小学校	136	135	117	137	105	107	111	132	115	149
6	吹田第六小学校	43	44	52	38	61	45	57	61	57	73
7	千里第一小学校	132	103	150	118	149	131	167	158	146	148
8	千里第二小学校	198	166	159	155	156	158	153	176	195	228
9	千里第三小学校	192	205	181	195	183	163	178	181	204	192
10	千里新田小学校	132	123	126	133	123	120	113	121	114	131
11	佐井寺小学校	92	114	104	91	83	116	89	114	102	108
12	東佐井寺小学校	97	83	99	121	101	112	102	132	125	104
13	岸部第一小学校	39	45	49	43	42	56	50	74	83	78
14	岸部第二小学校	111	81	118	94	97	83	68	94	88	73
15	豊津第一小学校	190	180	188	168	176	157	191	222	216	239
16	豊津第二小学校	81	89	91	107	95	100	96	153	125	147
17	江坂大池小学校	70	65	73	60	57	64	55	68	47	69
18	山手小学校	75	90	81	106	82	94	95	113	140	127
19	片山小学校	154	125	139	125	108	136	125	144	163	199
20	山田第一小学校	73	82	100	80	106	88	85	96	110	105
21	山田第二小学校	90	76	100	79	74	71	85	112	93	104
22	山田第三小学校	47	57	59	74	55	66	69	83	78	95
23	山田第五小学校	32	43	44	40	58	46	39	42	54	34
24	東山田小学校	211	167	203	204	179	175	190	179	193	164
25	南山田小学校	190	201	215	194	223	217	238	235	214	201
26	西山田小学校	73	82	77	77	89	79	75	87	101	98
27	北山田小学校	87	98	76	90	91	95	72	100	86	90
28	千里丘北小学校	136	95	63	66	50	33	33	20	27	18
29	佐竹台小学校	131	129	138	81	94	106	96	119	106	93
30	高野台小学校	44	44	56	41	49	54	51	53	45	63
31	津雲台小学校	99	90	81	80	81	85	57	90	82	124
32	古江台小学校	108	103	111	111	108	102	104	108	73	122
33	藤白台小学校	125	118	126	130	116	105	99	132	114	119
34	青山台小学校	44	44	52	51	47	63	45	42	54	40
35	桃山台小学校	135	126	136	119	100	95	105	107	80	88
36	千里たけみ小学校	64	56	79	49	59	43	33	41	40	42

(2)

(単位:人)

NO	学校名	22歳	23歳	24歳	25歳	26歳	27歳	28歳	29歳	30歳	31歳
1	吹田第一小学校	77	119	107	139	144	128	147	128	110	136
2	吹田第二小学校	90	124	128	171	121	137	146	150	146	159
3	吹田第三小学校	131	127	145	154	139	145	167	133	155	173
4	吹田東小学校	96	91	108	110	82	85	77	71	63	75
5	吹田南小学校	165	195	238	235	257	268	265	277	255	263
6	吹田第六小学校	66	70	94	123	104	103	111	98	92	71
7	千里第一小学校	160	166	168	159	195	178	168	156	181	144
8	千里第二小学校	203	209	158	127	144	132	140	151	124	158
9	千里第三小学校	234	196	185	195	168	144	143	157	170	192
10	千里新田小学校	115	116	117	109	98	99	113	104	100	131
11	佐井寺小学校	117	90	110	97	72	56	79	88	71	96
12	東佐井寺小学校	124	93	97	109	83	80	88	81	86	92
13	岸部第一小学校	98	109	137	120	138	168	147	155	155	160
14	岸部第二小学校	73	82	69	78	57	89	75	71	69	71
15	豊津第一小学校	268	393	519	609	648	653	635	631	567	544
16	豊津第二小学校	113	221	252	312	315	308	325	314	309	287
17	江坂大池小学校	70	76	86	79	100	87	76	107	95	103
18	山手小学校	136	119	124	100	119	80	96	74	78	76
19	片山小学校	160	166	153	162	137	144	121	141	144	171
20	山田第一小学校	96	96	69	94	75	75	80	79	71	85
21	山田第二小学校	89	105	83	82	80	71	74	87	96	94
22	山田第三小学校	74	81	66	64	74	72	58	74	62	61
23	山田第五小学校	40	53	43	31	39	33	33	31	34	42
24	東山田小学校	182	144	136	127	138	104	98	103	91	99
25	南山田小学校	194	167	144	115	107	96	104	111	117	114
26	西山田小学校	119	92	87	65	60	57	59	67	51	65
27	北山田小学校	78	80	87	80	98	89	86	82	96	88
28	千里丘北小学校	22	21	12	8	11	6	15	17	35	35
29	佐竹台小学校	97	99	85	108	67	72	73	62	75	71
30	高野台小学校	52	48	52	28	37	39	35	54	43	53
31	津雲台小学校	143	129	125	143	148	103	70	90	68	78
32	古江台小学校	111	92	100	95	50	74	69	86	85	90
33	藤白台小学校	112	92	122	95	91	65	72	83	76	76
34	青山台小学校	46	45	56	52	60	67	78	88	93	91
35	桃山台小学校	77	88	73	73	68	69	66	70	68	57
36	千里たけみ小学校	38	40	30	36	29	38	42	52	62	58

(3)

(単位:人)

NO	学校名	32歳	33歳	34歳	35歳	36歳	37歳	38歳	39歳	40歳	41歳
1	吹田第一小学校	112	103	93	123	95	98	101	97	105	98
2	吹田第二小学校	159	142	125	119	137	149	143	138	117	132
3	吹田第三小学校	141	153	112	151	162	129	138	118	118	144
4	吹田東小学校	73	59	72	57	61	79	75	72	76	78
5	吹田南小学校	275	227	224	221	243	238	230	259	237	214
6	吹田第六小学校	96	85	64	68	78	66	75	93	92	82
7	千里第一小学校	150	149	157	161	153	171	175	201	195	181
8	千里第二小学校	178	189	188	199	194	181	200	237	241	239
9	千里第三小学校	176	197	185	200	227	222	248	227	222	263
10	千里新田小学校	134	127	121	148	192	163	177	197	175	187
11	佐井寺小学校	86	82	92	112	101	106	114	108	109	129
12	東佐井寺小学校	110	103	81	107	97	87	120	128	118	110
13	岸部第一小学校	146	135	114	129	131	120	97	111	98	102
14	岸部第二小学校	77	79	67	90	79	104	89	126	118	125
15	豊津第一小学校	508	477	418	402	388	392	399	423	408	399
16	豊津第二小学校	297	251	237	228	215	204	205	215	224	182
17	江坂大池小学校	101	103	106	93	105	107	100	120	104	109
18	山手小学校	82	93	93	101	100	102	107	93	105	109
19	片山小学校	156	162	177	174	210	185	199	182	199	146
20	山田第一小学校	74	79	106	98	96	91	114	114	107	116
21	山田第二小学校	89	100	113	95	126	117	134	131	120	123
22	山田第三小学校	63	69	79	58	63	59	74	67	79	66
23	山田第五小学校	32	49	31	44	44	44	42	50	45	44
24	東山田小学校	91	91	112	139	114	157	142	148	179	199
25	南山田小学校	146	134	134	131	139	140	149	134	189	214
26	西山田小学校	57	65	57	66	74	82	73	73	102	106
27	北山田小学校	81	88	104	104	95	104	97	110	117	121
28	千里丘北小学校	59	75	96	119	147	142	183	164	170	162
29	佐竹台小学校	83	60	86	83	80	86	114	99	137	138
30	高野台小学校	58	54	60	44	64	56	55	62	65	71
31	津雲台小学校	74	70	95	112	109	118	132	125	130	147
32	古江台小学校	78	107	126	111	145	133	131	128	166	145
33	藤白台小学校	88	98	109	118	134	131	157	147	204	166
34	青山台小学校	74	93	89	73	85	79	100	68	102	99
35	桃山台小学校	103	74	84	101	115	126	160	137	177	169
36	千里たけみ小学校	69	61	65	69	51	75	72	98	77	87

(4)

(単位:人)

N0	学校名	42歳	43歳	44歳	45歳	46歳	47歳	48歳	49歳	50歳	51歳
1	吹田第一小学校	99	83	88	85	87	96	105	118	123	134
2	吹田第二小学校	104	106	134	117	114	112	124	159	176	147
3	吹田第三小学校	113	124	144	156	171	156	173	171	187	196
4	吹田東小学校	75	88	83	91	94	92	102	117	133	134
5	吹田南小学校	210	216	190	237	215	220	256	241	257	279
6	吹田第六小学校	67	92	71	94	81	90	82	94	128	95
7	千里第一小学校	183	211	208	177	216	228	222	227	241	235
8	千里第二小学校	200	243	236	230	252	218	201	235	243	223
9	千里第三小学校	238	244	265	248	255	258	268	267	290	287
10	千里新田小学校	161	146	146	161	178	174	160	202	168	213
11	佐井寺小学校	114	137	115	140	102	117	131	156	132	156
12	東佐井寺小学校	118	109	133	147	117	150	142	194	167	152
13	岸部第一小学校	114	72	84	88	102	110	114	141	113	126
14	岸部第二小学校	119	117	133	121	142	155	128	140	165	151
15	豊津第一小学校	391	361	392	368	358	424	429	444	462	472
16	豊津第二小学校	207	208	203	242	226	213	240	243	270	243
17	江坂大池小学校	119	121	113	89	129	113	103	116	138	108
18	山手小学校	116	115	144	136	129	134	151	187	152	184
19	片山小学校	157	198	164	217	203	180	199	219	194	195
20	山田第一小学校	111	98	123	125	125	144	137	169	168	160
21	山田第二小学校	120	115	132	124	126	129	148	135	146	147
22	山田第三小学校	60	67	63	60	86	81	113	130	124	111
23	山田第五小学校	42	54	53	57	57	66	54	74	76	71
24	東山田小学校	206	262	215	247	242	265	255	306	304	311
25	南山田小学校	175	205	232	258	244	308	334	342	351	370
26	西山田小学校	100	85	96	129	126	116	134	160	162	162
27	北山田小学校	113	110	121	141	147	133	158	151	176	154
28	千里丘北小学校	173	168	123	113	110	91	82	72	64	41
29	佐竹台小学校	134	141	185	156	148	166	140	177	187	184
30	高野台小学校	50	75	64	75	79	60	74	91	94	102
31	津雲台小学校	142	136	141	144	143	132	135	137	152	148
32	古江台小学校	115	138	155	121	124	114	132	122	164	168
33	藤白台小学校	159	170	195	178	167	161	192	196	227	214
34	青山台小学校	95	74	101	88	93	107	92	89	117	115
35	桃山台小学校	156	169	182	173	180	168	196	196	225	188
36	千里たけみ小学校	89	122	110	116	127	112	137	153	149	105

(5)

(単位:人)

NO	学校名	52歳	53歳	54歳	55歳	56歳	57歳	58歳	59歳	60歳	61歳
1	吹田第一小学校	125	132	116	148	127	96	108	123	101	91
2	吹田第二小学校	156	181	149	149	130	101	112	121	113	115
3	吹田第三小学校	195	176	196	186	181	134	164	156	144	161
4	吹田東小学校	157	152	139	132	110	98	110	100	81	98
5	吹田南小学校	244	223	229	216	200	179	199	163	143	151
6	吹田第六小学校	111	118	93	90	82	96	80	113	82	81
7	千里第一小学校	235	237	255	233	238	211	219	210	195	203
8	千里第二小学校	244	259	245	239	230	206	183	177	172	185
9	千里第三小学校	282	283	279	270	284	214	210	222	179	182
10	千里新田小学校	188	174	201	208	169	153	185	184	159	128
11	佐井寺小学校	154	136	157	135	120	127	118	105	88	79
12	東佐井寺小学校	166	146	144	152	130	118	119	137	134	127
13	岸部第一小学校	118	108	128	112	117	95	93	93	79	75
14	岸部第二小学校	149	139	100	124	125	105	105	122	87	92
15	豊津第一小学校	477	386	417	432	335	299	293	300	271	218
16	豊津第二小学校	264	215	251	231	203	181	183	162	163	149
17	江坂大池小学校	152	93	108	90	105	91	111	94	89	82
18	山手小学校	142	162	149	148	133	120	137	118	126	115
19	片山小学校	191	223	229	217	179	132	171	151	159	133
20	山田第一小学校	151	146	129	132	137	109	128	123	130	95
21	山田第二小学校	152	165	162	131	131	111	130	122	113	106
22	山田第三小学校	129	119	119	127	121	116	137	100	129	122
23	山田第五小学校	69	63	79	91	65	48	54	60	53	62
24	東山田小学校	309	270	267	285	226	184	176	171	171	146
25	南山田小学校	292	314	269	269	254	194	220	199	170	181
26	西山田小学校	158	174	136	145	150	134	129	152	134	119
27	北山田小学校	158	156	168	124	144	112	111	148	109	105
28	千里丘北小学校	54	36	44	41	24	15	15	13	19	19
29	佐竹台小学校	213	200	182	170	169	134	156	130	134	130
30	高野台小学校	87	85	115	118	101	97	124	94	101	88
31	津雲台小学校	142	138	143	132	120	96	96	96	111	100
32	古江台小学校	188	162	192	203	179	153	169	175	145	147
33	藤白台小学校	222	221	194	203	214	179	210	209	204	178
34	青山台小学校	109	109	103	98	110	88	111	95	88	83
35	桃山台小学校	185	203	182	177	187	130	164	139	149	129
36	千里たけみ小学校	126	132	126	114	93	93	105	90	78	82

(6)

(単位:人)

NO	学校名	62歳	63歳	64歳	65歳	66歳	67歳	68歳	69歳	70歳	71歳
1	吹田第一小学校	91	94	84	96	91	90	80	92	109	82
2	吹田第二小学校	89	75	86	100	72	72	78	85	71	87
3	吹田第三小学校	145	99	116	135	111	120	94	109	95	116
4	吹田東小学校	98	72	65	57	70	79	83	73	81	106
5	吹田南小学校	130	123	107	109	108	94	101	90	88	105
6	吹田第六小学校	69	77	57	69	48	57	63	67	57	64
7	千里第一小学校	183	181	184	162	143	125	151	144	141	146
8	千里第二小学校	151	128	163	149	106	144	151	127	142	138
9	千里第三小学校	183	178	142	163	164	153	150	159	175	141
10	千里新田小学校	141	133	123	127	120	98	106	98	89	115
11	佐井寺小学校	80	56	52	69	56	51	47	60	43	46
12	東佐井寺小学校	134	123	140	130	114	129	107	126	148	125
13	岸部第一小学校	84	84	79	76	76	64	81	72	71	89
14	岸部第二小学校	78	84	78	78	63	79	74	92	88	102
15	豊津第一小学校	238	216	203	206	163	168	176	189	186	176
16	豊津第二小学校	120	121	123	131	96	101	97	113	115	130
17	江坂大池小学校	65	66	72	70	60	53	59	64	57	83
18	山手小学校	98	88	94	82	92	98	93	81	99	84
19	片山小学校	131	129	115	111	110	105	97	104	96	115
20	山田第一小学校	107	93	92	80	109	78	103	88	88	94
21	山田第二小学校	108	87	103	96	72	86	85	93	102	97
22	山田第三小学校	116	103	83	79	100	100	116	86	99	86
23	山田第五小学校	44	63	59	59	58	58	53	61	60	59
24	東山田小学校	146	142	148	132	119	133	127	162	138	170
25	南山田小学校	141	140	145	130	102	102	111	123	102	111
26	西山田小学校	110	92	104	137	109	106	109	123	142	125
27	北山田小学校	99	110	116	112	107	101	96	112	134	125
28	千里丘北小学校	12	12	10	17	15	19	13	11	21	5
29	佐竹台小学校	136	115	133	130	112	111	107	128	117	107
30	高野台小学校	95	96	63	100	59	69	76	82	93	81
31	津雲台小学校	98	84	86	76	81	83	92	81	76	87
32	古江台小学校	130	114	122	113	122	111	94	116	115	120
33	藤白台小学校	196	170	144	144	136	124	122	109	108	113
34	青山台小学校	76	71	65	79	63	61	62	86	79	93
35	桃山台小学校	135	102	96	115	114	96	93	97	113	122
36	千里たけみ小学校	73	79	74	80	57	56	61	81	88	73

(7)

(単位:人)

NO	学校名	72歳	73歳	74歳	75歳	76歳	77歳	78歳	79歳	80歳	81歳
1	吹田第一小学校	106	122	134	132	122	92	60	77	100	87
2	吹田第二小学校	98	120	128	137	131	111	87	99	94	116
3	吹田第三小学校	113	159	178	186	186	134	98	128	128	124
4	吹田東小学校	86	104	118	152	131	134	98	103	133	108
5	吹田南小学校	111	125	127	136	152	117	87	109	107	96
6	吹田第六小学校	69	98	81	99	97	85	60	69	78	65
7	千里第一小学校	173	211	216	229	252	152	122	147	168	146
8	千里第二小学校	151	179	170	191	217	136	113	110	115	113
9	千里第三小学校	190	181	204	192	227	135	122	137	106	117
10	千里新田小学校	92	94	116	132	139	79	49	77	72	69
11	佐井寺小学校	51	52	55	65	67	52	35	41	46	45
12	東佐井寺小学校	148	170	180	175	193	130	76	107	91	91
13	岸部第一小学校	89	107	125	123	121	90	61	84	91	101
14	岸部第二小学校	108	128	122	144	149	113	85	108	129	134
15	豊津第一小学校	196	210	213	226	227	177	102	132	138	127
16	豊津第二小学校	138	154	161	150	170	101	73	92	93	81
17	江坂大池小学校	87	79	82	98	97	54	41	69	51	59
18	山手小学校	114	95	124	114	116	115	71	98	85	83
19	片山小学校	98	101	143	162	142	112	82	89	114	89
20	山田第一小学校	119	95	144	132	142	97	51	75	78	74
21	山田第二小学校	111	123	97	141	124	112	69	94	88	74
22	山田第三小学校	124	122	135	124	151	106	89	97	108	86
23	山田第五小学校	70	64	85	97	94	70	43	58	72	45
24	東山田小学校	195	215	227	279	300	200	115	130	136	140
25	南山田小学校	126	141	147	194	176	126	83	103	116	97
26	西山田小学校	136	160	163	226	205	166	101	117	155	105
27	北山田小学校	127	161	155	186	181	133	85	100	104	90
28	千里丘北小学校	18	24	25	12	13	15	8	6	10	8
29	佐竹台小学校	135	144	147	152	172	115	92	124	132	125
30	高野台小学校	82	85	108	117	118	74	46	80	88	97
31	津雲台小学校	88	91	95	100	99	85	48	76	69	66
32	古江台小学校	117	134	164	158	151	94	89	93	109	112
33	藤白台小学校	144	153	163	186	174	135	84	114	116	123
34	青山台小学校	82	92	105	105	103	87	65	83	98	86
35	桃山台小学校	112	146	134	136	161	110	97	105	112	106
36	千里たけみ小学校	88	97	109	130	129	104	61	87	96	112

(8)

(単位:人)

NO	学校名	82歳	83歳	84歳	85歳	86歳以上	計
1	吹田第一小学校	87	90	71	60	463	8,136
2	吹田第二小学校	96	72	78	65	493	9,570
3	吹田第三小学校	133	107	107	85	588	11,571
4	吹田東小学校	128	115	106	94	494	7,795
5	吹田南小学校	110	88	68	58	398	14,861
6	吹田第六小学校	100	61	62	54	362	6,670
7	千里第一小学校	153	119	96	106	669	15,074
8	千里第二小学校	121	104	84	68	591	15,598
9	千里第三小学校	143	137	97	57	666	17,091
10	千里新田小学校	67	65	60	40	309	11,463
11	佐井寺小学校	35	38	45	33	175	7,936
12	東佐井寺小学校	90	66	63	49	272	9,872
13	岸部第一小学校	96	95	63	69	494	8,398
14	岸部第二小学校	132	77	85	82	382	8,766
15	豊津第一小学校	133	122	87	67	545	25,789
16	豊津第二小学校	82	92	60	59	337	14,462
17	江坂大池小学校	66	36	47	32	262	7,343
18	山手小学校	89	63	58	43	354	9,205
19	片山小学校	90	79	73	50	442	12,991
20	山田第一小学校	77	48	48	56	282	8,739
21	山田第二小学校	92	85	57	49	325	9,168
22	山田第三小学校	113	71	70	61	396	7,504
23	山田第五小学校	54	49	40	36	169	4,424
24	東山田小学校	137	99	85	65	347	14,704
25	南山田小学校	104	96	79	59	384	14,770
26	西山田小学校	141	113	92	79	485	9,267
27	北山田小学校	101	90	68	72	389	9,492
28	千里丘北小学校	13	13	14	3	31	5,261
29	佐竹台小学校	118	108	106	97	633	10,815
30	高野台小学校	76	89	73	87	576	6,478
31	津雲台小学校	77	65	68	56	400	9,128
32	古江台小学校	115	118	102	97	779	11,133
33	藤白台小学校	124	117	98	92	677	12,612
34	青山台小学校	111	95	85	85	528	7,171
35	桃山台小学校	124	115	116	92	616	11,183
36	千里たけみ小学校	126	101	108	88	523	7,282
							381,722

(9)

山田第五小学校における学校規模適正化に係る市長発言内容

1 令和 5 年（2023 年）9 月定例会

質問日	質問者	質問内容	市長発言内容
令和 5 年（2023 年）9 月 20 日	玉井 議員（日本共産党）	<p>8 年前、2015 年 11 月の山五小の 30 周年の行事がありました。その少し前から山五小の児童数が少なくなってきたことは地域の方も心配をされていて、どうすれば、これまで築いてきた地域のコミュニティを残していけるのかというお話を、私も 2014 年の秋にお聞きをしました。その翌年、2015 年の 11 月の 30 周年の行事での市長の挨拶の発言は、山五小は小さいながらも思い出がある、潰しません、残しますと明言され、市長はよく分かってくれていると、皆さん大変期待をされました。これは、無責任な発言だなというふうに、計画と合わせたら思うのですが、これはどういうことでしょうか。担当部の答弁は要りません。市長の答弁のみを求めます。</p>	<p>教育委員会はこれまでも地域状況の変化に応じて、学校規模の適正化を進めてまいりました。それは、児童や生徒の教育上、最も妥当な対応策であるという教育理念に基づくものです。</p> <p>行政として、これからも取り組むであろう、取り組まざるを得ないであろう学校規模適正化において、教育委員会の最終的な判断を尊重し、多くの保護者を含む地域の皆様に対して、誠意ある対応を行った上で、円滑にその実現を図る責任を果たしてまいります。</p>
令和 5 年（2023 年）9 月 22 日	益田 議員（日本共産党）	<p>様々な懸念が示されていたわけですが、このままスケジュールありきで進めることは、教育委員会、それと保護者並びに地域との間の溝が深まってしまいます。2025 年 4 月からの統合は一旦白紙にすべきではないでしょうか。そして、保護者へ</p>	<p>これまでも本市では、社会状況の変化に対応して、幾つもの地域で学校規模の適正化に取り組む責任を教育委員会が主となって果たしてまいりました。また、それに伴う地域住民の皆様への対応を行政が行ってまいりました。</p> <p>学校の統廃合、校区見直し、学校の新設、このような場合は、子供の教育</p>

	<p>のお声に耳を傾け、丁寧な説明と意見集約の機会を設けるべきです。市長と教育長に答弁を求めます。</p>	<p>環境を整えるためという大義名分に異論はないにしても、その変化に対して、地域に必ず摩擦が起こります。</p> <p>その必要性については、教育委員会が説明をします。また、地域への対応については、行政として今回も誠意を持ってその対応に当たらせていただきます。</p>
--	---	--

2 令和5年（2023年）11月決算常任委員会

質問日	質問者	質問内容	市長発言内容
令和5年（2023年）11月6日	玉井議員（日本共産党）	<p>2022年の5月17日から6月15日までの期間で実施をされた山五小保護者へのアンケートは、1、南山田の小学校区の一部を山五小へ校区変更する。2、山三小、山五小を統合する。3、学校選択制を導入し、近隣の小学校の児童が希望により山五小に通学することを可能とする。この三つの案について示し、三つの案について意見、そしてほかの意見も聞くもので、あくまでも過大や過小などの課題はあるので、三つの案を示し、懸念や利点などを聞いたものであったとのことでした。</p> <p>このアンケートは、保護者にとっては方針を決めるために聞かれたものではないという受け止めでした。</p> <p>保護者から寄せられていた意見は、これまでと環境が変わることや、子供への影響を懸念する声がほとんどで、特に環境が大きく変わることになる2案の山三小と山</p>	<p>詳細につきましては、ただいまの御答弁のとおりです。そのようなアンケート結果の概要はお聞きしております。</p> <p>ただ、私、当該地域に40年以上住んでいまして、恐らくこの中で最もこの区域の問題については詳しいものと自負をしておりますが、その中で様々に意見をお聞きしております。保護者も地域も、それから山五だけじゃなくて山三からの御意見とかもお聞きをしております。その上で適切に教育委員会、市民部中心に対応していきたい、そのように考えております。</p>

		<p>五小の統合については利点がないと回答されてきました。</p> <p>山五小保護者へ実施されたアンケートとその結果について、市長はどのような報告を受けたのでしょうか、お答えください。</p>	
令和5年(2023年)11月6日	玉井議員(日本共産党)	<p>アンケートの中では、保護者からは子供への影響を懸念する声が多くありました。学校で過ごすのは子供です。以前いじめに関する問題が起こったときに、こどもSOSカードを実施して、その後返事はされませんでしたけれども、そのときも市長は子供の意見や声を聞く場を設けていきたいというふうに言われていましたし、子供の意見を大切にしたいとお考えかと理解をしています。その姿勢は私も同じです。子供の意見や卒業した子供の意見を聞いてみようということを市長自身はお考えにならなかったのでしょうか。</p>	<p>ただいま教育委員会から答弁がありました。この問題を最も責任を持って判断すべきは教育委員会です。これは教育の問題です。責任を持って判断をしてまいります。</p> <p>行政としての大切なことは、その教育環境をよりよいものにするために、どうサポートできるかということです。その責任を教育委員会と共に果たしてまいります。</p> <p>子供の声という話ですが、子供というのはゼロ歳児から子供ですけれども在校生と理解をします。求めに応じて在校生につきましては、話し合う場を持つこと自体、それを拒むものではありません。かえってありがたいことです。声を聞くとともに理解をしてもらうということ、一部認識を持っておられる在校生がおられるのを知っています。その方々にお話をする場を持ちたいと思っております。</p>
令和5年(2023年)11月6日	玉井議員(日本共産党)	<p>意見を聞くのは大事なことですし、理解してもらうというの少し違うかなというふうに思いますし、在校生だけでなく、学校は建ててからしばらくの間があるわけですから、卒業生にも思いがあるというふうに思います。在校生としか話を聞かないというの少し残念な考え</p>	<p>対象が一般市民である場合と、教育を受ける立場である子供である場合と、その意見の聞き方は私は異なると思っています。例えば、在校生が山五を廃校にしないでくれと全員一致したってこれはやります。これは教育の責任です。しかし、それが、相手が市民の皆さんであれば、それは見直します。それが行政の責任であり、教育委員会の責任と考えておりま</p>

(3)

		<p>方かなというふうに思うんです。</p> <p>あとは子供に理解をしてもらおうという考え方でなくて、大人の押しつけとならないような、子供には子供の意見表明権がありますから、そのような意見をきちんと聞いて反映させていくという姿勢が必要じゃないかなというふうに思うんですけれども、そのことについて、子供に関わる施策についてそもそも子供の意見を聞いて反映をさせていくということについて市長はどのようにお考えでしょうか、お答えください。</p>	<p>す。</p>
<p>令和5年(2023年)11月6日</p>	<p>玉井議員(日本共産党)</p>	<p>対象が在校生であればかということではなくて、私はこの山五小と山三小の統廃合について意見を聞くかと聞いているんですから、市民が広く対象であれば意見は反映するけれども、範囲が狭ければ反映しないというふうに理解したくなるんですけど、その理解で本当によろしいんでしょうか。私は、そこは、子供は意見を聞いてほしいというふうに言うてきているということは、意見を反映させてほしいというふうに言っているんじゃないかなというふうに思っているんですけれども、そういう理解をさせていただきますけれども、それで本当によろしいんでしょうか。</p>	<p>意見の内容によります。もっとこうあってほしい、例えば、私も直接お聞きしていますけれども、プール授業はどうあってほしい、トイレはどうあってほしい、それから運動場の周りの樹木はどうあってほしい、これは本当にその学校で教育を受けている子供たちの意見を聞くべきです。それはまた先生方からこちらにも伝わってきますし、そういう要望、意見というのはもちろんお聞きします。</p> <p>今問題になっているのは、学校そのものの今後の在り方はどうあるべきか、1学年一クラス、その教育的な配慮というのはどう考えたらいのか、いじめが起こったらどうなのか、これは教育委員会から強く報告を受けてます、過小校は問題ありと。そういう意味では、子供たちのことを考えて行う行政判断につきましては、その意見により左右されることはない。ただし、統合することによって不</p>

(4)

			<p>安なこと、問題が起こることについてはしっかり対応していただく、その声はお聞きする、丁寧にお答えするとすればそういう答弁になります。</p>
--	--	--	--

※1, 2については、吹田市議会議事録検索システムにおいて、平成27年(2015年)から令和5年(2023年)11月までの質問、答弁のうち、山五小学校または山田第五小学校をキーワードとして検索した結果です。

3 平成29年度夏期タウンミーティング(地域自治会意見交換会議)

質問日	質問者	質問内容	市長発言内容
平成29年(2017年)6月12日	住民	少子化で児童数が減少している。山田第三小学校に近隣の山田第五小学校を統合するような計画はあるのか。	教育委員会も、「小規模校も大規模校もそれぞれよい所はある」と言っている。規模の違う学校を認めているのだから、特徴を出して地域間の差別化をはかるのもありだと思う。北千里小の時は、職員は大変な目にあい、いまだに心の傷となっている。地域から上がって来るのでなければ、校区変更はすべきでないを考える。
平成29年(2017年)6月30日	住民	5年に一度の国勢調査に合わせて、小学校区の区割りの変更を検討してはどうか。地理的に近い学校に行けずに遠方の学校に行く実態があるが、子どもと保護者の生活圏内を対象にした区割りにすることは可能ではないか。	山五小学校は山三小学校の過大校対策としてできた学校だが、今では山三の児童数も相当減り、山五は200人を切りそう。全学年1クラスなので、クラス対抗リレーができないし、いじめが起きてもクラス替えできない。一方で1,400人の南山田などマンモス校もある。200人の学校と1,400人の学校では教育環境が余りに違うが、このままでよいのかと教育委員会と議論したことがあるが「上限と下限があり、吹田の小学校はそれには収まって いる。小規模校も大規模校も、それぞれによさがあり、小学校ごとの多様性が生まれているのであろう」というのが教委の解釈だった。 教育は全部均一の環境で提供される

			<p>べきであるという考えがあるが、はたしてそうか。男子校、女子校があり、山の分校も、都会の学校もあり、校舎の形も、先生もさまざまである。そこに生まれ育ったらその学校に行かないといけない、というのはある意味運命ではないか。全ての小学校の人数を揃えるために10年かけて校区を変更する、という取組をしている自治体もあるが、吹田市は、範囲内であればそれぞれ特徴を出せばよいという考え方だ。</p> <p>ただ限界もあり、山五は少な過ぎて限界だと思うが、そうすると地域の問題が出てくる。地域の小学校と言うが、学校の主役は子どもであって、それを地域が支えるもの。地域の合意なしに触るな、と言うのは主客転倒ではないか。開発計画などと合わせて各学校の児童数はみな推計していて、今のところは統廃合はせずに済みそうである。</p>
--	--	--	--

4 吹田市連合自治会ネットワークテーブル

質問日	質問者	質問内容	市長発言内容
令和5年(2023年)11月20日	住民	それをお願いしたいのと、もう一つはね。小学校統廃合の問題で、地域の方は大いにもめておるんですけど。その原因は教育委員会の対応の悪さ。ほんまに教育者かなというような雰囲気の人が窓口になっておるんで、なかなか前進まない。こないだ市長と話したときに、適切に親切に説明せいという話の一つもないんですよ。市長からもっともっと言うってください。それだけです。	<p>山五統廃合もご苦労お掛けしてます。</p> <p>統廃合いうのはどこでも議論がわきます。</p> <p>吹田市がやっぱり統廃合に慣れてない。人口増加してますから、学校作ることはあってもやめることって、北千里は昔ありましたけれども、あのときにも、とんでもないことになったわけですよ。</p> <p>全国で統廃合がどんどん進んでる。それから校区変更も進んでる。それに吹田市は慣れてない。だんだんそれに皆さん慣れていただ</p>

(6)

			<p>かんと、(統廃合は) これからも起こります。</p> <p>もうすでにこれは問題やなあ言うぐらいの、過小規模校はもう生まれてきてますんで、そこの対策が教育委員会は子供中心にまずやります。</p> <p>で、子供中心にやってその次地域なんですよ。</p> <p>でも説明会ってのは、先に地域の話が出てくる。そこをうまいこと教育委員会が言い切らなあかんのですよ。「子供のためにやることです。それに対して地域の皆さんのフォローをお願いしたい」って堂々と言えばいいんですけど。やっぱり慣れてないんですね。</p> <p>「いやなるべく皆さんにご迷惑をおかけせんように…」って、それって教育委員会がする話じゃないんですよ。皆さんにご迷惑をおかけするしないじゃなくて、「子供に対して我々はこれをやるんです。地域に関しては市民部からお答えさせていただきます」とズバツと言うたらいいんですけど。</p> <p>なんかそれ多分言えてないですよ。</p>
--	--	--	--

令和5年度8月定例教育委員会会議の議事録における学校規模適正化に関連する部分等

日時 令和5年(2023年)8月16日午後3時30分～午後4時00分

場所 さんくす3番館5階 第1会議室

委員 教育長 西川 俊孝、教育長職務代理者 安達 友基子、委員 福田 知弘、
委員 和田 光代、委員 飴野 仁子、委員 谷池 雅子

説明員 学校教育部長 山下 栄治、教育監 植田 聡、学校教育部次長教育総務室長兼務
落 俊哉、学校教育部次長学校教育室長兼務 角田 睦、地域教育部次長放課後
子ども育成室長兼務 堀 哲郎、教育未来創生室長 薬師川 晃、保健給食室長
小西 正晃、学校教育部総括参事 平野 和男、教育センター所長 木谷 美香、学
校教育部総括参事 大江 慶博、青少年室長 大川 雅博、教育総務室参事 紙谷
昌明、教育未来創生室参事 木村 匡志、学校教育室参事 西 慎一郎

(～略～)

○西川俊孝教育長

それでは、日程第2、議案第60号「吹田市学校規模適正化実施計画(第2期)案の方向性について」を議題とします。事務局の説明を求めます。

○木村匡志教育未来創生室参事

日程第2、議案第60号「吹田市学校規模適正化実施計画(第2期)案の方向性について」御説明申し上げます。本案は、昨年度から過小規模校となっている山田第五小学校に係る学校規模適正化実施計画(第2期)案の策定に向けた取り組みに対し、教育委員会と市長部局との役割分担を明確にした上で、学校規模適正化に伴う地域への影響については、市長部局が具体策を検討し対応するにあたり、まず教育委員会が適正化の案について、方向性を市長部局に通知する必要があるため、方向性を定めるものでございます。まず、方向性の内容から御説明いたします。恐れ入りますが、議案書7ページを御覧ください。山田第五小学校の学校適正化の方向性の内容につきましては、別紙資料の項目1の(2)でお示しする通り、山田第五小学校を山田第三小学校に統合するものでございます。また、当該統合に伴い現山田第五小学校の通学区域である山田南及び山田市場9番から11番までを、山田中学校から

(1)

西山田中学校の通学区域に見直しを行うものでございます。なお、その経過措置といたしまして、山田南及び山田市場9番から11番にお住まいの児童につきましては、当分の間、中学校への進学時に西山田中学校、または山田中学校のいずれかを選択できることとするものでございます。次に、別紙資料の項目の2、方向性の内容に至った理由でございます。まず、個別の事情について検討した結果、今回の過小規模校の主な原因は、山田第三小学校から山田第五小学校を分離新設したことで、二つの校区面積の小さい小学校ができたことであると考えております。特に、校区面積が小さい山田第五小学校はすでに過小規模校となっており、一方の山田第三小学校も将来、過小規模校となる見込みでございます。次に、通学区域の見直しを検討いたしましたが、隣接する山田第三小学校及び岸部第二小学校は、学校規模が大きくないため、通学区域の見直しを実施すること自体が困難な状況でございます。南山田小学校との通学区域の見直しにつきましては、将来、山田第三小学校の過小規模校化の問題が残る見込みであることから、その手法を選択することは困難であると判断いたしました。続きまして8 ページをお願いいたします。次に、学校の統合につきましては、山田第三小学校と統合することで、山田第五小学校の学校規模適正化が実現できることに加え、将来、山田第三小学校の過小規模校化の問題も1度に解決できること。また、両校がほぼ隣接しているため、通学路に大きな変更が発生しないことから、最善策であると判断いたしました。次に、学校選択制の導入につきましては、当該制度を活用する児童の有無が不透明であり、将来にわたってすべての学年で導入効果を発揮することが不確実であることから、その手法を選択することは困難であると判断いたしました。最後に、今後の進め方でございますが、予定といたしまして、来月には保護者や地域諸団体に対する説明会を開催し、本年度中に第2期の学校規模適正化実施計画を教育委員会会議に提案させていただこうと考えております。以上簡単な御説明ではございますが、御審議いただきまして、原案の通り御承認いただきますようお願い申し上げます。以上でございます。

○西川俊孝教育長

それでは、この件について、質問、御意見はございませんか。

○福田知弘委員

御説明ありがとうございました。いろいろと御検討された上での御提案かと思えますけども、詳しいところをもう少し確認させていただければと思います。山田第五小学校と山田第三小学校の学校規模、現在のですね学校規模とその将来推計についてもう少し教えていただけますか。

○木村匡志教育未来創生室参事

山田第五小学校につきましては、昨年度より1学年1学級、全体でも6学級の過小規模校となっております。今後増加する見込みはございません。山田第三小学校は現在12学級です

(2)

が、来年度には10学級となり、令和14年度には6学級の過小規模校となる見込みでございます。以上でございます。

○和田光代委員

山田第五小学校と山田第三小学校が統合することによる効果を教えてください。

○木村匡志教育未来創生室参事

山田第五小学校と山田第三小学校が統合することで、学級数としては12学級から14～5学級ほどとなりまして、標準規模の学級数で推移するものと見込んでおります。なお、山田第三小学校をベースに統合するという案につきましては、山田第三小学校の方が保有教室数も多く、運動場も広いことから、山田第三小学校への統合が良いと判断し、選択をさせていただきました。以上でございます。

○安達友基子教育長職務代理者

今おっしゃられた2校を統合することによって、通学距離というのはどのように変化しますか。

○木村匡志教育未来創生室参事

小学校につきましては、これまでより通学路が、約500メートルほど長くなるものと考えております。各小学校における学校までの最も長い通学距離の市内平均というのが、約1.1キロであるのに対して、今回、山田第五小学校で、山田第三小学校まで、最も長い通学距離というのが、約1.2キロになるというところで、市内平均よりも若干上回る見込みで考えております。以上でございます。

○安達友基子教育長職務代理者

今、距離についてお聞きしましたが、その通学の経路、通学路について何か課題がありましたら教えてください。

○木村匡志教育未来創生室参事

山田第三小学校への想定する新通学路の一部につきまして、道路の幅員が大変狭く、歩道もない、路側帯もない上に、自動車が対面通行するというような道路がございます。この部分につきましては、山田第五小学校の敷地内に新たな通学路を新設させていただきまして、危険箇所を回避するような対応を考えているところでございます。以上でございます。

○飴野仁子委員

山田第三小学校と山田第五小学校との統合について、保護者の方々からいろいろな御意

(3)

見とお考えがあるかと思うんですが。どのようなお考えか御紹介いただければと思います。

○木村匡志教育未来創生室参事

昨年度、保護者であるとか、地域の方であるとか、そういった方の御意見をお伺いしたいということで、アンケートを実施させていただきました。山田第五小学校と山田第三小学校の統合というところにつきまして、山田第五小学校の保護者の中で最も多かった意見が、中学校区が変更となることへの懸念でございました。次に多い意見が、通学路が遠くなることに対する懸念でございました。この二つの御意見が全体の大半を占めていたと認識をしております。3番目に多かった意見が、その他、という分類にさせていただいております。その他の内容でございますが、山田中学校に通えるようにして欲しいといった御意見や、出身校がなくなるので寂しい、できれば残して欲しいといった御意見。あと、地域活動への影響が大きいといった御意見もございましたし、統合は良い案だと、というような、賛成の意見もございました。以上でございます。

○谷池雅子委員

学校規模適正化の議論は今後も続くと思うので、その観点から質問させてください。今回通学区域の見直し並びに学校選択制の導入というのも併せて検討されていると思いますが、今回それらが選択されなかった理由を教えてください。

○木村匡志教育未来創生室参事

まず、通学区域の見直しでございますが、山田第三小学校及び岸部第二小学校につきましては規模がそれほど大きくないというところから実施が困難であること。残り隣接する南山田小学校について、見直しというところを検討させていただきました。その見直しの検討結果ですけれども、今回の過小規模校化の根本原因というところの解消に繋がらず、山田第三小学校の過小規模校化の課題が残ってしまうこと。根本原因の解消に繋がらない手法により、当事者でない南山田小学校の児童が友人と別れる形で転校となり、児童や保護者の納得を得ることが困難であるのではないかと考えたこと。南山田小学校の児童数は減少傾向にありまして、今後の推計においても減少が続くと見込んでいること。山田第五小学校の中長期的な適正化を実施するには、広範囲の通学区域の見直しが必要であり、それを実施した場合に、山田第五小学校の現行の校舎では、教室不足が発生し、大規模な校舎の増築工事が必要であると、そういった課題がございました。次に、学校選択制の導入につきましては、小規模特認校制を導入して、特色ある教育カリキュラムを実施することでの課題解決を検討しまして、実際に実施している先進市への現地視察も行っております。検討した結果といたしましては、山田第五小学校の全学年の単学級の解消には最低でも70人以上が、将来にわたって継続して、当該制度を活用する必要がございますが、実際の先進市の実績からも、そこまでの効果や継続性が不確実であるというふうに考えまして、課題としてとらえております。統合につき

(4)

ましては、山田第五小学校の児童に転校が発生し、また中学区域が変わり、通学距離が遠くなるといった課題がございますが、当事者の教育環境が確実に改善をされること、また、中学校区の課題は、経過措置を導入することなども考慮しまして、また個別の事情として、歴史的な経過なども総合的に検討した結果、統合が最善の手法であると、我々としては考えております。以上でございます。

○安達友基子教育長職務代理者

今の御説明の中で、中学校について経過措置を導入するとおっしゃったと思いますけども、ちょっとそれについてもう一度御説明いただいてもいいですか。理由などをお聞きできたらと思います。

○木村匡志教育未来創生室参事

今回の統合により、これまで山田中学校区であった、山田第五小学校が西山田中学校区となります。これまで山田中学校までの通学距離が約500メートルほどであったのに対しまして、西山田中学校までの距離が約1.7キロほどになり、児童や保護者が懸念を示すということを想定いたしまして、どちらの中学校も選べる経過措置というところを導入するに至りました。以上でございます。

○和田光代委員

小学校の統合による地域の影響はどのように考えておられますか。

○木村匡志教育未来創生室参事

今回の統合による地域への影響を少なくしたいというふうに考えております。これまでの諸団体の活動や公共施設の利用については、なるべく従来通りに行うことができるよう、配慮する方向で、市長部局と調整しようと考えております。以上でございます。

○福田知弘委員

統合に向けて、方向性を決めていくということですけど、統合した結果ですね、その次に今の児童の方への心理的な影響が発生するかもしれないなど、予想するわけなんですけども、それに対するケアですね、そのあたりどのようにお考えでしょうか。

○木村匡志教育未来創生室参事

過去の学校の統廃合におきましては、児童への心理的なケアといたしまして、統合先の学校に児童が移動すると、それに合わせて教員等の人事配置を合わせて行うというような配慮を実施をいたしております。なお、今回の統合に伴いまして、両児童の統合がスムーズに進むように、1年かけて合同運動会であるとか、合同遠足など交流事業の実施であるとか、あと、ス

クールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを他校より手厚く配置するといった取り組みも検討をしているところでございます。今後開催する保護者への説明会におきましても、保護者さんが抱く心配事であったり、御意見というところを聞きながら、積極的に対応策を検討していきたいと考えているところでございます。以上でございます。

○飴野仁子委員

先ほど今後の進め方ということで、9月以降に保護者の方々や地域の団体の方に対して説明会を開催されるというお話でした。先ほどお答えいただいたときにも保護者の方々に対してからアンケート等でお声をいただいているということでしたけれども、大多数の方だけじゃなくて、少数の御意見についても、きちっと御説明をして御対応いただくような形で進めていただきたいと思います。意見として申し添えます。

○木村匡志教育未来創生室参事

説明会では、丁寧に御説明させていただくとともに、いただいた意見につきまして、真摯に検討対応させていただきたいと考えております。以上でございます。

○西川俊孝教育長

それでは、この件を承認することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○西川俊孝教育長

異議なしと認め、議案第60号「吹田市学校規模適正化実施計画(第2期)案の方向性について」を承認します。

(～略～)

令和5年度10月臨時教育委員会会議の議事録における学校規模適正化に関連する部分等

日時 令和5年(2023年)10月23日午後3時30分～午後4時00分

場所 さんくす3番館5階 第1会議室

委員 教育長 西川 俊孝、教育長職務代理者 安達 友基子、委員 福田 知弘、
委員 和田 光代、委員 飴野 仁子、委員 谷池 雅子

説明員 学校教育部長 山下 栄治、教育監 植田 聡、学校教育部次長教育総務室長兼務
落 俊哉、学校教育部次長学校教育室長兼務 角田 睦、地域教育部次長放課後
子ども育成室長兼務 堀 哲郎、教育未来創生室長 薬師川 晃、保健給食室長
小西 正晃、学校教育部総括参事 平野 和男、教育センター所長 木谷 美香、学
校教育部総括参事 大江 慶博、青少年室長 大川 雅博、教育総務室参事 紙谷
昌明、学校管理課長 砂川 智和、学校教育室参事 荒木 大輔、教育未来創生室
参事 木村 匡志、放課後こども育成室参事 中村 暢之、教育未来創生室主幹 土
井 俊佑

(～略～)

○西川俊孝教育長

それでは、日程第1 陳情第2号「学校規模適正化(第2期:山田第五小学校区)に関する陳情書について」を議題といたします。

事務局の説明を求めます。

○紙谷昌明教育総務室参事

日程第1 陳情第2号「学校規模適正化(第2期:山田第五小学校区)に関する陳情書について」御説明いたします。

議案書3ページを御覧ください。

学校規模適正化(第2期:山田第五小学校区)に関する陳情書が、令和5年9月13日付で、山五の未来のために議論を望む保護者の会、代表矢野様より提出されております。

最初に陳情書の陳情事項についてですが、陳情書の主訴としましては、教育委員会に対し、提案された学校規模適正化(第2期:山田第五小学校区)について、より深い議論のもと、新たな

(1)

案とともに構築していくために、今回の適正化案の撤回を求めるものとなっております。

次に、陳情の理由について御説明いたします。

まず、陳情の背景としましては、今回、学校規模適正化において最も重要なことは、学区の再編成に関して保護者の声を聞くこと。

これまで教育委員会は十分に対話を行っておらず、子供たちの代弁者である保護者の意見と懸念を無視することは容認できない。

そのため、保護者との、建設的な対話、保護者の声を尊重した上で、新たな案の創造に取り組んでいくことを望むことから、陳情書の提出に至ったとのこと。

次に陳情の理由としまして大きく3点ございます。

1点目は、実際の子供たちの状況を把握しないまま話が決められていること。

2点目としまして、保護者との話し合いを十分に行っていないこと。

3点目に、市が実施しました学校規模適正化に向けた方策に対するアンケート結果の使い方に異議不信感があることとされております。

以下、保護者の会の方々からヒアリングした内容も加えながら、順に概要を御説明させていただきます。

まず1点目、実際の子供たちの状況を把握しないまま話が進められていることについてです。

提案された学校規模適正化の実施スケジュールは、過度に早急であり、当事者の保護者や子供たちの理解が得られないまま進んでおり、通学路の安全確保やメンタルヘルスについて具体的な中身が伴っていない状況です。

先月、9月9日、16日に行った保護者説明会前の8月25日に、学校側から全児童へ統合案の説明がなされ、それ以降学校に行く前に、児童が両親に学校がなくなるのと、不安を口にするようになったお話を保護者の会の方々の間でも耳にするなど、実際に不安定になっている子供がずでにおられるとあります。

統合後、教員の増員やスクールカウンセラーの配置について、説明がありましたが、現在、すでにしんどさを感じている子供たちへの配慮について、教育委員会は一切考えていません。

また、教育委員会は、過小規模校への対応は早急に必要であるとのこと、保護者へ示された問題点が5点あり、1つ目としまして、クラス替えができないことによる人間関係の固定化。

2つ目としまして、集団内の役割分担や序列から抜け出せない場合がある。

3つ目としまして、人間関係のトラブル時にクラス替えができずに、逃げ場がなくなってしまうことがある。

4つ目としまして、集団内の男女比に極端な偏りが生じることがある。

5つ目としまして、多様な価値観に触れる機会が少なく、社会性や対人スキルの向上に課題がある。

この5点を教育委員会は、問題として保護者に説明しています。

これらにつきましても、保護者の会の方々には問題であると受けとめておらず、ヒアリングした事例をお伝えしますと、1つ目、クラス替えができないことによる人間の固定化につきましても、保

護者会の方々は、横の繋がりには限界であるが、縦の繋がりがある、学校だけではなく、良い人間関係がつくれている。

また、先生方の目が行き届いているため、人間関係も固定化していない、とのお考えを持たれており、問題点としては考えておられません。

今後、少人数学級が進められていくと考えられますが、山田第五小学校はすでに少人数での学校運営がなされており、子供たちも問題なく成長しています。

過小規模校による問題点も山田第五小学校の現状を把握してもらえば、問題ないことがわかります。

そのため、学区の再編には、実際の子供たちの現状を調査した上で、より時間をかけて慎重、綿密に計画を練り直し、関係者の協力を得て実施すべきと考えておられ、陳情理由もその旨が記載されております。

次に2点目、保護者との話し合いを十分に行っていないことについて御説明します。

2022年4月19日にPTAに対して示された基本方針案が同年5月20日に白紙となって以降、2023年9月9日に第1回の保護者説明会が開かれるまで、統合案についての説明、保護者との対応が一切設けられておらず、初めてその保護者説明会において、決定事項として統合案が提案されました。

また9月9日の保護者説明会においても、統合案であるにもかかわらず、統合の是非を考え直すスタンスは、教育委員会側にはなく、保護者の意見を聞いてもらう状況とは言えず、平行線のまま、説明会が終了したと感じておられます。

保護者の会としては、学校規模適正化について、教育委員会と対応の上、進めてもらいたい思いがあるにもかかわらず、このまま進められることは到底納得できるものではないとの陳情内容となっております。

最後に3点目、学校規模適正化に向けた方策に対するアンケート結果の使い方に異議不信感があることについて御説明します。

アンケートを取るための基となる案が白紙になったにもかかわらず、今回の統合案のためにとつた、通常のアンケートの結果のように扱われていることに異議を唱えられておられます。

山田第五小学校区の方々は、声を届けたい一心で、多くの方がアンケートに答えていますが、案が白紙になったことで、山田第五小学校区以外の方の意見が十分に反映されたものになっているかも疑問であり、また、そもそも山田第五小学校区の方々とその他の小学校区の方々では、立場や利害関係が異なる中、アンケート結果という同じ土俵で比較検討するものではないと考えられておられます。

これらの経緯から、このアンケートは有効なものとは言えず、その結果を、今後の方向性を決める材料にしないでいただきたいとの陳情内容となっております。

○西川俊孝教育長

ここまでについて、質問、御意見はございませんか。

(3)

○福田知弘委員

陳情の理由の第2段落で「最も重要なことは、保護者の声を聞いていただくことだと思います」ということがあって、さらに少し飛ばしますが、「保護者の意見と懸念を無視することは許容できません」というふうに先方は主張されておりますが、この部分について、先ほどもあったかもしれませんが、事務局の見解を述べていただけますか。

○木村匡志教育未来創生室参事

教育委員会事務局としまして、保護者の声は聞くべきであると考えておりまして、山田第五小学校のPTAの役員さんとは、令和元年から対話をしてきています。

昨年、山五小学校だけではなくて、山三小学校、南山田小学校、岸二小学校、こういった校区の未就学児、小学生、中学生の保護者からも、アンケートを通して、広く御意見であるとか、懸念というところをお伺いしながら進めているところでございます。

また、今年度、保護者説明会につきましても、これまで山五、山三、計8回、実施させていただいて、直接、保護者さんのお声をお聞きするとともに、パブリックコメントも並行して実施し、文書でも意見募集をさせていただいているところでございまして、決して保護者さんの意見や懸念を無視するというようなことは、いたしておりません。

○和田光代委員

陳情書の陳情理由の真ん中あたりのところで、第1の部分についてなんですけど。「過度に早急であり、通学路の安全の確保やメンタルヘルスの具体的な対策がなされていないと、具体的な中身が伴っていない」、「過小規模校の問題として挙げた点について、山五の現状の検討や把握がされていない」ということですが、事務局としてはどういうふうにとらえているか、お聞かせ教えてください。

○木村匡志教育未来創生室参事

教育委員会事務局としましては、先ほども申し上げた通り、令和元年度からPTAと対話をしておりまして、令和2年度から、外部委員で構成する審議会を立ち上げて、令和3年度にその答申を受けて、基本方針を策定して、また、令和4年度、これも先ほど申し上げた通り、アンケートにより、保護者から意見をお聞きして、山五小の学校規模適正化の内部協議、これだけでも計50回以上重ねて検討を進めて参りました。

そういった意味でも過度に早急であるとは我々としては考えていない状況でございます。

通学路の安全対策につきましても、新たな通学路を作る旨の具体的な案を提示させていただいたり、児童の精神的なケアにつきましても、教職員の増員であったり、SC・SSWの体制強化であったり、この統合に伴って、山五の先生が山三と一緒に行くみたいな、人事面での配慮というところもお話をさせていただいている状況でございます。

(4)

また、山五小学校の現状の検討や把握をしていないというような御指摘をいただいておりますけれども、当然、我々、学校現場とは、情報共有はさせていただいております。

過小規模校による問題が発生しないように、法律が定める教員の定数にプラスする形で、吹田市独自で教員を市費で、これまでも二名加配している状況でございます。

我々としては、過小規模校の問題が顕在化していないから、現状でよいと考えているのではなくて、子供たちの教育環境として最も良い状態を常に目指して、その努力をするという姿勢でございます。

○西川俊孝教育長

他に、この件について、質問、御意見はございませんか。

○安達友基子教育長職務代理者

過小規模であることによって、どんな弊害というか悪いことがあるのか、具体的にどういうことがあって問題と考えているのかを教えてくださいてもよろしいですか。

○木村匡志教育未来創生室参事

過小規模校で、今まさに山五で顕在化している問題につきましては、男女比で大きな偏りが生じるという一般的な小規模校のデメリットがあるんですけれども、まさに山五である学年につきましては女子児童が大変少ないと、いう問題が顕在化しているという状況でございます。

○谷池雅子委員

アンケートが1回案が白紙になったという陳情書には書いてありますけど、アンケートで、例えば複数の案を提示されて、御意見を聴取されて、非常にそれがある意味、住民の方からの意見を聴取する機会だったと思うんですけども。

このアンケートとの取り扱いですよね。せっかく聴取された御意見をどういう形で、全く廃棄になったのかそれともその取り入れてらっしゃるのかその辺を教えてくださいたいと思います。

○木村匡志教育未来創生室参事

昨年6月11日でございますけれども、スケジュール等の見直し、まさに複数案提示しているところを、白紙にさせていただくという、御説明を地域に出向いて、その場にはPTA役員さんもいる中で御説明をさせていただきました。

その中で、「アンケートの位置付けについてどうさせていただきますでしょうか」というような問いかけをさせていただいたところ、「このアンケートはゼロにはせずに、このアンケートの意見から今後議論をスタートして欲しい」という、御発言がございましたので、そこは我々、お約束させていただいて、今後の施策に活用させていただくこととして、取り組んできたところでございます。

そのアンケートをどういうふうに反映したかというところでございますけれども、山五小校区で

(5)

多かった意見というのが、統合に関しまして、中学校区に影響があるということ、通学路が遠くなるという懸念、その二つが特に突出して多かった御意見でございまして、この保護者さんの御心配というところに、我々配慮させていただくというところで、今回の統合案の経過措置で、山田中学校、西山田中学校どちらでも選択できるとさせていただいているところでございます。

○谷池雅子委員

先ほどの安達委員の御意見と少し重複するんですけども。過小規模であると、今現状で山五では男女の偏りが出ているということですけども、過小規模はあまり望ましくないというのは、おそらく吹田市の独自のルールじゃなくて、全国的にそういう話になっていると思うんですけども。今は男女の偏り、それ以上はなくても、今後どうということが起こりうるか、過小規模校は解消しないとあかんという、その辺をもうちょっと教えてもらってもいいですか。

○角田睦学校教育部次長学校教育室長兼務

学校や教職員に直接指導助言する立場の学校教育室からお答えさせていただきます。過小規模校、過大規模もそうなんですけども、どちらもデメリット・メリットはあると思うんです。ただ、子供たちが、様々な関係の中で育っていくということでいえば、いろんな子供たちと関わっていく方がより社会性が身についたり、学習面での効果があるということはあるので、やはり人間関係が固定化されていくということについては、いろんな教育活動に影響が出るものと考えております。

○安達友基子教育長職務代理者

陳情書の理由の第2の部分において、保護者との話し合いを十分に行っていない。スケジュール等の見直しから説明会まで対話が一切設けられていない。きちっと対応して今後のことを一緒に話し合っ進めたいという記載があります。この部分について、事務局のお考えをお聞きしてもよろしいでしょうか。

○木村匡志教育未来創生室参事

この対話の場の設定ですけれども、対話の場を設定した場合に、山田第五小学校の保護者だけでは、完結せずに、例えば山田第五小学校の未就学児の保護者であったり、影響を受ける南山田小学校等の隣接する小学校の保護者にも出席いただいて、意見を聞くということになると思っております。

そうした場合に、様々な地域や立場の違いから、意見の対立であるとか、分断であるとかっていうところもは想定がされます。

また、今の子供たちだけではなくて、10年、15年と、そういった将来を見据えた議論も必要になってきます。

で、その責任を負うであるとか、またその責任を果たすことができるというのが、まさに我々教

育委員会であると考えております。

そのような考えをもとに、一緒に話をして進めるというのではなくて、アンケートによって、様々な地域であったり、立場の方々の御意見を伺った上で、我々、教育委員会が責任を持って取り組むことが最善であると我々としては判断しているところでございます。

○安達友基子教育長職務代理者

今ちょっとまたアンケートの話が出まして、先ほど谷池委員からも御質問あったとこなんですけれども、特に大事なところかと思うのでちょっともう一度確認ですけれど。

この陳情書の中にも、アンケートの案が白紙になったのに、通常のアンケート結果のように取り扱うことに異議を唱えるという記載がありました。

ちょっとこなんですけれども、アンケートの案が白紙になったっていうのが一体どういうことで、実際そういうことがあったのかどうなのか。

それがあったとした時に、それでも今回アンケートを中止するのではなくて、採用していくということになった過程についてちょっと御説明ください。

○木村匡志教育未来創生室参事

昨年度、我々、教育委員会としましては、学校規模適正化について、課題のある学校については、すべて1度に解決をするというようなスタンスで、まず候補の学校として、藤白、千二、千三、豊一、山五、この5つの小学校を抽出させていただいて、1度に解決をする方向で議論をして参りました。

その話を進める際に、アンケートを実施して、保護者なり、関係者の御意見をきちんとお伺いするということで進めていたんですけれども、かなり保護者さんからの反響が大きくて、また地域の方に関しましては市長部局を通して、様々な反対であったり、心配される御意見をいただいたということで、我々としては、市内一度に課題を解決するというのはなかなか難しいと考えました。

1校1校、丁寧に進めるべきであると方針を見直しさせていただいて、スケジュール等につきまして、見直しをさせていただいたという経過がございます。

この時に1度アンケートで御提示をしていた、複数案、山五小学校でしたら、三つ案を御提示させていただいております。

1つ目が南山田小学校との、通学区域の見直し。

2つ目が山三小学校との統合。

3つ目が学校選択制の導入ということがあったんですけれども、一旦スケジュール等見直しすることなので、この案を一度白紙にさせていただくというお話をさせていただきました。

その際に、このアンケートを実施している最中であつたんですけれども、取り扱いをどうさせていただきますでしょうかというので、PTA役員さんや地域の方がたくさんいる中で、問いかけたところ、「このアンケートは是非とも続けて欲しいと。延長してでも続けて欲しい。」

「このアンケートをゼロにするのではなくて、今後の議論のスタートにして欲しい」というようなお声がありましたので、そこはきちんとお約束させていただいて、今日に至っているという状況でございます。

○谷池雅子委員

校区の変更とかそういうことがありましたら子供のメンタルヘルスっていうのは大変心配になります。

実際、陳情書にもメンタルヘルスをちょっと不調をきたしている子供さんがいるということが書いてありますけども。

いろいろ教育委員会の先生方の中で学校現場のいわゆる先生もいらっしやると思いますから、そういう目線から見て、過去の経験も踏まえて、子供に与える影響をどのように考えてらっしゃるのか、それに対してどういうふうに対応するのか、ということに関してお答えいただけたらと思います。

○角田睦学校教育部次長学校教育室長兼務

当該校においてですね、子供一人一人の実態を踏まえた対応っていうのは不可欠です。

子供たちにとって安心な環境、期待感が持てる取り組み、何よりこれまで培ってきた友達関係の継続、あるいは新たな友達関係づくりといった配慮する点は多々あると考えます。

私自身の学校現場での教員並びに校長として経験した視点や内容から申し上げますと、子供たちの中には、環境の変化に敏感であり、心のもやもやしたものを伝えることがなかなか苦手な子供がいます。

その時は、学級担任をはじめ多くの教員が、様々な立場に関わり、相談支援をすることで、次につなげることもできます。

おそらく、学校の統合により、これまでの友達関係や先生との関わりがどうなっていくのか、どんなクラスや学校なのか新しい環境への不安は大きいことは想定されます。

しかしながら、子供たちは柔軟で環境に慣れ親しみやすく、私たち教職員が想定する準備が不要であったことも時にはありました。

私自身、学校の統廃合に直接関わったことはありませんが、前任校の校長の時には、小中一貫教育のリーディングスクールであったため、小学校同士の子供たちが頻繁に関わり合う取り組み、イベントではなくて、1年間を通じて、日常的な接点という意味での取り組みがありました。

二つの小学校のうち、小規模な学校に私も在籍しておりましたので、多人数の子供たちとどう関わるのか、不安な児童もおり、教員が丁寧な説明と見守りを準備しておりましたが、当の子供たちは、初めて会う他校の子供と慣れるのにはそんなに時間はかからなかったというふうに見ています。

事前に子供たちとの対話の中で、不安要素を聞き取るとともに、期待感が持てる、例えば「今以上の友達関係がつかれるよ」、あるいは「新たな出会いがたくさんあるよ」といったような、これか

ら見える違った世界といったものを、どれだけ提供してあげるかというのが学校教育には大事だと考えております。

当該校の山田第三小学校、山田第五小学校の子供たちに、どのような情報をどのようなタイミングで提供するかといったことは、学校と教育委員会がしっかりと一緒に考えて示していきたいと考えております。

○飴野仁子委員

保護者からいただいている声と、それと本日、教育委員会から、これまでの経緯、それから保護者の方々への説明のところを聞いておりましたが、何かちょっとここにギャップがあると感じました。

今日の御説明の中で教育委員会からも、このようなことに対してずっと丁寧な対応をされてきているというところは理解できます。

それで、ちょっと申し添えたいのは、すごく気になりますのは、保護者からの声の中で、子供たちに動揺というか、すでにメンタルの部分でも、いろんな影響が出ているというような声がございました。

これからの学校というのは、学校適正化のことに限らず、学校、それから子供たちそれから親、それから教育委員会と一緒に手を携えていかないと、できないところであります。

子供の意見とありましたが、その前に、どういうことが起きていて、どういうことを一緒に考えていこうねというような説明を、きちんとするかどうか、しているかどうかで子供の理解、受け留めは違うのではないかと思います。

今次長の方からも御説明ありましたけども、これからの方が大変だと思います。

ここが重要なんだということをこれから、保護者の方々と教育委員会と一緒に携えながらやっていくべき段階に入ってるので、お互いに知恵を出し合いながらやらなければならないと強く思います。

わだかまりを超えて、一緒により良くするためにどうしていこうか、っていうことを思います。

小規模校が良くないから移るとかじゃなくて、やっぱり全体に教育の質というか本当に良くしていくためにということであるはずだったので、そういった目的も含めて、忘れないようにする必要がありと思っています。

○薬師川晃教育未来創生室長

御意見ありがとうございます。

まきにおっしゃっていただいたように、今回の適正化については子供たちの学ぶ場っていうのをより良くすることが大事でございます。

それを進めていくにあたりましては、やはり今現状でも子供たちの負担感というのもございますし、実際に準備を進めていく段階だったらもっこの負担感が増えてくると思います。

それにつきましては、保護者の方からも、改善するための方策と御意見もきっちりお聞きしながら

ら、可能な限り対応できるように、教育委員会、学校と連携して進めて参りたいと考えております。

○飴野仁子委員

大人の対立で子供たちに不要な不安をつくらぬよう努める、そのようなことが必要かなというふうに思います。

私自身も小学生の頃、学校規模の適正化で、学校を変わった経験があります。その時の気持ちというのはわかるつもりではおります。

○西川俊孝教育長

それでは、この陳情については、採択をするかしないか、可否を決めなければいけません。皆さんにお1人お1人、採択、あるいは不採択、を表明していただこうと思いますので、採択ということになりましたら、適正化案は、取り下げということになり、次の議案第75号は取り下げになります。

不採択ということになりましたら、続いて、適正化案の議論をしていくということになります。どなたからでも構いませんので、お願いできますか。

○和田光代委員

私は不採択でお願いします。

○福田知弘委員

私も不採択でお願いします。

理由はいろいろお聞きしている中で、陳情理由を述べられているんですが、事務局の見解を確認させていただいたところ、そうでもない。

もちろん、不安はおありだと思うので、これから対話を築き続けていくということは大切だと思っています。

○安達友基子教育長職務代理者

私も結論としては不採択という考えです。

理由ですけれども、陳情書ですね、拝読しております、書かれている御意見というのはとても理解ができる場所です。

ですけれども、事務局からも説明があったように、保護者とか地域の方々というのはいろんなお立場の方がいらっちゃって、意見をたくさん聞いて話し合いをして、例えば、多数決で決めているような事なのかというと、そういう事ではないという事の性質としては理解できる場所なので、決めなければならないというところも理解をしています。

御説明の中にもあったように、すでに男女比等でかなり深刻な状況も出てきているということ

考えると、ある程度のスピード感というのも持たざるをえないのかなという理解です。
ですので、今回の陳情書については不採択としつつ、さらに説明を尽くすこと、それから子供たちに対しても、さらなる配慮をもって、今後進めていくことが最善であるというふうに考えます。

○谷池雅子教育委員

私も、不採択に一票入れます。

といいますのは、皆さんがおっしゃったことプラス、次のですね、吹田市学校規模適正化実施計画の討議に移るべきだと思いますので、不採択といたします。

○飴野仁子委員

不採択と考えます。

理由は、多数決ではないです。

これまでと今後考えたときに、多数決ではなく不採択という意見で、申し上げます。

○西川俊孝教育長

それでは、この陳情書について、すべての委員から不採択ということで表明していただきましたので、不採択と決してよろしいでしょうか。

〔「異議なし」の声あり〕

○西川俊孝教育長

異議なしと認め、陳情第2号「学校規模適正化(第2期:山田第五小学校区)に関する陳情書」について、不採択といたします。

次に、日程第2 議案第75号「吹田市学校規模適正化実施計画(第2期)案について」を議題とします。

事務局の説明を求めます。

○木村匡志教育未来創生室参事

議案第75号吹田市学校規模適正化実施計画(第2期)案について、御説明申し上げます。

本市は児童生徒数の増加により学校規模が過大となるとともに、教室不足が見込まれる学校がある一方で、少子化により過小規模となる学校も見られるなど、児童生徒の教育環境に対する課題がございます。

本実施計画は、このような状況の中で、子供たちにとってよりよい教育環境を作ることを目的に、吹田市学校規模適正化基本方針に基づき、適正化を実施する対象校及び具体的な手法、実施時期等をお示しするものでございます。

それでは本実施計画の概要を御説明いたします。

(11)

恐れ入りますが議案書10ページを御覧ください。

第1章 基本方針の概要では、適正な学校規模に関する基本的な考え方、学校規模の分類及び適正化が必要な範囲、課題解決の具体的な方策についてお示しをしており、基本方針の主な内容を改めて記載しているものでございます。

次に議案書11ページをお願いいたします。

第2章の第2期学校規模適正化事業の対象校では、山田第五小学校を対象校としてございます。

その理由につきましては、山田第五小学校は昨年度から1学年1学級、計6学級の過小規模校となっており、今後の児童数推計におきましても、過小規模校が継続する見込みであり、かつ児童数が減少し続け、改善の見込みがないことから、第2期の学校規模適正化として取り組むものでございます。

続きまして、第3章 山田第五小学校の学校規模適正化の具体的な手法としましては、具体的内容や実施する学校規模適正化の効果をお示ししております。

令和7年度に山田第五小学校を山田第三小学校に統合し、また、当該統合に伴い、山田南及び山田市場9番から11番については、西山田中学校の通学区域に見直しを行います。

なお、経過措置としまして、当分の間、当該地域に住んでいる方は、西山田中学校、山田中学校のいずれかを選択することができることといたします。

議案書12ページをお願いいたします。

この取り組みの効果としましては、統合後の小学校が12学級から15学級の標準規模で推移する見込みであることから、学校規模の課題を改善できるものと考えております。

次に13ページをお願いいたします。

第4章 山田第五小学校の学校規模適正化に向けた取り組みとしまして、通学路の安全確保や、校舎の改修等による教育環境の整備をお示ししております。

通学路の安全対策につきましては、新たな通学路の確保やグリーンウオークの整備、防犯カメラ、防犯灯の設置など、関係機関と連携し、検討することとしております。

続きまして、14ページをお願いいたします。

最後に第5章 今後の適正化の取り組みとしましては、児童生徒数の推計の状況や、大規模な住宅開発等を注視しながら、学校規模適正化の必要性について検討を行うこととします。

以上、簡単な御説明ではございますが、よろしく御審議いただき、御承認賜りますようよろしくお願い申し上げます。

○西川俊孝教育長

それでは、この件について、質問、御意見はございませんか。

○福田知弘委員

この第2期案に関しまして、すでに山田第五小学校区の方で説明会をなされていると伺いまし

(12)

たが、どのような意見が出たか具体的に教えてください。

○木村匡志教育未来創生室参事

9月9日の土曜日と9月16日の土曜日に小学校の保護者と、あと未就学児の保護者を対象に、まず2回ずつ、計4回の説明会を実施いたしました。

そこでの主な意見としましては、「スケジュールが早すぎる。この短期間で進めるのは、どうなのか」といったような御意見。

また、「経過措置で中学校を選択する期間というのをきちんと示して欲しい」といった御意見。

あと、「統合によるいじめや不登校」を心配するような御意見。

「中学校までの通学距離が遠過ぎる」というような御意見。

「統合後の小学校の名称について」の御意見など、様々ございました。

また、「統合という結論に至るまでの検討・経過であったり、あと分析結果等の情報開示を求める」といった意見もございました。

また、「再度説明会を実施して欲しい」といった御意見もございました。

○福田知弘委員

最後におっしゃった追加の説明会の要望に対して、実際に実施されたのでしょうか。

どういう御意見があったかとか、そのあたり併せて教えてください。

○木村匡志教育未来創生室参事

保護者からの御要望を受けまして、10月14日の土曜日に追加で説明会を開催いたしまして、これまでいただいた御意見に対する修正案であったり、求められていました情報開示を行いました。

具体的には、児童の精神的ケアの対応のお声に対しまして、我々、義務標準法で定める定数に加配するような形で、複数の教職員を市費でさらに配置をする検討をさせていただくということであったり、経過措置を具体的に示して欲しいということでしたので、十年間は保証させていただくというような回答、あと、学校の名称に関しましては、山田第三小学校のままというふうには決定せずに、当事者の児童の意見をきちんと聞いた上で、総合的に判断させていただくという修正案を提示させていただきました。

○谷池雅子委員

2ページ目の3番ですね、課題解決の具体的な方策の(1)の過小規模校に対する方策で、個別の事情等を十分考慮した上で、まず通学区域の見直しを検討すると書いてあります。

それについてですね、南山田小学校との通学区域の見直しをまず考えられたと思うんですけども、その案が、課題が多い、要するに採択されなかった理由というのをちょっと具体的に教えてもらってよろしいですか。

○木村匡志教育未来創生室参事

まず、南山田小学校との通学区域の見直しを実施した場合に、今回の山五の過小規模校化の主な原因というのが、もともと山三小学校がそれほど大きくない小学校区であったんですけれども、そこが約児童2,000人ぐらいの過大規模校化してしまったので、その校区を半分に割るような形で、山五小学校を分離新設しました。

その時に、それぞれの山三小学校が0.4平方キロメートルで、山五は0.3平方キロメートルと、市内平均が大体1平方キロメートルのところを、かなり小さい二つの校区ができてしまった。

この大変小さい校区というところが、今回の過小規模校化の主な原因であると考えております。山五だけではなくて山三も将来、過小規模校化してしまうというような問題をはらんでいるという状況の中で、南山田小学校区と通学区域の見直しをした場合に、山五の方は適正化が実施されるんですけれども、一方、山三の方に問題が残ってしまうというところで、今回の校区面積が小さいという根本原因の解決には至らないというところが1点でございます。

さらに、この根本原因が解決しない手法であるのに、南山田小学校の児童が転校しないといけません。

友達と離れ離れになって転校しないといけないという状況が発生する。

これは、南山田小学校の児童であったり保護者であったりというところが御納得いかないのではないかと考えてございます。

また、南山田小学校区と通学区域の見直しをする場合に、継続的に長期にわたって山五小学校の適正化を実現するためには、かなり広大なエリアを山五小学校の校区にしないといけないと、そうした場合に、児童が山五小学校にどっと転校してくる。

その受け皿となる教室が全く山五小学校の現状では足りていないです。

8教室ぐらいの教室不足が発生して、大規模な校舎の増築をしないといけないというマイナスのデメリットもあると考えております。

その他、例えばそれを実施した場合に、社会教育施設である公民館が、山五小学校区に二つ、南山田小学校区の中にはゼロというような状況も発生してきたりとか、数々のデメリットがある中で、この案は選択できないという結論に至ったところでございます。

○西川俊孝教育長

途中ですが、ちょっとオンラインの繋がりが悪いので暫時休憩したいと思います。

○西川俊孝教育長

それでは、会議を再開いたします。

○和田光代委員

少し前に戻るんですが、追加説明会の中で検討期間が短い、方向性を示してから期間が短

い、という御意見があったんですが、これに対する事務局の考えを再度確認させていただけますか。

○木村匡志教育未来創生室参事

山田第五小学校も含めた学校規模の適正化につきましては、具体的な動きとして、山五は令和元年からPTAの方とお話をさせていただいておりまして、令和2年11月から1年間、外部委員による審議会の審議。

また、令和3年度には、審議会の答申に基づいた基本方針の策定。

令和4年度は、保護者の声を聞くためのアンケートの実施。

その後、藤白台小学校の学校規模適正化の議論後に、山田第五小学校について、推計であったり、シミュレーションの分析に基づく検討や協議を、市長、副市長、教育長等も含めて、計50回以上積み重ねて参ったところでございます。

我々としましては、行政としての手続きをきちんと踏んだ上で、基本方針に基づき、子供たちにとってよりよい教育環境を実現するために、速やかに、山田第五小学校の過小規模校の課題を解決したいと考えているところでございます。

○安達友基子教育長職務代理者

この保護者説明会で、反対の意見の表明があったという趣旨かと思うんですけども、反対されている保護者から、統合に対して、対案が出たようでしたらどういうものがあったのか教えていただけますか。

○木村匡志教育未来創生室参事

先ほども谷池委員から質問ございましたけれども、南山田小学校との通学区域の見直しを想定されているという保護者が複数いらっしゃいました。

その案につきましては先ほど御説明したように、具体例を示しながら、御説明をさせていただいたところです。

また、学校選択制というところにつきましても、一度導入して欲しいという、御意見がございました。

そこに対しては、我々先進市の導入状況、本市における導入シミュレーションというところも、数値をお示ししながら、導入効果が不確実であるという、御説明をさせていただいたところでございます。

○安達友基子教育長職務代理者

今の通学区域の見直しのところについては、先ほど御説明いただいたのが詳細だったかと思うんですけど。

選択制のことですけど、ちょっと今のだとわかりにくくて、その数値まではいいいんですけど

も、もう少しだけ御説明いただいてもいいですか。

○木村匡志教育未来創生室参事

学校選択制の導入につきましては、平成29年以降、大阪府内で先進市として導入し、小規模特認校制と言いまして、例えば英語であったり、体育であったり、そういった学校の特色というところをカリキュラムに導入して、その学校の売りにして、周りの小学校の児童の希望があれば、小規模校に通うことができるというような制度がございまして、その先進市の導入状況というところを、調査をさせていただいて、研究させていただいた次第です。

その導入先進市のそれぞれの学校でその制度を活用して、他校から来ている割合というのがどれくらいあるのかというと、大体平均2割程度というところがございます。

その2割というところを、山五小学校に当てはめて、山五小学校で学校規模適正化が実現する人数とそのシミュレーションの人数がどういう関係にあるのかというところを分析した結果、課題解決に至らない不確実な手法であるという結論に至ったという状況でございます。

○福田知弘委員

山田第三小学校の保護者説明会は実施されたのでしょうか。また、実施されたのであれば、状況を教えてください。

○木村匡志教育未来創生室参事

山田第三小学校の保護者説明会につきましては、9月10日の日曜日と9月の23日の土曜日に開催し、小学生の保護者説明会については2回、未就学児の保護者説明会については、1回の計3回実施させていただきました。

その中で出た意見でございますが、統合後の学校規模であるとか、統合後の留守家庭児童育成室の規模といった、御質問がございました。

○福田知弘委員

質問がいくつかあったということですが、明確に反対された方とか、そういう方いらっしゃいますでしょうか。

○木村匡志教育未来創生室参事

山田第三小学校の保護者さんにつきましては、反対の立場の方というのはいらっしゃいませんでした。

○谷池雅子委員

統合に関して非常に不安が強かったと聞いております。中学校区の問題ですね、それに関して現在の具体的な提案ですね、例えば何年間は、どちらの中学校も、自由に選択ができるとか、そ

の辺に関して、お答えいただけますか。

○木村匡志教育未来創生室参事

山五小の未就学児の保護者さんの説明会の中で、中学校の選択の経過措置というところの期間について、かなり御心配の声が上がったというのが事実でございます。

具体的には2歳の子供が今いるんですけども、この2歳の子は果たして中学校に上がるときに、この選択権というのが、付与されるのか、それともそれまでにもうなくなってしまうのか、そこは具体的に教えて示して欲しいというような御意見が複数ございました。

これに関しまして、我々議論させていただいて、実施後、まず十年間経過を見させていただいて、実績であるとか、傾向を分析した後に、判断をまずさせていただくという、御説明をさせていただいたところでございます。

○谷池雅子委員

では確認ですけど、10年間はそういう移行措置がとられると、そういうことでよろしいですか。

○木村匡志教育未来創生室参事

10年間は、選択できると考えてございます。

○谷池雅子委員

もう一つ、心配事項として挙がっておりました通学路の問題ですね、通学路の安全性の確保ということに関して、あんまり進んでいないのではないかと御懸念があると聞いておりますけれども、その辺に関してはいかがでしょうか。

○木村匡志教育未来創生室参事

通学路に関しましては、統合した場合に、山田第三小学校に向かうその途中の部分で、山田第五小学校の北側に、貯水池がございまして、その北側に、道路があって、そこを通学路として、通うことが想定はされるんですけども。

この道路が、大変幅員が狭くて、歩道もなければ、路側帯もないと、それなのに車両の通行が対面通行というような状況で、我々、教育委員会事務局としても、課題があると考えております。吹田警察に相談はさせていただいたんですけども、新規に交通規制を敷くというのがなかなか府内でも、進んでいないという状況の中で、例えば、車両の通行を禁止にするという場合には、地元の合意というのが最低条件でありまして、なかなかハードルが高いと聞いております。そういった中で、教育委員会として確実にこの安全確保はできるのはどういう内容かというところを検討させていただいた結果、山田第五小学校の敷地の中に、通路を新たに設けて、そこには防犯カメラや防犯灯であるとか、あとフェンスできちんと囲んで、連れ去られないように、安全性を向上させた上で通学路に設定をさせていただくという検討を進めており、保護者さんにも

提案をさせていただいている状況でございます。

○谷池雅子委員

これ仮定の話ですけども、この案が通ったときには、その措置はなされるという、お約束として、理解して大丈夫ですか。

○木村匡志教育未来創生室参事

予算の権限が教育委員会にございませんので、今、市長部局側に予算措置を交渉している状況で、今、100%約束というところではできないという状況でございます。

○和田光代委員

山五地区と山三地区で保護者説明会をされましたが、保護者説明会全体を通して、事務局としてはどのように考えておられるのか、教えていただけますか。

○木村匡志教育未来創生室参事

全体を通しまして、保護者の御心配であったり、御不安な気持ちというところを、すべて払拭するには、至っていないと感じております。

我々としては、この保護者の不安な気持ちをきちんと受けとめさせていただいて、今後もメール等をいただいた上で、そういった不安の御意見に関しましては、真摯に対応、検討をさせていただくとともに、統合によりトラブル等が起こらないように、学校現場の教職員体制の構築も含めて、適切に対応して参りたいと考えております。

○西川俊孝教育長

それでは、この件を承認することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○西川俊孝教育長

異議なしと認め、議案第75号「吹田市学校規模適正化実施計画(第2期)案について」を承認いたします。

(～略～)

令和5年度第1回吹田市総合教育会議の議事録における学校規模適正化に関する部分等

日 時 令和5年8月27日（日） 午後3時から午後5時15分まで

会 場 吹田さんくす3番館 5階 第1会議室

出席者 後藤市長、西川教育長、安達教育長職務代理者、福田委員、和田委員、飴野委員、谷池委員、春藤副市長

事務局 今峰行政経営部長、北澤児童部長、岸上理事（家庭児童相談担当）、山下学校教育部長、植田教育監、道場地域教育部長、落学校教育部次長教育総務室長兼務、角田学校教育部次長学校教育室長兼務、薬師川教育未来創生室長行政経営部兼任、今井子育て政策室長、平野学校教育部総括参事、小西保健給食室長、木谷教育センター所長、堀地域教育部次長放課後子ども育成室長兼務、大川青少年室長、市川教育未来創生室参事企画財政室兼任、湊崎子育て政策室参事、草場教育未来創生室参事、荒木学校教育室参事・指導主事、福井教育センター参事・指導主事、加藤教育未来創生室主幹・指導主事、畑田学校教育室主幹・指導主事、麦田学校教育室主幹・指導主事

（～略～）

【市長】

次に報告案件の2ですけれども、教育委員会のトピックスという形で諸課題について報告をお願いします。

【薬師川教育未来創生室長】

資料③を御覧ください。教育委員協議会ですとか教育委員会会議、こういった場で議論を重ねております3点の内容についてトピックスとして御紹介をさせていただきます。

まず1点目。学校規模適正化第2期の方向性についてですが、今年度の対象校は山田第五小学校でございます。昨年度から過小規模校となり、すべてで6学級しかございません。今後もこの状況が継続する見込みでして、児童数だけで言いますと減少してまいります。教育環境を守るという観点から、方向性の内容について、今月16日の教育委員会会議にて、教育委員会の案として整理をさせていただいたものでございます。内容につきましては山田第

五小学校を山田第三小学校に統合する方向で調整を進める。中学校区について、現在、山田中学校区である山田第五小学校を西山田中学校区の通学区域へ見直しを行い、経過措置として両方の中学校を選択できることとするという内容でございます。今後、9月には保護者等に対して説明会を実施いたしまして、課題等の解消に向けて検討を進めてまいります。

(～略～)

【市長】

ありがとうございます。

今、トピックスとして、学校規模適正化、それから部活動、給食の3つがありました。まだ時間がありますので、ここで御助言、御発言をいただければありがたいです。

谷池委員いかがですか。

【谷池委員】

1つ目は学校規模適正化の方向性ということで、山田第五小学校に関しましては、私個人の意見としては、この案で大きな間違いはないのではないかと思います。

学校規模適正化に関わらず、吹田市として新たな教育のやり方を出していくということであれば、学校選択制とかいろいろな方法を今後は検討する余地を残したほうがいいのではないかと思います。

(～略～)

【市長】

福田先生お願いします。

【福田委員】

学校規模の話ですけど、これから説明会をされる上で、十分に話を伝えて、話を伺っていただければと思います。もちろんこれまでも非常にいろいろと丁寧にシミュレーションして検討してアンケートも取ってここまで来ていると思うんですけど、人間って不思議なもので、私もそうですけど締切直前になると違う考えが浮かんだり、感情的になったり、そういうことがやっぱりどうしてもあります。人間そういうものですので、決まっている前提で進めるのではなくて、これからまたスタートだというつもりで説明を始めていただければと思います。

以上です。

【市長】

(2)

ありがとうございます。

(～略～)

【市長】

最後、教育長、総括をしていただけますでしょうか。

【教育長】

学校規模適正化の件ですけども。1つの学校が統合されてしまうということに関しては、特に保護者の方は理屈はわかるけども、辛い、しんどい、抵抗感はあるというふうに思います。でも、その中でも、これが本当に子供にとっても良いんだということを我々がどれだけ意を尽くして説明できるか、子供の未来の教育にとってということやっていきたい。

(～略～)

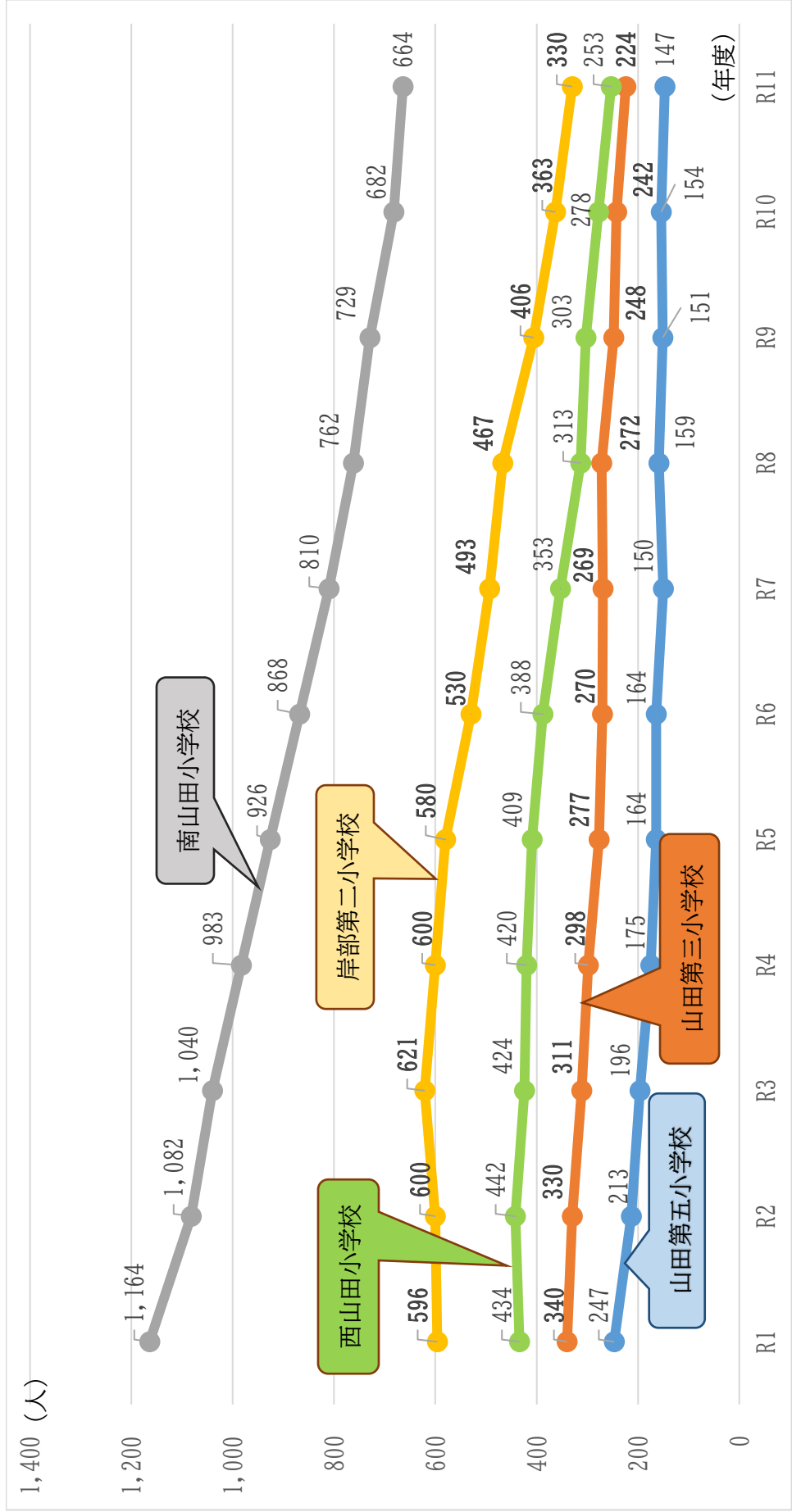
【市長】

ありがとうございました。

最後にありましたように、途中で私言いましたけど、道なき道を進んでいるというのはこういうことです。吹田だからできる、吹田だからしなければならないこと。そういうチャレンジなんですけども、通常の我々の仕事と違って簡単にトライアンドエラーができません。相手が将来ある子供なんで。1回やってみたらダメだった、じゃあこれにしようというようなことは、なかなかそれはできないので相当な検討が必要です。それは教育委員会内部だけではできません。今ありましたように、私も文部科学省に行かしてもらっていますし、この総合教育会議の場だけじゃなくて定期的に教育委員会と議論を重ねています。この体制で最適な解を求めていきたい。これは給食も部活動も山五小学校も一緒なんですけど。

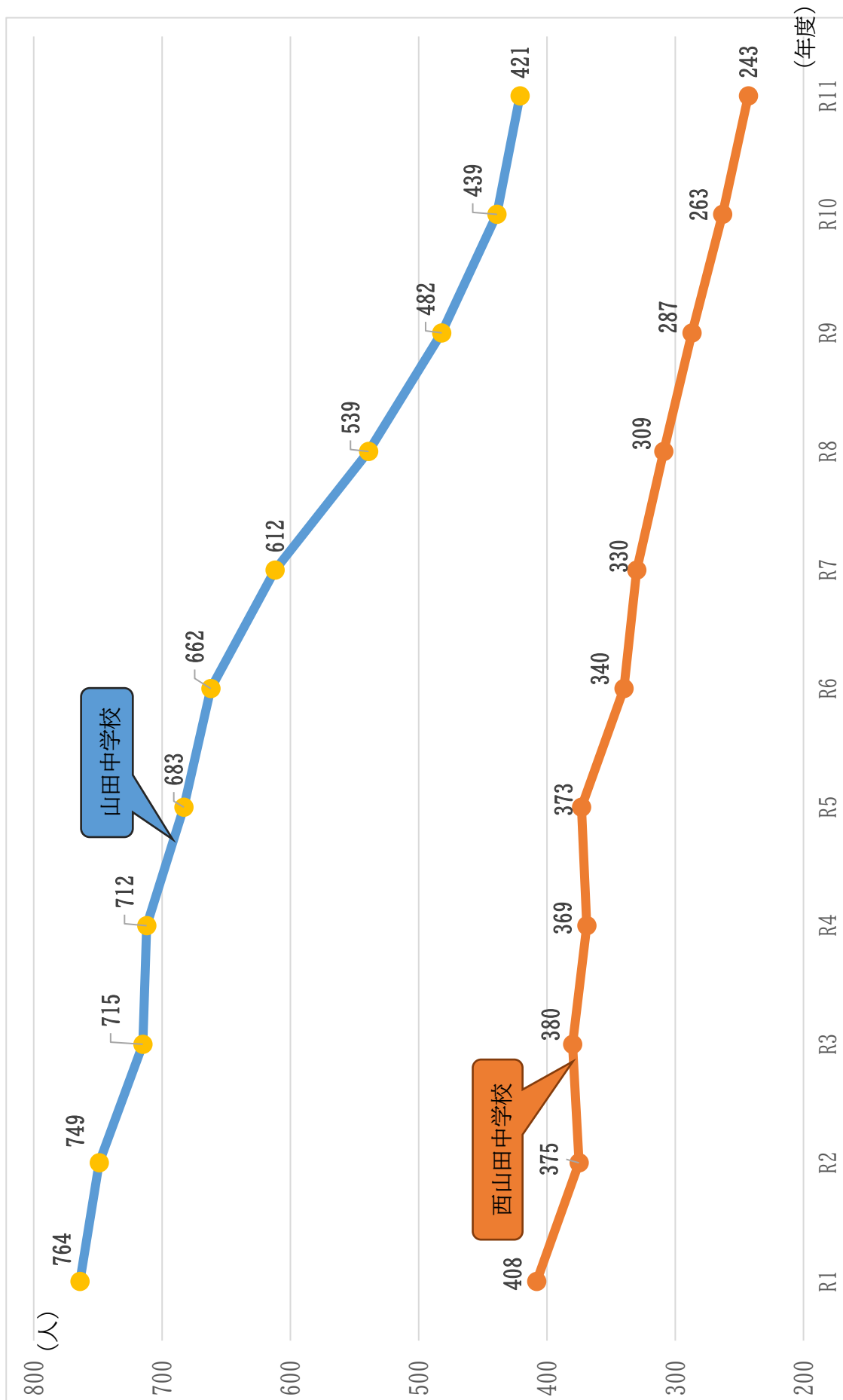
(～略～)

1 山田第五小学校及び近隣小学校の児童数推計



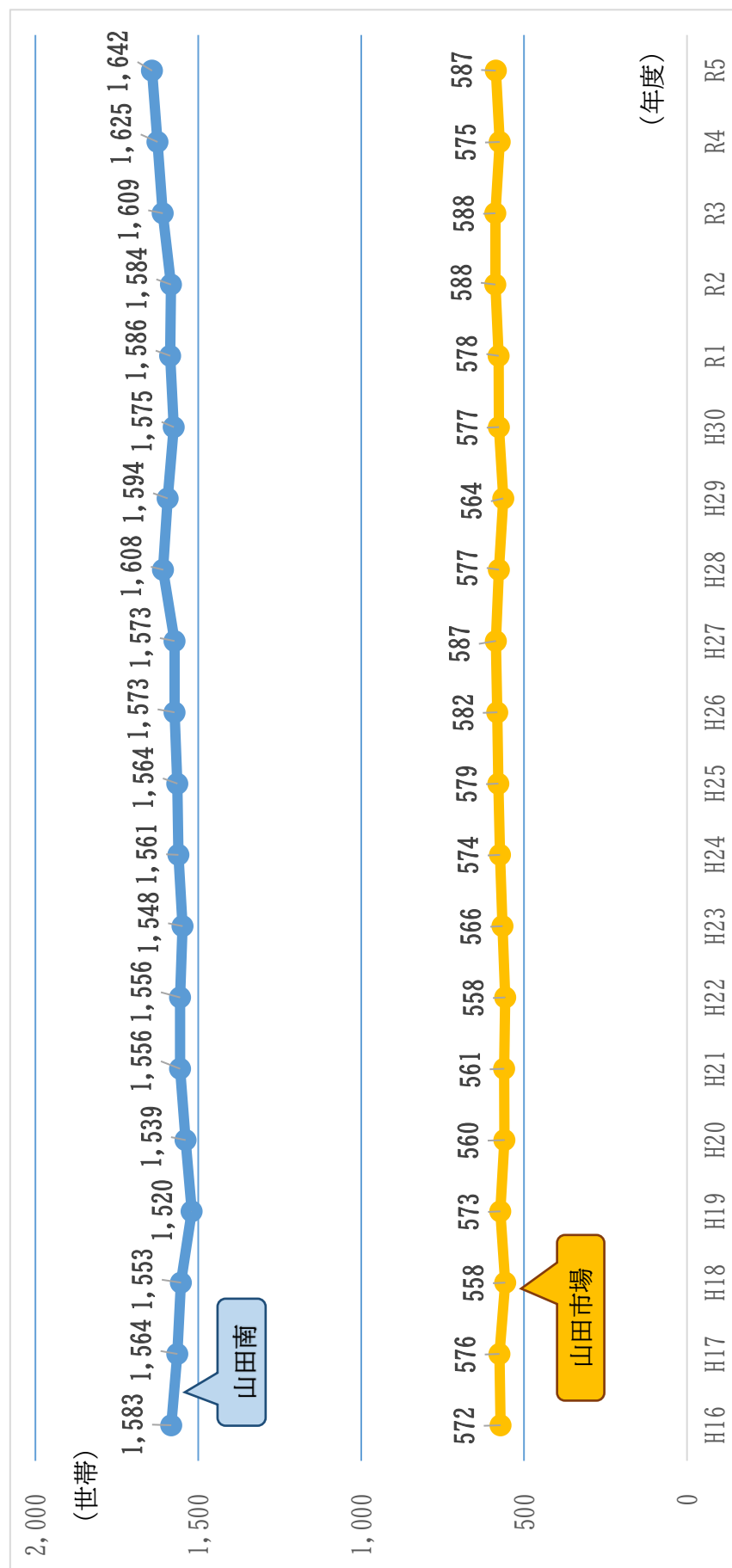
(1)

2 山田中学校及び西山田中学校の生徒数推計（山田第五小学校における学校規模適正化実施前の推計）



(2)

山田南、山田市場の世帯数の推移



山五育成室及び山三育成室の実施状況の比較

	山五育成室	山三育成室
運営	市直営	民間委託 (社会福祉法人 光聖会)
児童数	40人	64人
クラス数	1クラス	2クラス
開室時間	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後～午後5時 ・延長保育 午後6時30分まで ・長期休業期間中の開室 午前8時30分から 	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後～午後5時 ・延長保育 午後7時まで ・長期休業期間中の開室 午前8時から
利用料	保育料 月額4,000円 延長保育料 月額1,500円 (市が徴収)	
おやつ代	月額2,000円 (市が徴収)	月額2,000円 (事業者が徴収)
システム機能	<ul style="list-style-type: none"> ・育成室からのお知らせ配信 ・欠席、早帰り等の連絡 	<ul style="list-style-type: none"> ・育成室からのお知らせ配信 ・欠席、早帰り等の連絡 ・児童の入退室時に保護者へ通知 (QRコード読み取り)
委託事業者による独自取組		そろばん学習 (宿題後の10分程度)

児童数は令和5年(2023年)4月1日時点

学校規模適正化に係る説明会 議事概要

(山田第五小学校 PTA 役員、山田中学校 PTA 役員、山五地区自治会役員)

- 1 日 時 令和4年6月11日(土)午後7時から午後8時10分まで
- 2 会 場 山五地区公民館
- 3 参加者 山田第五小学校 PTA 役員、山田中学校 PTA 役員 3名
各種地域関係団体役員 35名
脇寺教育未来創生室長、木村教育未来創生室参事
- 4 内 容 「学校規模適正化に係るスケジュール等の見直しについて」を用いて説明
- 5 質疑応答

(～略～)

教育委員会：1校1校丁寧にさせていただきたいというのが我々の思いです。

PTA・関係団体：わかりきってることじゃないですか。南山田の方が多いと。山五に長野から移って来いと。ほんなら長野から反発出てくると、そんなことやる前から分かり切ってることですけども、その落としどころはもう出るんですか、俺はそこ聞きたい。時間を延ばすだけじゃないですか。丁寧に丁寧に市長に言われたからって、永寧に丁寧に時間延ばしたらそれだけで解決策出てくんのかなと、もう全くわからないですよ。アンケートもあんだけ記述式のね、回答案出させてですよ。それをみんなじっくり丁寧に読んでいただけたかどうか私わからないんですけども、それがどう反映されて、落としどころが何があるのかなと思うんですよね。半年間延ばしてほんで何が見えてくるんですか。全体でやるのは決断するのは、行政の仕事だと僕思うんです。

PTA・関係団体：あと、3個ぐらい提示しましたとおっしゃられてたんですけども、ご丁寧にさせていただきました。でも今回ばかりは、丁寧に提示したらミスリードが起こるんですよ。もうちょっと主導権を握って、こういった方向にしかない、これこそが正解なのだっていうイメージをどれだけ提示できるかのパフォーマンスだと思うんですね。その欠落じゃないのかなと私は思うんですけども、いかがでしょうか。

教育委員会：今おっしゃってるように、今回例えばアンケートをするときにでも、今おっしゃったような、これしかないですよと、というような提示の仕方も我々も検討したんですけれども、今回の皆様にご提案したアンケートっていうのは、可能性という視点で、幾つの可能性がありますよね、そういったところで広く意見をいただきたいと。アンケートで一つだけの案にしちゃうとその案にしか、意見がいただけないということで様々な案をお示ししてる中で皆様からの広いご意見を募るというような考えで今回は、複数の案を提示させていただいて、皆様にアンケートを記入していただいたというような形になってます。

PTA・関係団体：それは万人受けを狙ってる私はとらえられたんですけど、分かるんですけど、ただ、おそらくスパン、あの計画のスパンでいこうと思ったら、もうちょっとイニシアティブそちらが取らなければ進まないんですよ。そしたらどうイニシアティブを持つんかと言うと、どれだけ順位を与えるかなんですね。それだけのビジョンを提示しなければ持っていけないんです。その、優先権を丁寧にされているのは分かるんですけど、丁寧にすると、主導権を握ってスパッと動くところは、やり方が、持って行き方が変わってくる。そこが間違っただんじゃないかと思います。

教育委員会：おっしゃることよくわかりますし、我々も反省すべきところは反省して、次回以降取り組んでいきたいと思います。ありがとうございます。

(～略～)

吹田市立学校条例の一部改正の骨子案に対する提出意見(全文)

書面-1

山五小は小規模な学校ですが、今まで築き上げた地域と保護者、そして先生方がとても良く見守り、環境の良い学校です。連携がよく取れています。それがなくなり、山三小学校に統合してしまうには、とても惜しい学校です。建物は子ども達が大切に使い、掃除もよく頑張ったので今も美しく、清潔な学校です。数年前に、体育館、トイレ、ホワイドボードも新調したばかりです。縦割りを大事にしている学校なので、学年隔てることのない仲の良い学校です。なので、親や保護者もよく子ども達を知っています。そして、そのことから地域の方々も、卒業してからもずっと山五小の児童を見ているので、昔から地域の方々も子ども達を見守るので子どもと地域が密である、貴重な地区です。犯罪などからもよく見守られていると思います。もしこの地区での学校(山五小)がなくなれば、きっと大人の目が行き届かなくなり、安全性が損なわれてしまうのではないかと心配しています。山五小の歴史は、山三小学校の児童増加で創立されたといいますが、元に戻すには、山五小の児童に大きな負担があり不便になります。(端っこの地区の子ども達の通学が大変など)あの頃とは時代も変わり、今は南山田小学校の児童が増えています。私としては、山五小の地域性の良さや安全性からも見て、昔の形に戻すのではなく、山五小の築き上げた歴史も大切に南山田地区の児童が山五小に通ってもらえるのが一番納得が行くのではないかと思います。南山田小学校は小高い場所にあり、一部の児童はかなり遠いなと思います。きっと山五小に通う方が、安全であり、近くなる児童もいると思います。(例えば、樫切山方面、山田市場方面など)また山五小から中学校に通う場合、どの中学校になるか大きな不安があります。今は山五小は山田中学校に通いますが、統合することによって西山田中学校に切り替えるとなると、とても遠くなり通うのが大変になります。端っこの地区から通う子ども達の事を考えるとより遠すぎて大きな負担になります。少人数なので、都合でそちらに行くことにさせるのはかわいそうだなと心配しています。先の子どものことを考えると中学校は山田中学校のままであってほしいと思います。個人的な意見ですが、山五小学校に南山田小学校の一部の子ども達が来てもらえたらこの良い学校、地域性、子ども達も存続していけるのではないかと思います。色々な事情もあり、大変なことだと思いますが、何とぞ山五小を残していただきたいと願っています。よろしく願い致します。

書面-2

山五小の学校規模適正化に関して、吹田市広報課が運営する公式の YouTube チャンネル(2022.5.19)では複数ある解決方策のうち「通学区域の見直し」案が中学校区の変更が無く、地域への影響が少ないなどの理由で丸印3個で最良とされています。学校間生徒数の平

準化により教育環境の平等が期待され、一部地域のみを勘案するのではなく、広く子供たちのことを考慮した極めてまっとうな方向づけで当然この様に遂行されると解釈しておりました。ところが令和 5 年 9 月 9 日山田第五小学校に係る学校規模適正化説明会において教育委員会からは唐突にも「統合案」が提示説明され、この案で条例改定を上程しようとのこと。しかし統合されたとして五年後生徒数推計によると山五と山三を加えて 484、南山田 719 で数的格差は解消できておらず、またかかる山五地域コミュニティへの影響も甚大、全く理解に苦しんでおまして、そこに至るい作用した見えざる理由はなんだったのでしょうか。私は就学児童とは無関係ですが、子供たちの教育を客観的総合的に判断するに市議会には統合案ではなく校区変更案を上程すべきと考えます。万が一統合案が上程された場合、市議会に於かれましては広く行政力を発揮し否決されるものと信じております。

FAX-1

①子どもたちにどんな説明がされたのでしょうか

適正人数＝人数 小さいものはいつも調整される運命にある、なんて諦めさせたのでしょうか。もう決まっていると。

②少人数学級に向けたかじ取りを

政府がやっと、35 人学級をうちだし、他市では既に 6 年生まで 35 人クラスができてるところもあると聞いています。因みにヨーロッパでは、20～25 人が普通となっています。

③山五小学校は、少人数学級の先行実践校に

少人数学級でのメリット、デメリットを分析して、他校や地域との交流も含めての実践を先行事例として学びあい、少人数学級を吹田にひろげましょう。

④南山田小学校から山五小学校に 6 年生で転校した我が子

もう 26～7 年前ですが、その学年は 1 年から 5 年まで 1 クラスで、うちの子の転入で初めてクラス替えがありました。つまり、山五小学校の少数は今に始まった訳ではないんです。

⑤何故いま山五小学校を潰すのですか

少なくても何が悪いのですか、丁寧な教育がなされているのではないですか。学校を統廃合して、税金が浮くのですか。税金は未来を担う子供たちに使って下さい。

⑥先生を増やしてください

一人ひとりの児童に目が届くように。担任が欠員のクラスなんて、もってのほかです。直ちに改善してください。

山五小学校をつぶさないでください！！

FAX-2

条例の骨子案に反対します。過小規模校より問題なのは過大規模校です。小規模であれば、目が行き届き、きめ細やかな指導ができ、子ども達の力も伸びていきます。リーダーとして活躍する場も多く、それが中学校でも発揮されています。音楽会も、運動会も、ひとりひとりの

(2)

力が伸びていくので、レベルの高いものになります。折角の山五小の良さを無くして、子どもたちの幸せにつながるのでしょうか？他にも反対理由があります。

- ①提案から実施までが早すぎます。
- ②西山田中は遠すぎます。(熱中症で死亡した中学生がいました。)
- ③大規模改修をしたばかりで廃校にするのは予算の無駄です。
- ④児童数の予測グラフが正確化どうか、疑わしいです。
- ⑤樫切山と山田市場を山五小校区に入れるのが一番良いと思います。

メール-1

先日、説明会に参加させて頂きました。ありがとうございました。在校生でもなく在住の未就学でもなく参加させて頂きましたので少し立場が違っていましたのであの場で意見は申し上げにくくメールにて失礼致します。来年4月に小学校入学を控えた子供がおり他市に住んでおりますが子供が難聴児ですので吹田市で小規模の小学校を探して引っ越しをするつもりで動いている中での今回のお話でした。山5に決めてたんですが2年生から山3になると聞いて引っ越しするのは辞めることになりました。たった1人ですので私達の意見は聞き入れ難い事も重々承知しておりますが小規模を選んで引っ越ししてくることもあると言うことを頭に置いておいて頂きたいと感じました。4月から7月まで必死に見学や問い合わせをして動きました。9月にこの説明をされて令和7年~と言うのは本当に無理がある。皆さんも仰られていましたが市議会にこれで行きます。あなたたちの意見は反映しませんよって言われているようなスケジュールはあり得ないと思います。私も山5の卒業生です。人数が少なく全員が友達。仲が良く楽しかったことを覚えています。今でも続いていると校長先生から伺いましたが縦割りでアットホームな良さがあると思います。当時、山3に通っていて途中から山5に通いました。新しい学校に通う。距離が近くなる。とても嬉しかったと記憶しています。しかし今回は違います。距離が遠くなる。向こうの方が児童数が多いアウェイ感。中学校でバラバラになる。保護者、子どもたちの気持ちは良いものではないと思います。学級数のグラフが資料にありましたが山5と山3が統合して普通に3クラスにはならないですよ。例えば現在山5、24人(1クラス)。山3、44人(2クラス)でしたら統合後34人ずつの2クラスになりますよね。私はただ小規模な学校だけを探してるわけではなく1クラスの人数が重要だったんです。たった1人の意見ですが山5が小規模だから行きたいと考えているものもいると知って頂けたら幸いです。保護者の皆さんが安心して子どもたちを通わせれるよう1つでも2つでも歩み寄って頂けたらいいなと思いました。長々、申し訳ありませんでした。何卒よろしく願い申し上げます。

メール-2

山五地区住民です。こんな人気の市で、中核都市・子育てに優しいとうたっている吹田市で、なぜ小学校を減らすのですか？中学校地域が急にかわるというのも、とてもひどいと思いま

(3)

す。距離的にも遠くなります。ガンバ辺りにアリーナもできて、マンションもたつなら、既存の小学校を使って、少しずつ山田周辺域全体で、編成し直すのも税金を使わずにいいと思います。学校を円にして近い学校の方に通えるよう、吹田市が率先して、新たな教育環境を整えていけるようにするなど、未来も見据えて慎重に行う必要があると思います。例えば、山五に近い場所にすむ山一小や、山三小の地域の子も、山五小に促すなどもいいと思います。保護者は遠いところに通わすより、近くになるならそちらを選ぶかもしれません。取り急ぎ今するのなら、学校を廃校にするという大がかりな選択を住民の声を聞かずに無理やり推し進めるのではなく、南山田という過大校が隣にあり、同じ中学校になるという現実をふまえ、南山田小と山五小で人数調整する方向で考えるべきだと思います。過疎化の田舎ではない、この吹田市で小学校廃校というのは、納得出来ません。数字のデータだけで見るのではなく、そこに住む子供たち、親の声を聞いて下さい。なぜ山五小の子だけが小中かわる、学校廃止という我慢を強いられなければならないのでしょうか？！慎重によろしく願います。

メール-3

皆様、お忙しい中の説明会を開催していただきありがとうございました。説明会に参加して、再度、この計画を立ち止まって考察して頂けたらと思いメールをさせていただきます。まず、山三も先の10年には1クラスになる事と、山五においては第三者委員会からの早急な対策としてという意図だと理解しました。では、それを令和7年にと言うのはあまりにも乱暴だと感じました。山三が10年後1クラスになるのであれば10年後計画として立ち上げ、地域や学生の家庭に理解を敷いてからすれば良いのではないですか？山五においては山三生との交流すらない中であと1年半で統合するのはかなりの心的ストレスだと思います。小規模校問題ではありますが、問題視されている環境でも何十年と卒業生を生み出している学校が早急に解体しなくてはいけない環境だとは到底思えません。小学校だけではなく、受け入れ先ともなる西山田中学、山田中学との偏差値の差も気になります。もっと差を縮めさせれる環境が整った状態での誘致にしていきたいです。10年、それを目安にやっていかれば、魅力のある統合になるのではないのでしょうか？乱文にはなりましたが、何卒宜しく願い申し上げます。

メール-4

吹田市立学校条例(山五、山三)について反対である。私たち保護者の知らない所で少人数により、方向を決められた事に怒りを感じます。アンケートを取ったと市役所の人間は言いますが、対面で話を聞いていないではないか。専門家(専門家って何?!)や小学校中学校の校長各1名、PTAの代表2名、たった6名くらいの人に、何故、子どもたちの、私たちの人生を決められなければならないのか！勝手に決めないで！

メール-5

1, 今回の骨子案に至った経緯説明のお願い

2022 年春当該地区と近隣地区に山五小にかかるアンケート調査があったが、アンケート結果も知らされず、2022 年 7 月に突然教育委員会より住民に過少問題について 2023 年度の案件として考えると告げられた。山五小 PTA の一部の人は学年の人数のことや男女比の問題を取り上げ、何とか子どもを増やす方向でのお願いをしていたにも関わらず、問題がすり替えられ 2023 年 8 月に突然山三小との統合、大変驚いている。昨年 7 月から今年の 1 年間住民の意見を聞いていながら、何ら丁寧な経緯説明もなく驚き以外の何物でもない、ぜひ丁寧な経緯説明をお願いしたい。

2, 小学校統合の時期尚早!

十分な話し合いもなく一方的な説明。住民や当該小学校 PTA の意見も聞かず、2025 年 4 月 1 日施行とは市民を蔑ろにしていると考える。どうして 2025 年なのかの説明と十分な意見交換と話し合いが必要。「子どものことを考えて」と書いてあるが、子どもの意見を聴いたのか?もっと時間をかけて PTA と子どもたちとも話し合ってほしい。単に統合が反対ということでもないと思うが、どれだけ市民の声をきいているのだろうか?一方的すぎる。

3, 山五小跡地問題について

山五小跡地について何ら構想がないことに不安を感じる。市の施設のままなのか、地主に返却するのか?ほかの施設になるのか・マンションになるのか?災害時の唯一の避難場所だった山五小がなくなると、山五の住民はどこに避難すればいいのか?わが地域に避難場所がなくなるのか?遠いところに避難できるのか?不安しか感じない。単に学校だけの問題ではない。廃校にするならそれなりの次期使用の方法や構想などとセットで提案して頂きたい。

4, 地域から学校がなくなるリスクについての考えをお聞きしたい

おそらく学校が地域からなくなると、山五地域から子どもが減少することは目に見えていると考える。自治会活動も住民活動も市民体育祭も文化祭も、、高齢者中心になり、老人の街になることは間違いない。どのように、山五地区の街や住民を活性化していただけるのか、お考えをお聞きしたい。

以上

メール-6

小学 4 年生の息子がおります。山田中学校に通わせるつもりでマンションを購入しました。ですので、山五地区の子供は山田中学校に行く事が絶対と決めてください。もしも、どこかのタイミングで山五地区の生徒は選択制がなくなり西山田中学校に全員が通うことになるのであれば引越させたいです。自宅を購入した時のお金を返して欲しいくらいです。

メール-7

(5)

山五小一年生の母で自身も卒業生です。わたし個人としては、人数の減少からの統合は致し方ないと考えていますが、気になる点についていくつかご意見させていただきます。

【通学路について】

我が家の状況で恐縮ですが、校区の端に居住しており、一年生の足ではいまでも徒歩 20 分以上かかる。冬の登下校はまだ未経験だが、夏は全身絞れるほど汗だけで帰宅していて正直命の危険を感じ怖かったし、迎えにあったこともある。さらに遠くなると、夏、そして冬の学童の下校がかなり不安である。またタケダ薬品の研修所が関西大学のキャンパスになるとのことで、バイクや自転車の増加が考えられ、歩道の設置や通学路の見直しは校区再編以前に行なうべき急務である。

【中学校区について】

非常に遠い。徒歩で 30 分以上かかると思われる上、通学路もどこを通っても見通しの良い明るい道ではなく歩道の整備も不十分。中学生になると帰る時間が遅くなるため、安全対策が必要と考える。また、登下校に時間がかかりすぎ習い事や部活動にも制限がかかる可能性があり、不公平感がある。

◎考えられる改善策

①通学路の整備←急務

②自転車通学の許可

③出身小学校にとらわれず、住所で通う中学校を決定する←出身小学校により通う中学校を決める理由がない。安全性や距離を考慮し住所で決定すればよい。山五地区の人数は少ないため、山三と統合したとしても、山五地区の児童を山田中学校で受け入れることは可能と考える。

【保護者の反対について】

保護者みんな反対という空気感だが、どの部分に反対しているかはバラバラな印象である。移行の過渡期にある高学年の親が、自分の子どもの学年のことだけを考えて猛反対している印象ですらある。はっきり言って声の大きな人は感情論でなので、吹田市さん側も、将来入学式する子どもたちが男女比等で「かわいそう」にならないための選択であること、移行期の子どもたちには負担をかけるがそれはこれからの子どもたちのためであることなどを気持ちの部分に訴え、「これから」に視点を向けさせるようにしなければ平行線だと思われる。前回の説明会には夫だけ参加したが、わざわざ在学生の子どもを連れてきた保護者もいると聞いている。反対派賛成派のようなものができ、子どもに吹聴する親も出てきそうで危惧している。何よりも望むのは、大人のいざこざに子どもたちを巻き込まない形で穏便に話し合いが進むことである。吹田市さんには、説明会等の際にはそれぞれ何を反対しているのかを丁寧に取りまとめていただき、子どもに影響が出ない形で冷静な話し合いを行えるようがんばっていただけたらと思います。

メール-8

(6)

吹田市立学校条例の一部改正の骨子案

山田第五小学校がなくなるとの件

それは仕方がないと思いますがその後については吹田市の財産のため売却などはやめていただきたいです 吹田は公園はありますがまともに子供たちが遊べる公園が存在しません ボールなどの使用も禁止されておりボールを使用できる施設は中の島グランド高野台グランド総合運動場しかありません 人口が38万人にもなっているにも関わらず対策がまったくされておられません この施設を借りるのも一苦勞です 山田第五小学校あとには自由に開かれた施設にしてください よろしく願いいたします

メール-9

本日、標題の説明会を聴講して思ったことをお伝えさせていただきます。保護者側の意見にもかなり無理な意見が多かったと思います。が、教育未来創生室様の進め方にもかなり無理があります。

◎アンケートの重要性を伝えない上でのアンケート調査を実施。

◎保護者への説明不足(5年間の協議期間ではなく、方向性が決まってから説明、実施までの期間の短さ。)

※段取りがかなり悪く、不十分であったと言わざるをえません。

とはいえ、中学校の選択可能期間をしっかりと10年と決めてこられたところや、数値の算出方法(市の考え方)を資料として出していただいた部分など、きっちり提示いただいたため前回の説明会よりの確かな内容が増えて良い説明会ではあったと思います。私としましては、今回のメールは統合の反対を意見しているわけではなく、統合後の点について1点要望がありメールさせていただきました。市がイジメなど起きないように未然に防げる体制を作ります。と度々発言されておりましたが、今回の説明会や統合決定までの段取りの悪さ。及び教員の指導や管理の不十分さなど、「任せてください。」と言われても、保護者側の立場からすると信用出来ると思いますか？中立の立場で考えても、かなり無理があると思います。説明会でも意見が出ていましたが、体操服などの備品の違いでイジメになるかならないかは分かりませんが、イジられたり除け者にされたりは十分に考えられます。人数も少ないので費用を負担しても大した金額ではないと思いますので、山田第三小学校専用の備品(体操服や赤白帽、給食着など山田第五小学校と相違がある物全て)くらいの負担はお願いいたします。

※検討依頼ではありません。負担してください。

理由は上記に記載させていただいたとおり、市の段取りの悪さなど、信用が大きく欠けるからです。(信用を失ってしまったのは市の不備によるものだからです。)それでは宜しく願いいたします。

メール-10

①住民(山五小に子供が通う予定です)

(7)

②子供達が減ってきている現状を踏まえて、他の学校と一緒にすることは、やむを得ないのかなとは思いますが。とくにコロナ禍で生まれた子供達は特に地域に子供が少ないと思うので、友達を作ってあげたい気持ちは親としてあります。ですが、10/14の説明会に参加してみて、山五小自体が学校の枠を超えて、地域に果たしている存在も大きいのだと再認識しました。毎年、山五小学校で開かれる山五地域の運動会を毎年楽しみにしてきました。各マンションや自治会対抗の綱引きなど、地域の世代の違う人との交流の場になってきました。運動会を通じてできた顔見知りもあります。山三小になった際には市民運動会も西山田地区として合同で行われるようになるのでしょうか。山五の積み上げられてきた地域イベントがなくなっていく方向にならないか心配しています。今回、スケジュールが短いという意見が多数ありました。本当は説明会の告知を一か月前には知りたかったです。前回もですが、説明会のたびに仕事のシフトを変わってもらったりしています。子供を連れてこれなくはないですが、小さい子がいると集中して聞けなかったりします。スケジュールを合わせられなかった人が切り捨てられているように感じられました。統合の話しが親より先に子供にいつてしまった事もそうですが、小さい配慮の積み重ねが保護者の理解に繋がると思います。

メール-11

1. 統合に伴うスケジュールの見直し。

2. 人口の多い吹田市での小学校廃校案の撤廃

1、

・今回の山三・山五の統合スケジュールを見直して頂きたい。

準備期間一年間で、教育員の配置、通学路確保、山三児童・地域への教育、山五児童へのメンタルヘルスケア等々到底準備出来るものではないと思います。少なくとも3年は必要かと思えます。

・現在の山三、山五児童の様子(不登校・いじめ)すら把握していない状況で、統合による問題が発生した時の責任は吹田市が全面的取って頂けますでしょうか。

・山五小過小校問題は10年以上前からありました。そこでの対策を取らずに、今になって早急に統合へ向かう、具体的根拠を示して頂きたい。

・教育委員会としては数年前から動いているとの説明だが、昨年白紙になったはず。それであれば昨年夏からのリスタートにて、アンケート実施や児童、保護者の意見を聞くべき。PTA役員や保護者になんの連絡もなく8月16日に決まりましたでは、一方的であり、威圧的なスケジュールと考えて当然ではないか。

・都合の良いデータやアンケート結果を用いて、子供のことを考えず、過小校をなくすことだけを考えている。本当に問題なのは過大校である。

2、

・今後大きく児童が減る訳でもないのに、まして大規模修繕を行った山五小学校を無くすということ自体、愚策、税金の無駄使い。

(8)

- ・山五小学校の良さや、それを求めて通わせている保護者、児童がたくさんいる中での廃校はデメリットではない。
- ・上に兄弟が二人おり、山田中学校の状況も良く把握していますが、活躍が多く、コミュニケーション力が高いのは少人数の山五生徒の方が多い。これは手厚く教育頂いた過小校ならではのおかげである。
- ・そもそも、山五校区が狭すぎることが根本原因ではないか。吹田市で一番小さいのでは？それであれば選択制を用いて、校区を広げることが先ではないか。

メール-12

1. 山三小学校と山五小学校の統合に当たり、山三小学校の建物を存続としているが、資料を見る限り、統合後も今後減少が見込まれ、山三小学校の土地建物では過剰設備過大校舎になる可能性はありませんでしょうか？現状の数字上の話になりますが、山五小学校の設備でも十分に賄える設備があることを考慮すると、山五小学校の設備土地を活用するほうが、余計な費用が発生せず、その分余剰予算となれば、教育設備の充実や維持を円滑に図ることができると思いますがいかがでしょうか？

2. いずれにせよ、どちらかの土地建物は不要となることから、今後の開発予定を開示をお願いしたいです。吹田市内では、国立循環器病センターの跡地については、すでに開発が行われ、積極的に活用されています。しかし、旧吹田市民病院においては、一旦は開発が予定されたものの、その後進捗がなく、廃墟同然の土地建物が野生動物のすみかとなっているという報道もあります。地域の治安問題も起こっていると思われまます。さらに隣には片山幼稚園もあることから、子供たちの安全が憂慮される状況になっていると思われまます。山三と山五がこのような状況の二の舞にならないためにも、あらかじめ開発計画についてすべてではなくても、ある程度の方向性を開示していただきたいです。よろしく願いいたします。

メール-13

先日はご説明ありがとうございました。参加させて頂いた感想としましては、不信感と不安が増しました。質問です。資料 25 ページにおける【南山田小との通学区域の見直しを実施した場合】ですが、『檜切山』が含まれているのはどういう経緯でしょうか。明確にしていきたいと思ひます。昨年のアンケートの B 案では『山田市場と長野西』でしたが、いつどういう根拠で『檜切山』が含まれたのでしょうか。また、新たに『山田市場と長野西』を山五小学校区にした場合の情報開示を宜しく願いいたします。これはまた別の疑問なのですが、私は南山田小学校に通っていましたが、当時より校舎が大幅に増築されました。周辺社宅の再開発の時に、生徒数が急激に増加する事は目に見えていたはずですが、何故その時に通学区域の見直しを図らなかったのでしょうか。その時に見直していれば、今の問題は解消されていたのでは無いのでしょうか。

メール-14

教育委員会から挙げられているデメリットは、以下の通りです。

1. クラス替えができないことから、人間関係が固定化する
2. 集団内の役割分担や序列から抜け出せないことが生じることがある
3. 人間関係のトラブル時にクラス替えができず、逃げ場がなくなってしまうこともある
4. 集団内の男女比に極端な偏りが生じることがある
5. 多様な価値観に触れる機会が少なく、社会性や対人スキルの向上に課題がある

一つずつみていくと

1. 横のつながりは幅を広げる限界があるのかもしれないが、その代わり縦(異学年)のつながりがあり、運動場、もしくは放課後の公園において、その場にいる子たちで遊ぶというステキな関係が築かれている。人間関係が固定化すると思うが、先生方の目が行き届いているため、クラスの子全員と仲が良い。つまり、変なグルーピングがされていないので、だれとでもペアにもなれるし、班活動も楽しめる人間関係が築かれている。またその関係が縦(異学年)にも及んでいるのである。

2. 集団内の役割分担が固定化することはなく、皆が積極的にすべての役割を担えるようにまで成長できる。そして、皆がお互いにできることを尊重して、称え合える関係を築くことができている。

3. これはもしかするとあるかもしれない。ただ、そこまで人間関係が複雑になっているケースを聞かない。この点も先生方の目が行き届いているため、常日頃の対応がしっかりできている。教室内で飛び交う言葉のチョイスが、全てを物語っていると思う。デブ、ブス、カス、アホ…などのような、いわゆるマイナス言葉は、教室内で行きかうことはない。おそらく言葉に出た瞬間、異質な言葉として、違和感が生まれ、先生も気づきやすくなっている。それほどまで先生方の目が行き届いているのである。

4. これも実際に起こっている。しかし、4年経過して、この偏りを超えていく人間関係が生まれている。縦のつながり、男女に関わらないつながり。まさにジェンダーの世にふさわしい関係づくりが子どもたちの中で化学反応を生み出したのである。

5. この点において、保護者の目からすると心配ではあった。山田中学校へ進学する際、山五の「皆友達、男女関係なく遊べる人間関係、悪口を言わない、人を傷つける言葉を発しない」という平和そのものの中から、「デブ、カス、アホ」などが日常的飛び交う普通の世界へ飛び込んだ時、傷つくのではないかと、大丈夫か…と心配をした。しかし、子どもはそれすらも受け入れる心を山五小学校の6年間で育てたみたいである。また、何より、山五の仲間がいる、わかってくれる友達がいると心の底で安心感を得ているようだ。多様な価値観に触れる機会は少なかったかもしれないが、山五にいる仲間全員の価値観は互いに理解し、互いを認め合おうとしている。社会性や対人スキルとは、互いを認める関係作りを経験していると備わるものなのだと実感した。

以上のように、山五の小規模のデメリットは、小規模だからこそ超えていけないのではないかと思います。本当に小規模にデメリットはありません。小規模のデメリットは、先生の人員確保が追い付かない。それだけではないでしょうか。先生自身も小人数で子どもと触れるようになると、以下の事を実感されると思います。授業内でも、発表の機会は多く、皆が自信をもって発表しており、発表の見せ方、伝え方、声の強弱に至るまで工夫します。何よりも聞く力がずば抜けてついています。中学校の参観に行くと、一目瞭然でした。聞く力はすべての能力の根幹だと思います。だからこそ、能力が発揮され、さらに自信がつき、リーダーシップをもとれる子たちに成長するのだと思います。ただ、力で引っ張るのではなく、皆の声を聞き、そこから皆で道を導き出せるようなリーダーシップです。本当に吹田市の教育改革、山五・山三から手を付けてよいのでしょうか。35人学級、30人学級と進めていかなければならなくなると思います。まず初めに進めなければいけないことは、教員の確保ではないでしょうか。統合して、一時的に教員の人数は浮くかもしれませんが、しかし、疲労困憊の先生方は日々倒れていかれます。本当に少人数学級へ方向転換してみてください。先生方の日々の業務は各段と減りますし、心の余裕が生まれると思います。目が行き届くと、子どもたちが変わります。また先生の負担が変わります。子どもと健全な人間関係が築けます。子どもの成長がより輝くものとなるのはどういった環境なのか、お考え頂きたいと思います。おそらく、早すぎるのだ、スケジュールありきだのといったお声は届いているかと思います。子どもたちの成長という観点から、意見を述べさせて頂きました。

メール-15

山田第五小学校の統合について、校区外通学の特例措置を強く要望します。統合が決定した際には、令和7年4月を待たず、山三小学校へ転入を希望する児童は校区外通学ができると認めて頂きたいです。また、児童の保護者が山三小学校の校長とよく話し合うのではなく、届出を提出することですぐ転入できることとし、特例を認めてください。届出は住所のみで判断し、山五校区だから山三を希望していると理解できるよう、窓口担当の方へ周知徹底してください。ただでさえ保護者も動揺しているなかで、山三を希望する理由等を聞かれるとストレスです。住所で理解して受理するようにしてください。

以上

メール-16

未就学児二人の父親です。表題の件含め、10/14(土)に初めて参加させていただきました説明会【第3回学校規模適正化(第2期)説明会】についての感想と請願です。説明会は「子供が良ければよいのでは」と参加させていただけでしたが、教育委員会による「決まった予定」、「決まった期日」「統合」ありきの力技で短期間に「統合」とまとめられる事に怖さを感じました。その速さは当事者として面を食らうほどで驚きました。その怖さ故、短時間ですが吹田市のホームページや文科省ホームページを拝見させていただき感想と請願と

いう形でパブリックコメントを提出させていただきます。

■10/14 説明会の感想

今回の説明会の第一印象としては、「統合については 当の子供たちの意思確認、希望調査などはなし、これから負担をかけないようにさせていただく」との事 で「なんだか子供たち不在の話し合い。空虚だな～」と思い聞いておりました。今回説明会については「前回の質問、ご意見に対する回答」との事でしたが、父兄の方々は教育委員会の回答がおぼろげで「具体的にはどのようなことですか？」と聞かれていることが多く、とても熱心にご意見されていたと感じました。教育委員会側は「決まった期日」に「統合」前提で話をされているようでした。質問に対しては具体的回答はなく、その場しのぎされているなど感じました。個人的には「文科省のお示しの・・・過小規模校のデメリット」を「早期課題解決を図る理由」とされ【大義名分】のように【子供たちの為】との事でしたが、とても違和感がありました。それはメリットの比較がなされていないからだと思いました。自然な流れで考えても「メリットもあるだろう？」と直ぐに疑問が湧きましたが、その点は深掘り、議論されているのでしょうか？教育委員会説明会の最後に質問の時間がありましたが、まだまだ質問者がいる中、「主催側が決めることだから」と「あと2名に限らせていただきます」と力技で中途半端で終わり、そのような状態の中での終了でしたので、次回の説明会の案内があると思っていましたが、その説明もあるわけでもなく、教育部長の一方的な見解をダラダラと聞かされ終わっています。教育部長の見解の時間は質問の時間に充てるなどされるか、ご自身が質問に答えるなどされるほうが父兄から信用されるのではと率直に感じました。全く父兄方々は納得できていない中で、果たして統合できるのでしょうか。教育委員会さんは 強引と言わざるを得ませんし、そこまで急ぐ必要性は別の事情（大人の事情）ではないのか？と容易に勘ぐってしまいます。

※私が考える大人の事情とは「成果を出す為の応急的な数合わせ」と「経費削減の一環」かと感じています。

■請願 ※3点ございます。

【前提】

山五小学校のご在任中の先生のお話を聞く限り、山五小学校につきまして在校生、卒業生含め過少規模校にみられる問題はないということです。中学校で活躍されている児童もおおくいらっしゃるようです。要は現在の山五小学校は過小規模学校のデメリット（人間関係の固定、集団内の分担・役割・序列から抜け出せない、逃げ場がない、多様な価値観に触れない、対人スキル向上に課題あり）を感じさせないほど良い、魅力的な学校という事です。山五小学校の先生方や教育委員会のおかげで、その点は賞賛されても良いと思います。調べる限りでは、文科省の手引き「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引～少子化に対応した活力ある学校づくりに向けて～」

https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2015/07/24/1354768_1.pdf

では文字のごとく「少子化に対応した学校づくり」をすることが重要視されるべきで、4章の

【(2)小規模校のメリット最大化策】、【(3)小規模校のデメリット緩和策】が小規模校のメリットを最大化し、デメリットを最小化する工夫を積極的に講じることが極めて重要となりますともあります。吹田教育ビジョンでは施策22にもあります通り「過大校の教育環境の整備」が当初の問題となっているのではと感じます。別段小規模校には触れられていないのではないのでしょうか。この文科省の手引きや吹田市教育ビジョンに沿った形での検討はなされたのでしょうか。

【請願 ①】「統合」が急ぎ過ぎる。白紙に戻すべき。

地域の当事者としてはこの方向性を聞く機会が9月に2回、10月に1回だけです。実質9月の2回目は1回目に来られなかった方の対象となっているので実質2回だけ。当事者の意見交換場は実質2回です。「統合」が前提で「スケジュールありき」で進められていることに驚きです。また「地域の意見を丁寧に聞いた」など議会でも淡々と答弁されているのは虚偽では？と思えるほどです。さらに方向性を決めるにあたり意見を聞いたのが「校長？…南山田小学校の校長？普通に考えて隣接する小学校の校長は自校の保身がある故、よその小学校へ嫌な案件は押しつけますよね。「学識経験者学識経験者の方々？…地域の話なんか分からず、マジョリティーの話しかできませんよね」「PTA協議会の方々？…校長と同じで自分の地域外にややこしい案件あっても傍観だけでしょ。本心になって話さないでしょ」と個人的には思います。残念ですがこの学校等検討委員会委員は地域の方々に親身になって検討していただけるとは思われません。「当事者は地域の子供たち」です。その子供たちの意見を反映でできるのが父兄です。早急に取り組む案件ではないです。

【請願 ②】吹田市が小規模校を自慢できる学校へ再検討をお願いしたい。

山五小学校の当事者、父兄は小規模を問題とは思っていません。自慢できる良い学校です。大人の事情で行政と地域が軋轢が生じているだけ。「統合」前提ではなく文科省の手引きの通り「少子化に対応した活力ある学校づくり」「小規模校のメリット最大化策」「小規模校のデメリット緩和策」を含めた再検討をお願いしたい。吹田教育ビジョン施策22でも過大校が問題になっている訳で「小規模校」間には触れられていない。まずこれに沿った話し合いを地域とされるべきかと存じます。また少子化はこの先どこの地域でも起こるのであって、文科省の手引きの通り【(2)小規模校のメリット最大化策】、【(3)小規模校のデメリット緩和策】が小規模校のメリットを最大化し、デメリットを最小化する工夫を積極的に行う必要があり、それを今後はロールモデルとすることで吹田市独自の成功した小規模校での活力ある学校づくりになると考えます。文科省の数合わせか、吹田市行政の数合わせかどうか知りませんが、吹田市の教育委員会にはもっと吹田市の学校に自負を持って取り組んでいただきたい。

【請願 ③】山五小学校を山三小学校の分室にする妥協アイデア

どうしても大人の事情をお通じしたい場合ですが、山五小学校の名前を変更【山三小学校分室】とするだけで解決できませんでしょうか。児童、父兄側は現状維持。文句のつけどころはありません。教育委員会側は帳票【小学校児童数中位推計】を含む資料の数合わせが可能です。説明会での相互の労力が不要で、双方に存することなく解決が図れるのではないで

しょうか。

※中学校は選択性が妥当かと考えます。

統合後、数年は放置されるであろう山五小学校もそのまま活用できます。統合時の学童の心理的ケアなどの不安もなく、新たに大きな費用をかけることもなく双方合意ができると考えます。

システム-1

9日説明会に参加させて頂きました。

1.そもそも、なぜ急ぐ必要があるのでしょうか？説明会から決定までがあまりにも短すぎます。急に聞かされた子供の気持ちを考えたことがありますか？保護者の気持ちも考えておられるのでしょうか？

2.どなたかが質問された際に、子供にアンケートは取らないのですか？との質問に去年答えたアンケートは子供と一緒に答えてると考えてると教育委員会の方はおっしゃってました。「あなたの通っている学校がなくなるかもしれないから、アンケート答えないといけないよ」と子供に不安を与えて答える親がいてると思っていたのでしょうか？

3.山五が出来た歴史や数字を並べられても納得できません。説明会でのいくつかの質問に対して明確な答えもでないのはなぜですか？

中学の選択はいつまで？→段階的に…。

山五の教員は何名連れて行く？→まだわからない。

保護者からしたら、何も決まってる事ばかりやん。と感じました。最後に、教育委員会の方がマイクで色々お話しされていましたが、ボソボソボソボソ言って何をいってるのかもよくわかりませんでした。後ろまではっきり聞こえるような喋り方で対応してください。自信がないのであれば、説明会の意味は全くありません！もっとキチンと保護者に説明すべきです。

システム-2

中学校のみの選択制度なら友人関係共あってフェアではない。小学校からの選択制度にするべき。

システム-3

現行、山五小学校の住民の人達は過小小学校とわかっていても何ら問題ない状態なのに何故統合しないといけないのかわかりません。

システム-4

少子高齢化でどこの学校も廃校や統合はわかるが、山三と統合されるからといって他のマンモス小学校も子供の数が減少されている為、今回の案はその場しのぎであって長い目でみても解決になっていないと思う

システム-5

- 1.山田第五小学校を廃校するのになぜ数年前に多額の税金を用いて改修を行ったんですか？その責任はどうやってとっておつもりでしょうか？
- 2.西山田中学に通わせるということですが遅くまで部活動をして疲れた体を今の山田中学なら5分程度で帰れるのに30分以上かけて夜の暗い道を帰らせることになるかと思います。親としては非常に心配です。選択制にせず最初から山五地域は中学は山田中学にしていただけませんか？何かあったとき教育委員会で責任をとることが可能でしょうか？
- 3.説明会参加させていただきましたが約束しますと言っていた2023/09/15(金)までにホームページに資料を提示する。守られていませんよね？住民の声を聞かずに行う改革。一体だれがうれしいんでしょうか？改めて廃校についてアンケートを再度とってからことを進めてはいかがでしょうか？
- 4.結局のところ数がすくない山五地域だったら反対意見があってもいいかという教育委員会の姿が説明会を通して伝わってきました。少子化に進んでいるので仕方ない側面はありますがまずは子供たちのことを考えて真摯な態度で説明いただいてもよろしいでしょうか？住民は真剣に質問しているのに小ばかにしたような態度ばかりとられては困ります。

システム-6

教育委員会の方々と言わないだけで予算や経費削減で今回の話になった感じがヒシヒシ感じていて住民の意見度返しなのが本当に嫌なので撤回してほしい。

システム-7

説明会に参加させて頂きましたが、反対意見や面倒な案は教育委員会の方々にはメモとらない(議事録に残さない)・賛成意見やより楽になる様な案があれば率先してメモを取る(議事録に残す)という偏った議事録の取り方をされていて、これで山五小学校が良い風になるとは到底思えない

システム-8

説明会・検討。と言う形で仰っていたが、ただの報告会でした。決まった事を覆す気が全くない話し合いも噛み合わない説明会と言う名の名ばかりの会でした。それで環境がよくなるとは思えません

システム-9

先週の説明会の話で山五小学校の体操服等の備品は、山三小学校統合後も使える様にします。との事ですが、違うデザインの物であればそれがイジメのキッカケになるのではないのか。とは思ってしまうので山三小学校の統合には賛成出来ません。

システム-10

将来を見据えて「山五小学校」を選び、「山田中学校」を選択できるように今の住居を選んでいきます。それを安易に変えますという案件に到底理解できません。中学選択制についても「経過措置」となっており1年なのか10年なのかかわからず人生設計を考える事さえ出来ない現状で、条例改正を強行しているようにしか思えません。それは絶対に条例改正時に名言すべきと思います。中学を選択したとしても山三小学校でできた友達がどういった帰路を選ぶのか。親としては家に近い山田中学を選んでほしいが、友達がいらない学校を選ぶ選択は無いと思っております。思春期にそれをえらぶというのは酷とも思います。現在、山五に通学している本人は楽しく通学していますし、現に住んでいるものとして「単学級」にデメリットを感じていません。それを上の人たちの判断で強行するのは配慮が足りないと考えております。条例改正は早急で、考えを改めるべきと意見します。

システム-11

山五小学校が無くならず済むならそれに越したことはないです。南山田小学校地域でも、樫切山で下山田のバス停付近のマンションや一軒家の方々は、山五小学校の方が近いので山五小学校に行きたい。との声を実際(来年度入学の方)に聞いています。山田市場地域も山五小学校寄りもあれば南山田小学校寄りもあると思うのでその辺考えて精査すれば学校区の見直し出来ると思います。

システム-12

山五小学校と山三小学校を統合してしまったら、数のイジメに発展しないか怖い。体操服とかの持ち物でそういうのが明らかにわかるのがあるから。そういった事を考えてる様に教育委員会が思えない。何とかなる。やってみてから考える精神が凄くて、それなら山五小学校のままで良いです。

システム-13

山五小学校の良さが統合する事によって無くなるので、そのままにしていほしいです。住民の方々や通っている子達や卒業された子達や保護者をそもそも統合望んでいない。

システム-14

山五小学校→山田中学校に行けると思ったので今の地域の分譲マンションを購入したのにこんな事されても引越し費用ないので、今のままにしていほしいです。

システム-15

山五小学校と山三小学校のメリットの部分で問題がある子との引き離し可能とありますが、

そもそも自分自身の学生時代もそうですが、おなじクラスであろうが別クラスであろうが合同授業や休み時間などでどうしても会うなり見てしまったりするので、どちらかが引越す以外にメリットとしてならない。それなら山五小学校だけのままで良いと思います。そもそも山五小学校の親子共に温かな感じの方々が多く、小規模ならではの仲間意識なども強いのでそういった問題は私が住んでいる 8 年間で噂でも一度も聞かない。逆に山三小学校ではイジメ問題や問題児の噂や実際に通っていた方々から 10 何年も前から聞いていて嫌です。

システム-16

山五小学校自体、1 年か 2 年前位にトイレや体育館などを綺麗にした話を聞いたのですが、統合の話が出ているのに何故そんな事をして、山三小学校は古いままにしておくのが意味不明です。それなら山五小学校を残す形で全然良いと思います。

システム-17

現在山五小に通ってる子どもたちのためにも母校を無くさないでください。毎日学校楽しいと通っています。今日は学校に行きたくないなど一度も言ったことがありません。こんなに環境のいい学校をなぜ潰すのでしょうか。中学校が遠くなるのも問題です。夏は熱中症の危険がある中遠い学校に通わせるのは危険です。山五は山田中学校に通うのならば南山田の一部が山五に来るべきです。南山田より山五に来る方が近い地域はあります。教室数が足りなくなるとおっしゃってましたが、そこは教室が足りるよう人数を調べてください。教室数が足りなくなるから南小は来れないという理由は納得できません。現在、山五に通ってる子どもたちの為にももう一度ご検討ください。宜しくお願いします。

システム-18

去年だったか、吹田市長から校区見直しのストップがかかったと記憶している。今になって急遽変更になった理由を伺いたい。廃校後の山田第五小学校の用途が無いのなら、校舎から体育館までの工事は全くの税金の無駄遣いである。改修工事に費用が幾らかかったのか明示の上、関係各所に納得のいく説明を望む。

システム-19

現在、山田中学校に子を通わせている親です。一度白紙になったと伺っていた、山五校区の小学校統廃合、中学の校区変更について、再度告知がなされたとのことで驚きましたためご意見させていただきます。

- ・一度白紙になったと思われていた校区見直しについて、あまりにも唐突すぎる知らせです。子供、保護者共になかなか受け入れ難いと思われます。
- ・保護者への説明前に子供達へ先に知らされたことは、配慮が無さすぎます。現に不安定になっているお子さんが居ると聞いています。

- ・特に低学年においては途中での転校は大きな環境変化となり、配慮が求められます。
 - ・また山五地区(特に岸辺寄りの地区)については、中学登校がかなりの負担増となります。かつての学生とは異なり、現在小中学生共に荷物の重さはとんでもないものとなっています。暑い夏は特に心配です。
 - ・校区を考えて住居を決めているケースも多いです。急な環境変化は親子ともに追いつけないと思われます。
- 不登校も増える今、子どもたちの環境変化には繊細に対応していただきたいです。
もう少し、意見を募ってからでもよいのではないのでしょうか。

システム-20

子供からどうしても言いたい事があると言われました。私達は、1クラスしかないけどその分とても仲良しです。上級生や下級生とも仲良しです。先生達も見守ってくれて、毎日とても楽しい！なぜ私達の、通っている私達の意見は聞いてもらえないのですか？子供だからですか？勝手に進めないでください！反対です！！今回の元のアンケートは、南山田と山五の学区見直しを基に回答していたので、まさかの山三とに戸惑いを隠せない、、、それなのに、説明会ではアンケートをした！と言われた。これは本当に私達の意見は反映されているのでしょうか？確かに入学前は心配もしました。でも、過小規模校は、縦の繋がりや人との深いつながりや絆を育んでくれていると思います。地域の方も大切に思ってくれているし、保護者も学年を超えて知って、見守ってくれている、、、今の日本は他人に対して冷たい人が増えている、そんな中でここでの出会いは子供にとっても親にとっても良かったと思っています。先生も凄く見てくださっているな、、と感じます。目が行き届いている安心感があります。偉い方の声だけ聞かないで下さい。小学校に通っているのは、過ごしているのは子供達です。小学校の子供達をご覧になられた事はありますか？とてもイキイキ、パワーに溢れています。公園でも学年関係なく遊んでいます。新たな対人関係も、その絆を元に作れるなど安心してます。お願いします、早急に押し進めないで下さい。子供に傷を与えないで下さい。今のやり方は、子供や親に対して、不安感と不信感しか与えていません。誠実をもって対応してもらえないか不安しかありません、、、よって、再考案をお願いしたいです。

システム-21

山五山三小学校統合について

令和7年度からの統合に向けて、令和6年度、両小学校の行事や年間スケジュールなど細かいところのすり合わせはちゃんと行ってくれますか？それができないなら7年度は早いと思います。小学校が近いのにも関わらず、プールの期間(山三は夏休みと2学期がなかった)・入学準備品の相違・懇談会の時期などが違うことが多いです。こんなに近いのにGPSが「ミマモルメ」だったり「とおるもん」だったり。ただでさえ児童も小学校が変わるといふ負担がかかるのに、こういう細かに所に気を遣ってもらえないと山五の保護者としては安心して統

合に気持ちに向かえません。さらに、働く保護者さんでは先の学校生活の見通しが見えないと仕事の企画等にも影響します。9月9日の説明会はとても残念なものだったと聞きました。どうして謝れないのですか？配慮できないのですか？とにかく、みんなが困らない、バタバタしない丁寧な統合を強く、のぞみます。どうか、お役所仕事ではなく、寄り添った人間らしい計画をお願いします。

システム-22

現在、山五小学校に通学する児童の保護者です。先日教育委員会の方から保護者宛に説明会がありましたが同意出来る説明ではありません。去年行われた学区に関するアンケートをもって統合を決定したとように話されていますが、納得出来ません。アンケートの結果を山五小学校児童並びに保護者へ十分な説明もなく、また説明会の中で一保護者が伝えたように、アンケートの意図するところが、統合ではなくあくまでも区割の編成についてのものと認識していました。それを保護者側の認識を無視するかのような進め方では納得いきません。保護者、児童の心情をくみ取るのが役所ではないでしょうか。山五地域が望んだ統合なのでしょうか。規模適正化が正しいやり方なのでしょうか。今が正しい時期なのでしょうか。今一度、山五地域、市民の声を聞いて頂きたいです。

システム-23

統合するにあたり

1.山三も過小規模の見込みがあり、生徒減少の問題点は山五と同じではないか。在校生同士の考え方の差を軽減し、どちらも公平にするために学校名の変更はできませんか。

2.通学路について

説明会では裏門側に新しく道を造設する案がありましたが、正門側から山三に直線上に通学路を造るのはいかがでしょうか。(大通り側に出るのではなく、団地側を通るルート)理由は通学時間の短縮です。隣接の小学校であり近いとは言えども+500m。重たい荷物を持ち、近頃の夏場は危険レベルの暑さの中、毎日通学することになる。特に身体の小さい低学年の子供には負担が増えるのではないかと。また、西山田中学校へ通学する選択肢があるならば、問題となりそうな通学時間(距離)の短縮を考慮して頂きたい。交通面の安全だけでなく、多様な視点から安全な通学路案を立案して頂きたいと思います。

システム-24

子どもの意見も聞かずに大人だけで勝手に決めている。

システム-25

子どもの意見も聞かずに大人だけで勝手に決めている。

システム-26

白紙になっていた問題が、保護者や子ども達の意見も聞かず、いきなり 2 年後に統合しますは、市の勝手すぎる。子ども達の心はとてもデリケートです。通学時間も長くなる事を考えていますか。重たい荷物も子ども達は毎日持っています。熱中症を引き起こし命に関わることです。もう一度考え直すべきだと思う。

システム-27

どこの学校を調べても統合する場合は、小学校の名前が変わると思うのですが、2つの小学校の保護者に話を進めていますか。

システム-28

未就学児と暮らしています。山三小学校への通学は山五小学校と変わらない距離で、生徒数も増え、学校生活も明るくなりそうで大いに賛成です。しかし、進学先への西山田中学校への通学時間は大幅に長くなり、距離を感じます。自転車通学なども行っていないということです。昨今の夏は長い距離を歩かせるのが怖いほど暑いので心苦しく思います。大人でも山田南や市場から西山田中学校まで距離を歩くのは辛く感じるのだと思います。山田中学校の方が通いやすく、通学も安心できます。山田南、市場に住んでいる者にとっては明らかに山田中学校の方が近いのでわざわざ西山田に行くのはなぜかと思いながら 3 年間過ごすことになると思います。西山田中学校、山田中学校の選択制であれば心から嬉しいです。

システム-29

現状の住民に対する説明、資料では判断ができませんので反対です。学校は地域コミュニティの中核的な施設であるので、統合を行う場合は、通学区域の拡大や学校選択制など、他の検討内容も併せて地域住民に丁寧に説明する必要があるべきだと思いますが、残念ながらそれができていません。また、仮に統合する場合は、既存施設(山五小学校)を今後どのように利用していくのかも併せて具体的に説明してください。

システム-30

9/9 土曜日の説明会に参加した者です。現在、過小規模校である山五小と令和 14 年に過小規模校になる予定の山三小の吸収合併は校区面積も大きく関わっているような説明があったが、同じ令和 14 年の南山田小の学級数予測も 19 学級まで減り、わざわざ、別の中学校校区同士とする必要性がよくわからない。現在の「南山田小と山五小を合わせた山田中学校区は 1.1Km」、「西山田小と山三小を合わせた西山田中学校区も 1.1Km」どちらも同じ校区面積の為、別の中学校区で「過小規模校の適正化」の説明だけでは納得もできず、山五小にはデメリットしかない上、双方、同じ中学校区内での小学校の通学区域の変更で十分では

ないか。過小規模校化は校区面積が小さいことが主な原因としているが、そんなことは分離する際にわかっている事であり、現在、違う中学校区の山五小と山三小を合併は納得できない。そもそも、現在住んでいる家も元々は南山田校区から山五校区に変更になり、今度は山三校区に変更とあまりに身勝手かと思われる。説明会で話していたが、何故一度白紙になったものが「水面下で」勧められており、説明会が予定されていたにも関わらず、きちんとした資料やアンケート等の情報開示もなく、中身も何もない到底納得できるような情報すらも記載されていない、地域住民や保護者と教育委員会のアンケートの解釈のズレがあっても、アンケートを再度しようともしない。色んな意見や質問が出て資料もしっかり用意されておらず、教育委員会にとってボロが出ないようになのか「過小規模校の適正化、子どもたちにとってのよりよい教育環境」との回答ばかり。広範囲(他の市等)ではなく、山五地区住民(特に子どもたち)の意見を無視した挙句、納得を得たいのであれば、きちんとした資料や情報開示、数値等、すべて公開すべきである。実際、被害を被るのは山五小地区のみであるからだ。教育委員会は所詮、他人事なので、データや数字のみでの判断しており、住民のこと等何も考えてくれないのがよく伝わってきた。自分の子どもの学校で同じことが起こっても、教育委員会はこんなお粗末な説明会で素直に納得できるのか。それから、なぜ情報開示もなく、7月下旬まで「水面下で動き、今年度中」というあまりに短く限られた時間なのか。「過小規模の適正化、人間関係の固定化の解消、子どもたちにとってよりよい教育環境」等と謳っているが、山田中学に進学する際、人間関係の固定化の解消は解決される問題であり、ただただ教育委員会の「山五地域住民、子どもたちの意見を無視し、数字だけをみた過小規模校をなくす対策」としか思えない。地域住民、保護者、子どもたちの大半は現状で満足している上、過去に困っている時期には放置され、勝手に水面下で動き、通学路も配慮もない。一方、当日渡された資料に南山田小について通学区域の見直し「人間関係の継続・維持の課題」の欄に「一部の児童に転校が発生することから、児童・保護者等の納得が得にくい」と記載があるが、山五小の児童・保護者等の納得は得れていないにも関わらず、何故、南山田小の意見は尊重され、山五小の意見は無視されるのか。我が子は、山五小がなくなるかも…と話が出てから、「山五小で卒業したい、今の学校が大好きだからなくしてほしくない」と不安になりよく泣くようになったが、納得できるような説明がまずなされていない上に、保護者も子どもにどう説明したらよいのか。小規模だが、山五小は教諭も全員、生徒の名前と顔を覚えて手厚くみているとても良い学校である。合併せずとも、子どもたちにとってとても良い教育環境だと思われる。一昨年に大規模工事をし、今年には遊具もほぼ新調されているが、山五小を無くすのなら、何故、こんなに税金をつぎ込んで、工事等をしたのか。大規模工事と遊具の入れ替えにいくらかかったのか、仮に統合する際に新通学路の安全対策、山三小の修繕等でもどれくらいの血税がつぎ込まれるのか、予算を全て公開し、山五地区のみならず、吹田市民に改めてアンケートを取るべきでは。説明会ではたくさんの教育委員会の人間も来ていたが、実際、話していたのは4人でそのうちの一人は寝ていたように見えた上、各議員も全て欠席したのか。議事録は渡すと話していたが、あの説明会を聞いていて、きちんと報告されるとは

到底思えず、教育委員会の都合の良いように改ざんされて、報告されるのではないかと思っている。ギリギリまで地域住民、保護者、児童に隠し、水面下で動き、子どもたちにも教育委員会からの手紙も裸のまま渡し、説明会冒頭で謝罪すると話していたそうだが、最後の最後まで謝罪もなく、支離滅裂だらけで信用できない。

システム-31

このような方針に至るまでに、教育委員会は児童達に説明とヒアリングはしているのでしょうか？保護者には、昨年度に説明とアンケートがありました但实际上に学校が変わるのは、児童達です。この方針は児童の最善の利益を考えた方針なのでしょうか？地域の少子化問題を都合よく解決するための方針であるように感じます。小学生に理解出来るかどうかは、別の問題です。まずは、児童に説明とヒアリングを行う。希望者には議会への発言権などを保証する、などが必要があると考えます。地域の少子化問題について考えなければならないのは大人だけでしょうか？教育委員会は児童を社会の一員と考え、児童の権利を重んじて頂きたいです。

システム-32

私は山田第五小学校の卒業生です。6年間も通っていたのでなくなることは寂しいです。人数が減ってきて統合の提案が出ているのは分かります。ですが卒業生はたくさんいます。小学校が1番長い学校生活をしてきて思い出がすごくあります。先生方も生徒と一丸となって頑張ったり、めんどろを見てくれた素敵な先生ばかりでした。卒業生の人たち、地域の人達は今でも山田第五小学校を愛し続けています。歴史のある学校だと思います。部活だって一生懸命で優勝してきた子達もいます。その歴史をつぶすきですか？私は山田第五小学校がなくなることはすごく嫌です。人生の10分の1は小学校でできています。すごくすごくすごく無くなったら悲しいです。どうかこれをよんでくれれば嬉しいです。

システム-33

山田第五小学校は運動場の遊具も新しくし、体育館も綺麗にし、教室の黒板もホワイトボードに変え、色々なものを新しくしているのに、なぜ山田第五小学校がなくなるのかわからない。市民の税金を使って新しくしているのに、税金の無駄遣いとしか思えない。

システム-34

「経過措置として、山田南・山田市場9番～11番に在住の児童については、当分の間、中学校への進学時に西山田中学校または山田中学校のいずれかを選択できることとする。」上記(中学校選択肢)の件、当分の間ではなく継続して選択できるようにしてほしいです
よろしくお願ひします

システム-35

・何の情報や説明もなく、あまりに急に決まったので今通学している子供の気持ちを考えてほしいです。今通学している子たちは山五で卒業できるようにお願いします。

・これから小学校に通う予定もあります。山五地区でも遠いところに住んでいるので、山三小学校になると学校に着くまでに 30 分以上はかかり、教室に着くには 1 時間ほどかかるかと思えます。真夏や真冬さ重たい荷物を持って登下校することになるので厳しいです。また、山五の裏の竹林のあるところ通るのは暗くて狭いですし、前からも後ろから車も通り危ないです。交通規制もできないとのことなので危ないまま通学路にするのはありえません。安全な通学路を必ず作って下さい。また、なるべく近くなるように道も作っていただかないと困ります。荷物も宿題以外は置いていけるように、またランドセルは重いので軽い鞆の配布も考えて下さい。iPad もとても重いので軽いものに変えていただき、頻繁に持ち帰るのはやめてもらわないと困ります。

・永年免除になるので本部役員をしました。山三小学校になっても、この件で引越もしないと厳しい状況に追い込まれていますので、どこの小学校にいても永年免除をお願いします。生活を考えて本部役員をしたのでその辺りもしっかり対応して下さい。

・山三小学校、今後中学校も西山田中学校になるかもしれないとのこと本当に遠すぎます。引越しも考えないといけなくなってしまってとても困っています。引越し資金の補助等もしっかり考えていただきたいです。小学校や中学校の距離を考えて自宅を決めたのに急に山五がなくなる、山田中学校じゃなくなるかもと言われてとても困ります。中学校は西山田中学校までは遠すぎますので、山五地区は山田中学校をお願いします。山五小学校をなくすのではなく、山五地区を広げる方向も再度考えていただきたいです。山五地区でも離れたところに住んでいることもあり、とても辛い状況です。宜しくお願い致します。

システム-36

山田第五小学校で開催された説明会に参加しました。決定事項ではないと言いつつ、山田第五小学校を山田第三小学校の統合が既定路線の説明会で、あと 1 年半後に実行するという強行スケジュールに大変大きな衝撃を受けました。子どもたちのためと言いながら、このような市民不在の強引な進め方で、子どもたちの大切な小学校生活を軽視している吹田市教育委員会に大きな不信感を持つと共に、教育環境が素晴らしいと感じ、ここで子育てをしたいと思って転入してきた吹田市に失望しています。

・安易な統合案に反対します。子どもの減少は、山田第五小学校を山田第三小学校学区の問題だけではありません。過小規模校同士を統合したところで、学校規模適正化が実現できると考えるのは拙速ではないでしょうか。10 年後を見据えた長期的視点で考えれば、今回の統合で過小規模校を解消できるという見込みは甘く、近隣小学校を含め学区再編成まで検討すべきだと思います。説明会では学区再編成も検討したが、反対の声が大きすぎて難しかったと言われましたが、山五小学校は保護者の数も少なく反対の声の数も知れているから、

これで何とかという教育委員会の思惑が見えてがっかりしました。児童数の減少をふまえ、時間軸が 6 年後の学区再編成であれば兄弟が別々の小学校に別れて通うことにもならず、心の準備をしたり、転居も検討できるので、理解を得られるのではないのでしょうか。

・数年かけて検討してきたということですが、山田第五小学校は 2 年前に校舎や体育館の大規模改修を実施しました。統合が数年前から検討されているのであれば、廃校にする予定の小学校への大規模改修は税金の無駄遣いです。他にも改修を必要とする小中学校が吹田市には沢山あります。この点についてもご説明いただきたいと思います。これも中長期的な視点が欠けているのではと思う一つの理由です。

・経過措置の中学校選択制も反対です。選択できるからよいという話ではありません。子どもたちのためという大前提に立ち返るのであれば、選択制はかえって酷です。なぜ友だちと一緒に中学校に行けないのか説明できるのでしょうか。安易な統合案ではなく、小学校からの学区再編成を強く希望します。

システム-37

山田第五小学校のこれまでの役割はどのようなことだったのでしょうか？資料を一読させていただきましたが、それが伝わってこない内容だと感じました。適正化をするなら、これまでの山田第五小学校が担ってきた役割をきちんと整理し、それを具体的にどのような手段で引き継いでいくかを、関係者に分かりやすく説明していただくことが必須です。“子どもたちのために”と書かれていましたが、学校の役割は子どもたち以外にも多面的に考える必要はないのでしょうか？つまり、どのような学校も目指してきた学校像(ビジョン)があり、それをみなさんで改めて確認した上で話し合いを行わないと“子どもたちのために”はならないということです。多面的にということは、具体的には“子どもたち”とその背景にいる保護者だけでなく、お世話になっている地域の方々、山田第五小学校でお世話になっている職員、出口校(山田中学校)、入口校園(各幼稚園、保育園など)、設置管理者等です。山田第五小学校がこれまでに掲げてきた“目指す子ども像”“目指す学校像”は力の入れどころ、つまり重点事項と特色を的確にとらえて定められてきたものだと感じます。教育委員会にも自治体にも資源は限られている中で、山田第五小学校に関わる皆さんが重点事項を定めてベクトルを揃えて力を発揮されていました。学校経営の芯の部分であると感じています。子どもは少人数でも関わってきた大人のみなさんが、その強みを活かして充実した教育活動を行い、山田第五小学校ならではの教育成果を出してきたのではないのでしょうか。少人数なことが特色ではなく、このような取り組みが特色だと言いたいのです。吹田市の教育ビジョン、P4 の(7)チームとしての学校のあり方を読ませていただきましたが、十分にその教育ビジョンを達成している学校ではないのでしょうか。そのように感じている児童・保護者が一定数いる中、保護者の方を集めてされた説明会は“子どもたちのために”適正に変化していくように説明がなされていなかったのだと推測します。資料にも山田第五小学校が担ってきた役割を多面的に捉えて具体的に挙げ、改めてそれをどのように適正に引き継いでいくのかの説明を強く求めます。

(24)

システム-38

住民への説明会を受けた。統合へ向けての配慮をもう少し考えていただきたいと思う。具体的には下記のような配慮があるといいのではないかと考えている。

1.職員の負担軽減

職員には、通常業務外の統合に関わる業務が必然的に増えてくる。その業務を担うための加配が必要と考える。職員の負担の増加がストレスになり、ひいては通っている児童への影響を及ぼすことが考えられる。そのため、合併に向けての期間その業務にかかる人員の加配を希望する。

2.児童交流

幼少交流など、入学時にも、事前に小学校に訪問するように段階的に小学校に慣れていく。合併に際しても、山三山五での児童の交流を計画的に進めていっていただきたい。例えば運動会、学習発表会の相互鑑賞。オンライン授業などでの交流学习。そういったものを合併前に計画してスムーズな合併につなげていただきたい。

3.児童、地域のメンタルケア

合併によるストレスがどんなところに出るかは想像がつかない。未発達の子どもがどこかで不調をきたすことになる。どの子がということもわからないので、カウンセリング室を設け、誰でも相談できるような環境整備を求める。合併前後の一年単位でのメンタルケアできる人材の配置をもとめる。

システム-39

元々、南山田小学校区域のマンションや戸建てや賃貸在住の人は山三小学校ではなく南山田小学校→山田中学校にしてほしい。山五小学校の地域になって10年前後のハズなので。

システム-40

そもそも学区編成をこのタイミングで山五小学校だけするのがわからない。山三小学校と山五小学校を合併しても一時しのぎにしかない。山五小学校が無くなれば南山田小学校も中学までの9年間持ち上がりになる問題も発生するし、万博の所にマンション等が建った時にそのマンションの校区決めの時にその学校があふれる問題も発生するので、それをふまえてそれなら吹田市全体の校区編成すべき

システム-41

そもそも元々南山田小学校地域のマンションに住んでいるのでそれなら山三小学校ではなく、南山田小学校の地域に戻してほしい。

システム-42

・2年後に統合が急すぎて困っています。もっと市と話し合いたいです。保護者や子供たちが納得できる話し合いが必要だと思います。

・学校から統合にかんする手紙をもらってきたり、先生から説明があったことで、子供たちはすでに動揺しています。統合後のケアの話は聞きましたが、今もすでに不安に思っている子供たちがいます。それについてはどうお考えでしょうか。また、統合後にカウンセラーを配置すると聞きましたが、カウンセラーが必要ないくらい丁寧に統合をするなら理解できますが、カウンセラーありきの統合になることが不安です。また、カウンセラーを置いても自ら相談に行かなければカウンセラーをおいても意味がありません。カウンセラーが子供と学校の間に入ってしっかりコンサルしてくれるのでしょうか。カウンセラーの立ち位置をどのように考えているかを説明してほしいです

・今もすでに山三に行きたくないと言っています。子供たちにどのように説明して山三へ行かせるのでしょうか。子供たちも納得できる説明ができるように進めてほしいです。親が納得できなければ子供に説明できません。また子供が納得できれば親は子供をサポートできます。親も子も納得のいかない統合の進め方で誰がどのように子供をサポートしたらよいのでしょうか。今後の進め方をどうするかもっとしっかりと市と保護者と地域で話し合うべきだと思います。

・統合前に山三と山五で交流をすると書かれていましたが、どのような交流をお考えでしょうか。交流を考えるのであれば、統合をしなくても今後も2校合同での交流会を増やして輪を広げる方法でもよいのではないのでしょうか。今後35人学級がすすんでいくと思います。1校に人を集めて大人数にするのはそれに反するのではないかと思います。また、山三に空き地があります。今後山一、北山田にマンションが建つ計画があると聞いています。ここ5年くらいでこの地域の人口推移は今の推計よりも大きく変わることが考えられます。それに合わせて35人学級となるのであれば、今統合するのは賢明なのではないでしょうか。今急いで統合ではなく、もう少し時間をかけて考えてもよいのではないのでしょうか。今急ぐ理由を教えてください。

・説明会の時に「いそいでほしいという意見もある」と聞きましたが、それはどれくらいの割合でいるのでしょうか。私の周りでは急いでほしいという意見はあまり聞きません。どちらかというともっとゆっくり進めるべきだという意見を聞きます。大多数の人が「急いでほしい」と言っているのであれば理解はできますが、私が感じている温度感とまったく逆だったので気になります。

・市は複数回説明会を開いたと言っていると聞きますが、私たちは1回しか説明会を聞いていません。複数回とはどういうことでしょうか。

・今回の案は去年のアンケートに基づいたものだと聞いていますが、アンケートの結果の開示はしていただけないのでしょうか。情報をもっとオープンにしてほしいです。アンケートに基づいて、どのようにこの案が良いとなったのですか。

・統合案は、市と大学教授とPTAで検討した結果と聞きましたが、それはいつ話し合われたのでしょうか。PTAは山五小の保護者ではなかったと聞きます。当事者はなぜ入れないの

しょうか。当事者しかわからないことがあると思います。外側だけで勝手に決めないでほしいです。

システム-43

急な統合は良くないと思う。子どもが不安になる。統合しなければいけないなら、来年度の新生の受け入れをストップにし、今の一年生が卒業してからがいいと思う。

システム-44

急な統合は良くないと思う。子どもが不安になる。統合しなければいけないなら、来年度の新生の受け入れをストップにし、今の一年生が卒業してからがいいと思う。

システム-45

絶対に入學した小学校で卒業したいです。

システム-46

山五小学校を残すか、ファミリーマートより道路渡っての元々南山田小学校地域の場所に関しては統合するなら、南山田小学校地域に戻して欲しい。

システム-47

山五小卒業生の保護者ですが、山五小が、山三小と統合されるのは反対です。山五の子供達が悲しみます。山五小学校は無くさないで下さい。

システム-48

児童・家庭への配慮不足、生活への支障、既に精神的ストレスを受けている為、廃止を求めます。この件について、学校から唐突に子供たちに説明されました。父兄への事前説明は一切ありませんでした。教育委員会からの説明では、学校を統合することによって児童が”ハッピー”になる方法とのことでしたが、既に子供には不安が走り、”アンハッピー”になっています。児童数が揃うメリットばかり強調されていましたが、デメリットには殆ど触れず、子供のことなど考えている様子が全く伺えません。教育委員会の軽率な判断であり、詭弁です。今回は山五児童が山三へ編入となる為、山五児童は新しく覚えることが増え、負担がかかります。また、山五と山三が対等でなく、児童間での差(いわゆる山五児童に対し山三児童がマウントをとる)が生じることが予想されます。既に、隣接する児童センターでは、山三小と山五小の子供同士での小競り合いがあると聞きます。学校が変わること、ローカルルールや慣習などの違いにより、これまで正しかったことが間違いとなることがあります。

校歌も変わってしまいます。子供にとって大変なことです。ストレスを抱える子供も多くなると思います。教育委員会の対策として、詳細不明の合同イベント、カウンセラーを置く程度しか

考えられていません。説明会で教育委員会から、学校を変えるタイミングにあった児童たちは、犠牲になってもらう。との主旨の発言があったそうです。そんな人たちが考えた案は到底受け入れられません。

システム-49

山五小学校を残すか、ファミリーマートより道路渡っての元々南山田小学校地域の場所に関しては統合するなら、南山田小学校地域に戻して欲しい。

システム-50

山五小学校を残すか、ファミリーマートより道路渡っての元々南山田小学校地域の場所に関しては統合するなら、南山田小学校地域に戻して欲しい。

システム-51

山五地区に住んでおり、再来年に子供が小学校に入学する者です。説明会の案内もありましたが、夫婦共々シフト制の仕事であり、予定が合わずに説明会参加できそうにないので、こちらに意見を送らせて頂きました。保護者として山五小学校と山三小学校の統合の話を聞いた際に率直に以下のような心配がありました。

1. 統合により山五小学校に通学する家族は環境が色々と変わるが、児童や保護者に対してのフォローやケアはあるのか？事前の説明会だけでなく、統合してからも相談する場所はあるのか？
2. 学童保育枠の拡大や人員補充はあるのか？核家族が進むなか、山五小学校では学童に入れる人数だったのに、山三小学校と統合になった途端に、人数オーバーで入れないという状態では困る。学童保育の利用人数が増えれば、トラブルも多くなるので、その問題に対するフォローはどうするのか？
3. 中学校の校区変更もあり、皆が同じ中学校に行くわけではないので、そこでトラブル(いじめや不登校など)が起きないか心配。校区変更後に通うことになる南山田中学校のことは学校の雰囲気や行事のことなど全く分かっていないので、その中学校のことをどのように知ればよいのか？

きちんと山五小学校と山三小学校の児童・保護者と行政が話し合える機会をもっと増やしてほしいです。

システム-52

反対。少人数の何が悪いのかわからない。親も子も納得して通っている。嫌な人たちは転校している。現状通っている子どもたちだけが、突然転校という犠牲をおうのはおかしい。小学校の間は、少人数で大人の目が届く山五で育ってもらいたくて通わせているので、突然変えられるのは困る。選択肢が少なくなる。

システム-53

私の意見は、どのような内容にせよ、地域の人にもっと説明が必要ということです。統合することが必須であっても、いつのまにか進んでいて、もう決定しているというような状態になってしまったのはどうしてだろうと思います。不信感が募ってしまうのではないのでしょうか。気持ちよく過ごしていくためにも。通学する子どもたちのためにも、考えていただきたいです。

システム-54

山田第三小学校と山田第五小学校の統合が、2年後になされるということについて、公表されてからの期間が短過ぎると思います。その間、新たな転居転入など、家の購入を決めていた方にとって、負担が計り知れません。公表されてから、5年後、10年後、と住民の同意、準備期間を経て実行すべきと思います。過去におこったダム開発と村民の反対運動デモを思い起こされます。令和の時代に、この様な住民の同意を得ない強制決定がなされていることが吹田市民として残念でなりません。

システム-55

千里第二小学校の保護者です。子供は1年生です。山田第五小学校に通う子の保護者の方から、この件聞きました。幼稚園から千二に入学したとき、多くの児童がいるので子供が戸惑い、幼稚園から一緒だった友達もクラスに一人しかおらず、通うのが毎日の様に嫌がっていました。今も多少はよくなりましたが、休み明けは登校するのを渋っています。山五小の保護者は、児童数が少ないことにそれほど困っていないと聞いています。むしろみんな親も子供も先生も仲良く、小規模校のメリットが多くあることを聞いています。なぜ、今回山五小学校が対象なのでしょう。昨年アンケートされたときに、千二は大炎上したとの噂がありますが、それで千二は後手に回されているのでしょうか。下の子が現在年中です。下の子も同じ様に、学校へ行くのが渋ってしまうのが、目に見えています。過大希望校の千二や千三を優先して対策を行うべきかと思います。直ぐにです。

システム-56

現在は市外に住んでいますが、市内に通勤しています。吹田市はファミリー層も多く、治安も良いと聞くので、育児のため数年後の転入を検討していました。しかし、今回の教育委員会の対応で転入する気がなくなりました。少子化で学校が統合されることは仕方ないことだと思いますが、それに伴う救済措置が全くないようで驚きます。移行期間も2年ほどと短いようで、現在小学校に通っているお子さんとそのご家族の状況は関係なく早急に進めているように感じました。おそらく少子化は今後も進んでいきますし、今回の学校以外にも統合や廃校が起こっていくと思います。その時に、自分の子どもを通わせている学校が突然統合や廃校になり、有無を言わず後の対応に追われることになるのも予想できます。市の方針や対応

が今後もこのような形なのであれば残念です。不登校の子どもも増えている中で、十分対応できないのではと思っています。せめて、今の1年生や来年度の新1年生が卒業するまでは移行期間と定めてはいかがでしょうか。小学校入学後から中高大と10年以上の単位でライフプランを考えながら住む場所を決めようとしていますので、今回のことは非常に印象が悪かったです。

システム-57

いつも吹田市のために日々ご尽力いただきありがとうございます！今回の案件に関して、市民の声を聞く機会や、十分に説明いただける機会がないと、多くの友人から不安の声を聞きます。何かを変える時に、反対意見が出るのは仕方がない事です。しかし、もう少し誠実に、子供たちのケアも考慮した対応をお願い出来ないでしょうか？市民に寄り添った対応をお願いします！

システム-58

1.山三と山五の統合は、子どもの人数の推移から必要な措置とは思いますが、ただ、今山三小の1クラスの人数が25人以下で、子どもたちがゆったり学べてます。また支援級の息子はその行き届く人数のため、クラスに入り込んで勉強できてます。統合して、子どもの1クラス人数が30人をこえるのはやむを得ないとおもいますが、支援級の子も含め1クラス35人をこえるなら、きちんとクラスを増やしてほしいです。山一が1クラス40人で落ち着かないのを友だちのお母さんからきいてます。子どものクラス人数は35人を守ってもらえないなら、統合はしてほしいありません。

2.山五地区は南山田地区の人数が増えたため、もともとは南山田地区だったところを山五地区にしています。南山田地区から山五地区に移行して、今回のでさらに山三地区になるのは、そこに生まれ育てる方は納得ができないと思います。もともと南山田地区だったところは、山五地区から南山田地区へ戻すということを検討してほしいです。

システム-59

南山田小の保護者ですが、山五小を廃校にするのは、急ぎすぎかと思います。山田市場・長野西の住まいではないのですが、今回の教育委員会の決定事には少しほっとした半面、山五小の児童や保護者のことを考えると、昨年は人数を増やすようなことを言っておきながら、一年経ってやっぱり廃校って、どうなんですか？山五小のことを軽く考えているのではないのでしょうか。しかも再来年度からというのも、現実的に可能なのでしょうか？自分の地元にある小学校も、閉校が今年の1学期に決まりました。これは保護者が児童数が少ない(1学年10人以下)から、隣の小学校と統合してほしいと要望し、それで議会でも承認された流れです。それでも、令和8年度からの統合なのです。地方の田舎なので、その自治体は統廃合は数年おきに有るようですが、それでも慎重に行い、準備も万全にしているのに2年も空いている

のではないのでしょうか。それに比べ今回は、保護者や地域も納得のしていないと聞きます。納得してもらえないまま、全て進めていくのですか？学校名はどうなるのでしょうか。自分が山五小の保護者でしたら、校名は変えて欲しいです。すなわち校章や校歌なども変わる必要があると思います。それが1年で出来ますか？学校や児童、PTAも1年で統合の準備が可能ですか？学校に関しては教育委員会が手を貸すかもしれませんが、PTAはどうしますか？誰が規約作ったり役員選出等を行いますか？子どもの人数が減っているので、今後も統廃合することがあるかと思いますが、同じような日程間で行うのですか？吹田市・教育委員会、本当に市民や子供のことを考えて、今回の条例の改定を行おうとしていますか？

システム-60

仮に統合することになっても、学校名は新しい学校名を希望します。学校まで遠くなり、校舎も新しい校舎ならまだしも、やや古い慣れ親しんでもない校舎で、先生も児童も山三側が多い中、学校名まで山三を名乗れ、校歌も山三のを覚えろって、酷ではありませんか？せめて、全員が新たな気持ちで過ごせるように、学校名や校歌は新しいものを希望します。

システム-61

校区設定が不適切な為、再考が必要です。山田市場に住む保護者です。元々、山田市場は、南山田小の校区でしたが、山五に変更されました。今度は、西山田中に変更です。ここに住むに当たり、通学距離も考えて住居を購入しています。山田中は、50m、徒歩5分の距離です。なぜ、徒歩30分、1.8kmも離れた中学校に通わないといけないのでしょうか。昨今の厳しい気候から、毎日往復1時間も歩くことは、安全に通学が行えるとはいえません。子供にとっての大事な時間が通学に奪われることにもなります。教育委員会からの説明では、元々山三が別れて、山五になったとの説明がありましたが、「元々」と言うのであれば、山田市場は南山田小、山田中にしないと論理が成り立ちません。数合わせで、ころころと校区を変えるな。そんな都合で、生活を狂わせるな。人生計画を狂わせるな。いい加減にしろ。と言いたいです。吹田市の教育への姿勢には幻滅です。

システム-62

この案は、時期尚早で検討不十分な愚策の為、取り下げるべきです。この学校規模適正化は、吹田市のHP「令和11年度(2029年度)小学校別学校規模」から鑑み2029年を見据えて検討されていることと認識しています。2029年まで、まだ6年もあります。6年あれば、小学校の全児童が入り替わります。なぜ、たった1年ちょっとで学校を変えるのでしょうか。なんで、こんな早々に行う必要があるのでしょうか。親も子供も準備期間がありません。これは、教育委員会の実績づくりではないかと勘ぐってしまいます。教育委員会からの説明では、やたらと大学の先生の意見と言われていましたが、その方の顔を立てるのが目的ではないですか。一方、同じHPには、山五は現時点で小規模校であり過小規模校ではない、一方、山三

は標準規模で、今後は大規模な住宅開発が想定されており過大規模校になることも考えられような記載がありました。仮に、今後、山三が準過大規模校になったら山五を復活させるのですか？5年後や10年後を見据えた対策となっていないよ。もっと長期的視点で考えるべきことですので、今、急いでやることはありません。

システム-63

■山田第五小学校の校舎等をどのように活用するつもりなのか説明がない。修繕まで行った校舎や体育館を有効活用する手立てとその後どのようにしていくのか(売却の可能性)。今後の活用について説明を頂きたい。

■中学校区の選択制に関して「経過措置」との説明だが、いつまでなのか不透明である。時期や対象者を明確にして頂きたい。

■地域の諸団体は「継続」する方向とのことだが、小学校がない中で地域諸団体はどのように存続していくのか。少なくとも小学校統合は地域の統合にもつながるという認識が必要。“まち”がなくなるという現実に懸念がある。地域がどのようにになってしまうのか、今後のヴィジョンを示して頂きたい。

■統合に向けた交流事業例に合同イベントと公開見学会が例示されているが、それだけなのか。現場に委ねるだけでは形骸化するのではないかと懸念する。教員人事では、統合先の小学校に山田第五小学校の児童を知っている教員を管理職を含め必ず手厚く配置することを願いたい。

システム-64

急速に市が進めている案件で、市民の声を聞いてもらえていない事が問題だと思います。市と住民がお互い納得の出来る形で進めていけるように、保護者との話し合いの場を作ってもらえるようにして欲しいです。

システム-65

吹田市にてこどもたちに対する教育関係の仕事に就いている者です。廃校になる旨を知り、納得のいかない点があるので稚拙な文章ではありますが意見させていただきます。廃校になる理由には納得しておりますが、その対応がどうかと思います。こどもたちの心的ダメージはとて大きいと思います。愛着のある母校を数年後に廃校にしますと突然言われたこどもたちの気持ちを考えると納得できません。例えば現在の在校生が全員卒業するまでは維持して、来年度から入学する生徒にはあらかじめ廃校になることを伝えておく、というのが最善の方法なのではないでしょうか。将来の吹田市を支えるこどもたちの気持ちをないがしろにして大人だけの事務的な対応をしていると、こどもたちの吹田市に対する不信感が太く根つき将来損をするのは吹田市だと考えます。こどもたちの気持ちになってもう少し対応を考え直してください。

システム-66

何故、地域住民、通学する生徒、保護者の意見も聞かず、短期間でまだまだ先の話を今年度中に急いで決める必要があるのか。何も学ばず、藤白台小での失敗をまた繰り返すのか。地域住民の意見を聞かずして、訂正化と言えるのだろうか。地域住民でもない教育委員会が意見も聞き入れる姿勢もないにも関わらず、山五小の事を考えているとは到底感じられない。まずは生徒の意見を聞いてから決めるべきである。多感な時期な上、一番傷付くのは子どもにも関わらず、強行しようとする教育委員会が子どもの事を考えているとは思えない。教育委員会の大人が小学校に通っているわけではない。

システム-67

正直、山五区域から山三小、西山田中まで遠く、道も暗く、車もよく通り、この気温の中で子ども達を通わせるのはあまりに酷である。荷物や天候に関わらず通学するのは子どもであり、教育委員会の大人ではない。正直、山田中と学力の差もあり、我が子を預けるなんて考えたくもない。自分の子どもが関係ないからと教育委員会はあまりにも横暴である。合併には賛成できない。

システム-68

過小規模校にばかり焦点をあてているが、少人数クラスだからこそ、しっかり教師の目の行き届き、違う学年との交流もあり、人間関係の固定化になるとは思わない。それなら、将来的に南山田小も人数が減るならば、山五小をなくすのではなく、中学校区内での校区変更をし、小学校で小人数でクラス数を増やし、きちんと皆に目が届いた教育を提供すべきでは。山五が山三に吸収されてしまうと、どう考えても教育の質は落ちてしまう。中学校区内で「山田中ならば、南山田と山五」「西山田中ならば、山三と西山田」で小学校入学時に選択制にするなり、交流する機会を設けたりするべきではないだろうか。いきなり環境が変わって、戸惑ったり、不登校になる可能性もあるのではないか。今のこの短期間できちんとした話も聞かずに押し通すが、いじめが起きた時にきちんと今の教育委員会が対応するとは到底思えない。何故ならば、他人事であり、住民の声に耳を貸さず、数字しかみていない。無責任に多くの人の人生を振り回す権利はない。何をするにしても、順序立てて慎重に動くべきではなかろうか。

システム-69

令和7年度からの小学校合併は概ね賛成です。丁度上の子が令和7年入学なので、いずれ合併が必要ならそのタイミングでいいです。(概ねというのは、過去に出ていた南山田小学校の1部住所の生徒の学校を山五小に変えるという案が校舎もそのまま使えるし、中学も変わらないし1番ありがたいです。)しかし、中学選択の経過措置が中途半端です。これについては2つ検討してほしい事があります。まず一つ目は、現段階では山五地区の子供は山田中

学進学としてもいいのではないのでしょうか。選択できるからこそ迷ったり、親と子供の意見の食い違いが発生すると思います。最初からそう決めておけば親も子もそう思って小学校生活を送るので戸惑わずに済むと思います。友達関係のことを思って選択制を導入されたのかと思うが、私の出身の中学では、一緒になったもう1つの小学校の生徒は、住所で中学が分かれており、それは半々ではなく、少数の生徒が別の中学に進学しなければいけないという状況だったので、そのようなことは普通なのかと思っておりました。二つ目ですが、いずれ西山田中学一択にしないといけないというのが絶対なのであれば、早急にいつからかを予定してください。変動ありきですが、1歳の子供の学年からの人数は把握できると思うので、山五地区、南山田小学校の子供の人数を学年ごとに資料化し、比率を出して山五地区の子供があまりにも少なくなれば、この学年から完全に西山田中学進学と決めるなどはいかがでしょうか？全員西山田中学進学になる基準がかなり曖昧だし、進学状況を見てだといつどのタイミングでどの学年からそうなるのかが分からず過ぎなければいけません。うちは兄弟なので、どのタイミングでそうなるのかによって気持ちの持ちようが全然違うので、仮でもいいので(この学年の前後など)早く決めてほしいです。親としては兄弟揃って同じ中学に進学させたいし、それが最初から決まっている方がいいです。あと別件ですが、山五小ではクラブがないと聞いたので、生徒が増えてクラブ活動ができると嬉しいです。

システム-70

山五小学校の現状で満足しています。生徒の人数が少ないから安易に統廃合は違うのではないですか？教員達も多様な規模の学校で経験し、成長できるメリットがあると考えます。教員自体を育てる機会も奪われていると思います。仮に統合され、両校の教員の考え方の違いなども出て、派閥等も出たり、生徒間も人数の差もあり、いじめ等も問題になるのではないですか？教育委員会は住民の意見も聞かず、そのまま押し進めようとしています。吹田市の子どもの未来、市民の血税を湯水の如く遣い、何が吹田市教育委員会なのですか？きちんとした資料や説明もなく、「過小規模校の最適化」としか説明しない教育委員会が子ども達、住民達の考えているとは到底考えられない。学校の大規模工事にしても、貴方達の給料も市民達の税金ではないのですか？住民の意見を聞く気がないから、水面下で動いてたと思えませんか。これで議会で可決されれば、藤白台の事も北山田の問題も強行突破しようとする今、何のための吹田市長、吹田市議会なのか、市民の意見は無視し、不信感しかなくなります。住民より利益しか考えていないと思えなくなります。誰が小学校に通っているのかももう一度きちんと考えて欲しいです。考えなしに、空いた土地にマンションばかり建て、過大規模や過小規模の学校を作っているのはあなた達でしょう。そして、過小規模校ばかり、安易に潰し、しっかり考えているとは到底思えませんか。子どもや地域住民、大規模工事等に使われた金額を市報に載せて、再度、アンケートを取り直し、統廃合を考え直すべきかと思います。まずは、通っている生徒達の声を1番に学校からアンケート取るよう希望します。

システム-71

何故、過小規模校イコール統廃合しか選択肢がないのか。尚、山三小の過小規模予測は令和14年とまだまだ先にも関わらず、何故年内が期限なのか。人数が少ないなりに生徒への教員の指導や目も行き届き、他校ならコロナ禍に中断せざるを得なかった学校のイベントも実施出来、教員から保護者への連絡等もきちんとして頂けるので現時点で不満がない。教育委員会が複数回、保護者に説明を行ったとしているが、9月9日と16日、両日共に全く同じ説明、同じ資料で複数回説明をしたと言えるのであろうか。統廃合に伴い、通学路の距離、現時点での教員と生徒の距離感、生徒の数により生徒間で力関係等も出てくるのではないかという不安、山五なら出来ていたかもしれやいイベントの中止等、デメリットしかない。南山田小学校の生徒数も将来減っていくとなれば、尚更、南山田の生徒のみが山田中学に進学するのはおかしい上、九年間、人間関係の固定化になるのではなかろうか。先日の山五地区運動会では、生徒、保護者、山五小や山田中学の教員、地区住民、地区関係者等、この少人数校にも関わらず、あまりにたくさんの参加者が居て、大盛況に終わり、驚いた程だ。小さいなら排除するのではなく、地域性、生徒や住民の満足度等もきちんと調べて案を出すべきだと考える。

システム-72

吹田市に通勤し、子どもの福祉に関わる仕事をさせていただいています。今回の統合について保護者様やお子様にご意見伺う機会がありました。しかし、反応が良いとはいえず、今後の生活について不安を感じているご様子です。お話を伺う限り、今回の統合は保護者様やお子様の意見を聞かずに話が進んでいるように感じます。現状は統合のメリットを地域の方は感じておらず、デメリットだけがあると感じておられます。また、統合までに2年の猶予もない状況で、保護者様やお子様の心の準備や学校側の受け入れ準備も十分にできないのではないかと思います。統合に関してなぜしなければならないのかメリットを説明し、準備期間も長めに用意できないのでしょうか？もう少し丁寧に話を進めなければ、トラブルや混乱は避けられないと思います。

システム-73

後藤市長の御子息の母校が、山三であり、そちらの小学校を残そうとしているのというお話をよく耳にします。要らぬ疑いであると言うのであれば、後藤市長の任期が終わり次第統合の話を進めるべきである。

システム-74

山五小の廃校は反対です。全国的に少子化になり、小規模校が増えているなか、このくらいの規模が今後スタンダードになるのではないのでしょうか。また、1学年1クラスですが、2年と4年を除けば各々30人以上います。弟妹関係を聞く限り、小学生未満も劇的に少ない状況

ではなさそうです。廃校と判断するのは、まだ早いと思います。

システム-75

孫が山田第五小学校に通っています。先日行われた運動会も、観に行かせてもらいました。出場する回数も多くあり、待っている時間も少なく、午前中で終わり、児童達にも私たち保護者側にとってもとても楽しめた時間でした。大阪市のいわゆるマンモス校にも孫がおり、そちらの運動会も行ったことありますが、出場したのは2回、それも何処にいるのかも分からない状況でした。迫力があつたのは確かですが、一度行っただけで、それ以降は行ってないです。高齢化といわれている時代、私ども祖父母も孫の姿を観るのを楽しみにしています。小規模だからといって廃校にはしないであげてください。良いところが多くあります。マンモス校の方に目を向けてあげてください。大阪市の孫は、友達が多いかもしれませんが、のびのびして過ごしていない様です。人数が多いので悪い影響を与える子もいますが、先生は人数が多いので手に追えない状況と聞いてます。絵の具セットや書道道具も、学校に置いておくのではなく、使う都度持ち帰りが発生しているみたいです。他にも色々聞いています。総合的に考えると、学校規模はマンモス校を先に考えるべきかと思えます。

システム-76

前回説明会に参加しましたが、校区見直し案がなぜなくなったのか？きちんと経緯を説明して下さい。山三、山五統合の方向で話がまとめられており、しかも短期間で強引に進められている。保護者の質問にきちんと答えてもらえていない。中学選択制の期間も曖昧であり、不安が募り賛同できない。

システム-77

・山五から山三へ変わることに子どもは非常に嫌がっています。距離が増えるのは勿論のこと山五が山三に巻かれていくイメージもあるようです。山三という名称になることや校歌も山三のものを歌うことになることも納得がいけないようです。子どもならそのうちその環境に慣れるとお考えなら、よりよい学びの為に統合するというのは大人都合であって子どもの気持ちを置き去りにされていると思います。決して郷に入っては郷に従えにならないよう最大限のことを子どもたちに対して行い誠意を見せてほしい。山五の子ども達だけが我慢する環境にだけはしてほしくない。1から学校を作り上げていくようにしてほしい。みんなの為の統合だよと口だけでなく、子どもたち一人ひとりが納得のいく行動をしていただきたい。

・距離について、500メートル伸びるだけですとの事ですが地区の一番端に住む子どもにとって500メートル増えるだけではないです。500メートルも増えるのです。真夏の暑い時期に同じ荷物の重さを持って同じ暑い時刻に地区の端から実際に歩いてみましたか？吹田市の他の地区ではもっと歩きますと簡単にお考えでは残念すぎます。暑い中汗だくになり重たい物を持ってやっと学校に到着。それだけで疲れてしまい、勉強にも差がかなり出ると思いま

す。これでは子どもの、より良い環境と言えません。真夏の水筒はどれだけ重いかご存知ですか？市役所にはマイボトルの給水器がありますが小学校にも必要と考えます。役所の方が使用している場面を何度も見ました。更には自販機もありすぐに飲み物を買える環境にあります。反面、子どもたちはお茶がなくなれば我慢するか水道水を飲むかです。親としては心配でたっぷりのお茶を持たせたいのですが、子どもはこれ以上重くなりたくないとも言います。子どもの荷物の負担、熱中症と常に心配です。山三には給水器があるのか知りませんが、長距離歩く子どもの負担が少しでも減るように役所のような給水器の設置を強く望みます。吹田市の他校はなくても、統合せざるを得ない子どもたちへの謝罪の気持ちで設置してほしい。そして、運動会も6月にしてほしいです。距離について安易に500メートル増えるとだけは考えずそこについても最大限の配慮を子どもにしてほしいです。

システム-78

現行では、6年間山田第五小学校に通学することを想定して入学した子どもやその保護者、その後進学する中学校についても検討し住居をそこに定めたご家庭にとって、あまりにも急な変化が大きく、山田第五小学校に属する子どもたちのみならず山田第三小学校に属する子どもたちにとっても負担が大きい計画であると思われる。そのため、これから入学する子どもたちが合併を見越して入学先を選べたり、現在通学している子どもたちが卒業する年度まで山田第五小学校に通えるように移行期間(改正の実施日)を延長する改正を求める。

システム-79

山三小の低学年の保護者です。山三は、おそらく山五よりも児童の減少率が大きいと感じます。中学校が一緒になる西山田小もかなりの人数分が減っていると聞きます。山三は西山田と統合した方がいいかと思えます。

システム-80

保護者・地域住民の理解が十分に得られていないため、条例の一部改正案に反対します。統合の必要があるかないか、ではなく、山五小保護者の声を聞く場、時間、機会を設けてほしい。十分な理解と納得は得られていないと思います。教育委員会の言う、「過小規模校の問題は早急に解決すべき」「保護者に対しては丁寧に説明している」「慎重に進めていかないといけない」「よりよい教育環境を作る」「ベストな選択であると判断した」を、もっともっと保護者や地域と意見を出し合って話すべきなのではないですか。私たちの意見を言う場をもっとたくさん設けてほしい。上の言葉で片付けないでほしい。時間をもっと取ってください。反対意見も賛成意見も聞いて、多くの保護者が納得した上で決定してほしい。9/20の吹田市議会本会議の動画を見ました。共産党議員からの「保護者への説明は丁寧になされているのか」という質問に対し、学校教育部長は「保護者への説明会は複数回している」と述べています。9/20時点で、山五小保護者対象の説明会は1回のみです。(9/9と9/16は同じ内容)10/14で

2回です。決して丁寧な説明をしているとは言い難いです。

システム-81

アンケートをしたと何度も出てきますが、あのアンケートは山五が無くなるという内容は一切記載がない、全く別の趣旨のたった一度だけのアンケートです。そのアンケートをもとに市教委は横暴な情報操作をしています。他の数字も市教委の考えありきの都合の良いところだけを切り抜いた資料になっていて、市教委の意見の欠点はありません。資料の出所も明確になっていません。被害が一番少なくて済むから山五だったと住民は感じています。それに対しての説明が説明会ではなされませんでした。そんな説明会を数回重ねて住民の理解を得られた事にされた事で私たちはとても市政に懐疑心を抱いています。吹田市はそんな横暴な行動を許す市なのだと、それを許す市長と議員なのかと保護者は怒りを感じています。山五が無くなる事に関してこれまで一度も話し合いなく、市民が市教委の意見だけを一方的に聞かされているだけです。地域の意見は一度も聞かれていません。聞いたところで、案に反映もされません。この案はもう絶対なのだと感じざるを得ません。2、3年後には担当にもしない職員の誰がどうやって決めたのかもわからない案によって、このままでは私たちの未来は大きく変わってしまいます。誰も責任を感じないまま。今後どうなるにしても、その横暴な案のおかげで多くの保護者となにより多くの子どもたちはすでにとても傷付き、不安な日々を吹田市で送っています。この案をそもそも誰が出すことすら許したのか、この進め方を市として出すことをなぜ許されたのか信じ難い思いです。せめて、今回の一番の被害者である子どもたちに市教委から納得できる説明と今後の対応を望みます。

システム-82

市教委の説明が充分でなかった為、すでに保護者間で不要な諍い、亀裂、対立が起きています。住民の意見を聞く場を早急に設けることを求めます。

システム-83

小規模校の問題より先に大規模校の問題を解決してほしいです

システム-84

小規模校の問題より先に大規模校の問題を解決してほしいです

システム-85

小規模校は先生もよく見てくれているし友達の仲間より深まり何も不満に思ったことはございません。大規模校は小規模より先生から手厚い教育も受けられなくなり不安になる事ではないです。

システム-86

第三回(実質同じ内容の説明会があった為二回)に参加したが、やはり質疑応答で保護者と教育委員会の間で捉え方のズレや頓珍漢な回答、中身のない保護者の納得できない内容の資料(数値も改ざんされていたり、資料も都合の良い箇所のみ記載されていたり)、保護者や子どもの意見は結局聞く耳を持ってもらえなかった。納得できるまで、何度も議論を重ねるべきだが、教育委員会は、これ以上の説明会は行わないとしている。この状況下で後一か月しかない期日を延ばそうともせず、話も聞き入れない教育委員会が、本当に子どもたちの未来を考えているとはとても本日の説明会では感じられなかった。あくまでもデータベース上でしか動いておらず、山五小地区の住民、生徒、教員の意見は全く無視で、山五を山三に統廃合するのが、とりあえず現時点は手っ取り早い為、他の案を受け入れる気がないように感じた。後藤市長自身、「明日にでも統廃合を」との考えと話を聞いたが、市長の考えで強引に推し進めている計画なのか。吹田市は市民の意見を聞かずして、市の理想を住民たちに押し付けようとしているのではないか。

システム-87

説明会で、体操服等の備品で補助なり対応してもらえるのかとの質問があり、そのまま山五小の体操服で大丈夫ですとの回答があったが、それもいじめの原因の一つとして意見が出ているが、山五小の地区住民の納得する説明もできないにも関わらず、いじめがあったらあったときに対応しますとのことだったが、市が強要しているのだから、備品位、新規に用意しようという配慮もない。山三小は受け入れ側である上、何も損をすることはないが、山五小は学校はなくなるわ、遠くなるわ、「過小規模校だから人間関係の固定化につながる」という根拠のない理由のみで、損ばかりする立場に置かれる。「過小規模だから」ダメ、統廃合しましょう！ではなく「過小規模だから」良いんです。教員も生徒を一人一人しっかりとみて、生徒たちの良いところをきちんと伸ばしてくれる。教員、生徒達がしっかりとみてくれるから、集団内の役割分担等でもその生徒生徒にあった役割を山五小の生徒たちはきちんとこなし、信頼関係や責任感や決断力、横だけではなく縦の人間関係が育っている。しかし、統廃合になり、人数が増えれば、今より確実にみっちりともてもらえるとは思えないので教育の質は下がり、開花出来た才能が開花出来なくなる可能性もある。横の繋がりがメインとなり、縦との繋がりが逆に減るのではないか。「小規模だから男女比で差が出る」等と言っていたが、「男女平等化」の今の時代に差別的な発言ではないか。こんな差別的な内容を「過小規模校のデメリット」として掲げる教育委員会はいささか問題ではないだろうか。「多様な価値観に触れる機会が少なく、社会性や対人スキルの向上が課題」とあるが、コロナで他校では中止されていたイベントも開催出来ているし、過小規模校だと社会性や対人スキルに将来、問題がある人間に育つのだろうか。過小規模校ばかりを問題視してピックアップするより、加大規模、準加大規模校を問題視すべきだ。山三小の過小規模化は令和14年にも関わらず、地域住民らの納得も何一つ得れていない現状で、期限をつけた状態で強引に進めていくのは納得がいかない。

システム-88

2 回目のパブリックコメントです。本日、2 回目の説明会を聞きに行きました。そこで、3 点の意見をさせてほしいと思います。

1、中学入学の経過措置の期間が決まったのは一つ安心した点ではあるのですが、やはり選択制というのは子供の意見と親の意見の食い違いが発生したり、どちらの中学に進学するか分からないまま過ごすというのは嫌だなあとと思います。前回のコメントでは、山五地区の生徒は山田中学進学と、住所で区切ってしまうのもいいのではないかと投稿しましたが、他にもそう思われている親御さんも少なからずいらっしゃるのではないかと思います。選択制の案になったのは、在校生の保護者の方にアンケートを取った結果そうなったのでしょうか？過去が西山田中の校区だからということにこだわって、教育委員会の方が一方的に決めているように取れるのですがどうでしょうか？保護者の方の意見を聞いた上でならいいのですが、そうでないならそこは聞いた方がいいのではないですか？本日の説明会の質問の時に、住民の意見に寄り添ってないから、前の案は白紙になったと発言されている方がいらっしゃいました。本当に選択制でいいのか、保護者の方に聞いていただいた上で決めてもらえないでしょうか。

2、小学校の名前は変えてもいいのではないかと思います。理由は、山三のままだと、山三の子の方が偉いみたいないざこざが発生しないか心配だからです。今回の説明会で場合によっては学校名を変えるという説明があったので、ふとそう思った次第です。(なので、上記の選択制の事ほど強く思っはけません)

3、パブコメを元に再度説明会はあるのでしょうか？本日の説明会はかなり急に予定され、私はたまたま予定が空いてたので行けましたが、知り合いの方は予定があって行けないと言っていたし、次回説明会があるのなら、もっと開催回数を儲けたり、日程に余裕を持って(難しいかもしれませんが)開催してください。

システム-89

教育委員会は「内容が決定してから子どもたちの意見を聞く」と言っていたが、現状の子どもたちの意見はなぜ聞こうとしないのですか。強引に推し進める為としか考えられない。実際、我が子に「今の山五小に何か不満があるか」と質問したところ、「何も不満なんてない。山五が大好きだから、不満があるとしたら、山五を潰そうとしている人がいること。」との返答。子どもの意見、ちゃんと聞き入れましょうよ。学校に通うのは子ども。大人の利益、都合で振り回されるのも子ども。傷つくのも子ども。あなた達行政はもっともらしい事を言って、こちらの質問は煙に巻いているばかりで、市民、地域住民の声を聞こうとしない。市民に寄り添わないのが吹田市ですか。生活拠点が違う山五小から将来的に西山田中学への通学。保護者として、不安しかありません。家から川を挟んだ向かいに山田中学があります。もちろん、子どもたちも将来、当然のように山田中学に通うと思っていますし、南山田小にいるお友達とまた一緒

の学校になる事を楽しみにしています。何故、南山田小を校区変更する場合は「長野西・檜切山・山田市場(9～11 以外)」としか見直さないのですか。「檜切山・山田市場(9～11 以外)」だと南山田小が極端に少なくなることも、山五小が極端に増えることもないのではないですか。他の地域だと、影響が大きすぎるからと他校の見直しはないとありましたが、山五小だったら、人数が少ないから大丈夫と思っているのでしょうか。一つの学校をつぶそうとしているのですよ。たくさんのお子どもたちの人生に影響が出るんですよ。子どもは順応性が高いから大丈夫とは何を根拠にそう言えるのですか。どこまでのケア、どういった措置、何人人数そろえてくださるのかも何も情報公開されない。資料も「あくまで言われたから載せました」データばかりで、当事者ではなですし、まあ他人事ですからという感じでした。「子どもの事を最優先」に考えているとは到底思えませんでした。「山五小以外にも山三、南山田、岸二のアンケート載せました」回答人数違いますよね。山五は廃校にさせられようとしています、アンケート回答人数みたとおり、他校は興味すらない人がほとんどじゃないですか。だって、他人事です。我が子が通う学校は潰される心配がないから、興味がないんですよ。それを山五小のアンケート結果(参加人数ダントツに多いですよ)と同列に比べないで頂きたい。保護者、そこまで馬鹿ではないです。理性的に保護者達が話をしていても、「何度も申し上げた通り…」と繰り返すが内容もなければ、きちんとした納得できる回答が返ってこない。本当に子どもたちの事ではなく、データの事しか考えてるとしか感じ取れませんでした。

システム-90

学校規模適正化で令和元年度から山五小 PTA 等とも話し合いを重ね、着実に進めているとの説明であったが、本当に山五小 PTA は知っていたのか。知っていたなら、山五小保護者も周知していたのではないか。山五小学校規模適正化に係る協議が合計 50 回以上実施されてきたと資料に記載されていたが、山五小関係者、地区住民との協議はその 50 回以上の協議会の内、何回行われたのか。令和 4 年度のアンケートは白紙になったにも関わらず、その後、何の説明も回答もなく、「水面下で期限を決めて動いていた」為、地域住民、保護者、関係者は白紙に戻ったとしか認識していなかった。だが、急に今年の二学期の始業式に生徒が親より先に知らされ、9 月に統廃合の「同内容の説明会が二度」行われ、10 月に「9 月の説明会の質問内容の都合の良い所だけを切り取られた一部回答を資料として載せた説明会」が保護者に行われた。聞くとところによると、「教員にも 8 月の中頃に決定事項の様に急に知らされた」との事。他の資料にも令和 5 年 5 月 1 日の児童数が資料では「146 人」と記載されているが、実際には「165 人」である。その他の資料にも、西山田中学までの距離が「1.4～1.9Km」の為、自転車やバス通学は認められないとのことだったが、距離を調べた保護者の方が「2.1Km」や「2.3Km」あるとの意見があった。誠意も持たず、自分たちの意見を優位に推し進めようとするばかりに住民の意見を聞かず、中身のある説明もせず、事実を捻じ曲げ、資料を捏造してまで、吹田市の理想を住民に押し付けようとするやり方が汚い。山五地区住民はチェスの駒ではない。生身の生きている人間である。何百人の人生を、家庭を狂わそう

としているのか、各地域で生活をしているのは誰なのか、もう一度しっかりと考えるべきである。

システム-91

山五小学校に通っている娘がいる父親です。本日(10/14)の説明会に参加しましたが父母の意見を聞いてくれているとは思えませんでした。教育委員会と父母の話が全く噛み合っていない。というより質問に対して真摯に対応しようというのが全く伝わりません。このままでは山五地区の人たちの理解も得られないままだと思います。それで条例改正に進んでしまっただけでは行政との間に大きな溝が生まれてしまいますよ。もうすでに生まれているような気がしますが。もっと話し合いや意見交換どう進めていくのが better なのかをお互いに歩み寄る必要があります。best の答えは無理だと思いますので。現状の教育委員会の対応では到底歩み寄ることは出来ません。きちんと時間をかけて議論していく必要があると思います。時間を掛けて better な答えを探していくのがいいと私は思います。

システム-92

今回は議事録の修正がある為か、子供に先に情報が流れてしまった、合併するから交流しよう、そう言われて出来るのでしょうか??皆新入生、1 からスタートではなく既に基盤のある中に入っていかななくてはいけない、、元々交流があったならまだしも、全くない、幼稚園のお友達?覚えていますか??子供の為じゃなく、動きましたよ!のパフォーマンスにしか感じられません!事前に交流させてから合併だったら私達も子供もまだ納得出来たのに、不安しかない。こんなに子供を無視されて急ぎ足で決められる、、子供のフォローをしていく?どう信じたらいいのでしょうか?そんな市に不安しかありません。時期、やり方、、強引な押し進め方、、吹田市から出て行けと言われているようです

システム-93

住民と対話を行い納得頂いて進めるとのお話でした。しかし説明会二度参加させて頂きましたがそもそも教育委員会の方が住民の方の質問をほぼ会話にならない回答をしてお話になりません。やるとしても担当者変更して改めて進めるべきかと思います。せめて住民の声に関してきちんと回答できる体制を整えてから仕切り直し頂くようにお願いします。参加前は致し方ないかな思っていましたがお話を聞いて今は反対の立場と考えが変わりました。ご検討よろしくお願いします。

システム-94

山五小学校を山三小学校に統合するのではなく、南山田校区の檜切山と山田市場を山五に通うようにすれば良いと思います。そうすれば、改修工事をしたばかりの山五小校舎を有効活用できます。地球温暖化で、登下校中に熱中症で亡くなる中学生もあります。40 年前とは

気候も変化しています。山五地区の子どもが西山田中学校へ行くのは、非常に危険です。小規模校には問題があるという決めつけは、やめていただきたいです。児童数の推移予測に、信憑性がありません。保護者アンケートに対する回答数が少なく、民意を反映しているとは言いがたいです。以上の点から、この条例の骨子案に反対します。

システム-95

私が育った地域は田舎で、1 クラスでした。今でも仲良しです。先生との年賀状などの交流もあります。私もちゃんと社会で働いています。過小規模校は本当によくないのでしょうか？山五は確かに 1 クラスですが、男女関係なく仲良しです。先生方との触れ合い、学年を超えた交流も多く、色々なことに挑戦出来ています。一人一人の個性を大切に見てくださっているんだなと感じます。人数が多くなればイジメはなくなる？いえ、人数が多いとイジメは隠されます。高学年ほどそうです。高校は大規模でした、毎年変わるクラスメイト、今ではほとんど連絡をとっていません。今の人達は、上べだけの交流で冷たいような気がします。せっかく人を、自分を大切に思う気持ちを育てているのに、この子達もそうしてしまうのですか？冷たい社会を作るのがあなた方の仕事なのですか？？より良い地域を未来を考えてくださっているなら、こんな強引な、早急な方法をしないでください。子供達は怒っています、恨んでいます。お願いですから、そんな気持ちを持たせないでください。影を落とさないでください。合併したら不登校児は増えるでしょう、、、そうしたいですか？？そうなってほしいんですか？？子供達の未来を全く考えていない早急な対応のため、今回の案は反対です！

システム-96

山五は確かに 1 クラスです。私も不安はありました、ただ、実際は違いました。人数が少ないからこそ、生徒一人一人を大切にしてくれています。先生もよく見てくれて不安な事も先生に相談しやすいそうです。他の学年の先生とも仲良しだそうです。男女関係なく、学年関係なく交流しています。風通しがいいので、何かあればすぐ分かります。親も同じ顔触れなので、我が子のように見守ってくれているのが分かります。地域の方も子供が少ないから大切にしてくださっている事が分かります。イジメは人が増えたら隠されます。不登校児を増やしてしまうんですか？？逃げ場？そうして人と関わらない子を増やしていくんですか？あなた方は合併したら、はい、終わり！はい、次！かもしれませんが、子供の人生は続きます。親として合併による心の傷が心配です。子供はあなた方に対して怒りを持って憎んでいます。そんな心をなんとかなだめようとしている日々は本当にこれは子供の為ですか？と疑問を抱かずにはいられません。あなた方も同じ親であるならば、自分の子供に恨まれても推し進める事なんですか？？

システム-97

説明会日時が土曜日のみでした。習い事や留守番などの不安から参加できなかった方が沢

山います。強引に押し進めようとしているのが分かり過ぎて、本当に子供の為ですか??あなた方の実績の為な気がしてなりません。だって子供は傷ついています。泣いています。不安がっています。中学校は皆初めてからのスタートです、、、でも、もう基盤が出来ている場所に放り込まれる子供達の気持ちは考えられましたか??イジメをおこさせたいんですか?山五に不登校児はいますか?実際の現場をみないで、データだけで話を進めるのはやめてください!!毎日明るく登校していた我が子が、泣きながら行く日を見ないといけない親の気持ちが分かりますか??あなた方は親ではないんですか?

システム-98

山三小と山五小を統合することについて、中学校区は今のままでいいのではないか。山五地区に住んでいる人は、山田中に行かせたいから住んでいる人が多い。また、12才といういろいろと多感な時期に、クラスの一部の子どもだけが中学校を選ぶという作業をしなければならないのは、子どもたちにとっても大きな負担になると思う。山田中に行きたいが、元々山三小地区に住んでいる子どもには選択肢はないため、西山田に行くので、いじめられたくないから西山田を選ぶなどの選択も出てきてしまうのではないかという懸念がある。

システム-99

山五小に子どもを通わせている保護者です。吹田市は老人は暮しやすい街だけど、子どもには力を入れていないという話を聞いていたので、小学校には期待していなかったのですが、いざ入ってみると個々への配慮や工夫された教育、縦の繋がりなど、とてもあたたかで子どもたちに寄り添った教育をしている学校だと思いました。様々な取り組みや教育のすすめかたなどは、他の学校におけるローモデルになるべき、むしろなれる学校だと思っています。今の日本の教育に大切なのは、集団の中に紛れることではなく、個を大切にすることなのでないでしょうか?それをしっかりと実践している山五小をなくしてしまうのは、とてももったいないと思います。ぜひ廃校、統合するのではなく、他の学校との学区編成の変更などをして、山五小を残してほしいです。

システム-100

人間関係の固定化と言われていますが、もし山五小の生徒が西山田中学校に通うことになると南山田小学校の生徒は中学校生活も同じメンバーになってしまい人間関係の固定化がおきます。

システム-101

- 1、統合白紙
- 2、スケジュール見直し
- 3、保護者、児童へのアンケート再実施、意見交換

4、統合で進む場合、統合による児童の不都合が出た場合の責任の所在

1について

統合により解決する問題ではない為。そもそもの校区が狭すぎるわけで適正な面積で少ない場合が統合ではないか。

2について

一年ちょっとでハード面ソフト面を整備出来るとは思えない。やっつけで統合して、後から問題浮き彫り→放置が目に見えている。そうでないなら移行期間に〇〇をやるとしっかり表すべき。

3について

昨年白紙になったはず。そこからゼロスタートで意見交換や協議をするべき。我々の認識ではスタート日は2023年8月16日である。そこからの1年半での決定は横暴、暴挙にすぎない。

4、統合のよる不利益が児童に起こった場合、その責任を教育委員会が全面的に取る必要あり。(子供になんの罪もなく、勝手な大人の判断でそうなった訳ですから)

総じて、山五児童及び保護者は全く統合に賛成ではない。子供のための統合と説明頂きましたが、圧力でしかない。デメリットが多くある状態で強引に早急にことを進めることに違和感しか感じないですし、政治的圧力がかかっているのだろうなとしか思えない。そうでないのであれば、事を急がず、統合へ向けての段取りを先に詳しく説明すべきである。全てにおいて白紙を要求致します。

システム-102

- ・小学校が合併になり、中学校区まで変わってしまう事が理解できない。
- ・日本の問題である少子化により、全国で起きている歪な校区編成について、吹田市はいい例として取り組むべき。手っ取り早い方法で合併廃校という方法でこのまま進めていくのは安易にみえる。

システム-103

1. 藤白台小の校区変更による課題解消と異なり、山5小の場合は統廃合の課題であるために地域コミュニティーに係る課題が最大のテーマになる。そのためには住民参加による議論の積み重ねをしないと前に進まない。行政の方針を一方的に伝えるだけでは反発だけを引き起こす。時間がかかるが住民参加が必要である。
2. 小規模校を解消するのではなく、少人数学級の実現によって、インクルーシブ教育の深化の検証を行うために、この話し合い時間を使い他校での取り組みに活かしていけば、有効な時間となる。
3. 過大校の課題解消の方が緊急の課題としては優先されるテーマになる。千2小、千3小、豊一小の課題解消の展望を早く打ち出す方が大切だと思う。

システム-104

1. 藤白台小の校区変更による課題解消と異なり、山5小の場合は統廃合の課題であるために地域コミュニティーに係る課題が最大のテーマになる。そのためには住民参加による議論の積み重ねをしないと前に進まない。行政の方針を一方的に伝えるだけでは反発だけを引き起こす。時間がかかるが住民参加が必要である。
2. 小規模校を解消するのではなく、少人数学級の実現によって、インクルーシブ教育の深化の検証を行うために、この話し合い時間を使い他校での取り組みに活かしていけば、有効な時間となる。
3. 過大校の課題解消の方が緊急の課題としては優先されるテーマになる。千2小、千3小、豊一小の課題解消の展望を早く打ち出す方が大切だと思う。

システム-105

1. 小規模校のデメリットがわからない。本当に子供達に必要な事を理解していない。山中での様子を知っていますか？山五小出身の子がどれだけ活躍しているか。ちゃんと調べていますか？南山田と山小の校区を見直し、中学に上がった時のバランスをとるべきです。先日の説明会で、南山田との校区再編成の資料がありましたが、なぜ「檜切山・山田市場・長野西」と3地区を山五小校区にするというオーバーな計算になるのか。それで、入り切らないのは当たり前。コレは信用性がない。
2. 通学路が危険な件について、返答がなかった。安全ではないのに送り出せない。

システム-106

就学者数の推移を市は把握しているはず。にもかかわらず降って湧いたように統合に向けてのデータを当たり前のようにならべたてている。なぜ今で、一年後なのか。時間をかけることはできなかったのか。市の見通しとしてこれまでどのように考えていたのか、言っていることとやっていることが噛み合っていないため、信用ができない。統合のためのデータはそのために都合よく集められたものであり、大規模改修を数年かけて実施した上で統合するという市の政策の見通しのなさ、大規模改修にかかった費用がどの程度市民に返されていくのか、税使用に関する整合性について税負担をしている市民住民に説明していない。数年で人事異動がある市の職員。その場その場で配属された者が都合よく大規模改修を考え、また違う職員が統廃合を決めているようにしかおもえない。そのような仕事のやり方で丁寧に説明しています、ご理解くださいはないだろう。

システム-107

アンケートの再実施をお願いします。随分前のアンケートを勝手に使われていて頑なに実施をされない。その当時とまったく想定が違うにもかかわらず、都合よく取ったアンケートを市は

都合よく使っている。

システム-108

小学校に通う子供や保護者に配慮して、時間をかけてゆっくり検討するべき。急すぎる。

システム-109

保護者の反対する声を見做して強引に進め過ぎです。山三小学校の児童数についても 10 年先に過小規模校へ移行すると言う推測を現時点で決め付けるのは拙速過ぎます。あと 5 年、状況を見極めつつ、地域住民とコミュニケーションを取りながら、慎重に取り組むべき課題です。

システム-110

山田第五小学校に子供を通わせている保護者です。昨年、山五の学校規模適正化が白紙に戻ったところまでしか知らされておらず、再び着手し始めたというお知らせもないままこのような方向性が決められてしまっていたことに驚きと同時に強い憤りを感じています。保護者が意見を言う機会もないまますごいスピードでここまで決まってしまったことに全く納得がいきません。方向性や何もかもが決まった時期に開催されたたった1度の説明会とその時に出た質問の回答のための 2 回目の説明会、それだけでは到底納得のいくものではありませんでした。改めて地域の方や山五の保護者、子ども達の意見を聞くため一度白紙に戻してアンケートを取っていただきたいです。そして保護者や地域と話し合いを重ねながら問題を解決して方向性を決めていくことはできないのでしょうか？こんなに統合を急ぐのには何か理由があるのでしょうか？子ども達の気持ちを考えると、こんなに急いで統合という形をとることのほうが過小規模校であることよりも辛い思いをさせてしまうと思います。そもそも、子供も私も今の山田第五小学校に満足しており、過小規模校であることは教育委員会の皆さんが説明会で何度も仰るほど悪いことではないと考えています。それよりも過大規模校のほうが学区編成などの急を要するのではないかと思います。もっと吹田市全体を見ていただいて、保護者や子ども達の声をもっとしっかり聞いていただきたいです。この案に関して、子ども達のために一度白紙に戻していただくことを私は強く要望します。宜しくお願い致します。

システム-111

私は、山田第五小学校の通学者の親です。今回山五をなくして、山三と統合するお話が出て、戸惑いと悲しみと怒りの気持ちでいっぱいになっています。統合は反対です。学校は子どもたちの成長にとっても大事な場所です。児童数が少ないからという理由で、簡単に大事な場所を壊してはいけません。児童数がたった全学年 10 人しかいないという理由なら理解できますが、山五の生徒はまだまだたくさんいます。地域の人達にとっても憩いの場所が

減る事になります。私の子どもは支援学級に入っています。子どもに合わせて勉強の仕方や楽しさを教えて下さり、山五の支援学級に対して非常に感謝の気持ちでいっぱいです。山五でせっかく頑張っていたのに、また新たな環境で頑張る慣れて、勉強も頑張らないといけな
いのかと思うと、なぜ山五の子どもたちばかり犠牲にならなきゃいけないのかという気持ちになります。

システム-112

- ・山五小を山三小と統合と言っているが、統合ではなく吸収される感が否めない
- ・子どもたちの心理的影響が全く考慮されてないスケジュール感
- ・当事者である在校生とその保護者の気持ちを全く汲み取ってもらえていない
- ・「子供たちにとってより良い教育環境を作る」と書いてあるが、この場合の子供たちに、山五小の子供たちは含まれていない用に受け取れる
- ・過小規模校だけがクローズアップされていて、過小規模校だけが変化を求められるのは不公平である
- ・過小規模校のメリットも考えて、存続も視野に入れた案を提示すべき
- ・山三小と統合になった場合でも、現在の山五校区と山三校区で進学先を山田中学校と西山田中学校に別れるようにしてほしい(兄弟姉妹で別々になることがないようにしてほしい)
- ・統合された場合に体操服等の持ち物については今持っている山五の物をそのまま使うと説明があったが、それが仲間外れやいじめに繋がったりするということは想定していますか？
- ・山五小→山田中へ通わせたいと考えて、この地域に家を買って、引っ越してきたのに人生設計が全て崩れてしまう
- ・そもそも千里丘中学校の生徒数が過大となっている問題も一緒に考えて、吹田市内で大規模な校区再編ということもできるのではないか
- ・南山田小校区の一部を山五小校区へ再編する方法を選択肢に入れてほしい
- ・統合する場合には、学校の名称を改めてほしい
- ・「当分の間」や「経過措置」という曖昧な表現をやめてほしい
- ・「人間関係の固定化を解消」を謳っているが、山田中へは南山田小からしか進学しないため、人間関係の固定化になるのでは？(小・中合わせて9年間となると人間関係は固定化される。←他県ではあるが、私自身がそうだった。)
- ・「過小規模における課題解消」の中で、社会性や対人スキルの向上を図ることができるとあるが、今は学校という場以外にも習い事などで社会性を学ぶ場や対人スキルを身につける場が沢山ある
- ・今までも通学路の安全性は問われていたが何もされていなかったのに、あと1年足らずで安全性が確保されるとは到底思えない
- ・近隣小学校の学級数の予想推移が出されていたが、児童数の予想推移を出してほしい

システム-113

山田五が過小規模校でなにか不便でしょうか？山三が人数増えたため山五ができて、山三が人数減るからと山五がなくなると条例にもとから記載がありますか？初めから記載などあればわかりますが、記載なくして、無理やり統合は納得いかない。

システム-114

教育委員の方は山五の授業風景や休み時間みたことはありますか？他の学校と山五比べたことありますか？人数が少ないことによって子供たちが不平不満、親がいたりしていますか？他の学校と比べて山五が劣っていますか？山五のいいところ、沢山あります。上下関係関係なく、みんなで遊ぶ。お兄ちゃんお姉ちゃん下の子と一緒に遊ぶ。他の学校にはない山五のあたたかさ。運動会は少ないからといって出来ないわけじゃなく、地域と一緒に開催できる。通学などは地域の人が支えてくれるながら子供たちの成長を手助けしてくれている。そんな学校他にありますか？教育委員の方、市役所の方、市長何が大切か。もっと考えてください。紙切れ 1 枚のことばかり、もっと違うところに目をむけないと、きっと子供たちが望む未来なんてない。

システム-115

この案が可決された場合、もし子供たちになにか問題など、あれば教育委員や市役所の方は責任とっていただけますか？案がうまいこといかなかった場合も想定されていますか？会社では自分がミスしたりすると自分で責任とって、挽回するために努力します。教育委員や市役所の方は努力されていますか？ミスないように、最大の配慮していますか？もう一度じっくり考えてください。もっともっといい案があるはずです。もっともっと時間かけて話あう必要があります。子供たちの未来に何が必要か大人の物差し以外にもっと考えないといけないとおもいます。

システム-116

現在の案は小学校の校区再編のみを考えている様に思われる。1986 年の校区再編時に、山田南に住んでいたため、西山田中から山田中に転校したが、通学が格段に便利になった。山田南の端だと西山田中まで 30 分以上掛かるので暑い時期の通学が極めて苦痛だった。今なら熱射病の危険もあると思われる。また、40 年前は、自治会、青指、少年野球、習い事など地域の活動が西山田と密切に繋がっていたが、今は南山田地区との繋がりが強くなっている。校区を再編すると 40 年掛けて作り上げた関係まで壊れてしまう。ここからは、個人的な意見として述べるが、誤解を恐れずいうと、各地域の空気が 40 年間で変わったと感じている。どうしても校区再編が避けられないならば、市町村の合併と同様にいくつか案を提示の上地域の保護者に投票で選ばせて欲しい。もちろん、山五小の保護者の方へのより丁寧な説明は大前提です。

システム-117

市からの提案に反対する意見が多数あったのにも関わらず、説明会を開き無理に押し進めようとしていると聞きました。強行突破はよろしくないですね。どうして行くのがいいのか、反対されてる方もう一度話し合われた方が良いのでは？

システム-118

保護者の多数から反対がある中で統合案をすすめるべきではないと思う。来年入学の子達からの実施ではダメなのでしょうか。

システム-119

山五小学校の廃校、及び他の学校との統合に賛成します。一学級を6年間で過ごすことは、いじめ問題に発展する可能性も高くなり、児童のあらゆる体験を通しての成長も複数のクラスが存在する学校の児童と比べると、劣っていく可能性が多いにあると思います。新しい事への移行する時の当事者にあたる方々は反対されると思いますが、児童の本当の教育、成長を考えると、今の少数となってしまった学校なら統合は仕方ない事だと思います。今年の山五小学校と南山田小学校の運動会を観てきました。私の子どもをどちらの学校に通わせるかと尋ねられたら、「南山田小学校です。」と返答します。大勢の子どもたちでの、演技、応援、裏方にまわっての手伝いなどさまざまな経験ができていました。人生の大切な時期だからこそ、その時期にしかできない体験を積ませてあげるのが、回りの大人ではないかと感じています。

システム-120

◆山田第五小学校を山田第三小学校に統合する件につきまして◆

9月16日(土)に山五小で第2回目の統合についての説明会に参加した保護者です。

反対意見を述べたいと思います。

・吹田市教育委員会の説明は、統合ありきで、保護者の意見はガス抜きの為に聞いているだけのような感じでした。

・山五小は皆で転校するような形で統合できるが、例えば南山田小学校の一部を山五と統合すると、南山田小学校の一部の子供達はハッピーではない、と教育委員会側は述べていました。どういう理論なのでしょう。理解に苦しみます。

・吹田市市長の後藤氏の考えなのでしょう。保護者の皆さんは反対意見を述べているのに、住民の意見を聞かない政治は本当に横暴そのものだと思います。吹田市市長は少人数の教育に反対のようですが、山五小の子供達は安定していますし、先生方の目も行き届いており、少人数ならではの良さを日々感じています。異年齢の教育はとても大事だと考えています。

・6年前、山五小の学童のどろんこ学級が民営化された時も、保護者への説明はありました

が、保護者がどんなに反対しても、吹田市の方は、決まったことなのでわかってください、と言うばかりでした。結果、学童は崩壊し、保護者が動いて1年後に直営に戻りました。直営の先生方が奮闘し、保護者も一致団結して、子供の状態を立て直すのに1年近くかかりました。吹田市の方は誰も責任をとっていません。一番振り回されたのは子供達でした。

・今回も統合ありきで話を進めています。結局、子供達の未来の為にしょうがない、自分たちは良いことをしている、と山五小の子供達が大変な思いをしても、吹田市は逃げていくと思いません。

・この山五地区がどうなっていくのかも心配です。小さい区域だからこそ、地域の皆さんの支えもあり、安定した地域となっていますが、それは1日でできた安全ではありません。

・山五小の校舎や体育館を耐震工事等で建て替えたところです。私達の税金を何だと思っているのですか。あまりにも横暴です。一般の企業では考えられない計画のなさだと、非難されても仕方がないのではないのでしょうか。

・以前の大規模アンケートを踏まえていると説明会で説明されていましたが、山五小の保護者以外にも意見を聞いているのに、これを基に統合を決めていくのは非常におかしいと思います。

以上の意見を踏まえて、山五小学校を山三小学校に統合することに反対です。住民の意見を聞き入れて頂きたいです。吹田市長や吹田市の横暴なやり方に断固反対します。

システム-121

条例が決定するまでは児童に教えない意見を聞かないは、人権侵害です。

システム-122

もう少し関係する方たちの意見を聞いてから結論を出すべきではと考えます。

システム-123

山田第三小学校、第五小学校の統合について、メリット、デメリットも承知しており、賛成でも反対でもありませんでしたが、施行予定のスケジュール(令和7年4月より)について、大変急な話で問題が大きいと考えております。教育委員会の説明会に参加して、統合することが遅すぎたと、教育委員会側が「非」を認めておりました。まさにその通りで、本来、現在の小学校4年生が入学する前に、クラス人数が少ないことは統計上でも分かっていたはずですが、先延ばしして、今さら焦ったように急に統合する方向に動くことは、理解が出来ません。例えば、現在の4年生が入学する前に、5年後に統合する予定があるとして、今回のような説明会を開催し、現在に至るまでに説明会を何度でも開催して、地域住民や保護者の意見を聞き、話し合いを重ねていけば、少なくとも今回のような反対意見が多い状況にはならなかったと思います。その遅すぎた対応について、なぜ今になって事務的で急なスケジュールを進めようとしているのか？政治的な圧力か何かがあるのか？または一部の人間の忖度があるのか？いろ

いろいろな憶測と不安が大きくなり、小学校に通う子供達、保護者の意見や気持ちをないがしろにして話が進んでいるように感じております。昨年のアンケート実施時に統合の話を知った保護者も多く、それから9月(同じ内容を2回)に説明会が開催され、10月14日に実質2回目の説明会が開催されました。たったの2回です。その説明会では、保護者からの質問に対して適正な回答はなく、検討するとして話を流す返答だけでした。著しく信頼度を下げ、丁寧さ、配慮に欠けている内容でした。おそらく納得した保護者はほとんどいなかったと思います。この配慮に欠けたスケジュールありきの教育委員会側の対応に問題があると申し上げているのです。保護者だけでなく、当事者である小学校に通う子供達のことをまったく理解していません。現在4年生の子供達が、5年生のたった1年間の交流、その交流内容も不明な中で、山田第三小学校に統合され、6年生の1年間を過ごし、中学校は選択性になる。この大きな精神的な負担を、吹田市長、ならびに吹田市議の皆様はどのようにお考えでしょうか？こんなスケジュールで本当に子供達のためになるとお考えでしょうか？人数が少ないからと犠牲にしてもいいのでしょうか？このやり方が本当に正しい教育でしょうか？このやり方を推進することは、本当に良い市政につながるのでしょうか？この急なスケジュールと、配慮が欠けていて、説明と対話が不足していることが問題だと申し上げているのです。例えば、この1年間の交流期間を2年間、または3年間にすることで、スムーズでトラブルが少ないより良い小学校の統合になるとはお考えにならないのでしょうか？交流内容について、最初の1年間では出来なかったことを総括し、次の1年間で実施することも可能となります。子供達、保護者の準備期間も長くなり対策も取りやすくなると思います。統合に際して、受け入れる側の山田第三小学校の子供達が、立ち位置的に強くなることは、人数の多さもあり、誰の目から見ても明らかです。吸収される山田第五小学校の方が弱くなる考えるのは自然ではないでしょうか？その不安や課題を解消するための時間、具体的な対策もない中で、今回の統合については、到底受け入れられることではありません。何度も申し上げますが、統合することに賛成、反対をしているのではなく、このスケジュールと進め方があきらかにおかしいと申し上げております。統合された場合の施行スケジュールについて、再度見直しすることを切に希望致します。

システム-124

山五小のままがいいです！ずっと山五小がいいです！

システム-125

山田第五小学校と山田第三小学校の統廃合のスケジュールの見直し。急激に児童の人数が、減るわけではない。山田第五小学校の通勤時間がかなりかかる。

システム-126

令和7年度からというのがどうしても理解出来ません。他の自治体ではどんなスケジュール

間で行われたか調べました。関東のとある自治体では、昨年度までに統廃合は決まって、更に新しい学校名や校章のデザインも決まった段階です。それでも年蜜に計画し、令和 9 年からとしていました。それまでに全てやることを洗いだし、誰が責任もってやるのかも決めているような状況でした。校歌も新しくするにあたり、誰に依頼するかまで決まっていた。吹田市はどうですか？統廃合するとだけ決まって、他に何が決まったのですか？令和 7 年から本当に可能でしょうか？もし、何かが間に合わなかったら、誰が責任取るのでしょうか？こんなに子供や保護者、地域住民の理解を得ないまま無理に進め、誰が得するのですか？何かをやったと実績が残る教育委員会だけだと思います。

システム-127

山田第五小学校の学校規模適正化に着手する必要があると記載があるが、適正化について一方的な教育委員会の決議により山三小への統合となっている。方針について、山五小に通学している親子の意見や関係している方々の了承があってから案を出すべき。(反対意見が多数出ており、一方的な推進と聞いています)現段階では、骨子案を出すべきではない。場合によっては、山三小の一部を山五小に統合するという検討があってもよいのでは。

システム-128

会合に参加させていただきました。説明ありがとうございます。聞いた内容として…

1. まず教育委員会の方で検討が不十分でないかと思われます。去年 A 案、B 案、C 案を提案いただいたかと思えます。その結果白紙になったかと思えますが今年より急に B 案を押ししているのではないと思われる発言が多々ありました。こちらは白紙になったのだから再度一からアンケートを再度とり進めるべきではないかと思えます。結果ありきの進め方でいささか横暴ではないかと考えられます。
2. また A 案について個人的にはきちんと対話して説得すれば可能と個人的には思いましたが明らかに無理ですと最初から決めたストーリーを描いているかのように思いました。いただいた資料もまずNGをありきで進めていると感じております。そこは吹田市としてどう考えているのかを改めて説明いただければと思います
3. また説明会で保護者から質問をしたことで初めて不利な事実を隠している部分も見受けられました。これはそもそも誠実さがまったく足りないと思います。住民は全く納得せずに進めれば行政のやることなので進めることは可能かと思えますが吹田市より人が去るのではないかと危惧しております。改めて誠実に、きちんと説明をして進めるべきでないかと思えます。単純に決まったことなので進めたいのであれば、そうおっしゃっていただいた方がまだいいです。言い訳ばかり進める方がいやです。

システム-129

同じマンションの方が、合併するならば嫌だけど、引越しを考えている、、、と話していました。

少ない子供達を地域として大切に見守っていました。これ以上子供達を明るい笑い声を減らさないでいただけませんか？子供は未来です。本当にこの事案は子供達の為になるんでしょうか？？もう少し見守っていただきたいです。

システム-130

資料に西山田中学校までの通学距離が1.9kmまでである、とありました。しかし、2.0kmを越す家もあります。これはいかがなものか。虚偽資料ではありませんか？あなた方は子どもたちのかわりにこの距離を大変重い荷物のかついで毎日吹田市役所まで歩いて行けますか？身軽な状態で30分。重い荷物のかついたら40分から50分かかるかもしれない。自分たちはしないでしょう？他の地域との兼ね合い？そっちも自転車通学を選べるようにしたらいかがか？そんなに多くの人数ではないでしょう。変えることによってあなた方の仕事が増えるのが嫌なだけではないですか？

システム-131

大規模校の方を先に問題解決してほしいです。大規模校の方が先生方の目も届きにくく気づいてからでは遅い事が増えています。(いじめなど)

システム-132

地域住民の意向を汲み上げて、最悪統合することになっても、もっと時間をかけて準備をして実施して欲しい。

システム-133

1、正式な提起から教育委員会決定、市議会決議、さらに実施までの期間があまりに短すぎる。アンケートを実施したというが、前提があいまいで、校区変更から選択特例校化や統合までの対策例を併記し、疑問や意見を集約するには不十分なものと言わざるえない。もっとしっかり、児童・保護者そして地域住民の意見を聞いてほしい。

2、提案されている統合案は、児童・保護者の意向に沿うものとは思えない。通学路の危険性など危惧される事柄への対策も、その気持ちに沿ったものでなく、逆に感情を逆なでするようなものにもなっている。もっとゆっくり時間をかけて当事者と協議すべきである。

3、小学校卒業後の中学校進学についても配慮が足りない。通学路が遠くなること。選択制を取ることも児童に心理的負担をかけてしまうこと。山田中学校へ進む小学校が1校となることの問題など。中学校校区問題の検討が不十分だと思われる。もっと広く検討すべき。

4、学年単学級でクラス替えができないことが大きく危惧されているが、さまざまに対策は可能であり、学校統合が不可欠となる条件にはならないと思われる。また学校全体で11学級以下で学年単学級は発生し、全学年が単学級となる6学級規模を特別視する必要性もない。国は11～6学級を小規模校としている。山五小の6学級を改善が必要な過小規模校とする

ことも必要性が疑われる。学校規模の認定は国の基準に沿って行うべきだ。

5、小学校の35人学級化が進行している。さらに30人、25人と少人数学級化が進むことも考えられる。もう少し国や府の動向を見定めることも必要ではないか。

システム-134

山五小学校はとても良い小学校です。小規模校のデメリットばかりあげて山五の個性はみてくれていないと感じる。もう一度、山五の保護者全世帯にアンケートとるなり、みんなの考えを聞いてから議会で議論するべきだと思います。保護者は山三に行きたくないのではない。議論の方法がに納得がいっていないのです。このままではギスギスした統合になります。

システム-135

山五小の保護者です。東京に住む友人が小学校教諭をしているので、今回の件を話してみました。その彼は、小規模校も経験し、今は大規模校で6年生の担任をしているそうです。結論的に、山五小は残すべきと言っています。過小規模と言われているけど、複式学級になるほどの人数では当面ないこと、小規模校のメリットはとても多く有ると。子ども達は大規模校に比べてものびのびと過ごせ、他の学年と関わりも多いので上級生に憧れて向上心を持つ。教師も児童たちに目を向けやすいので、ちょっとしたトラブルも見つけやすく、直ぐに対処出来る。よって、トラブル等は無いに等しい。地域の方々のとの関係性もとても良かった等、様々だったと言っていました。現在の大規模の学校は、1クラス37名、それも6年生で体つきも大きいので、とても狭い。運動場や体育館、校内は本当に一人当たりの面積が狭い。体育の授業は4クラスで行うこともあり、集中が出来ていません。人数に対してトイレの数も少なく高学年の女子は生理が始まるが、休み時間が終わってもトイレから戻れず授業が時間通りに始まらない。荷物の置場所も確保出来ず、書道道具や絵の具等、使用都度持ってきてもらっている。これは6年生だけでなく、まだ体の小さい1年生も。クラス担任だけど、そのクラスだけを見ればいいというわけではないので、トラブルにも気づきにくい。やることも多く、児童や保護者の対応が後手に回ってしまうことも正直ある。悪い意味で目立つ子(髪染めやマニキュア、過度なイタズラ、万引き等)がいると、影響される子が多く、それはクラス内だけでなく、学年でも影響し、真似をする子が出てくるが、人数が多いので対処が遅れる。役割分担の固定化が小規模校にあると言われているが、それは大規模校も同じ。むしろ、小規模校の方が、色んなことをさせてあげていました。友人関係は毎年クラス替えもあることもあり、浅く広い程度、学校が終われば塾や習い事で、希薄な付き合いだなと感じています。運動会も終わったばかりですが、学校の行事なのに、学年別の行事だった印象で、高学年だけ午後も続けて実施、その他の学年は兄弟が居なければ帰ることに。大規模校こそ、問題視をすべきだと、違う自治体の者ですが、強く思います。上記のように、教えてもらいました。短時間でこれだけです。吹田市の子どものことを思うなら、優先順位が違うのが分かりませんか？

システム-136

登下校システムについて質問します。山三小学校は登下校ミマモルメを導入していないようですが、何を使っていますか。統合することによって、新たに初期費用は発生しますか。

システム-137

山三小の児童数が減っているなら、山三が山五に来たらいい。山五自体、山三の校区にあるのだから、何の問題も無いはず。今、教育委員会が見ている数字であれば、できますよね。

システム-138

山三小学校横の郵政官舎跡地について

教育委員会は「今の時点で大規模開発の届け出がなされていない、仮に住宅やマンションが建ったとしても、山三小学校の過小規模化が数年後ろ倒しになるだけ」と仰っていました。

もし大きなマンションが建ったら子どもの数は増えて山三がまた満員になるのではないかと思うのですが、数年後ろ倒しになるだけと考える理由をわかりやすく教えてください。

跡地の開発計画が決まるまで統合を待つことはできないのでしょうか。

システム-139

こんなやり方のまま進めていくと、どんどん山五地区から子ども達がいなくなってしまう。人数だけ揃えても、子ども達の気持ちは、全く無視のまま。それが子どもたちのためになるとは思えない。役所にとっての、都合のいいやり方。いつもそうです。子育てのまち吹田それはもう過去のことになってしまいました。役所にとっての、都合のいい対応。何につけても、そうですね。いつも同じやり方です。さも、子どもたちのためと言いつつ、その内容には、心がない気がしてなりません。

システム-140

年度が近くなってからの話し合いというよりこれに決まりましたので話を進めて行きたいではちょっと厳しいのではないのでしょうか!山五地区に小学校は残してもらいたいものです。

システム-141

山五の廃校に反対です。地域に必要な学校だと思えます。また、保護者、地域の方々の声を、行政は、しっかり聞いてください。合意なく、強引にすすめられることがないように、よろしくお願ひします。

システム-142

教育委員会は、丁寧に説明したと言っているが、全く丁寧ではない。説明会自体も時間が来たら、これでおしまいと。丁寧な説明会だったか、アンケート取ってください。

システム-143

以前と同じく、校区の問題について地域の者として理解を得ておらず、スケジュールありきの案で進めていて、検討不十分なので、今回も他学校と同様に白紙撤回を求めます。教育委員会からの説明を聞いて、ただの数合わせをしている愚策と感じました。よくもまあ、こんな浅はかな考えで議案として挙げられるなどと思いました。こんな議案に賛成する政党、議員には金輪際投票しません。教育委員会は意見を聞いたようなこと言っていますが、保護者の意見なんて聞いていませんよ。主旨の違うアンケートの結果を言ったり、質問に対して、はぐらかしたり、ごまかしたり、意図と違う頓珍漢なことを言ったり、検討しますという口先だけの答えをしただけです。こちらが困っていることは、何も解決していません。その希望も感じられません。口では子供の為と言っていますが、学校生活や安全面、スケジュールなど全然考えられていません。それなのに、十分検討したとか、時間をかけたとか言ってます。この人たちは、子供の将来のことなんて考えてなくて、小さい学校を壊して実績をつくらうとしてるだけです。他の地域は中止や延期しているのに、なんで山五だけ強引に進めるんですか。山五は素晴らしい小学校です。人数が少ない中でも、違う学年や地域の人とたくさんのかんごとを経験しています。問題の本質なんか見えてないくせに、都合のいい数字だけ集めて問題って言ってるだけです。卑怯なやり方です。こんな人たちが教育のことを考えていると言って、大きな顔してるなんてぞっとします。

システム-144

何も聞いていない住民からすると急に統合されると避難所などがわからなくなり大変なことがおこります。

システム-145

統合は反対です。山五小学校校区では地域の方々がたくさん子ども達を楽しませてくれるイベントを企画して下さっています。運動会の後も市民体育祭でたくさん楽しませてもらいました。それなのに山五小学校校区が住民や小学校に通っている子ども達の理解も得ずに無くなってしまうのは非常に残念です。もう一度、山五小学校校区の皆さんの声を聞いていただきたいです。私の時も人数は周りの小学校に比べたら多くはありませんでしたが、山五小学校に通っていてとても充実した小学校生活が送れました。小規模校では大規模校よりたくさんのかんごとができます。一度小学校の日常を教育委員会が見に行してほしいです。子ども達の将来の事を第一に考え、まずは子ども達の意見を尊重してほしいです。最後にもう一度言いますが統合は反対です。

システム-146

説明会での話はやはり到底納得のいくものではなかった。他の地域ではもっと距離を歩くと

言われていましたが、そこと比べる事自体おかしい。その地域の学校までの距離を知った上で住んでいるのだから他の地域が学校まで遠かろうが関係のないことで、中学は自転車通学などの特別措置を取っても良いはず。他の区域から文句があっても統合の際の特別措置とならば文句は言えません。

システム-147

軽々しく歩ける距離と言わないでほしいです。実際に暑い中、寒い中同じ荷物を持ち地域の端から歩かれましたか？小学校についても端に住んでいる子どもからしたらとても辛いことです。子どもは山五でも遠くてしんどいのになら山三までは荷物が重くて長くて嫌だと言っています。そして何よりも大好きな学校がなくなり別の学校に行くことが何よりも嫌だと言っています。夏に案がだされ、11月議会で決めるのは拙速すぎるのではないかと？保護者の要望を聞いてからの決定でないと、強引すぎるのではないかと思う。山五小学校に関しては、減少は4年生はしているが、1クラス制だが30人は超えているし、コロナ禍で1学級の人数を減らすことになったのに矛盾している。吹田市全体を見直すべきではないか？ミリカでは学校を増やし、かたや学校を減らすというのはいかがなものか？そんな簡単に減らしたり統合したりせず、もう少し未来のことを考え、丁寧に教育ができるモデル校を目指せばよいのではないかと？山三小学校の裏の広大なもと郵政住宅の土地のことも、見越してのことか？人口が増えるのではないかと？とにかく拙速すぎるので、保護者の理解を得てからにしてほしい。

システム-148

統合により中学校区が変わるとあるが、山五地区の子ども達は、西山田中学はとても遠いです。思春期の子ども達に選択制は酷だと思う。西山田中学校地区になるのなら将来山五地域にはこどもはいなくなると思う。南山田小学校はマンモス化しているのにそれを差し置いての統合はおかしいと思う。

システム-149

統合の計画が急速なため子供達や保護者が困惑しています。住民の意見をしっかり聞いた上で検討していただきたい。

システム-150

山五小学校を統合する計画は、山五のこどもたちのことを考えると反対です。保護者の意見を聞く場ももたず、決定とおろされたことに対しても、私たちは怒っています。こどもたちもどうなっていくのか不安を抱えています。一度、白紙に戻して、住民の意見をしっかりと聞く場を設けてください。西山田中学校にあがった時に、中学校までの距離も、遠い家庭では2キロを超える児童も出てきてしまい、通学の問題もあります。少人数の学校を統合させることを

考えるのではなく、吹田の中の小学校を増やし、大規模校を改善して、どこの学校もゆとりを持って学び合える学校づくりを大切にしていってほしいです！！

システム-151

万博のアリーナ計画での千戸のマンション計画、山三地区にもマンション計画があるにも関わらず、山五地域住民や保護者、関係者に告知して、2ヶ月3ヶ月で山三に統廃合されますので、納得できない。また新たなマンションがたつにも関わらず、あまりに早急すぎる。市長選前の白紙に戻さざるを得なかった前例もあるのに、当選したら、即統廃合させようとするのは違うのではないか。過小規模校のデメリットのデータばかり資料で載せるが、山五小がそのデメリットの内容に当てはまっていない。仮に統廃合された場合、学校の名称や校歌は替えるべきである。山三が残り、潰され、損ばかりをするのは山五である。それから山五のPTA経験者も履歴として残すべきである。きちんと統廃合するなら、備品等も含め、現在の物を使うのではなく、全て平等の条件にして頂きたい。それから、精神ケアは統合前から行うべきである。今が1番、不安な時期で、たまに…ではなく、山五小生徒にみっちり寄り添って、常駐レベルで配置すべきでは。子どもたちの事を考えるというのはそういうことである。

システム-152

あまりに急でありあまりに強引。納得できない。その時その時の目の前の事だけではなく、長期的にみて、山田地区全体を考えるべき。もっと慎重に住民との対話を繰り返し、理解を得てから動かすべきである。子どもたちの事を全く考えていないとしか感じられない。

システム-153

山五小廃校案を見直していただきたいです。山五小を失くすという案が出ていると聞きました。私自身、山五小の第一期生(当時1年生)であり息子達も山五小に通っておりました。廃校になるという噂は随分前から出ており聞いたことが何度もありました。ですが、地域に密着した学校として運動会は午後から地域のふれあい運動会へと名称が変わり、毎年沢山の地域の方々が来られ賑わっております。本当に地域に親しまれてきた学校となっており、我が母校として大変誇りに思っています。少人数のためそういう案が出たということではありますが、確かに教員確保は現実問題難しいかもしれませんが、子どもに対する目が行き届きやすく、いじめや問題等にいち早く察知しやすいというメリットがあると思います。吹田市の過去におけるいじめ問題に対し、正直保護者としてその対応に不信感を抱いているのも事実です。現在、転勤のため吹田に住んではおりませんが、住んでいる地域は過疎化及び少子高齢化が進み、全学年1クラス15人も居ない状態です。ですが、その分先生方との距離も近く、子ども達も保護者も何でも話せる信頼関係が構築されているように思います。それは息子達が山五小に通っていた時にも同じように感じたものです。少ないなら纏めればよいという問題ではないと思います。今回の早急な一部改正骨子案も単に市民からの不信感を募らせるだ

けで、十分な説明及び猶予期間も無く、それは吹田市に対する信頼性が損なわれ最悪将来における人口減少に繋がっていく可能性はないでしょうか？地域の？がりも確実に希薄になると思います。それを奪う権利は行政といえど無いと思います。「子育てするなら吹田」というのは、もはや過去の話でしょうか……。現在の生徒達にはどのように説明されるのでしょうか？それによる心のケアは行政の範疇外ですか？学校が全てではないと思いますが、小規模小学校から大規模中学校に行った数人の息子の同級生が不登校になりました。それはその子達のメンタルが弱いからですか？全て自己責任ですか？これからを担っていく世代を育てていくのも、保護者だけでなく地域や行政、全ての大人の義務だと思っています。性の多様性の時代、大勢の中で声を上げることの難しさ、その声を教員一人で全て拾い上げることは極めて難しく、更にもその声を聞き逃しかねない骨子案は時代に逆行していると言えるのではないのでしょうか。吹田市の財政状況は比較的他の市町村より良いと認識しています。将来性を考えるのであればもっと市民の声に真摯に耳を傾け、子ども達のことを考えるのであれば何が良策かを再度ご検討いただきたいと思います。以上、よろしく申し上げます。

システム-154

山五小学校の生徒数減少に伴い山三小学校との統合を2年後に行うことについて、見直しを希望します。

1単純に通学距離が長くなる。通学時の安全性について考慮されているのか疑問です。この問題について校庭を横切る道を作ると聞きましたが、そこを通る子供たちの気持ちを考えると辛いです。

2卒業後中学は当面西山田中と山田中に選択できるようになっていますが、ただでさえ少ない卒業生が、特に山田中に行く生徒はかなり少なくなると思われる、入学後の学校生活にかなり不安を持つことになる。ただでさえ不登校問題が多発しているにも関わらず、当面こうします、で見切り発車をするのはどうかと思います。

3地域に小学校がなくなることでデメリットが大きい。多分未就学児を持っている若い夫婦は、今後この地域に住もうと思わなくなる。小さい子供がいない地域を確実に生み出すこの案には賛成できない。小さな学校でも残すメリットは、地域の活力を維持する上でも大きいと思われる。

システム-155

1. 条例の改正、統合の実施スケジュールが教育委員会会議での承認より1年半後となっており、地域改変の大きな案件にもかかわらず性急である。さらには、地域住民への説明会はその後に行われており、その中でも反対者が多数いる現状である。当事者である地域住民の理解が得られない中、統合のスケジュールが先行して決められており、このまま採決となると、教育委員会のみならず吹田市政への不信感が高まるばかりであると感じられる。児童生徒

の少人数化、過小化は対策対応しなければならない案件であるものの、それは当該生徒たちの状況をしっかりと調査したうえで、必要な措置を考えるべきものであり、地域住民、保護者、児童生徒の十分な理解を得たうえで行われるべきものである。今回のように、スケジュール先行で住民や児童たちの十分な理解が得られないまま進めるべきではないと考えるため、現在の0歳の子どもが小学校卒業を迎える令和17年4月1日に施行時期を改める

システム-156

1. 現行では自治体および居住者に対しての対応などの吹田市の課題に十分対応できないため、再検討をする意向に改める。
2. 近年の人口などの社会経済情勢の変化に合わせる必要があるため、新たに教育者の育成増進を加える。

システム-157

1 今回の統合問題をうけて、当施設を利用されている保護者や子どもたちの中に不安を感じている方たちがおられます。私も今回の案について当事者保護者より資料等を拝見しましたが、今回の統合について市教育委員会の説明では、統合後の子どもたちのケアについて十分な説明があったとは感じられず、具体的な対応案が示されないまま進んでいると感じています。特に、発達に課題のある子どもたちは環境の変化に大変敏感で不安を感じやすいです。そういった子どもたちへの特別な対応や配慮は全く示されておらず、保護者達の不安はもっともであると感じています。そういった当事者である保護者や子どもたちが不安を感じずに進めることができるよう、十分な対話と理解をえられるまでの間は統合案の撤回を求めます。

システム-158

私たちが在校生であったころから、山五小学校は一学年2クラスであつたりと少ない生徒数でした。しかし、山五小学生は少人数であることをむしろ長所として考えていて、充実した小学校生活を送れたと思っています。男女の仲も隣接している南山田小学校より良かったですし、少人数ゆえの仲間意識が強くあつたと感じています。そういったところからも、教育委員会が説明されているデメリットは山五小学校には当てはまらないと感じていますし、教育委員会が感じている性急な実施の必要性はないように思っています。実際に兄弟も楽しく学校に通っていますし、山三小学校との統合に不安を感じています。また、私自身思い出の沢山ある山五小学校がなくなってしまうのはとても悲しいです。そういったところから、1. 現行では、通っている生徒たちの不安が大きく、かつ性急な対応が必要であるとは思えないため、山五小学校設置に係る規定の削除の撤回を求めます。私たちの山五小学校をなくさないでください！

システム-159

(61)

僕は山田第五小学校に通う五年生です。こんかいの学校の統合は僕自身にはあまり関係がないのかもしれないけど、妹がいて妹は途中から山田第三小学校にかわってしまいます。妹は今でも学校までのキョリを歩くのにたいへんだと言っていて、月曜セットがあるときなんかは本当に重たそうにしながら頑張って学校に行っています。もし山五小学校がなくなって山三小学校になってしまったら、妹はもっと大変になると思うし、学校に行くのが嫌になるんじゃないかと心配しています。僕も山五小学校がなくなるのはとってもいやです。なので、今回の学校の統合はやめてほしいです。

システム-160

吹田に住み 10 年以上となりますが、局所にマンションが次々と立ち、そもそも偏った住民増加が起こっているのではと考えます。学校を減らすより、地域の見直しを図り均等化を図るべきではないでしょうか。なぜ市は学校を減らすことを考えて、住民数の偏りがどんどん広がるところにマンションを次々と建てるのでしょうか。なくなる学校には、小学校、中学校と長くライフプランを考えて住んでいらっしゃる、または引っ越してこられた方がいらっしゃるのではないかと思います。中学校の校区を見越して広く地域の方と交流をされていた方も多数おられると聞きます。急にそれが変更され、小学校も、さらに中学校も遠くなってしまうのは、不安でしょうし、交友関係にも大きく影響し、児童が不安に感じるのではないのでしょうか。数年かけて学校を減らすことができるのであれば、数年かけて児童の均等化はできないのでしょうか。児童数の減少が進んでいくだろうことは分かります。でも合併されてしまう学校の児童の心の負担、家族の不安や負担を考えると、その方法がベストだと思えません

システム-161

わたしは山五小学校の 2 年生です。わたしの学年はみんなやさしい友だちがいっぱいで、たのしく通っています。とちゅうでがっこうがかわってしまうと、ベンキョウのことや、ともだちのことなどいろいろなことがふあんです。なので山五小学校をなくさないでください。

システム-162

子ども(息子)は今中 3 です。世代的に、我が家庭としては山田第 5 小学校がどうなろうが影響ありませんが、ひとつ言わせてください。以前行ったアンケートで、交通面が心配という声がありました。おそらく南山田小の保護者の方だと思います。交通面の心配は府道を渡る意味になるかと思いますが、信号機があるのでむしろそちらの方が安心だと思います。信号のない横断歩道を渡る方が心配でした。自宅からは山 5 小の方が近いです。暑い日、寒い日、大雨の日ありましたが、山 5 小のだったらもう着いてるのだろうなと思ったこと、しばしばありました。安全に登下校出来て、しかも近い山 5 小に出来れば通いたかったです。息子は山 5 出身の子ととても仲良くしています。みんな優しいと言っています。それを聞くと、早く山 5 小の子と過ごしていたら…と思います。話が反れましたが、交通面の心配は無いと思います。優

しい子が育っている山5小を残してあげてください。

システム-163

山五小学校に子供が通っています。この度の山三小学校との統合についてですが、児童数の減少を考えると仕方ない事かと思えます。ただ、中学校選択制の件には反対です。我が家から西山田中学校まで21kmの距離があり大人でも徒歩30分はかかります。子供の足ではそれ以上かかると思い、夏の猛暑日など熱中症が心配です。中学校の選択権を子供に与えると、大半が西山田中学校に進学する中、自分だけ山田中学校を選ぶとは思えません。恐らく、他のお友達と一緒に遠くても西山田中学校に通いたいと言うと思います。ですので、選択制ではなく現在山五小学校区の子供は山田中学校へ進学、山三小学校区の子供は西山田中学校に進学として頂きたいです。統合時から中学校は別になると決まっていたら子供も納得すると思います。

システム-164

山田第五小学校の廃校と再編はいずれ必要になるとしても、中学校区の再編は急務だと考える。通学路の子どもの安全と緊急時の避難先として、現行の校区のまま学校が遠いのは非常に危険。また、こどもまんなかの子ども家庭庁ができたが、本件に関して通学中の子どもの意見はどのくらい聞いて議案に反映されたのか知りたい。中でも、発達や身体等に障がいがある子どもが転校先で十分環境整備された状況で過ごせるのかも知りたい。発達障害があれば環境が大きく変わることは非常に負担が大きいが、その点はどのくらい考慮され、また実際にどんな対応を考えているか示せ。

システム-165

4年生が人数少ないことをいいことに動かしやすいとしか思われてない感じがして非常に憤りを感じる。子どもたちは人数が少ないからと人間性が成長しないと言われているようにしか思えない。実際の山五は少人数でものびのびと生活しています。今の山五に問題があると思わないでください。

システム-166

現行では、保護者、地域住民の大反対の中、再来年度に統合するのはあまりにも早すぎます。保護者や子ども達が納得して、心の準備ができるまで、数年はかかるのが想像できませんか？また、学校が遠くなり、中学校の学力も下がり、不動産の価値も下がる事が容易に想像できる事から、住民として到底、統合には反対です。統合になるとしても、もっと余裕をもって、計画、実行してください。

システム-167

山一校区に住んでいます。子供が通う幼稚園には、兄弟いる方がもちろんおり、近隣の何校かの学校です。山三も山五も南山田も西山田もいます。そして、山一も北山田もいます。山五の方から山五と山三の統合情報は聞いていて、反対している人が多いということも聞いています。山五小で行われた説明会で、吹田市全体をみたと言われたそうですが、もう少し見てください。私の住んでいるところは、道路1本渡れば山三小も山五小もあります。徒歩数分で通えます。ですが、実際は山一校区です。山一まで、大人でも10分以上はかかります。子供が1年生になったら、30分近くかかるかもしれません。同じマンションにも小学生がいますが、かなり疲れて帰ってきています。数分で違う学校があるのに。そして中学校は更に遠くなります。山田中学校が一番近いです。わざわざ遠い学校に行かせるのも可愛そうです。山一より山三や山五に通うことを希望します。同じ様に考えている人、私の周りに多いです。学校規模適正化で、校区の見直しを行っているのであれば、このような意見も取り入れてください。去年アンケートをしたとのことですが、幼稚園入園前で何の情報もなかったもので、何も言えませんでした。

システム-168

過小校についてだけでなく、過大校についても考えるべき。人数が多くて子ども1人1人に先生が丁寧に関わっていない方が問題。規模の小さい学校は、子どもへの丁寧な関わりが出来ていると感じる。統合するとその良さが無くなるのではないかと不安がある。

システム-169

山田第五小学校が無くなってしまうのは反対です。この地域で子育てを終えて、子ども達は山五小、山田中学校を卒業したくさんの経験ができました。少子化の問題はあると思いますが、小規模校では本当にたくさんのいい経験ができました。小規模校を先に問題解決するのではなく、大規模校の問題解決をしてほしいです。千里丘中学校も生徒数が多くて、パンクするのも目にみえています。ジェンダーなどの問題もあるので男女などの人数分けをするのは良くないと思う。

システム-170

統合は反対です。小規模校のデメリットばかり言われてメリットをみつける事は出来ないのですか。小規模校には皆さんが知らないぐらいのたくさんのメリットがあります。子どもの権利条約を知っていますか？もう一度この問題を白紙に戻し子ども達が不安なく学校生活がおくれるようにしてください。学校に通っているのは子ども達です。大人が勝手に話を進める決定する事は間違っています。

システム-171

そもそも住民の声を聞かないまま、結論ありきですすめていることが酷いと思います。この学校に通わせたいから引っ越してきたという知り合いの方もいます。人生設計を狂わせる可能性がある重大な問題です。子どもたちを大人の都合で振り回すのも本当に許せません。結論ありきの住民説明会ではなくて、時間はかかっても、今後の吹田市の街づくりを私たち住民といっしょに考えて、納得いく形のものをつくっていただきたいです。逆に、マンションばかりたてて、保育所、小学校、学童保育など足りないという地域もあったり、吹田市の街づくりのやり方が人口さえ増えればいいとばかりに、行き当たりばったりすぎるように感じます。目の前にいる私たち市民が住みやすい環境を整えられない街づくりに将来はないのではないのでしょうか？学校の問題だけではなく、いろんな分野で私たち吹田市民の声、実態を無視して進める吹田市の行政の態度が目にも余ることが多すぎます。

システム-172

説明会で配布された資料にミスがある。生徒数にも間違いがある

システム-173

今春、長野西、山田市場の一部、檜切山を今春、長野西、山田市場の一部、檜切山を山五の校区へと言う A 案が長野西の人の猛反対で白紙になった理由が『市長から「校区の問題については地域の方々から理解が得られていない中で、スケジュールありきで案を示して進めて行くのは拙速だ」との厳しいご指摘』でした。今まさにスケジュールありきで進められています。何故長野西の人の意見は聞いて山田南の人の意見は聞いてくれないのか。山三小と統合する場合、学校名と校歌の変更を求めると検討するとの返答だったが、山三小保護者にその説明もしているのか。山三側は山五を吸収するだけの認識ではないのか。あくまで統合であるべき。このままでは山五は山三に吸収されてしまう。今のスケジュールでは山五だけでなく山三の理解も得られない。教育委員会は複数回説明会を実施したと言うが同じ内容を 2 日間未就学児用と在学用用を実施しただけ。山五保護者が要請して追加された 1 回を合わせて実質計 2 回。これを複数回と言うのはどうか？そもそも校区編成は中学校区で考えるべき。赤ちゃんの時から山田中学校区の地域住民として山田中学校の体育館の未就学児の運動会に出たり、山田中学校の生徒が赤ちゃんに触れあう授業の為に山田中学校へ行っていた。今まで築き上げてきた山田中学校区と言う地域を軽視しないで欲しい。家を買うとき中学校区で決める人は多いと思う。私も西山田中学校区に住んでいたが西山田中学は悪い話しか聞かなかったので評判のいい山田中学校区に家を買って引っ越した。上の子は山田中学校を卒業したが本当にいい学校だった。下の子も今は山田中学校へ行きたいと言っているが新しいお友達が選択肢なく西山田中学校へ進む中、山田中学校を本当に選ぶのか？山五小児童が中学校を選択出来る期間は山三小児童にも選択権を与えるべきだ。又は今の山五小校区の住民は山田中学校へ、今の山三小校区の児童は西山田中学校へと分けるべ

きだ。この方法を取っている学校も実際ある。

システム-174

山田第三小学校と山田第五小学校の両校へ在学したかつての児童である立場からの意見だが、大人の感覚ではそれぞれの学校は目と鼻の先くらいの距離に感じるが、児童の足だと通学がこれまでより相当遠く感じるし、現行の山田第五小学校の敷地はかつては溜め池で薄暗い場所だったため、特に冬場の下校時に遅くなるとその付近を通るのが怖かった記憶がある。廃校となった際にはまた同様の場所になる恐れが大きく、現在でも住宅街の中で大きな道路にも面しておらず、高速道路の高架下を通ることも含めて児童の保護者の立場からすると登下校のルートに不安がある。校区を接する南山田小学校は数年前に児童数が増えて年度の途中でクラスを増やすためクラス替えが行われたと聞いたこともあるため、一部学区を山田第五小学校区へ編入する方向で児童数を調整すべく再検討を望む。

システム-175

統合するところによる考えられるリスクは明確でしょうか。個人的には統合は賛成ですが、児童の継続ができないなど過小学級以外にも考えられるリスクを明確にされていると思うので先手先手で対策を講じて欲しいです。

システム-176

この統合を決定された経緯があまりにも杜撰であり、なぜこんなに急いでこの計画を進められるのか理解できません。まず、この件に関して地域住民に教育委員会から何の説明も受けていませんし、直接意見を聴取される場も開かれておりません。コロナ禍前に一度、過小校解消対策についての説明会というか意見聴衆のようなことがありましたが、藤白台の過大校問題が紛糾したため山五小問題については白紙に戻す旨の決定がなされたはずです。白紙に戻る前に提案された案は、1.南山田地区の一部の校区変更。2.学校選択制、3.山三小との統合の3案だったはずですが、すべて白紙に戻り急遽、教育委員会として山三小学校との統合で計画を進めてまいりますでは、地域住民も保護者も納得できないでしょう。保護者には教育委員会が、地域住民には市長部局が説明を行うという方針のようですが、地域住民にも何故この時期に山三小と統合するのか説明の必要があるのではないのでしょうか。市長部局の説明は統合は教育委員会が決定したことであり、我々は統合後の地域のあり方についての意見聴取と説明に来たという立場であるということに終始し、また、保護者向けの教育委員会からの説明は、山三小も今後全学年単学級になる可能性があるため統合という結論に至ったという話であり保護者の大半は納得していない。このどちらの説明会に於いても、何故統合するのかの質問には全く答えていない上、保護者及び住民が納得する論理性のある説明がなされていない。5年前?の議会で後藤恭平議員が過大校と過少校対策についての質問に対する教育委員会の答えが「全学年が単学級になれば統合も視野に入れます」という記

事が市報に議会だよりで報告があったのを記憶しています。この答えを実現に向け実行しているのみで単なる人数合わせであり、どこにまっとうな論理性のある対策なのか全く見えてこない。小規模校には小規模校の良さがあり、現状の山五小が小規模校の特徴に特化した教育が実施されているかは計り知れないが、理想的な教育が行えるはずである。公立小学校とはいえ、教育特区の制度が設けられ学校の特賞を生かした教育が推奨されているはずである。山五小の特区ととしての取り組みが何なのか見えてこない。例えば英語特区として英会話を徹底的に推進するスタッフをそろえ指導し、卒業時にはすべての授業が英語でも理解できる程度まで身につけさせれば、入学希望者もふえることは間違いないでしょう。統合ありきで考えるよりも、如何にして山五小への入学希望者を増やす学校にする対策を考えるべきではないでしょうか。小規模校の弱点は、大人数教育が出来ない所です。これはすぐ隣にある山三小と定期的に交流プログラムを組めばある程度解消することができるはずです。また、場所(学校)もお互いに行き来すればまた、学年を超えた交流が出来ることと思います。このプログラムが実施できれば山三小にも大きなメリットが生まれるはずであり、担任の先生も交流できるので様々な意見交換もできる要素があります。5年前の一議員の質問で統合に向けてのベクトルが今日の教育委員会の終点である訳ですが、特徴ある学校づくりの指導が全くなされていない結果がこのような事態を招いたのではないのでしょうか。大規模開発があり大規模マンションが設立されれば当然周りの学校は生徒数が増えます。田舎の過疎地の限界集落の学校ならいざ知らず、40万中核都市と呼ばれる吹田市において大変情けなく、行政の貧困さ、貧弱さを禁じ得ません。山三・山五地区まわりの山田地区には超大規模校が数校存在します。なぜ校区変更を実施しないのか？強制校区変更が出来ないのであれば魅力ある学校作りに力を入れ、転居してでも”行かせたい学校”作りに力を注がれなかったのが不思議でなりません。教育委員会の学校に対する指導力不足に他ならないと思います。山五は地域も狭く高齢化が進み、今後若者の流入も期待が持てなく児童の数も大幅に増える見込みはありませんが、小規模校の特性を生かし魅力ある学校づくりに力を注いでいただき”行かせたい学校”となれば、必ずや他地区からの流入が増える要素を持っている地域だと信じています。

システム-177

近年は少子高齢化など子供が減ってきていることは事実だが昔から長く続いてきた学校をこのような形で一つの学校にまとめるというのは自分的にはどうなのかなと思います！吹田市の課題や色んな問題があるけどぜひもう一度見直してほしいです！よろしくお願いします！

システム-178

このまま進めたら、子供達の心に傷が残ります。あなた方の憎しみが育ってしまいます。我が子にそんな思いはさせたくありません、、合併が決まった交流で仲良くなれますか？子供達の事を本気で考えて下さっているのなら、もっと時間をとってください。まずは数年かけて、両

校の交流、安全の見直し、私達との話し合いを行っていただきたいです。数年かけて動いてきたとおっしゃいますが、つい最近まで南山田と思っていた保護者が大半です。そう思わせたやり方にも問題あるのでは？たった2回の説明会では私達は納得出来ません。再構築をお願いしたいです。

システム-179

アンケートだけで住民の意見を集約したというのはひどい。対面での意見集約が必要であった。何度も議論を重ねてきたというのがそれはあなた方の仕事であってこちらは関係ない。重要なのはどれだけ住民の意見を吸い上げることができていたか。一部の人だけの意見を吸い上げたから今揉めているのだ。PTA 役員は毎年変わる。そこでの意見交換だけで全保護者の意見としないで欲しい。住民に話を降ろせていなかった、内輪だけで事を進めてしまった結果が今である。

システム-180

今の4年生は小学1年生からコロナ禍でした。やっと普通に学校に通えるようになったところです。それなのに1年間だけ山三小学校に行って、中学校は選べと言われる。犠牲の年代だと思います。統合は避けられないとしても、今ではない！と強く思います。子どものために思うなら、絶対に今ではない！数年後に延期するべきです。

システム-181

山五小が山三小に統合するのは、反対です。理由として、山五小は小さい地域だから、幼児から高齢者まで、交わって活動が来ています。公民館の文化祭や市民体育祭、コロナでやっていますが山中での夏祭り、これが、山三に統合してしまうと無くなるですよ。山五が無くなる一心配しています。

システム-182

学校規模適正化基本方針は子どもたちを置き去りにしていると考えます。また、今回、山三小学校の将来の過小校問題を定義されていますが、今、考えるべきは山五小の地域や子どもたちの声です。スケジュールありきでなく丁寧に説明をする機会を作って下さい。解決すべきは、過小校の前に過大校の解決と考えます。

システム-183

山五小に二人の子供が通っています。統廃合について、今後少子化が益々進むのであれば、山五が廃校になってしまうのは、仕方ないと思いますが、今急いでやるべきでは無いと思います。昨年度は藤白台1本で動いて、今年度の春頃は何も動いてないと言っていたはずが、夏には山五は閉校。こんな短期間で何を調べたのでしょうか？目の前に見える、資料にある

数字だけに感じます。市内で住宅開発がありますが、届いている情報だけを見て、今後おこりそうなことは、想定していますか？千里丘駅の開発で、山二や南山田もまた住宅開発があると思うし、何十年も前に建てられた大規模なマンションがいつ改築されるかリサーチしていますか？目先の数字だけでなく、もっと先の数字も想定したうえで、どこの地域が、学校が優先的にやるべきかが見えてくるのではないのでしょうか。自分としては、教室数不足の方が問題と感じています。大規模な学校の方が、みなさんに説明したりして色々な声があがり、やりにくいのも判りますが、小規模校に通う子供の姿を見ていると、大規模校に大きなメリットは感じられません。子供達に健やかに育てもらうには、大規模校を適正化すべきとまずは思います。その間に山五や、近辺の小学校での人数の変動がどうだったかを見てみるのはいかがでしょうか。約1年半後に統合、無理に決まっています。何も決まってない状態で、誰がどうするか、それ以上を考えた上で統合の時期を決めるべきだと思います。ちなみに、学校名は新しい学校名を強く希望します。

システム-184

西山田中学校まで歩いたことありますが、重たい荷物を持って通学するにはかなりきついと思います。特に雨の中、行くのはかなりきついと思われます。ぜひ、役員の方達にも雨の日に重たい荷物を持って普通の靴で歩いてみて下さい。それでも徒歩で通学して下さいと言えるのでしょうか？

システム-185

- 1.山五小の先生も一緒に来てほしい
- 2.統合するまでの間、両学校がどのように交流するのか具体的な計画を出してほしい。運動会などの行事だけでは足りない。普段の授業を一緒に受けたりして、毎週のように会う必要があると思う。
- 3.中学を選択制にするなら、西山田中を選んだ山五出身の子には自転車通学を許可するか、スクールバスを出すなど対策をとるべき。なぜなら、山五小に入学させた時点で、親は中学は山田中に行くものだと思っていたから。通学距離が当初より遠くなることについて何も対応できないのなら、中学校を選択制にしないで、山五を出た子は全員これまで通り山田中に行くようにさせて。そもそも中学校を選択制にする意味がわからない。この点が今回の小学校統合の大反対・大混乱になっている。

システム-186

山五小保護者として、説明会に参加しましたが、全く説明になっておらず吹田市や吹田市教育委員会の不誠実さを露呈しただけ。まず山五と山三の統合は強引で不自然な流れとしか思えない。そもそも過小規模校になるのは分かりきっていたのに令和元年から動くのは遅いしその5年前には10年前から動くべき事案だったのにここに来て早急に解決をといかにも

らしいことを言う。子供の為にというのは表向きな話で結局大人の都合で急いでいるとしか感じない。大きな権力者が統合を急いでやれと指示しているとしか思えない。なぜなら山五小の子供や保護者に再アンケートをとらないから。アンケートをとれば反対意見もしくはもっと時間をかけてやることになるから、教育委員会としては都合が悪い。権力者に従うだけで後は子供がどうなっても知らないし責任をとるつもりもないのがひしひしと伝わってきた。こんなおかしい事を通そうとする吹田市に怒りしかない。再アンケートをし、再検討するのが当たり前の話。山五地区が少人数だから余裕とバカにするのも大概にして欲しい。

システム-187

学校の統廃合に関して、まず、令和 7 年度から実施するのはあまりにも乱暴であると考えます。生徒の推移に関しては、以前からわかっていたことであるのなら、計画が上がった段階から地域住民や児童生徒、保護者に説明をし、ある程度の同意を得た上で進めていかなないと、混乱を招きます。反対されることが目に見えているから、告知より前に水面下でことを進めて、ほぼ決定の状態、現状が覆らないようにするために進めていたと受け止められてもおかしくない状況です。現在、子どもの発達支援に関わっており、近隣で務めておりますが、保護者からは何の説明もなく急に令和 7 年度から山五小学校をなくし、統合するという話になったと聞いております。子どもの発達支援において、環境は大変重要です。中でも小学校生活は大きなウェイトを占めています。いつかは変わらなければいけないという事であれば、数年後少なくとも現在入学している子が卒業するまでには、統廃合することを市民に告知をし、校区に引っ越してきたご家庭が困らないようにする。また新一年生は、山三、山五どちらにも行くことができる校区選択制にする。統廃合を見越して、学校交流を計画的に行い、それぞれの子どもたちがお互いに慣れる機会や学校環境に慣れる機会を作る等、できることはまだまだたくさんあるはずですが。現在、山五小学校に在籍している子どものことを考えるのであれば、少なくとも3年計画で子どもが順応できるようにするための取り組みの提案をしていかなければいけないと思います。説明会には参加していないのでわかりませんが、残念ながらパブリックコメントでは子どものための取り組みが拝見できませんでした。「子どものことを考えて」というのであれば、子どもが新しい環境に適応していくためにできることを提案し、それに対して校区の保護者や住民から意見を求めるべきであると考えます。このような点から、学校の統廃合、校区再編ありきで計画が進められ、子どものことを考えていないと山五地域の保護者から反対されることにつながっていると考えます。今回のやり方は、令和4年度の文科省の特別支援のありかたに関する通知を受けたときと同様の手法であると感じます。この支援学級の在り方に関しては、保護者の方々からの反対を受けて、令和6年度からの実施が延期されたと聞いています。子どもの成長発達を考えたときに、まずは子どもを支える保護者の安定が大事です。子ども自身の環境である学校生活の場を整えることはもちろん大切ですが、子どもを支える保護者も子どもを取り巻く環境の一つです。その保護者に協力者になってもらわなければ、山五の保護者、山三の保護者の対立を招き、結局は学校の教員が困る、しい

ては、子どもたちが困るということにつながるので、もう少し丁寧な説明と子どもや保護者への今後数年間の対応について説明をしなければいけない責任があると思います。

システム-188

小学校は統合することで、お互いのメリットはあると思うが、中学校に関してはわざわざ選択制にすることで子どもたちが余計に悩むことになると思う。市としては、とりあえず選択できることにすれば親も納得するだろうという考えかもしれないが、思春期で友達関係にも敏感な時期に、選択を迫るのは子どもたちにとって酷なことであると感じる。子どもたちのための統合だと教育委員会は言っていたが、本当に子どもたちのためなのか。子どもたちに余計な負担を与えることにはならないか、もう一度考えてほしいです。子ども達のためにという表向きだが、学校を一つなくすことで経費削減することが目的なのではないかと思う。

システム-189

山五小学校の過小規模の問題を解決するにあたり、南山田地区の一部を山五地区にする案があったが、それがなくなったのは、南山田地区の自治会の猛反対があったからだという話を聞いたが、本当か。火のない所に煙は立たぬとも言うので、確認してその結果を公表してほしい。もし本当ならば、人数が少ない山五地区は反対意見があっても少数派だから、どうにかなんとおもわれているとしか思えない。市への不信感がつのります。

システム-190

昨年度行われたアンケートに関して。このアンケートが統合に関する保護者の意見を聞く機会であったとしていたが、意見を聞くと言うのであれば、しっかりと説明会などをした上でアンケートを取ってほしかった。あの説明とアンケートでは、統合が本当になると思って答えていない人が多いと感じている。あれでちゃんと意見を聞いた、説明はしたというのであれば、説明責任を問われるのではないか。

システム-191

今回教育委員会主催の説明会に2回とも参加しました。令和7年度からの山田第3小学校との統合に反対です。しかしながら、山五小の環境を整えることは継続され尽力を尽くしてもらっていることに感謝しています。

理由

時期が早すぎる・もっと子供たち地域のために対話が必要です。

・教育委員会は令和元年度からの検討事案と話されましたが、令和4年のアンケートの際にいつ統合するとは記載されておらず、アンケートの人数も家庭部数の半数も集まっていない周辺校区のアンケートで良しとしているのは山五校区の人権侵害である。

・また藤白台の件で一度白紙になっているにも関わらず、再度アンケートをやり直すこともな

く、保護者に再検討していることも知られることもなく話を水面下で進めていたことは、市民を軽視しすぎである。

・令和 4 年のアンケートの開示に関し、統合以外の 2 案に対する意見が開示されていない。貴重な市民の意見を隠すのはおかしい。すべての意見を開示すべきである。

・山田第 5 小の子供たちに対する具体的な対策が何も見ていません。10/14 日の説明会ではなぜ山田第五小の統合を前提として話され、山五が存続できる案を検討したと結論づけるのは早すぎます。

・小学生の通学路に関し説明はありませんでした。検討が必要です。

・山田第五小は過小規模であり、不満や不具合・トラブルも過小で済むと思われていると説明会の内容から伝わってきており人権侵害です。

・山田中学校が近くにあるのに、遠くの中学へ 10キロ以上の荷物を抱え通学することは、負担・熱中症のリスクがあり危険である。7 月の山形や全国の学校生活の中で起きる熱中症による死亡例を考えるとリスクしかなく責任はだれがとるのか。毎日あらゆる気候の中、部活ののち 30 分歩行することは時代に合っていない。大人はみな徒歩通勤するべきと検討しないのにおかしい。もっと子供のために・地域のために出来ることを被害を最小にとどめる方法ではなく皆が考える機会にしてほしいのです。

検討してほしい内容。

・吹田市の小学校校区だけでなく、中学校区を考えた小学校校区の再度編成を全面的に検討やり直す。

・近くの山田中学に進学できるよう、南山田小学校校区の山田市場・檜切山を山五校区に移行する。(長野西は省くことで、南山田小の生徒減少が緩やかになり山五小も生徒数が増え中学での人数差も軽減できるため)

・山田第 3 小学校・西山田小学校の中で校区編成し、山三小の過小規模化を改善する。

・すべての子供が健康ではない。距離が渡欧なれば、持病や特性・ケガにより送迎が必要になり登校できないことも考えられる。子供の義務教育の学習の機会を奪うのはおかしい。

・通学路に関して、山五小の生徒が山三小への通学路に関し、山五小のグラウンドをとおり抜けると説明があったが、その先の竹林を必ず伐採し整備することを希望します。児童館へ行く際も一人ではいかない・暗くなったら通らないなど現状でも暗く見通しが悪く、変質者がよく出ている場所であり、多くの保護者が危険を懸念している場所をあえて通学路にするのは今後事件・事故の際責任は取れるのか。

山田第三小と統合する場合の検討内容

・統合は山田第三小学校が各学年が 1 クラスになる時期に統合することを希望。力関係も減りいじめの予防になる。

・山田第三小学校の名・校歌は変更。

・体操服は違うことでトラブルの要因になるため、新しくすること。

・学年 2 クラスになった際、山五・山三の先生がそれぞれ学年に 1 人ずつ配置し子供の精神

的フォローを行うことを希望。

・通学路の整備

・クラス分けは十分に検討し不登校の要因は排除すること。不登校児に対してのかかわりは学校のみで行わず、他県がされている児童精神科の医師を月に1回でもいいので導入しすべての生徒・保護者のフォローを行うモデル校にしてほしい。

・カウンセラーは希望性ではなく、クラスに出向き子供との関わる時間・壁をなくし相談しやすい環境をつくる。

以上山田第五小の早期統合に反対致します。この素晴らしい山五地区をどうぞ存続できるよう再度検討よろしくお願いします。

システム-192

山五3年生です。今のまま、このクラスのみんなでいっしょに山五をそつぎょうしたいです。クラスがえもしたくありません。学校が遠くなるのもいやです。山三には、行きたくないです。

システム-193

アンケート実施から決定までが早すぎると思います。子どもは吹田市民ではないのか？意思を尊重されないのか？過小校は本当に潰すべきなのか？これは人権問題ではないか？近年いろいろ山五小の工事(トイレが和式から様式へ、体育館の大規模工事、窓ガラスの強化など、その他もろもろ)をしていたが、子どもたちの為では無かったのか？別の思惑があったのではないかと思わざるを得ない。吹田市で山田第五小学校は若い学校なのに、他の古い学校を差し置いてなぜこのように、工事をしてきたのか？このまま統合される事になれば、山五小の子どもたちの為では無かったと思ってしまいます。それに統合し、山田第五小学校が無くなれば、子どもたちの精神を壊すことになると思います。学校とは、安心で安全な場所なのに、それを市政が壊すというのか？子どもたちの心は市政には無関係なのか？市長や吹田市議員はどう思っているのか？今一度、問いたいです。それに加えて地域の保護者や卒業生たちの精神を壊すことになると思います。安心で安全な場所が無くなるという喪失感、一生消えない心のキズになると思わないのだろうか？市政が私たちの意見を蔑ろにするというのなら、市政は血が通ったものには到底感じない。待ったなしに進むのはいかがなものなのか、市長や議員の方々に、もう一度考えて頂きたい。子どもの人口が減少という事実は逃れられないが、それにしても決定を出すのは速すぎいか？と思います。どのような判断になろうとも、市民は従うだけだと思わないで頂きたい。個人としては、通学区域を見直す方が安心、安全ではないか？と思います。あと、山田第五小学校は素晴らしい学校です。子どもたちは、それぞれの個性を尊重し合い、素直な心を持っています。他学年との関わりが多く、他の学校にはない一体感があります。先生たちも素晴らしいです。同調圧力など、皆無です。山五の教育方針を他の学校に伝えて頂きたいです。長くなりましたが以上です。どうか、この声が市政に届きますように。

システム-194

先日は山五小学校での説明会、ありがとうございました。参加して思ったことは、スケジュールありきで、説明会をいくらしても、保護者の納得は得られないだろうなということです。また、納得を得られないまま、無理やり押し通した統合はうまくいくだろうかとも思います。今までずっと山五小の人数が減り続けて、ついに各学年1クラスずつになり、このように教育委員会が動いて下さることに感謝しています。けれども、他の保護者が言うように、もっとお互い話をしながら、もっと前から進めることはできなかつたのかと思います。山五小の保護者の中にも様々な考え方の方がいると思います。少人数の学校のままでいいと思う人(統合や校区変更の必要はないと思っている人)、少人数なのはどうかしたいし将来の統合も視野にあるが、今回の案はスケジュールが早すぎると思ってる人、統合賛成の人、他のやり方だと思ってる人等。いろいろな考えの人を取りまとめるのは大変ですが、今回のように決定したことを説明するというスタンスではなく、様々な意見を聞き、最終的に決定するというスタンスでやってほしかったです。今回のやり方では、保護者は自分たちの意見を聞いてもらえなかつた、勝手に決められたと感じ、納得を得て、スムーズに進めているとはとても言えないと思います。また、無理やり統合案を押し通したとしても、その中で実際に学校が変わる、状況に対応していかなければならないのは、子どもたちであり、保護者です。ふたをあけてみないと見えない、細かい事がらがたくさん出てくるはずです。例えば、説明会で誰かが発言していた、体操服等の買い替えの必要性、卒業アルバムでの行事写真(思い出写真)はどうなるか、PTAの役員履歴、部員履歴は残るのか、PTAのやり方の違い、学校生活の授業や給食などのやり方の違い、、、など、いろいろなことを両校ですり合わせていかねばならず、それを実際やっていくのは、子どもたちであり、保護者です。教育委員会や議会で決定したとしても、実際に現場で調整していったり、対応していくのは、現場の人間なんです。なので、上が決めたから、それに従わなければならないというスタンスではなく、話し合った結果、最終的にこうなった、最初は嫌だったにせよやむを得ない事情もふまえて、結局は納得の上こうなったというスタンスで統合しなければ、実際ほうりだされて、困るのは私たちだということを理解してほしいです。また、南山田の保護者から猛反対を受けたからといって、校区変更を取り下げ、人数の少ない山五の保護者の意見は聞かず、この統合案を押し進めようとするのも反感をかっている一因だと思います。山五の保護者の中には、このまま小規模校で何が悪い、このままでいいじゃないかという方もいらっしゃると思いますが、将来的にはどうかしたいという方も一定数いらっしゃると思いますし、私もその一人です。正直言って、一番ありがたいのは、中学校校区も同じである南山田校区の一部を山五校区に変更するということが、山五の人数も増え、中学校校区も変わらず、一番良いと思います。でも、現実、難しいのならば、将来的に統合も致し方ないのかなという気持ちもあります。私個人的には、1クラスで生活していくことで、人間関係の逃げ場がないことは、非常にしんどい部分があると思うので、統合しても良いと思っていますが、他の保護者の温度を説明会で感じると、納得いつてない方があんなにもたくさん

いる中で、無理に進めて、統合が決まったところで、そのあとどうなるんだろうという不安な気持ちでいっぱいです。それをもう少し、丁寧に対応してほしいです。丁寧な対応というのは、質問に丁寧に答える、つまり教育委員会の中で、決まったことを上から答えるという意味ではありません。それは、こちらの意見が入る余地が一切ないので、意味がないと思います。教育委員会と保護者・地域の意見の出し合い、すり合わせをしていくことを望んでいるように、説明会に参加して感じました。公務員の仕事として、決まったことを伝えるのみ、ではなく、保護者は何を求めているのか、何に不安を感じているのか、それにどう対応していけるのか、もし自分が山五の保護者という立場だったらどうかという気持ちで接していただけたら、少しでも歩み寄れるのではないかと思います。

システム-195

統合するなら、中学校については、選択制にしてほしい。統合後の子どもたちのケアを十分に行ってほしい。通学路の案について、説明会の内容は意味がわからなかったなので、もっと詳しくしてほしい。山三小学校の保護者はどう考えているのか、山五だけが吸収されて、なくなる感覚なのか、両校が対等に統合するのか、疑問に思う。

システム-196

校区内保護者や地域の団体だけでなく、校区内の一般企業にも広く周知し事前説明を行うべきである。西山田中学校は山五校区からは遠いので、今後過疎化が進むと思われる。不動産や美容室、外食系、小売店など大きな影響を受けるであろう。なのに説明がないのはおかしい。

システム-197

山五、山三統合案の撤回を求める。山五小学校のデメリットとして、人間関係の固定化、役割分担や序列から抜け出せない、人間関係のトラブル時に逃げ場がない、男女比の偏り、社会性や対人スキルの向上に課題がある、という事をいわれているが、保護者にその根拠を示せていない。山五の子供の現状の調査、1クラスで小学校生活を終え山田中学校に進学した子供の現状の調査ができていない。調査を行えば、教育委員会があげている課題が山五の課題ではないことは明らかである。有識者の話を聞き、文科省の指針を調べる前に、まず山五の子供の現状を知るためにもっと山五の子供達とふれあい、保護者と会話をし検討を重ねるべきである。(一部の教員に聞いても何もわからない)この統合案は、山五の子供のためにはならない。山五のあたたかな教育環境を子供から奪うものである。直ちに撤回をし、本当に教育環境を改善すべきはどの学校なのか検討を求める。

システム-198

元々通っていた高校生です。時々改築がされてだんだん綺麗になっていたのに山五が無くな

る話を聞いて、じゃあ今までの改築は私たち子どものためのものではなかったのか、と心底がっかりしました。山五は先生や生徒の民度も良く、中学に上がってからの学校生活が辛く感じたほど素晴らしい環境の学校です。学級崩壊という単語も中学に上がってから知りました。そんな平和で互いを大事に想う心を育てられる学校がなくなるのは非常に勿体無いと思います。もし仮に山三に通うことになったとして、子どもたちがちゃんと登校できるとは思えません。夏は35度を超えるようにもなっており、今の山五の区域からの登校は危険に感じます。小学6年生ならまだしも、まだまだ幼い小学1年生もいます。保護者が付き添うことが義務になるのでしょうか？ひとり親家庭、妊婦、他の兄弟など様々な家庭があるためそれは厳しいと思います。一つ気になったのが、この件について聞いた時点で「検討」ではなく「実施」になっていたことです。市民の意見を聞いたと聞きましたが、この件について知ったのはここ最近で私たちはそれまで一切知りませんでした。どういった層に聞いたのでしょうか？子を持つ親でしたか？在校生ですか？それとも卒業生ですか？「学校がなくなる」という話は我々家族は聞いた覚えがないです。他の方も「なくなる」という単語を市が出していなかったからこのように納得している人がいないのではないのでしょうか。「校区を見直す」という話は聞きましたが、「なくなる」と言われた覚えはないです。紙切れ一枚をふらっと渡されただけで納得できる方などいないでしょう。元々税金で改装したものを上手いこと使おうとしたのではないかと不躰ながら思いました。そもそもこの話子どもは納得しているのでしょうか？区画整理など対策を講じればまだどうにかできるはずなのにそれをせず、いきなりなくすと言われて、素直に受け取ることができるのでしょうか？卒業生の私ですらこのように納得できていないのに、現在通っている子どもたちはすんなりと納得できるとは思えません。また、区画整理をしないのも人数が多い学校を優先しているように見えてとても気分が悪いです。山五がなくなったらその付近に子どもが来ることはなくなるでしょう。より少子化が進むと思うのですがどうお考えなのでしょうか？吹田市は子どもに力を入れていたはずで、それを蔑ろにするような策をとるのでしょ

システム-199

山五小の児童・保護者、山五小校区の未就学児保護者、地域住民の声や意見をしっかりと聞き、十分な議論を経た上で決定するようにして下さい。

システム-200

山五小と今後山五に進学予定の子を持つものです。統合に賛成いたします。こういった内容のものはどうしても反対意見が強くなり、賛成やどちらでもいいと思っている家庭や個人の意見は反映しづらいと思います。児童数が減少していくことは数値でしっかりと示されたもので、遅かれ早かれ統合は免れないものです。反対する理由はございません。一点申し上げるなら、通学路については距離は仕方がないにせよ、安全性などご配慮いただければと思います。

システム-201

教育委員会だけで話を進めていくのではなく、地域の事をよく知っている、生徒、保護者、地域の方々と話し合いを一からやり直すべきです。

システム-202

統合は断固反対です小規模校はたくさんいいところがあります。小規模だからとかデメリットばかり言われていますが、田舎の小学校なども人数が少ないなりにとてもいい教育が受けられています。大規模校では授業のスピードにもついていけなかったり人数が多いと出来ないことも増えてきます。まずは大規模校の問題を解決するのが理想だと思います。もう一度問題を白紙に戻し話し合いを一からやり直すべきだと思う。将来の子ども達のことを考え子ども達を第一優先で考えましょう。

システム-203

あまりにも校区が外れになるため、小学校はまだ近いが、中学校に関しては、選択制を取り入れるなどさせる必要はあると考える。単なる人数調整だけの校区再編は子どもたちのためにならず、大人の考えだけでおこなうのは同意は得られないと考える。本当に子どもたちのことを考えたのかがとても問われる内容であると思われる。

システム-204

山田第五小学校の学校規模適正化について

現山五小の環境を整えることは継続され、尽力を尽くしてもらっていることに感謝しています。しかし令和7年度からの山田第3小学校との統合に反対です。

理由

時期が早すぎる・もっと子供たち地域のために対話が必要です。

山田第五小学校のメリットについて

- ・先生・生徒・保護者・地域が一体化し、子育てしやすい環境である。
- ・学年1クラスでも、個性・特性を理解し助け合い成長している。
- ・トラブルの際、先生が介入し関係修復され成長している。
- ・高学年になると、先生に話さないトラブルも生じるが、担任以外の先生も見守っているため早期発見解決しやすい。
- ・小規模であることで登校・成長できる特性の子供もいる。
- ・小規模校であることを希望して校区を選んでいる。
- ・運動会・音楽発表会は個人の力が大切で皆が100%向き合い励むことが当たり前になっている。
- ・小規模校だけに皆が役割・委員会など経験することで中学校でも代議委員・生徒会・文化

総合発表会・など率先して役員・代表を行っており南山田小学校の生徒数比と比べればリーダーシップはより多くの生徒が待ち備えている。

・学年を超え放課後遊びもするし、いけないことは注意もできている。先生とも他学年の生徒について相談できている。

・地域の方が未就園児のサロンや長年見守り隊として活動され学校活動においても参加してくれており、子供も安心している。

・中学生になっても山五小の生徒は男女仲良く協力できているが、南山田小の生徒は異性と話すことはなくクラスの中でも一線があると聞いている。山五小は男女の区別ではなく、個々の性格・特性なども尊重され、成長の中でやさしさや思いやり、男女の違い・考え方の違いなど学ぶ機会としては山田第五小だからできている、男女にこだわらない生き方・多様性としても教育環境が整っている。

これを無くしてまでも、統合のメリットが山五小生徒、地域、保護者にある為の対応を表示して欲しいのです。

検討してほしい内容。

・吹田市の小学校校区だけでなく、中学校区を考えた小学校校区の再度編成を全面的に検討やり直す。

・近くの山田中学に進学できるよう、南山田小学校校区の山田市場・樫切山を山五校区に移行する。(長野西は省くことで、南山田小の生徒減少が緩やかになり山五小も生徒数が増え中学での人数差も軽減できるため)

・山田第3小学校・西山田小学校の中で校区編成し、山三小の過小規模化を改善する。

・すべての子供が健康ではない。距離が遠くなれば、持病や特性・ケガにより送迎が必要になり登校できないことも考えられる。子供の義務教育の学習の機会を奪うのはおかしい。

・通学路に関して、山五小の生徒が山三小への通学路に関し、山五小のグラウンドをとおり抜けると説明があったが、その先の竹林を必ず伐採し整備することを希望します。児童館へ行く際も一人ではいかない・暗くなったら通らないなど現状でも暗く見通しが悪く、変質者がよく出ている場所であり、多くの保護者が危険を懸念している場所をあえて通学路にするのは今後事件・事故の際責任は取れるのか。

以上

上記の懸念、検討案に対ししっかりと意見交換、対話を行い、山五小の生徒や保護者・地域だけが我慢を強いられることがないようにしっかりとが対策を頂きたいと思います。よって山田第五小の早期統合に反対致します。この素晴らしい山五地区をどうぞ存続できるよう再度検討よろしくをお願いします。

システム-205

<https://www.kobe-np.co.jp/rentoku/omoshiro/202303/sp/0016179170.shtml>

(78)

大規模校・小規模校のメリット・デメリットが書かれています。専門家の意見として、1学年1クラス以下が良いとも書かれています。まさに、山五小のことです！廃校にする理由が解りません。

システム-206

〈3. 令和7(2025)年から施行します〉について。

上記期間では当事者である在籍児童や保護者・家庭が新しい環境に安心して移行するのに不十分と考え、施行期日の延期を求めます。(地域の現状から、統廃合そのものを根本から否定するつもりはありません。ただ、当事者である在籍児童やその保護者は一方的に決定事項を伝えられ、しっかり考える時間を与えられないままどんどん話が進んで困惑しているとききます。何より子どもの権利を大切に、子どもたちが新しい環境で自己実現することができるように、現場の声を丁寧にききながら、共同ですすめていく仕組みを求めます。特に統廃合までの期間があまりに短く、子どもたち、保護者、教員、全ての人たちにとってかかる心身の負担があまりに大きいものと考えます。まずはスケジュールの見直しをご検討いただきたいと思えます。)

システム-207

山五小の児童数減少は現実としてあるが、保護者の意見も聞き、在校生の教育環境が悪くなることなく、スムーズに統合されることを望む。もちろん、山五小の存続がベストだが、統合されるにしても、2025年と言うのは早急だと思う。

システム-208

- ・一部の地域だけを見すぎていて、今の吹田市全体の現状(学校規模適正化)を改めることができないと思う。なので、もっとスケジュールを見直し、もっと広範囲での見直しをしてもらいたい。
- ・過小規模校と過大規模校では、教室数の限りのある過大規模校の方が先に着手されるべき課題であると思う。なぜ、過小規模の方が先に進められるのか。
- ・小学校の統合は、地域への影響も大きく、今回の説明会だけでは不十分。そしてスケジュールが早急すぎる。
- ・仮にこのまま、議会でこの案が通ったとしたら、小学校の名前は変更すべき。統合される先の小学校の名前のままだと、不公平。

システム-209

昨年一年前に開催された説明会において、過小規模校に関してはやっぱり後回しにされた。直接関係者スタッフにも会場で口頭にて意見訴えたがその意見は何一つ反映されないままの結果(今回の骨子案)には非常にながかりしている。この度の案についても山五児童ならば

に保護者の気持ちは全く汲まれておらず、吹田市や大阪府の考えで2年後には廃校(予定)され、家の前にある山田中学からは随分離れた場所にある西山田中学まで重たい荷物を背負わせて30分近くも歩かせて通学させないといけない状況になるであろうことに大変遺憾に思う。大人の諸事情により、勝手な判断でいつも山五児童が犠牲にされている。子供たちも山五が廃校になると噂され困惑しているがそのフォローも全く為されていないまま現状、今の生活を送っている。あまりにも不憫で可哀想だ。過小規模校であり、不自由な学校生活(?)を送っているかもしれない山五児童にとって最善な選択肢を提示してあげられるよう、どうか吹田市や大阪府の教育関係者の皆様だけで勝手に廃校決定を進めていかないでいただきたい所存。また、留守家庭育成室においても4年程前に民間から直営に戻していただいた経由があるにも関わらず、また山三小の民間育成室に戻るということは山五保護者ならびに卒室生の保護者先輩方が努力をされて今の現状を取り戻したのにそれもまた無になってしまう。我が子たちは山五のどろんこ育成室で卒室式を迎えることを楽しみに期待している。山三になった場合は民間から再度スタートすることになるため学童保育自体を辞めさせざるを得ないと感じている。また子供たちの居場所、安心して過ごせる場所をも狭めてしまう結果になるであろう。どうか、どうか山五児童や保護者の意を汲んでいただけるような学校条例の改正にしていきたい。

システム-210

提案された学校規模適正化を実施するスケジュールは、過度に早急であると感じます。学区再編には慎重な計画と綿密な検討が必要です。急いで実施することは、教育の品質と効果に悪影響を及ぼす可能性があります。私たちは、より長い時間をかけて計画を練り直し、関係者との協力を得て実施すべきだと強く信じています。

システム-211

最も重要なことは、学区再編に関する保護者の声を聞くことです。しかし、私たちは教育委員会がこれまでに保護者との十分な対話を行っていないと感じています。保護者は子供たちの教育に直接影響を与える重要なステークホルダーであり、保護者の意見と懸念を無視することは許容できません。保護者との建設的な対話を促進し、保護者の声を尊重すべきです。

システム-212

私たちは、教育委員会が提案している方向性について深い疑念を抱いています。その方向性には、教育の質や生徒の福祉に対する懸念が考慮されていないように思われます。私たちは、より適切で包括的な教育方針の策定に向けて、より多くの時間と議論が必要であると考えています。

システム-213

9月20日の共産党の代表質問において、保護者に説明をしっかりと行っているのかという質問に対して、教育部長は「保護者に対して複数回説明会を実施している」と答弁していた。実際は山五小の保護者に対して行って説明会は同じ内容を2回実施しただけで、実質1回だけである。社会通念上、2回を複数回というのは詭弁である。ましては同じ内容を繰り返したただけである。これは虚偽答弁にあたるのではないか。教育委員会は丁寧に説明するといいつながら、実態はプロセスだけを重視した、アリバイ作りを行っているだけである。

システム-214

一番不安なところは中学校です。例えば選択制で本人に選ばせたとします。山三地域のお友達ができていれば同じ中学校に行きたいのは当然です。お友達と同じがいい、という気持ちで西山田を選択したとしたら毎日重い荷物を持って家からだ30分歩いて通学しなければなりません。暑い時に熱中症のリスクもあります。山田中学校を選択するにしても同じ中学校に行けないお友達ばかりいるとわかっているところに通わせるのもおかしいと思います。そもそも山五の人数の少なさに不便さを感じたことはありません。生徒たちは学年の壁を越えて仲良くて、先生たちも人数が少ない分厚くしてくださっています。地域の方とも良好な関係を築いている印象です。過小規模が悪のようにならぬ、一方的に統合を強行されようとしていることに不満がいっぱいになるのは仕方のないのに、説明会では過去の発言等の不満じゃなくて今後子供達のためにできることの見解をくださいと苦情を言われる始末。代表はほとんど眠っておられたように見えましたし、全員が早く終わりたいと思っているのがひしひしと伝わりました。反対意見がどれだけあってもこのまま強行するのは納得がいきません。我が家も西山田中学校は2キロを超えます。遠い人で1.9キロと決め付けられているのは学区の端を把握されていないのではないのでしょうか？また、自転車通学をできるようにできないかという意見が出た時にご自身ともう1人の方は中学時代2.5キロとか3キロを歩いていましたと報告されていましたが今は時代が違いますしあなた方の過去の話は聞いていません。自分の子供の未来の話をしています。少しでも子供達の環境のことを考えてくださるなら現状維持で、山五を無くさないでほしいと思います。よろしくをお願いします。

システム-215

過小規模校よりも、過大規模校の方が教室が足りない、教育の機会が少ない等、切実な問題がある。先に取り組むべき課題は過大規模校の解消である。

システム-216

今回の骨子案に対して、実行に移るまでの期間が異常に早いと思われれます。令和4年7月に一度白紙にしたにもかかわらず1年程度で復活させ、且つ短期間の周知で物事を収めようと活動されているのは教育未来創生室から見て当たり前な行動なのではないでしょうか？実際に被害者になるのは誰よりも子供たちです。実際に小学校での子供たちの生活を目で確認されま

したか？子供たちにこの学校での生活はどうか？ほかの学校とくつつくのはどう感じるのか聞きましたか？我が子からそんな話は聞いていません。「子供たちを思って」「少人数の学校での生活は今後支障がでる」などの内容をただか 1 回 2 回の形式的な説明会でお話頂きましたが、ただただ活動成果を残したい教育未来創生室のエゴとしか捉えることができません。当然ながら過少規模校ということは理解できます。統合を行うことを検討されるのもしかるべき対応だとも理解はできます。そうであっても保護者、生徒、教諭の意見や討論を繰り返し実行し、変化を見極めることもなく今回の骨子案を進めていくのは如何なものかと思えます。子供たちの事を何よりも考えるのであれば(優先順位の 1 番が子供達でなければ教育委員会なんて必要ないとは思いますが)学校を取り巻く人々が納得いくように議論を重ねるべきだと思います。議論の結果に基づき「適正な」スケジュールの再設定等を行ってください。過小規模校のデメリットに男女差に偏りが出ると記載がありましたが、今のご時世にこのような文言は正しいとおもわれますか？差別になりかねない文言と思われる。(過去の学校適正化基本方針に記載されている文言を時代の変化に対応できずに残されていたのが理由なのかと推測しております)

システム-217

2年後の廃校ではなく、10年後とし、その間にしっかりと準備をする事を求めます。PTA 会費の予算に、式典の為の積立、のようなものがあつたと記憶しています。教職員からの希望で毎年予算に組み込まれていました。今たまってそのお金は、今までの保護者が山五の式典の為に使われると信じて予算案や承認がされたものです。山五が廃校になったらそのお金はどのように取り扱われるのでしょうか。例えば、10年後に廃校であれば少しずつそのお金を子供達の為に使う等できたと思います。あと一年となると、そのお金は歴代の保護者に返金するのが筋だと思います。でも、現実的にはそれら不可能です。その辺りの検討はどのようになされているのでしょうか。

システム-218

未就学児がいるが、今回の統合の話があまりにも性急なスケジュールで納得がいかない。山五小学校、山田中学校なら徒歩 5 分で行け、当然そこに通うものと思っただけに、西山田中学になると 25 分ほどかかり、あまりの違い、遠さに不服でしかない。昨今の酷暑の中、せめて自転車通学ができるなどの提示があってもいいのではないか。他市から移り住み、山田南に住んでいるが、朝は地域の方々が子どもたちの通学を見守り、小規模の学校ならではの学年を越えての交流が子どもたちにもあると聞き、いい地域に住んでいるなど実感している。山五小学校の方に児童が増やせ、中学校は山田中学校で合流できるような区分けはできないのか。気に入っている地域ではあるが、今後他の地域に引っ越しも考えざるを得ず、この地域に子育て世代が定住しなくなる危惧もある。現在の山五小学校の在校生や就学を来年に控える方々が気の毒でならない。今回のような、住民意見をないがしろにし、形だけ聞く

ような説明会や、決定ありきの教育委員会の姿勢、市政のあり方は不信でしかない。山五小学校だけの問題ではなく、今後どこに住もうがこの少子化の中、一方的な学校の統廃合等の決定がなされるのではと思わされる。住民との丁寧な対話と説明を重ねる姿勢を求めたい。

システム-219

- ・山五地区の生活圏は、スーパーマーケットや公園、駅の位置関係から名神以南であり、名神以北の地域には馴染みがない。過去に分校の経緯があるとはいえ、数十年の時の経過により地域の状況も変化していることから、統合先の地域としては不適切であると考え。学区の見直しはこれらの地域性を考慮して行われるべきである。
- ・小学校区の統合と提案されているが、実態として中学校区の変更に伴う影響が非常に大きい案であるにも関わらず、これに対するフォローが不足している。特に中学校へ距離が非常に遠くなることで、通学時間が年間 100 時間程度余分に必要となり、校区変更前より勉学に費やすことができる時間が減少してしまうことが懸念される。
- ・山五地区の家庭は、小中学校への距離が近いことを理由の一つとして居住しているが、統合後に山田中学校への通学を選択できる期間を 10 年間としており、その後、実績が少なければ打ち切る主旨の説明が行われた。少なくとも、現在山五地区に居住している家庭の子に対しては、山田中学校への通学が選択できることを担保すべきである。
- ・中学校の選択について、親しい友人が山五地区の児童で、この友人が山田中学校への通学を選択することで、友人関係から孤立してしまう山三地区の児童が発生してしまうことを防ぐ観点から、山三地区の児童も山田中学校に通学することを選択できるように配慮すべきである。
- ・中学校の選択に際して、児童や保護者に対して、山田中学校・西山田中学校の特色や抱える問題などの説明の場が用意されるか確認したが、「6 年生の 2 月に中学校の説明が行われる(＝通常、中学校へ進学する場合に行われる説明と同様のもの)」「ホームページを参照いただく」などに留まり、今回の統合を踏まえての山五地区の児童・保護者への説明は全く検討されていなかった。これは、中学校区の変更を軽視している証左であり、一定期間、選択の余地があれば、納得するであろうという甘い考えに基づく提案であると思慮される。
- ・山五地区の土地・住宅について、校区の見直しにより資産価値の減少が生じることが懸念されるが、これに対する補償についての説明が行われていない。
- ・以前に実施されたアンケートにおいて、A・B・C の 3 案が提示され、うち A 案が最も影響の少ない案として提示されていた。これら A・B・C の各案に対するアンケートの結果が開示されておらず、最も影響の少ない A 案が廃案に至ったプロセスが開示されていない。
- ・総じて、中学校区の変更の観点も含め、本件は根本的に再考されるべきである。特に、名神高速道路以南・以北で、地域性が異なることから、南山田小学校の通学地域の見直しにより、山田第五小学校の生徒数を維持することが最善であると考え。

システム-220

1. 現行案は去年白紙になった B 案をもとにしているかと思いますが今後のことを考えると遠い地域の山五地域を西山田にわざわざ通わすよりは A 案を元に中学校は山田中学に通わすべきかと思います。

※この地域には小学校、中学校が近いから引っ越しを行った住民が多く人数が減ったので B 案を強行すると賃貸で住んでいる世帯は将来的に引っ越し可能性が高くなり今後も遠いということで新しく引っ越していく人数も減っていくと思います。

説明会では A 案は難しいと言っていましたが大変なことをしっかりやるのが行政のお仕事かと思っています。話を聞いてただと B 案の方が苦勞する人間が少ないと安易に対応したように感じられます。今のところ納得している住民はほぼいないと思いますので再考いただければと思います。その際も一つ一つ着実に説明を続け住民の話を聞いて進めていただければと思います。今の話は教育委員会側の都合を押し付けているとしか思えないです。相手にしているのは人です。そして一番大事な将来を担うこどもたちです。

システム-221

中学の選択制はやめてほしいです。今まで通り、山五地区は山田中学校、山三地区は西山田中学校としてほしい。6 年生という多感な時期に、一部の子どもたちだけが中学校を選択するというのは、子どもたちにとってとても負担がかかると思う。その選択がいじめの対象になってしまうことも大いに考えられるが、その点に関して、教育委員会、そして市としてはどう考えておられるのか、公表してほしいです。元々の地区のまま、選択制を取らずにいけば、子どもたちにもこのような余計な負担をかけず、そしていじめの種になるかもしれない原因を作らなくていいのではないか。

システム-222

近年、子供の減少に伴い、学校を統合する動きが、各地で見られますが、私は今回の案については反対です。それは、統合によりその学校の生徒数は増えて学校として運営上は良いかもしれませんが、それにより、子供が不登校になったり、いじめが起こる可能性も考えられるからです。このような問題が発生することも念頭に、子供一人一人のことを考え、今すぐに統合することは見送っていただきたいと私は思います。

システム-223

山五は、丁寧な教育を行っている。子どもたち一人ひとりを大切に、またクラス数も少ない中、とても工夫をして様々な教育をしている。このように特色ある学校なのに、なくしてしまうのはとてももったいないと思う。むしろ吹田市の特徴として、外にアピールできる学校であると思うし、他の学校も山五の教育を見ることで学びがたくさんあると思う。いきなりの学校統合がほぼ決定事項として保護者においてきて、困惑しています。もう少し、相談というかしつ

かり意見を聞く場をもうけてほしかったです。市民に寄り添った市政を期待していたのに、残念です。

システム-224

山三小学校隣の広大な空き地に住宅が建つ可能性があり、今後の児童数が減少するとはまだ予測出来ない。後数年の検討期間を設けて、山五小学校との統合を慎重に検討して欲しい。あまりにも早急過ぎる決定だ。統合後の地域諸団体活動の提案も机上の提案で、現場を全く考えていない。もう少し慎重に運んでください。

吹田市留守家庭児童育成室条例の一部改正の骨子案に対する提出意見(全文)

メール-1

統合して欲しくないが、するとしても学校の説明会ではなく、育成室だけの説明会を求める。山五育成室は民間委託で学級崩壊し、直営に戻ったにも関わらず、説明がほとんど無く、不安しかない。

もっと詳細が知りたい。

システム-1

学校統合案の説明会と一緒に学童が山三に行くことの説明がありましたが、学童の話は別でちゃんと説明会が必要だと思います。

説明会を聞いていて、直営より民間のメリットを説明されたように感じました。まなびの支援課は直営学童の守ろうという気持ちがないようにも感じました。とてもさみしいなと思います。直営をもっと大切にしなければならないのではないのでしょうか。

山三に行くことになると、民間の学童になるため直営とは大きく過ごし方がかわると思います。子供たちは一年生から上の学年の子たちを見て自分の未来像をもって成長していきます。3年生は4年生になったらリーダーになれることにあこがれを持って過ごしています。自分たちが楽しませてもらったことを下の学年も楽しませたいという思いで、イメージを持ちながら成長しています。民間学童になるとそのイメージ像もまったく違うものになると思います。

そもそも山三学童の保育方針、一日の過ごし方、子供たちの様子、指導員の様子など何も伝えてもらっていません。ハード面だけの説明でした。おかしくないですか。大切なのは保育です。特に直性学童は保育方針をしっかり立てて進めてくれていると思っています。その説明が全くなされていないのはどういうことでしょうか。事務方が現場の先生たちが大切にしている思いを理解していないように感じました。直営の学童はただの預かりではなく、こどもたちの成長と集団をとっても考えてくれています。山三の学童がどうかは知りません。

私は山五が直営から民間になったときに、いろいろ携わりました。民間の会社の人は学習面のことばかり売りにされていたイメージがあります。今の学童の方針と全く違うという印象でした。

子供たちの抱いてきた成長のイメージがすべて壊されてしまいます。いくら引継ぎしても山五の保育で大切にしていたことや行事は山三には引き継がれないですよ。山五の子供たちだけが我慢しなければならないのでしょうか。すべて山三のやり方に合わせることになるのでしょうか。子供たちの負担は考えましたか。

(1)

実際に山五が民間になったときにこの問題が起きています。また山五の子供たちにしんどい思いをさせるのですか。時間をかけると、山三と山五で協力できることもふえると思いますが、1年足らずではどうしようもありません。1年は山五の最後の学童を楽しんでほしいと思い反面、山三に移動したときの心のモチベーションも考える必要がると思います。それを1年でこどもの気持ちの整理をさせるのは子供にどれだけの負担があるか想像してほしいと思います。まずは子供のことをしっかり考えて、保護者にきっちり説明会を開いていただきたいです。

システム-2

山五小学校に通学する児童の保護者です。

山五小学校では以前、留守家庭児童育成室を運営委託し失敗し、戻した経緯がありました。

山三の留守家庭児童育成室の状況、実績を存じないが、不安で仕方がないです。

山五小、留守家庭児童育成室が跡形もない統合って児童、その保護者の心情を無視したやり方が納得出来ません。山五小学校、留守家庭児童育成室に何らかの問題が起きたのならいざ知らず、規模適正化という名目だけで統合には賛成出来ません。

山五小学校の規模が小さいのは以前からわかっていたこと。去年のアンケートによる統合の決定は、保護者、この地域が望んでいることなのでしょうか。

山五地域、小学校、そして留守家庭児童育成室の良いところを無くしてまで統合にメリットがあるのでしょうか。納得出来る解決方法なのでしょうか。

改めて統合の見直しをお願いします。

システム-3

合併後、民間委託になるということで、現在の指導員の先生が全く関わらないということに不安を感じます。学童は、家に帰ると同様の安心感がある様です。長時間過ごす場所の環境が変わるのに、事前の引き継ぎ程度で十分とは思えません。せめて合併後1ヶ月ほどは現在の先生も一緒に過ごすなどの配慮をしてもらいたいです。

システム-4

現状、放課後子ども育成室と育成室利用者の中で話し合いが十分になされているとは言えません。

学校が主で、育成室は従うしかないのかもしれないですが、山三育成室について、私たちは知らなさすぎます。知るための情報がないからです。

説明会で配られた資料以外に、例えば、山三育成室はどんな一日をすごしているのか、何を目指しているのか、指導員はどんな人なのか、統合することによって来年1年間は保育内容が変わってしまうのか等、教えてほしいことがたくさんありますが、未来創生室と同じ日時の説明会では聞ける状況ではありませんでした。

山五の指導員の先生は素晴らしいです。

(2)

素晴らしいが故に、どこへ行ってもマイナス面しか考えられません。

子どもにとって、学童は学校以上に居場所を感じられる大事な場所です。

山三育成室のことを知らないことで不安が大きいと思うので、まずは山三の保育内容を詳しく知りたいです。

それから、育成室と未来創生室と連携は取れているのでしょうか。統合によって起こりうる問題を、育成室から未来創生室に投げかけたりしないのでしょうか。

システム-5

学校の方もそうですが、このような案件、指導員の先生方と事前に相談などしているのでしょうか？

山五の指導員の先生は、子ども達のことをしっかり考えてくれ、私共保護者も安心して預けている状況です。

年間を通して、イベント等を子ども達に合わせて計画的に進めてくれています。

もし統合するとなったら、そちらの方にも気を回すこととなり、これまで出来ていたイベントが出来なくなる可能性もあると思います。

それで悲しむのは、子ども達です。

物事を相談もせずに勝手に進めないでください。

現場をもっと知ってください。

システム-6

統合が決定したあとのことについて質問します。

(1)令和6年度の保育内容は変わるのか。山三育成室に合わせた保育内容になるのか。

(2)令和6年度の保育内容は、育成室が方針を決めるのか。それとも指導員の裁量によるのか。

質問の趣旨

どろんこ学級は4年生がリーダーシップを取って班をまとめています。

3年生は、来年は4年生だという自覚を持って日々過ごしています。

4年生になったら4年生会議や班決めなど、任されていることも多く3年生もそのつもりで今から心の準備をしています。

先生方は次年度を見据えて計画を立てておられます。

山三育成室と統合が決まることによって、来年1年の保育は山三育成室に合わせた内容にしないといけないのでしょうか。

どろんこカラーのまま進めることはできないのでしょうか。

システム-7

統合になるに伴って学童も…

(3)

当たり前のように進めておられますが、そもそも育成室の立場で、今山五育成室に通っている子供、保護者の不利益を想像し、反対意見等はなかったのでしょうか。そもそも意見を出す場はあったのでしょうか。

学童に通っている山五の子供が今、どれだけ不安な気持ちで過ごしているのか想像してください。

育成室に通う子供のことを大事に思ってくださいるのなら、もう少し教育委員会との議論を育成室側から求めてください。

システム-8

わたしは、山五小学校 2 年生です。わたしは今学童を使っていて、今の学童がすごく楽しくおもっています。もし 2 年後に山五がなくなってしまって学童がかわってしまうと今のすきな先生たちとはなればなれになってしまうし、さいごのそつしつ式はいまのせんせいたちとしたいです。なので、山五の学童をなくすのをやめてください。

システム-9

僕は山田第五小学校の 5 年生です。僕は去年まで山五の学童を使っていました。去年まで 4 年間ずっと使っていたので、僕にとって思い出の場所で、ときどき学校で会う学童の先生たちと話すのが大好きです。そんな思い出の場所がなくなるのはすごく嫌だし、ずっと置いておいてほしいです。なので、山五学童をなくすのをやめてください。

システム-10

学童は保護者が安心して働くために必要不可欠な場所です。

子供にとっては家の代わりに、「おかえり」と迎え入れてくれるホッとできる場所です。

その学童が代わってしまうという事は、子供にとってどれほどのストレスかはかりしれません。お友達はそのまま一緒にいくのだから大丈夫、という簡単なものではありません。先生とのつながり、その場所、楽しみにしている活動をすべて奪われるということです。そんなことがこんなにすぐに決定されても良いのでしょうか。

本当に決定になってしまうのなら、吹田市は子育てしにくい街だと思われても仕方ないと思います。

もっと検討を重ねるためにも、この案の撤回を希望します。

システム-11

現行では、統合に際する子どもたちへのマイナス影響(デメリット)等への配慮や具体的な対策が十分に示されておらず、このままでは学童保育を利用している子どもたちのメンタルヘル스에多大な悪影響を及ぼしかねず、最悪の場合学童の利用自体が困難になり保護者の就労の維持が困難になる可能性が大きいいため、山五育成室の規定の削除の撤回を求めます。

(4)

いつも子どもの学童保育においてとてもお世話になっております。今の学童の先生方の並々ならぬ努力のおかげで我が子たちは安心して楽しく学童を利用することができています。しかし、1年半後という非常にタイトなスケジュールの中、山五育成室がなくなってしまい、山三育成室へと合流するとなってしまうと、子どもたちの心理的な影響は多大であると感じています。それほどに、現育成室の先生方と子どもたちの信頼関係は強く、保護者も安心して利用させることができます。そういった統合に際する様々な影響についての論議が十分にされず、対策等についても具体性を欠くなかでの山三育成室への合流は不安以外ありません。保護者はもとより、何よりも子どもたちが安心して学童に通うことのできるよう、具体的かつ実現可能である対応案を提示いただくまでは本案件について撤回を求めます。

システム-12

人数が増えるため、教室の確保と指導員の確保(待機児童なし)が本当にできるのか。民間が悪いと言わないが、今より質が落ちないか。